

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A40101	現代人のこころ	1	2	芳賀・三後

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	D	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
こころ 心理学 現代社会	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

われわれ人間は日常生活において、心に関係するさまざまな現象や問題に遭遇している。この授業では、それらの現象や問題を学問的（心理学的）な立場から学んでいくために必要な問題意識を身につけること、そして、現代社会がかかえる心の問題について理解を深めることを目標とする。心理学を専門的に学ぶことを考えている学生は、臨床心理学 A・B と併せて必ず受講してほしい。

#### 授業の概要：

前半では日常生活で遭遇する心に関する諸現象を心理学においてはどのような観点からアプローチしていくのか、そして実際にどのような科学研究が行われているのかについて解説する。後半では、特に人とのかかわりの中で生じる現象に注目し、それらの現象を理解するための心理学的なアプローチを紹介する。

#### 授業の計画：

前半

- 1) ガイダンス・心とは何か？
- 2) 心は何をしているのか？
- 3) 心はどこにあるのか？
- 4) 赤ちゃんに心はあるのか？
- 5) 動物に心はあるのか？
- 6) 私の心とあなたの心
- 7) 心理学は何をするのか？
- 8) 心をどのように調べるのか？

後半

- 9) ガイダンス・私たちの心の成長とは
- 10) 「出会い」と「かかわりあい」の心理学
- 11) 「迷惑」と「共感」の心理学
- 12) 「やる気」の心理学
- 13) 「心の健康」と心理学
- 14) 「キャリア」をデザインする心理学
- 15) 心理学の学びを活かすには

#### 授業方法：

各回のテーマについてプリント資料や映像資料を用いながら説明し、その後に意見発表や討論を行う。そしてそれらの内容をもとにしてレポートを作成・提出してもらう。積極的な授業態度で臨むようにしてほしい。

#### 達成目標：

大学で心理学を専門的に学ぶために必要な問題意識と基礎知識、専門的な立場から心の問題に取り組むことができる実践力の基礎を身につける。

#### 評価方法：

出席回数の基準をクリアしていることを前提とし、レポートの成績（約 70%）と意見発表や討論の内容を含む授業態度（約 30%）により評価する。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

海保博之著 『心理学ってどんなもの』 岩波ジュニア新書 427 740 円  
 藤本忠明・東正訓 編著 『ワークショップ大学生生活の心理学』 ナカニシヤ出版 2000 円＋税

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00201	哲学A	1・2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学問のルーツ、批判的思考、論理的思考	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

古代ギリシアに起源する哲学の歴史を近世までたどる。その中で、哲学という学問、つまり、あらゆる学問の起源としてのこの知的営為の意味を解明していく。その際、常に哲学の問いの根本にある「存在」の問題を「理性」との関係から論じていく。このようにして、西洋哲学の本質を把握することを目的とする。

#### 授業の概要：

まず哲学という学問の理解から始める。哲学は他の学問とは根本的に異なる側面を持っている。その一つは、その歴史が常に問題とされるということである。したがって、授業では哲学という学問の理解のために哲学の誕生とその歴史をたどることとなる。哲学Aにおいては、近代に至るその歴史を、代表的な哲学者達の「存在」、「理性」の主張に辿り、ヨーロッパ哲学の本質を論じる。

#### 授業の計画

1. 哲学の語義、意味
2. 古代ギリシアにおける哲学の発祥
3. ミレトス派の哲学、万物と「アルケー」
4. 哲学の岐路、パルメニデスとヘラクレイトス、存在と生成
5. 多元論と原子論、万物と自然
6. 人間の問い、ソクラテス
7. 存在と本質、プラトンとイデア論
8. アリストテレスから古代後期への哲学
9. ヘレニズムとヘブライズム、キリスト教と中世哲学
10. ルネサンスと科学、機会論的自然解釈
11. 理性と存在、デカルトにおける真理
12. 合理論と経験論、哲学の二つの流れ
13. 近代哲学とは
14. デカルトまでの歴史の概観
15. まとめ

#### 授業方法：

歴史上の諸説について解説し、さらに現代の立場から批判する。また、その歴史的な影響関係から歴史的意義を確認していく。

#### 達成目標：

学問のルーツとしての哲学の歴史と本質を理解する。論理的思考を身につける。

#### 評価方法：

- 論述試験 90%、レポート、取り組み 10%。
- S. 哲学の歴史の意義について適切に論じることができる。
  - A. 哲学の歴史の意義について論じることができる。
  - B. 哲学の歴史について論じることができる。
  - C. 哲学について論じることができる。
  - D. 哲学について論じることができない。

#### 教科書：

#### 参考文献：

岩崎武雄『西洋哲学史』有斐閣

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00301	哲学B	1・2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学問、論理的思考、価値判断、批判的思考	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

「私」とは、人間とは、生と死とは何か。我々はまだ明確な答えを持っていない。その解明のためには「存在」について考えていくことが必要である。そのため、現代の社会や文化にいまなお大きな影響を残している近代哲学を歴史的に辿り、その本質を批判し、今日我々が直面する諸問題を解き明かしていく。

#### 授業の概要

ヨーロッパ文明の隆盛を導いた哲学は、しかし、近代に至って本質的な矛盾、困難につきあたる。さらに近代哲学批判の後、現代の哲学と学問とは危機直面した。今日の哲学の動向も含め、以上の歴史を辿る。その中で「私」、「生・死」などについて考えていく。

#### 授業の計画：

1. 「存在」を問う問いの意味
2. ルネサンスから近代に至る哲学史の概観
3. カント、経験論と合理論、批判哲学
4. ヘーゲル、理性、歴史、存在、近代哲学の到達点
5. 近代哲学の限界と実存主義
6. ニーチェ、「存在」「理性」への徹底的批判
7. ニーチェ、ニヒリズムとその克服の道、未来の哲学
8. ハイデッガーから現代へ
9. 今日の哲学的状況
10. 現代の諸問題1、「私」とはなにか、死の問いの不在
11. 現代の諸問題2、環境問題の哲学的意味、
12. 哲学の可能性（1）
13. 哲学の可能性（2）
14. 現代までの歴史の概観
15. まとめ

#### 授業方法：

近代以来の哲学について解説し、さらに現代の立場から批判する。また、今日我々が直面する問題を哲学の立場から考えていく。

#### 達成目標：

現代の哲学を理解し、我々を取りまく諸問題を批判的に考える力を身につける。

#### 評価方法：

- 論述試験 90%、レポート、取り組み 10%。
- S. 哲学的に現代の問題の本質を適切に論じることができる。
  - A. 哲学的に現代の問題の本質を論じることができる。
  - B. 哲学的に現代の問題を論じることができる。
  - C. 哲学について論じることができる。
  - D. 哲学について論じることができない。

#### 教科書：

#### 参考文献：

岩崎武雄『西洋哲学史』有斐閣

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00601	倫理学A	1・2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生の意味・価値 批判的思考 他者の理解	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

今日、倫理の欠如があらゆる場面で問題となっている。環境倫理や生命倫理をはじめ現代に特有の様々な倫理的問題が噴出する現状を確認しつつ、このような状況を導いた西洋における倫理思想の歴史を辿り、その本質的な問題を把握することを試みる。

#### 授業の概要：

今日の倫理的な問題、つまり環境保護や遺伝子操作、医療技術、死刑などをはじめ無数の問題の根本を探っていく。その中で、西洋倫理思想を歴史的に辿り批判していくことの必要性を確認。古代以来の倫理思想の歴史を辿っていく。

#### 授業の計画：

- 1 倫理学とは
- 2 現代の倫理の問題の概要
- 3 現代の倫理の問題（環境問題）
- 4 現代の倫理の問題（生命倫理）
- 5 現代の倫理の問題（情報倫理）
- 6 現代の倫理の問題（死刑、戦争、動物実験など）
- 7 現代の倫理の問題（政治経済、コンプライアンスなど）
- 8 今日の倫理の本質問題について
- 9 法系と倫理思想の関係
- 10 今日の倫理思想の特殊性
- 11 西洋倫理思想の歴史（哲学の発祥）
- 12 西洋倫理思想の歴史（古代哲学とキリスト教）
- 13 西洋倫理思想の歴史（ルネサンス）
- 14 西洋倫理思想の近世までの総括
- 15 まとめ

#### 授業方法：

講義形式、適宜質問への応答やレポートを課す。最後に論述試験を行う。

#### 達成目標：

今日の倫理の問題を自覚し、その歴史を理解する。

#### 評価方法：

論述試験を中心に（90%）評価する。レポートおよび授業の取り組みにより10%程度の加減点を行う。

- S 倫理思想の問題の本質を適切に論じることができる
- A 倫理思想の問題の本質について論じることができる
- B 倫理思想の歴史を把握し倫理の問題を論じることができる
- C 倫理の問題を論じることができる
- D 倫理の問題を論じることができない

#### 教科書：

授業において指示。適宜資料配布。

#### 参考文献：

授業において指示。適宜資料配布。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00701	倫理学B	1・2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生の意味・価値 批判的思考 他者の理解	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

西洋倫理思想の特殊性の自覚によって、今日の倫理を大きな転換に直面している。西洋中心主義、人間中心主義などの限界の自覚の意味を理解することともに、同時に生じた倫理の喪失・欠如、生の意味喪失を超え、諸文化の倫理を評価しつつ新しい倫理の可能性を探る。

#### 授業の概要：

近代から現代にかけての倫理思想の大きな転換（ニーチェなど）を辿り、さらに、今日我々が直面する倫理の文化的相対性の問題を考察する。また、「倫理学」自体の本質的な問題も反省し検証しながら、東洋などの諸文化の倫理思想の意義を評価し未来の倫理について考えていく。

#### 授業の計画：

- 1 倫理学とは
- 2 西洋倫理思想の歴史（古代から近世）
- 3 西洋倫理思想の歴史（近代－デカルト、カント）
- 4 西洋倫理思想の歴史（近代－ベンサム、ヘーゲル左派など）
- 5 ニーチェによる西洋倫理思想の批判（ニヒリズム）
- 6 ニーチェによる西洋倫理思想の批判（道徳の系譜）
- 7 ニーチェによる西洋倫理思想の批判（生の価値）
- 8 ニーチェによる西洋倫理思想の批判（権力への意志）
- 9 現代の倫理学の状況（概要）
- 10 現代の倫理学の状況（問題と限界）
- 11 諸文化における倫理（儒教思想）
- 12 諸文化における倫理（仏教思想）
- 13 人間の死の意味について
- 14 人間の生の意味について
- 15 まとめ

#### 授業方法：

講義形式、適宜レポートを課す。最後に論述試験を行う。

#### 達成目標：

倫理思想の転換と諸文化の倫理の意義を理解する。

#### 評価方法：

論述試験を中心に（90%）評価する。レポートおよび授業の取り組みにより10%程度の加減点を行う。

- S 倫理思想の問題の本質を適切に論じることができる  
 A 倫理思想の問題の本質について論じることができる  
 B 倫理思想の歴史を把握し倫理の問題を論じることができる  
 C 倫理の問題を論じることができる  
 D 倫理の問題を論じることができない

#### 教科書：

授業において指示。適宜資料配布。

#### 参考文献：

授業において指示。適宜資料配布。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A00801	宗教学A	1・2・3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教、歴史、一神教の世界	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

宗教の歴史は人類の歴史であるとも言えるほど、人が集まるところには宗教が存在する。それだけに一口に宗教といってもその対象は広大である。この広大な世界を理性の立場から学問的に考察することが宗教学の課題である。本講義は、その基礎となる宗教史（一神教の世界）を概観する。

**授業の概要：**

現代世界における宗教と宗教研究について考察した後、唯一神教（ユダヤ教・キリスト教・イスラム教）の世界のそれぞれの発端に関して概観する。

**授業の計画：**

- 第1回 第1章 現代世界における宗教と宗教研究
  - 1. 世界の宗教人口、2. 現代世界における宗教問題、3. 宗教の概念、4. 宗教研究
- 第2回 第2章 唯一神教の世界
  - 1. 舞台としての中近東と三宗教に共通な特徴
    - A. 自然・社会・歴史環境（メソポタミア、シリア・パレスチナ、エジプト、アラビア）
    - B. 基本的相互関係
    - C. 唯一神教、啓示宗教、預言者
    - D. 啓典の基本的構成概観（聖書、タルムード、クルアーンなど）
- 第3回 2. 聖書以前
- 第4回 3. ユダヤ教
  - A. 旧約聖書の重要な思想：創造
  - B. 旧約聖書の重要な思想：律法
  - C. 旧約聖書の重要な思想：預言者
  - D. 旧約聖書の重要な思想：知恵
  - E. 旧約聖書の重要な思想：黙示思想
  - F. 旧約から新約へ
- 第10回 3. キリスト教
  - A. 原始キリスト教
  - B. 初期キリスト教の発展と課題（新約聖書正典の成立、基本的教義の確立）
  - C. キリスト教諸派の系譜 [概観]
- 第11回
- 第12回
- 第13回 4. イスラム教
  - A. ムハマドの生涯とイスラム的信仰運動の概観
  - B. ムハマド以後の展開
  - C. イスラム教諸派の概観
- 第14回
- 第15回

**授業方法：**

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用ブックレット（PDF 文書）本文編と関連資料を集めた資料編を担当者ホームページに用意するので、受講者は参照して学習すること。資源の有効利用の観点から紙によるプリントは原則として準備しない。

**達成目標：**

本講義は宗教史の観点から宗教の抱える諸問題と歴史的影響等について基本的知識を得ることを目標とするが、偉大な宗教的人格を紹介することにも出来るだけ配慮したい。

**評価方法：**

筆記試験（持込み無し）。毎回出席をとる。

**教科書：**

授業用ブックレット本文編（PDF 版）

**参考文献：**

担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）、授業用ブックレット及び資料編（PDF 版）の中から関連するもの参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
A00901	宗教学B	1・2・3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教、歴史、非一神教の宗教	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

宗教の歴史は人類の歴史であるとも言える程、人の集まるところには宗教が存在する。それだけに一口に宗教といってもその対象は広大である。この広大な世界を理性の立場から学問的に考察することが宗教学の課題である。本講義は、その基礎となる宗教史（非一神教の世界と日本の宗教史）を概観する。

#### 授業の概要：

前期の宗教学Aとペアで宗教史を概観している。宗教史Bでは、非一神教の世界と日本の宗教史を概観する。具体的には、ヒンドゥー教、仏教、東アジアの宗教（道教・儒教・中国仏教・朝鮮仏教）を概観し、最後に日本宗教史を概観する。

#### 授業の計画：

- 第1回 第3章 非唯一神教の世界
  - 1. ヒンドゥー教
    - A. インドの自然・社会・歴史と古代インドの宗教
    - B. ヒンドゥー教
    - C. 仏教の揺籃としてのヒンドゥー教
- 第2回
- 第3回 2. 仏教
  - A. 原始仏教 (a. 文献、b. ブッダの悟り、c. ブッダと初期仏教教団)
  - B. 部派仏教 (a. ブッダ以後の仏教教団、b. 紛争、c. 部派仏教の成立)
  - C. 大乘仏教 (a. 大衆運動、b. 大乘仏教の特徴、c. 仏教のヒンドゥー化と衰退)
  - D. チベット仏教
- 第4回
- 第5回
- 第6回
- 第7回 3. 東アジアの宗教
  - A. 道教と儒教
  - B. 中国仏教 (a. 中国への伝播、b. 格義仏教、c. 仏教の中国的受容)
  - C. 朝鮮仏教
- 第8回
- 第9回
- 第10回 4. 日本の宗教
  - A. 仏教伝来以前の日本の宗教と神道史概観
  - B. 日本の仏教 (a. 仏教伝来、b. 平安時代、c. 鎌倉時代、d. 江戸時代)
  - C. 日本のキリスト教
- 第11回
- 第12回
- 第13回 (a. 16世紀におけるカトリック・キリスト教の伝来、
- 第14回 b. キリスト教の禁制からキリシタン潜伏
- 第15回 c. 幕末・明治のキリスト教)

#### 授業方法：

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用ブックレット（PDF文書）本文編と関連資料を集めた資料編を担当者ホームページに用意するので、受講者はそれらを参照して学習すること。資源の有効利用の観点から紙によるプリントは原則として準備しない。

#### 達成目標：

本講義は宗教史の観点から宗教の抱える諸問題と歴史的影響等について基本的知識を得ることを目標とするが、偉大な宗教的人格を紹介することにも出来るだけ配慮したい。宗教学A・宗教学Bは一体の授業であるので、第3章から始める構成となっている。

#### 評価方法：

筆記試験（持込み無し）。毎回出席をとる。

#### 教科書：

授業用ブックレット（PDF版）。

#### 参考文献：

担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）、授業用ブックレット及び資料編（PDF版）の中から関連するもの参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A01201	文学A	1・2・3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読解力、表現力、批判的思考	コミュニケーション力、美的感受性

**授業のテーマ：**

宮沢賢治の、さまざまなジャンルの文学作品に触れ、日本語による表現を正確に読解するとともにレポートの作成を通して基礎的な国語能力の習得をめざす。

**授業の概要：**

宮沢賢治の種々の作品、童話・短歌・口語詩・文語詩・芸術論などを読む。

**授業の計画：**

- 1 概説
  - 2 文章表現の基礎 1 3 文章表現の基礎 2
  - 4 文章表現の基礎 3
  - 5 文章表現のまとめ
  - 6 評論の読解 1
  - 7 評論の読解 2
  - 8 小説の読解 1
  - 9 小説の読解 2
  - 10 詩の読解 1
  - 11 詩の読解 2
  - 12 近代短歌の読解
  - 13 宮沢賢治の年譜 ―― その人生について ―― 1
  - 14 宮沢賢治の年譜 ―― その人生について ―― 2
  - 15 まとめ
- ※ 授業計画は、受講生の興味等により変更を行う場合がある。

**授業方法：**

講義形式を基本とするが、対話型で授業を進める。  
教科書と配布するプリント資料によって授業を行う。

**達成目標：**

日本語に表現を正確に理解することができる。  
わかりやすい文章を記述することができる

**評価方法：**

下記の2点により、総合的に評価する。提出課題の提出遅延は減点とする。  
1 レポートなどの評価点 50%  
賢治の作品について、800字程度の感想文。および授業中の課題。  
2 平常点 50%  
受講姿勢（授業中の発言など）

**教科書：**

『宮沢賢治全集』7（ちくま文庫 1,050円+税）

**参考文献：**

授業内で指示する。  
宮沢賢治の作品は新潮文庫や岩波文庫などでも手軽に読めるが、現在最も信頼に足るテキストを用いたものとして、ちくま文庫の『宮沢賢治全集』をあげておく。

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
A01301	文学B	1・2・3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読解力、表現力、宮沢賢治	コミュニケーション力、美的感受性

**授業のテーマ：**

宮沢賢治の、さまざまなジャンルの文学作品に触れ、日本語による表現を正確に読解するとともにレポートの作成を通して基礎的な国語能力の習得をめざす。

**授業の概要：**

宮沢賢治の童話・短歌・口語詩・文語詩・芸術論などの作品を読む。

**授業の計画：**

※ 前期からの継続受講を基本とする。

- 1 概説 1
- 2 概説 2
- 3 『洞熊学校を卒業した三人』 1
- 4 『洞熊学校を卒業した三人』 2
- 5 『なめとこ山の熊』 1
- 6 『なめとこ山の熊』 2
- 7 『なめとこ山の熊』 3
- 8 『風の又三郎』 1
- 9 『風の又三郎』 2
- 10 『風の又三郎』 3
- 11 『銀河鉄道之夜』 1
- 12 『銀河鉄道之夜』 2
- 13 『銀河鉄道之夜』 3
- 14 まとめ 1
- 15 まとめ 2

※ 授業計画は、受講生の興味等により変更を行う場合がある。

**授業方法：**

講義形式を基本とするが、学生自らの感想・意見を発表してもらい発表形式も取り入れる。教科書と配布するプリント資料によって授業を行う。

**達成目標：**

日本語による表現を正確に読解する。  
わかりやすい文章を記述する。

**評価方法：**

下記の2点により総合的に評価する。提出課題の遅延は減点とする。

- 1 評価点（50%）賢治の作品についての800字程度の感想文、授業内での課題
- 2 平常点（50%）受講姿勢（授業中の発言など）

**教科書：**

『宮沢賢治全集』7（ちくま文庫 1,050円+税）

**参考文献：**

授業内で指示する。

宮沢賢治の作品は新潮文庫や岩波文庫などでも手軽に読めるが、現在最も信頼に足るテキストを用いたものとして、ちくま文庫の『宮沢賢治全集』をあげておく。

**実験・実習・材料費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09201	言語学	1・2・3・4	2	岡 良和

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
動物のことは、言語の音声、言語の構造	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

人間は、その歴史の始まりとともに、言語を用いてきた。人間と言語とのかかわりを考えることは人間そのものについて考えることでもある。この授業を通して受講生には言語を通して人間の思考や文化を考えてもらう。この目的のために、言語研究の方法を紹介し、言語とは何かを考えてもらい、言語研究が人間の研究につながることを理解してもらう。

**授業の概要：**

言語学とはどういう学問分野で、何を研究対象とするのか、動物のことはとの比較、ことばを作り上げている最小単位の音から語、文の構造へと進み、語や文の意味、さらに日本語の特徴、ことばと文学、という言語学の応用分野を取り上げる。

**授業の計画：**

1～3回	言語学とは 言語と言語学 言語の定義 言語学の分野	10～12回	語のかたち 語および語の構造 語形成 語形成への制約
4～6回	動物のことは 動物の「ことば」の研究の意義 動物の「ことば」の機能と手段 霊長類の言語習得の実験 異種間コミュニケーションの可能性を目指して	13～14回	文のかたち 文を作る人間の能力と文法 生成変形文法のアプローチ
7～9回	言語と音の関係 言語音のすがた（音声学） 言語音の体系（音韻論） 言語音に関する規則化	15回	まとめ

**授業方法：**

テキストを利用して解説した後、受講生に資料を分析してもらい、これを講評する。理解度をはかるため、各回の授業終了時に10分程度の課題に取り組んでもらう。

**達成目標：**

言語の体系を自ら分析することで、人間と言語の関係を理解し、説明できること。

**評価方法：**

前期末の試験（70％程度）と授業への取り組み（30％程度）により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自の分析ができる…S
- 理論を部分的に活用して分析ができる……………A
- 不十分ながら理論を使い分析ができる……………B
- 理論や学術用語を説明できる……………C
- Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

石黒昭博他『現代の言語学』金星堂 3675円

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09301	異文化間コミュニケーション	1・2・3・4	2	岡 良和

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語、社会、文化	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

人間と言語や文化は密接な関係にある。この授業では受講生に人間と言語とのかかわりを考え、それがどのように文化に反映されているのかを探ってもらう。このように言語を通して人間の思考や文化を考えるための研究方法を紹介し、言語とは何かを考えてもらい、言語研究が人間や文化の研究につながることを理解してもらう。

**授業の概要：**

世界の多様な言語と文化を比較する視点の紹介。言語や文化をグループに分けることの可能性。社会方言、人種方言、地方方言、などの言語のバリエーションと文化の関係。ことばの習得は文化の影響を受けるのか。ことばによらないコミュニケーションと文化。などの話題を扱う。

**授業の計画：**

1～3回	世界の言語と文化 世界の言語と文化の多様性 比較言語学と比較文化学 言語類型論と文化類型論	10～12回	ことばによらないコミュニケーションと文化 非言語コミュニケーションの研究分野 非言語コミュニケーションと文化 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション
4～6回	ことばと社会と文化 ことばと文化の多様性 ことばの社会的変種と文化 ことばの場面的変種と文化	13～14回	ことばの意味と運用 意味論と語用論 語の意味 意味の広がり文化
7～9回	ことばとことばと文化 ことばの習得と文化 ことばと脳と文化 ことばと認識と文化	15回	まとめ

**授業方法：**

テキストを利用して解説した後、受講生に資料を分析してもらい、これを講評する。理解度をはかるため、各回の授業終了時に10分程度の課題に取り組んでもらう。

**達成目標：**

言語の体系を自ら分析することで、人間と言語や文化の関係を理解し、説明できること。

**評価方法：**

前期末の試験（70％程度）と授業への取り組み（30％程度）により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自の分析ができる…S
- 理論を部分的に活用して分析ができる……………A
- 不十分ながら理論を使い分析ができる……………B
- 理論や学術用語を説明できる……………C
- Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

石黒昭博他『現代の言語学』金星堂 3675円

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A01601	社会学A	1・2・3・4	2	安福恵美子

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
現代社会、社会学的視点、社会学的探求	コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

私たちの社会はさまざまな問題を抱えながら変化している。本講義では、社会的行為、社会集団、地位と役割、社会変動、文化などを取りあげ、社会学の基本的な理論や概念を学ぶとともに、社会学的探求の方法についての理解を深めてゆく。

#### 授業の概要：

社会学の概念を概説するとともに、教育、家族、労働、環境、福祉などの問題を取りあげ、社会学の視点から現実の社会や社会問題がどのように分析され、理解されているかを問題提起しながら講義する。

#### 授業の計画：

- 1回 社会学とは何か
- 2回 社会学に何ができるのか
- 3回 社会学と調査
- 4回 近代社会の成立
- 5回 現代社会と教育
- 6回 現代社会と家族
- 7回 現代社会と環境
- 8回 現代社会と政治
- 9回 現代社会と福祉
- 10回 現代社会と情報
- 11回 現代社会と労働
- 12回 現代社会とレジャー
- 13回 現代社会における格差
- 14回 現代社会における文化装置
- 15回 まとめ

#### 授業方法：

各回のテーマに即した資料・文献（ビデオを含む）を参考に、受講生各自が感想や意見を述べることによってテーマに対する理解を深めてゆく。そのため、受講生各自の積極的な授業参加を求める。

#### 達成目標：

さまざまな社会現象を社会学的に分析するための視角を養う。

#### 評価方法：

小テスト50%および小レポート50%によって評価する。

#### 教科書：

安福恵美子著『ツーリズムと文化体験』（流通経済大学出版社）

#### 参考文献：

授業のなかで随時紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A01701	社会学B	1・2・3・4	2	安福恵美子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
現代社会、社会学的視点、社会学的探求、地域社会	コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

社会学の基本的な理論や概念を基に、戦後急激に変化を遂げた日本社会の仕組みを考察することによって、そのなかに潜在化しているさまざまな問題点を観察・認識する。そして、産業化が進展する中で生じた高度産業社会や地域社会における問題などに焦点を当て、現代社会のあり方について考える。

#### 授業の概要：

本講義では、社会的行為、社会集団、地位と役割、社会変動、文化などの社会学の概念を概説するとともに、地域社会や情報社会などを取りあげ、社会学の視点から現実の社会や社会問題がどのように分析され、理解されているかを問題提起しながら講義する。

#### 授業の計画：

- 1回 社会学の考え方
- 2回 社会学と調査
- 3回 現代社会の問題に対するアプローチ
- 4回 現代社会と労働
- 5回 現代社会とレジャー活動
- 6回 地域社会の仕組みと構造
- 7回 地域社会とまちづくり
- 8回 地域社会と環境
- 9回 地域社会と文化創造
- 10回 情報社会とマス・メディア
- 11回 情報社会とインターネット
- 12回 情報社会における問題点
- 13回 グローバル化社会
- 14回 グローバル化社会における問題点
- 15回 まとめ

#### 授業方法：

各回のテーマに即した資料・文献（ビデオを含む）を参考に、受講生各自が感想や意見を述べることによってテーマに対する理解を深めてゆく。そのため、受講生各自の積極的な授業参加を求める。

#### 達成目標：

さまざまな社会現象を社会的に分析するための視角を養う。

#### 評価方法：

小テスト40%およびレポート60%によって評価する。

#### 教科書：

安福恵美子著『ツーリズムと文化体験』（流通経済大学出版社）

#### 参考文献：

授業のなかで随時紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A01801	東海地方の歴史A	1・2・3・4	2	鈴木重喜

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
尾張、三河、近世、地域	分析・総合の思考力と判断力、効果的な社会参加、価値判断力(意志決定力)

**授業のテーマ：**

歴史的なものの考え方を身につけることをテーマとするが、身近な地域の歴史や文化に興味や関心を持ち、歴史や文化を通して地域と深く関わる目を養うことを目的とする。

**授業の概要：**

愛知県の歴史、その中でも特に尾張・三河両地域の近世の歴史を取り上げ、それらを日本史全体の流れの中で位置づけてとらえるとともに、それぞれの地域の特性についても明らかにする。

**授業の計画：**

- 1回 東海地方における近世の成立
- 2回 織田信長の中央進出の政治過程①
- 3回 織田信長の中央進出の政治過程②
- 4回 豊臣秀吉の全国統一の政治過程①
- 5回 豊臣秀吉の全国統一の政治過程②
- 6回 徳川家康による政権確立過程①
- 7回 徳川家康による政権確立過程②
- 8回 大名と城下町 (1) 尾張藩
- 9回 大名と城下町 (2) 岡崎藩
- 10回 大名と城下町 (3) 吉田藩
- 11回 幕領と旗本領 (1) 幕領
- 12回 幕領と旗本領 (2) 旗本領
- 13回 街道と宿場町 (1) 尾張・三河の街道
- 14回 街道と宿場町 (2) 中馬道
- 15回 まとめ

**授業方法：**

基本的には講義形式で進めるが、必要に応じてプリント等の資料を配布する。

**達成目標：**

地域の歴史や文化についての認識力や理解力を高める。

**評価方法：**

定期試験（70％程度）と授業への取り組み（20％程度）、適宜授業中書いていただく小レポート（10％程度）により行う。

- 積極的に授業に参加し、自身の認識力や理解力を高めた……………S
- 積極的に授業に参加し、自身の認識力や理解力を身につけた……………A
- 授業に参加し、標準以上の知識を身につけた……………B
- 授業に参加し、基礎的な知識を身につけた……………C
- Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

なし

**参考文献：**

授業中に適宜紹介する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A01901	東海地方の歴史B	1・2・3・4	2	鈴木重喜

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
尾張、三河、近世、近代、地域	分析・総合の思考力と判断力、効果的な社会参加、価値判断力(意志決定力)

**授業のテーマ：**

歴史的なものの考え方を身につけることをテーマとするが、身近な地域の歴史や文化に興味や関心を持ち、歴史や文化を通して地域と深く関わる目を養うことを目的とする。

**授業の概要：**

愛知県の歴史、その中でも特に尾張・三河両地域の近世から近代の歴史を取り上げ、それらを日本史全体の流れの中で位置づけてとらえるとともに、それぞれの地域の特性についても明らかにする。

**授業の計画：**

- 1回 東海地方における近世の成立
- 2回 尾張の文化 (1) 尾張古代文化研究
- 3回 尾張の文化 (2) 名古屋の俳壇
- 4回 三河の文化 (1) 渡辺華山の世界認識
- 5回 三河の文化 (2) 渡辺政香と『参河志』の編纂
- 6回 尾張・三河の文化 尾張万歳と三河万歳
- 7回 諸産業の発達 (1) 瀬戸焼
- 8回 諸産業の発達 (2) 八丁味噌
- 9回 諸産業の発達 (3) 製塩業
- 10回 諸産業の発達 (4) 木綿
- 11回 諸産業の発達 (5) 有松・鳴海の絞り染め
- 12回 諸産業の発達 (6) 尾州廻船
- 13回 村々の動揺と明治維新
- 14回 愛知県の成立
- 15回 まとめ

**授業方法：**

基本的には講義形式で進めるが、必要に応じてプリント等の資料を配布する。

**達成目標：**

地域の歴史や文化についての認識力や理解力を高める。

**評価方法：**

定期試験（70％程度）と授業への取り組み（20％程度）、適宜授業中書いていただく小レポート（10％程度）により行う。

- 積極的に授業に参加し、自身の認識力や理解力を高めた……………S
- 積極的に授業に参加し、自身の認識力や理解力を身につけた……………A
- 授業に参加し、標準以上の知識を身につけた……………B
- 授業に参加し、基礎的な知識を身につけた……………C
- Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

なし

**参考文献：**

授業中に適宜紹介する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07301	日本史概説	1・2・3	2	田浦雅徳

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
バランスの取れた歴史観の確立と日本史知識の獲得	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

高校時代に学んだ歴史知識をさらに深めることはもちろんであるが、古代から現代までの日本の歴史をより広い観点から捉え、また周辺国や世界の動向との関連の中から日本の国が如何に発展してきたかを学び、今日の日本がどのようにして形成されてきたかを知ることが目的としている。

**授業の概要：**

昨今の研究成果も踏まえながら、日本史の基本知識とそれに関連するやや専門的な知識も習得し、日本史全体をひとつのつながりのあるストーリーとして理解できるようにする。

**授業の計画：**

- 第1回 日本のあけぼの
- 第2回 大和王権の成立
- 第3回 東アジアの情勢と古代国家の形成
- 第4回 律令国家の変質と摂関政治
- 第5回 武家社会の形成
- 第6回 蒙古襲来と武家社会の転換
- 第7回 下剋上と戦国大名
- 第8回 幕藩体制の確立
- 第9回 幕政の安定と町人の活動
- 第10回 幕藩体制の動揺
- 第11回 幕末の動乱と明治維新
- 第12回 近代国家の成立と明治立憲制の形成
- 第13回 日清・日露戦争と帝国主義的發展
- 第14回 「一等国」日本をめぐる内外の情勢
- 第15回 新たな国際秩序をめざして
- 第16回 第二次世界大戦とその後の日本

**授業方法：**

教科書を参考にしながらも、各章の特出すべき要点を浮き彫りにして講義を行う。授業ではパワーポイントを使用して理解の増進に役立てたい。

**達成目標：**

日本史に関する基本的かつ専門的な知識を身につけ、バランスのとれた歴史観の確立をめざす。

**評価方法：**

期末試験（85%）、出席点（15%）によって評価する。

**教科書：**

「もういちど読む山川日本史」山川出版社、2009年（1,500円）

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07401	アジアの歴史	1・2・3	2	渡 昌弘
A02001	アジアの歴史A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

**授業のテーマ：**

グローバルな視野の育成をテーマとして、アジアの歴史を取り上げる。ただしアジアといっても、その対象となる地域はさまざまな地理的景観を含み、民族関係は複雑で、言語・文字もきわめて多様である。この授業では、そうしたアジアの歴史がどのように研究されてきたのかの概観を試みた後、西アジア等の地域に分け、それぞれの特徴的な問題を取り上げ、現代世界を考える一助としたい。

**授業の概要：**

アジア諸地域のうち、西アジアを中心に歴史を見る。

**授業の計画：**

以下の予定だが、進度・内容は変更することがある。

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. アジアの諸地域             | 2. 西アジア文化圏の形成          |
| 3. イスラーム文化圏の形成（1）      | 4. イスラーム文化圏の形成（2）      |
| 5. トルコ民族の活躍と西アジアの変動（1） | 6. トルコ民族の活躍と西アジアの変動（2） |
| 7. 西アジア近代化の動き（1）       | 8. 西アジア近代化の動き（2）       |
| 9. 第一次世界大戦と西アジア（1）     | 10. 第一次世界大戦と西アジア（2）    |
| 11. 第二次世界大戦と西アジア       | 12. 東アジア近代化の動き         |
| 13. 近現代の中国             | 14. 近現代の朝鮮             |
| 15. まとめ                |                        |

**授業方法：**

講義形式。教科書を読みながら進め、これに加えて資料を適宜配布し、教科書の内容を補う。なお教科書はアジア以外の地域の歴史も対象としており、授業期間内に教科書を終了しません。

**達成目標：**

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

**評価方法：**

試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる…S  
理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる……………A  
理論を使いながら出来事の分析ができる……………B  
理論や用語を説明できる……………C  
Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

『もういちど読む山川世界史』（山川出版社／1,575円）。

**参考文献：**

高校で使用した「世界史」の教科書、図録など資料集。

**実験・実習・教材費：**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A02101	アジアの歴史B	4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

**授業のテーマ：**

アジアの歴史Aと同様、グローバルな視野の育成をテーマとして、アジアの歴史を取り上げる。この授業では南アジア等の地域に分け、それぞれの特徴的な問題を取り上げ、現代世界を考える一助としたい。

**授業の概要：**

アジア諸地域のうち、南アジアを中心に歴史を見る。

**授業の計画：**

以下の予定だが、進度・内容は変更することがある。

1. インダス文明
2. インド文化圏の形成 (1)
3. インド文化圏の形成 (2)
4. インド文化圏の発展 (1)
5. インド文化圏の発展 (2)
6. ムガル帝国の盛衰 (1)
7. ムガル帝国の盛衰 (2)
8. ムガル帝国の盛衰 (3)
9. 植民地インドの形成 (1)
10. 植民地インドの形成 (2)
11. 第一次世界大戦とインド
12. 第二次世界大戦とインド
13. 現代の南アジア
14. 現代の東南アジア
15. まとめ

**授業方法：**

講義形式。教科書を読みながら進め、これに加えて資料を適宜配布し、教科書の内容を補う。なお教科書はアジア以外の地域の歴史も対象としており、授業期間内に教科書を終了しません。

**達成目標：**

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

**評価方法：**

試験 (80%) と授業への取り組み (20%) により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる… S  
 理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる…………… A  
 理論を使いながら出来事の分析ができる…………… B  
 理論や用語を説明できる…………… C  
 Cのレベルに達していない…………… D

**教科書：**

『もういちど読む山川世界史』(山川出版社/1575円)。

**参考文献：**

高校で使用した「世界史」の教科書、図録など資料集。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04401	西洋史概説A	1・2・3・4	2	大橋真砂子

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教、キリスト教、政治、文化	グローバルな視野

**授業のテーマ：**

西洋の歴史といっても、時代や国、地域によってその内容は様々です。また、政治史のみならず、社会史や文化史など、多様な角度から過去を検討することも可能です。この授業では、現代に至るヨーロッパ文化の根底に流れている宗教が、どのような経緯を辿ったかを探っていきます。

**授業の概要：**

古代から近世にかけてのヨーロッパの歴史を概観しながら、宗教（特にキリスト教）が政治や社会にどのような影響を及ぼしたかを考察します。

**授業の計画：**

1. イントロダクション
2. 古代ギリシアとローマの多神教
3. キリスト教の成立
4. キリスト教の迫害
5. 教会と修道院
6. ゲルマン民族とキリスト教
7. 中世初期におけるローマ文化の影響
8. 中世の聖人崇敬
9. 「煉獄」の誕生
10. 十字軍
11. アラビア文化の影響
12. 中世の異端
13. 宗教改革（1）
14. 宗教改革（2）
15. まとめ

**授業方法：**

適宜プリント等を利用しながら講義形式で行います。

**達成目標：**

ヨーロッパの歴史の流れ、および宗教についての基本的な知識を獲得することを目標とします。

**評価方法：**

レポート（20%）と期末試験（80%）で評価します。

**教科書：**

使用しません。

**参考文献：**

授業中に適宜紹介します。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04501	西洋史概説B	1・2・3・4	2	大橋真砂子

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文字、識字、書物、教育	グローバルな視野

**授業のテーマ：**

西洋の歴史といっても、時代や国、地域によってその内容は様々です。また、政治史のみならず、社会史や文化史など、多様な角度から過去を検討することも可能です。この授業では、ヨーロッパの社会や政治を支え、現代まで影響を及ぼしている文字文化（識字文化）の変化について探っていきます。

**授業の概要：**

古代から近代にかけてのヨーロッパの歴史を概観しながら、文字の読み書きや教育がどのような変化を辿ったかを考察します。

**授業の計画：**

1. イントロダクション
2. 古代における文字使用
3. 古代における書物
4. キリスト教と書物
5. 中世西ヨーロッパにおけるラテン語
6. カロリング・ルネサンス
7. 中世におけるマニュスク립トの作成
8. 中世における東西交流
9. 中世の大学
10. 中世後期における書物
11. 活版印刷とその影響
12. 聖書の翻訳
13. 宗教改革と識字文化
14. 近代における識字層の拡大
15. まとめ

**授業方法：**

適宜プリント等を利用しながら講義形式で行います。

**達成目標：**

ヨーロッパの歴史の流れ、および文字文化についての基本的な知識を獲得することを目標とします。

**評価方法：**

レポート（20%）と期末試験（80%）で評価します。

**教科書：**

使用しません。

**参考文献：**

授業中に適宜紹介します。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07001	法律学	1・2・3・4	2	松村修平

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
法、社会、責任	コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力

**授業のテーマ：**

私たちの市民生活は法律と密接に関係しています。この授業では、法律を初めて学ぶ人を対象に、民法、刑法など、法律の基礎的な知識を習得するとともに、法的な考え方を身につけることにより、皆さんが生活を送る上で直面するであろう様々な問題に対し、自ら考え対処する能力を養っていただきたいと考えています。

**授業の概要：**

民法、刑法など、基本的な法律について、具体的な事例を用いながら平易に説明します。

**授業の計画：**

- 1 イントロダクション
- 2 刑事法総論
- 3～5 刑事法各論
- 6 民法総論
- 7～10 民法各論
- 11～12 民法各論
- 13 公法概論
- 14 現代社会と法
- 15 前期の復習

**授業方法：**

講義が中心ですが、なるべく具体的な事例を用いて、受講生にわかりやすく、親しみやすい授業内容を目指します。

**達成目標：**

法律の基礎的な知識の習得を目指します。

**評価方法：**

期末試験の成績と授業への取り組みを 1:1 として評価します。

**教科書：**

「はじめての法律学 HとJの物語」(第3版) 有斐閣  
コンパクトなもので構わないので、六法を持参するのが望ましい。

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07101	日本国憲法	1・2・3・4	2	松村修平

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
個人の尊厳、人権、民主主義	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、効果的な社会参加

**授業のテーマ：**

憲法は、すべての法律の基礎となり、わが国の社会の基盤を支える重要な法律ですが、堅苦しいイメージがあるため、自分には関係がないと思っている方も少なくないかもしれません。しかし、実際には、我々の生活は憲法と密接に関わっています。そこで、この講義を通じて、少しでも憲法や人権を身近なものとして感じてもらいたいと考えています。

**授業の概要：**

憲法について、具体的な事例を用いながら平易に説明します。

**授業の計画：**

- 1 インTRODクシヨN
- 2 憲法の基本原理
- 3～10 人権各論
- 11 統治機構概論
- 12 権力分立
- 13 国会、内閣
- 14 裁判所
- 15 後期の復習

**授業方法：**

講義が中心ですが、なるべく具体的な事例を用いて、受講生に親しみやすい授業内容を目指します。

**達成目標：**

憲法の基礎的な知識の習得を目指します。

**評価方法：**

期末試験の成績と授業への取り組みを 1:1 として評価します。

**教科書：**

「いちばんやさしい憲法入門」(第4版) 有斐閣

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09401	政治学	1・2・3・4	2	岡田宏太郎

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自民党、民主党、政治改革、財政危機、官僚、構造改革、政権交代	分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

長期にわたる自民党政権の継続後、連立政権の時代に入り、昨年は民主党を中心とする新しい政権が誕生した。このような日本政治の流れを概観しつつ、日本の政治の基本的仕組みと問題点、改革の諸課題について理解する。

#### 授業の概要：

まず、そもそも政治の仕組みをとらえるとはどのようなことかを論じ、これに基づき、自民党政権時代の仕組みと問題点、どのように政権交代が実現したのかを解説し、さらに、現在の日本の政治と行政の改革の課題等に言及していく。なお、政治情勢の変動により、内容の一部を変更する可能性がある。

#### 授業の計画：

1. ビデオを使ったイントロダクション (1)
2. ビデオを使ったイントロダクション (2)
3. 自民党の内部構造
4. 選挙制度と自民党
5. 族議員と「鉄の三角形」
6. 保守本流路線と日本の経済成長
7. 政治における「右」と「左」
8. 旧社会党(社民党)の衰退と今日の民主党
9. 国会の機能の問題点
10. 国家財政の危機
11. 1990年代の「政治改革」
12. 官僚制の諸問題
13. 小泉内閣の「構造改革」
14. 民主党政権の成立
15. 予備日・まとめ

#### 授業方法：

講義ですが、最初の二回はビデオも使用し、日本の政治をテーマにした映画を参考にしながら授業をすすめていきます。

#### 達成目標：

高校までとは違う、大学で学ぶ政治学についての入門的なレベルの理解を得る。  
自分なりに、日本の政治に関する新聞、テレビ等の報道を理解し、考えていけるようになる。

#### 評価方法：

期末に行う試験により評価します。欠席が多いと失格になる場合があります。

#### 教科書：

使用しません(授業中にノートをとることが必須です)。

#### 参考文献：

授業の中で適宜指示します。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07501	基礎数学	1・2	2	野田信明
A03001	基礎数学A	3・4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然数, 無理数, 関数, 方程式, 三角形, 円	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力

**授業のテーマ：**

実生活や資格試験等で必要となる数学の基礎を学ぶ。具体的には自然数、無理数など、数の概念と計算法、代数方程式、関数、数式を図形として表すための座標、式とグラフ、方程式の解法、不等式、三角形、多角形、円の性質と面積の計算、数学の論理など。

**授業の概要：**

中学、高校で学んだ数学の基礎を復習しながら、数の概念、代数、方程式の計算法、三角形や円の性質を学ぶ。数学的、論理的な思考方法、証明の方法を学び、身につける。公務員試験等に出題された例題を活用し、問題を解くことを通じて理解を深める

**授業の計画：**

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 数学とは？ 数学の歴史       | 9. 方程式と不等式           |
| 2. 自然数、整数、約数、素数、     | 10. 三角形の性質と面積        |
| 3. 無理数、円周率 $\pi$ 、実数 | 11. ピタゴラスの定理         |
| 4. 数の計算と数式、代数        | 12. 三角測量、ピラミッドの高さを測る |
| 5. 数式と関数（1次関数、2次関数）  | 13. 円の性質と面積          |
| 6. 関数とグラフ、直角座標       | 14. 復習とまとめ           |
| 7. 三角関数、円をあらわす式      | 15. まとめとレポート作成       |
| 8. 1次方程式、2次方程式       |                      |

**授業方法：**

講義方式で行う。毎回例題を出し、15分程度を使って考え方、解き方をその場で指導する。時間内に解けたところまでを提出してもらう。次回の講義で例題解答の解説と補足の説明を行う。

**達成目標：**

数と図形の内容、法則、数学的論理の理解、計算法やグラフ表現法の習得と応用の力を養う。

**評価方法：**

前期末のレポート（50%）と例題解答など日常の授業への取り組み（50%）により行う。

- 数と図形の内容、法則の理解、計算法習熟と応用力…S  
 数式と計算法、図形の性質の理解……………A  
 数学の内容、方法、論理の基礎的理解……………B  
 数、計算法、方程式、図形に関する部分的な理解……C  
 Cのレベルに到達していない……………D

**教科書：**

特に既成の教科書は使わない。講義ノートをプリントし配布する。

**参考文献：**

「文科系の基礎数学 - 小数・分数から微積分まで -」 鎌山徹著 工学図書株式会社  
 ¥2,500, ISBN4-7692-0457-4

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A07601	統計処理入門	1・2	2	野田信明
A03101	基礎数学B	3・4		

期間	曜日	時限	備考：「基礎数学A」の受講を前提としないが、数学の基礎に関するある程度の知識を前提とする。
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
微分、積分、統計、確率、正規分布、標準偏差、表計算とグラフ	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

数学の知識と方法を基礎とし、テレビ、新聞、インターネット等に現れる数値、統計、トレンド（傾向）分析、予想の意味を理解できる力を身につける。具体的には、関数、数式とグラフの復習、指数関数、微分と積分、場合の数と確率、データのばらつき、分布と平均、標準偏差など。また、データ解析の基礎技術として EXCEL の初歩を学ぶ。

#### 授業の概要：

具体的な事例を取り上げ、微積分及び統計処理で使われる専門用語や手法を理解するとともに、応用する力をつける。統計と確率の関係を理解し、得られた結果をどのように推測や予測に活かすかを学ぶ。その時々話題も実例として取り上げ、理解の助けとする。

#### 授業の計画：

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 関数とグラフ（復習）         | 9. 標準偏差、偏差値            |
| 2. 2次関数、3次関数の微分       | 10. EXCEL 表計算とグラフ描画の基礎 |
| 3. 関数の積分と面積           | 11. EXCEL 表計算とグラフ描画の応用 |
| 4. 指数関数の性質と微積分        | 12. EXCEL 関数と使用法       |
| 5. 場合の数と確率            | 13. 確率と予測              |
| 6. 統計処理に必要な数学と計算      | 14. 復習とまとめ             |
| 7. データの分布、平均値、代表値     | 15. まとめとレポート作成         |
| 8. データのばらつき、二項分布、正規分布 |                        |

#### 授業方法：

講義方式で行う。毎回例題を出し、15分程度を使って考え方、解き方をその場で指導する。時間内に解けたところまでを提出してもらい、次回の講義で例題回答の解説と補足の説明を行う。後半の数時間はPC教室でパソコンを活用し、Excel とグラフを利用しつつ実例データを取り扱う。

#### 達成目標：

微積分、統計処理の基礎を理解できるとともに将来応用して自分の仕事に活かす力を養う。

#### 評価方法：

前期末のレポート（50%）と例題解答など日常の授業への取り組み（50%）により行う。  
 微積分、統計、確率、予測の概念、手法、専門用語の全面的理解、計算法習熟と応用…S、  
 統計処理とその結果の意味するところの基本的理解、計算法習得……………A、  
 統計処理と結果の基礎的理解……………B、  
 統計処理分析データを読む力の習得……………C、  
 Cのレベルに到達していない……………D

#### 教科書：

特に既成の教科書は使わない。講義ノートをプリントし配布する。

#### 参考文献：

大村 平 著「今日から使える統計解析」講談社 ¥2,300（ISBN4-06-155656-8）

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03201	基礎物理学A	1・2・3・4	2	鈴木新一

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然法則, 真理, 人間, 物理学的世界像, 現代社会	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

物理学は自然を支配する根本的な法則を明らかにする学問であり、そこには人間自身も含まれる。歴史を振り返ってみると、物理学が新たに発見した知識は古い社会の価値観と激しく衝突し、その過程を通して、人類は多くの迷信から自由になってきた。この講義は、物理学を初めて学ぶ学生を対象に、物理学が築かれてきた過程を示し、現代社会において物理学が果たす役割を明らかにする。

#### 授業の概要：

初めて物理学を学ぶ学生にも馴染みやすい(1)光学、(2)力学、(3)エネルギーを取り上げ、その中の代表的な問題と、それらが人類にもたらしたものを講義する。

#### 授業の計画：

第1週	序論	科学と人類の歴史；私たちはどこから来てどこに向かっているのか？
第2週	光学	光は真空中を伝わる波である；スペクトルは原子の指紋
第3週	〃	レンズの結像作用；顕微鏡の発明が医学や人類にもたらしたもの1
第4週	〃	レンズ公式の導出；顕微鏡の発明が医学や人類にもたらしたもの2
第5週	〃	課題解決とレポート作成
第6週	力学	ニュートンの運動方程式とその性質；ガリレイ裁判から天体力学まで
第7週	〃	運動方程式の簡単な解（落下の法則他）；未来を予測する微分方程式
第8週	〃	宇宙航力学の入門，円運動，遠心力；宇宙開発が人類にもたらしたもの
第9週	〃	課題解決とレポート作成
第10週	エネルギー	力学的エネルギー保存則；スウィングバイ、宇宙航行の技術
第11週	〃	エネルギーは保存するか？；ジュールによる熱の仕事等量の実験
第12週	〃	絶対温度と気体の状態方程式；蒸気タービンと火力・原子力発電
第13週	〃	課題解決とレポート作成
第14週	古典物理学	科学技術と人類の歴史・再考；古典物理学と近代社会
第15週	〃	古典物理学的世界像とはどのようなものか？

#### 授業方法：

講義形式で進める。全体の約2/3は黒板を使い、1/3はOHPやプロジェクターを用いる。OHPやプロジェクターで示した写真などは、必要に応じてコピーを用意する。また4週に一度、「まとめとレポート作成」の時間を設け、理解の深化と定着を目指す。

#### 達成目標：

物理学の真の姿を知り、現代社会の中で果たす意味を理解する。またそれを通して、偽科学やオカルトに騙されない力を獲得する。

#### 評価方法：

出席点40%，レポート30%，テスト30%

#### 教科書：

朝永振一郎編，物理学読本（第2版），みすず書房

#### 参考文献：

和田純夫著，一般教養としての物理学入門，岩波

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03301	基礎物理学B	1・2・3・4	2	鈴木新一

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然法則, 真理, 人間, 物理学的世界像, 現代社会	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

物理学は自然を支配する根本的な法則を明らかにする学問であり、そこには人間自身も含まれる。歴史を振り返ってみると、物理学が新たに発見した知識は古い社会の価値観と激しく衝突し、その過程を通して、人類は多くの迷信から自由になってきた。この講義は、物理学を初めて学ぶ学生を対象に、物理学が築かれてきた過程を示し、現代社会において物理学が果たす役割を明らかにする。

#### 授業の概要：

初めて物理学を学ぶ学生を対象に、人類の最も偉大な知的遺産である相対性理論と量子力学を中心に講義し、現代社会における物理学の巨大な影響力を明らかにする。

#### 授業の計画：

第1週	電気・磁気	電磁気学の基礎；電荷は電場を作り、電流は磁場を生み出す
第2週	〃	電磁誘導（発電のメカニズム）；現代の発電所、超伝導磁石と核融合
第3週	〃	光波；光は電磁波の一種であり、真空中を伝わる波である。
第4週	〃	課題解決とレポート作成
第5週	相対性理論	古典力学の世界（19世紀後半の物理学）；天動説、地動説、絶対静止空間
第6週	〃	マイケルソン・モーレーの実験（19世紀物理学における最高の実験）
第7週	〃	マイケルソン・モーレーの実験2
第8週	〃	ガリレイ変換とローレンツ変換（私たちの世界の本当の姿）
第9週	〃	長さの縮み・時間の伸び、 $E=mc^2$ ；核エネルギーと第2次大戦後の世界
第10週	〃	課題解決とレポート作成
第11週	量子力学	光の量子的性質の発見（光電効果とアインシュタインの光量子仮説）
第12週	〃	電子の波動的性質の発見と量子力学の登場；神はサイコロを振らない？
第13週	〃	電子顕微鏡の発明；電子顕微鏡が人類にもたらしたもの
第14週	〃	課題解決とレポート作成
第15週	現代物理学	科学技術と人類の歴史2（現代物理学と現代社会）

#### 授業方法：

講義形式で進める。全体の約2/3は黒板を使い、1/3はOHPやプロジェクターを用いる。OHPやプロジェクターで示した写真などは、必要に応じてコピーを用意する。また4週に一度、「まとめとレポート作成」の時間を設け、理解の深化と定着を目指す。

#### 達成目標：

物理学の真の姿を知り、現代社会の中で果たす意味を理解する。またそれを通して、偽科学やオカルトに騙されない力を獲得する。

#### 評価方法：

出席点40%、レポート30%、テスト30%

#### 教科書：

朝永振一郎編、物理学読本（第2版）、みすず書房

#### 参考文献：

和田純夫著、一般教養としての物理学入門、岩波

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04601	基礎生物学A	1・2・3・4	2	吉岡崇仁

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物の概念、地球の歴史、進化、遺伝	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

地球は、温和で、液体の水が多量に存在し、生物が生息しているという点で、極めて特徴的なシステムを構成しています。生物は、生化学反応や自己複製、進化といったプロセスで特徴づけられますが、地球環境との不断の相互作用の結果ともいえるでしょう。生物の起源や基本的な構造と機能のほか、地球環境との相互作用の結果として生まれた生物の系統と進化・種分化に関わる遺伝の本質を理解することを目指します。

#### 授業の概要：

生物、生命の本質を無生物との違いや構造・機能の面から考えます。生命活動の詳細に触れることはできませんが、子孫を残しと進化するという生命のもっとも基本的な活動を考察します。

#### 授業の計画：

- (1) イントロダクション：「人間環境の意味するところ、水の惑星・地球の特徴」
- (2) 生物学の基本構成 I 「生物と無生物」
- (3) 生物学の基本構成 II 「種」の概念」
- (4) 生物学の基本構成 III 「細胞内小器官・構成成分」
- (5) 地球の歴史「生物による環境変化の歴史」
- (6) 進化 I 「生命の誕生、独立栄養か従属栄養か」
- (7) 進化 II 「原核生物から真核生物へ・共生進化」
- (8) 系統 I 「Kingdom、栄養様式」
- (9) 系統 II 「五界制」
- (10) 系統 III 「系統樹、バージェス動物群」
- (11) 遺伝 I 「遺伝子の本体」
- (12) 遺伝 II 「セントラルドグマ：1 遺伝子 1 酵素説、DNA から RNA への転写」
- (13) 遺伝 III 「セントラルドグマ：RNA からタンパク質への翻訳」
- (14) 遺伝 IV 「セントラルドグマ：酵素の調節」
- (15) 遺伝 V 「レトロウイルスから RNA ワールドへ」

#### 授業方法：

主に、板書とプリントを用いた講義形式ですが、授業時間内にさまざまな質問と議論で進めます。また、適宜、小課題のレポートを出しますが、正解があるような課題ではなく、論理的な考察力・理解力を自ら確認するためのものです。

#### 達成目標：

生物とは何であるか、生物間や地球環境の関係をどう認識すればよいのかを理解します。また、生物の基本的特徴である自己複製のメカニズム、遺伝についての理解を深めます。

#### 評価方法：

小課題レポート 20%、試験 80%の割合で評価します。なお、試験には、自筆のノート、配布プリント、返却したレポートの持ち込みを可能とします。

#### 教科書：

使用しません。

#### 参考文献：

授業内容をさらに深く理解するために必要な文献については、授業中にその都度紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04701	基礎生物学B	1・2・3・4	2	吉岡崇仁

期間	曜日	時限	備考：この科目の履修を希望する者は、Aを履修していることが望ましい。
後期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
分子進化、エネルギー代謝、物質循環	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

生物は、生化学反応や自己複製、進化といったプロセスで特徴づけられますが、これらの生命活動の生化学的、遺伝学的基礎について学ぶことは、生物の理解につながります。また、生命活動の延長上には、生態系における物質循環があり、環境問題を考える上での基礎となります。

#### 授業の概要：

分子レベルでの生物進化や、生物がエネルギーを獲得する代表的な形式である発酵、呼吸、光合成を取り上げて生化学反応を確認します。また、地球規模での物質循環の観点から概略を紹介します。

#### 授業の計画：

- (1) 分子進化 I 「進化の原料：突然変異、ハーディ・ワインベルグの法則」
- (2) 分子進化 II 「アミノ酸配列」
- (3) 分子進化 III 「核酸の塩基配列、根のない系統樹、古細菌」
- (4) 分子進化 IV 「分子進化の中立説」
- (5) 生化学 I 「反応の次数、細菌の増殖」
- (6) 生化学 II 「酵素反応速度論、活性化エネルギー」
- (7) 生化学 III 「物質代謝、発酵」
- (8) 生化学 IV 「呼吸：TCA 回路」
- (9) 生化学 V 「呼吸：水素伝達」
- (10) 生化学 VI 「光合成：明反応、暗反応」
- (11) 生化学 VII 「光合成：C3・C4・CAM 植物」
- (12) 生物地球化学 I 「地球上の三大循環と生物」
- (13) 生物地球化学 II 「海洋の生物地球化学的物質循環」
- (14) 生物地球化学 III 「炭素・窒素循環過程」
- (15) 生物地球化学 IV 「安定同位体生態学、集水域における物質循環」

#### 授業方法：

主に、板書とプリントを用いた講義形式ですが、授業時間内にさまざまな質問と議論で進めます。また、適宜、小課題のレポートを出しますが、正解があるような課題ではなく、論理的な考察力・理解力を自ら確認するためのものです。最終回はスライドを示しながら解説する予定です。

#### 達成目標：

分子進化、エネルギー代謝である発酵、呼吸、光合成の各プロセスの意義について学び、そこに生物の共通性のあることを見いだせるようにします。また、生態系における生物と環境のつながりを把握できるようにします。

#### 評価方法：

小課題レポート 20%、試験 80%の割合で評価します。なお、試験には、自筆のノート、配布プリント、返却したレポートの持ち込みを可能とします。

#### 教科書：

使用しません。

#### 参考文献：

授業内容をさらに深く理解するために必要な文献については、授業中にその都度紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03401	地球科学A	1・2・3・4	2	浦野隼臣

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
身近かな自然、成因と分類、化石と年代、時間、地球史	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

私達の住むかけがえのない地球の現在の姿を科学的に正しくとらえることは、地球環境等、私達の生活と自然とのかかわりについて考えるうえで基本的に大切なことである。この授業ではまず、大学周辺の豊かな自然等の身近な題材をもとに、地表付近の構成およびその生成から今日までの時間的変遷とその年代、さらに地球科学における時間というファクターの重要性の理解をテーマとする。

**授業の概要：**

身近かな自然の観察から、地球表層の各圏における物質の分布とその変遷の過程、さらに時間というファクターについて様々な観点から、下記のような項目を中心に随次授業を進める。

**授業の計画：**

1. プロローグ—これ迄の地球—クイズの答から
2. 身近かな自然—大学の構内—まずは足下を
3. 周辺の地域—相違と境界—広げてみると
4. 観察の方法—調査の目途—注目するところは
5. 地表の構成物質—分類の基準—作られ方で
6. 同定の方法—サンプルの特徴—名前を付けて
7. 結果の比較—まとめと考察—どんな関係に
8. 地球科学の方法—名探偵の手法—先か後かが
9. 化石の利用—地層の対比—広がりはどこまで
10. 地球の年代—相対的時間—比較することで
11. 絶対年代—新しい時計—数値にしてみると
12. 地球の自転—星空の回転—時間の単位は
13. 地球の公転—暦のルール—世紀を越えて
14. 地球の時間—変遷のプロセス—生じたことは
15. 地球の歴史—生成と進化—時間の意味と重み

**授業方法：**

なるべく実際に即した資料や標本を用いて問題点を示し、必要に応じて大学周辺地域の野外観察等も取り入れてできるだけ具体的な課題を取り上げ、それについて考えることを通して、基礎的なところから十分理解を深められるように授業を進める予定である。

**達成目標：**

身近かな自然について考えることから始め、地球の歴史、さらに地球科学における時間の重要性について理解を深め、当面する身の回りの諸問題について考え、対処する力を高めることを目標とする。

**評価方法：**

授業への取り組みとレポートおよびテストの成績を各々50%に採点し、それに基づいて評価を行う。  
 学習内容について理解を深め、問題に対処する力を高めることをほぼ完全に達成している…S  
 学習内容について理解を深め、問題に対処する力を高めることを相応に達成している……………A  
 Bのレベルを相応に達成しているが、不十分な点がある……………B  
 学習内容について理解を深め、問題に対処する力を高めることを最低限は満たしている……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

授業の中で随時紹介する。

**参考文献：**

酒井治孝『地球学入門』（東海大学出版会）

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03501	地球科学B	1・2・3・4	2	浦野隼臣

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地球表層部、地震、内部構造、隕石、地球環境	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

私達の住むかけがえのない地球のこれまでの姿を科学的に正確に理解することは、地球環境等、私達の生活と自然との関連を考えるうえで根本的に重要なことである。この授業では、私達の日常の身近な課題を取り上げ、それを通して私達の生活の場であり、環境問題の根本にある地球表層の各圏およびその間における物質のサイクル、さらにその変遷の過程についての理解をテーマとする。

#### 授業の概要：

地球表層の各圏における物質の分布とその間の移動、地球内部の構成およびその形成の過程、さらにそれから現在に至るまでの経緯について、下記のような項目を中心に随次授業を進める。

#### 授業の計画：

1. 地表の変遷—身近の問題—そうなった理由は
2. リソスフェア—豊かな大地—プレートの動き
3. ハイドロスフェア—溶解と運搬—水の惑星は
4. アトモスフェア—組成の変化—マイナーでも
5. バイオスフェア—生命の働き—変えたものは
6. 地表の変貌—元素のサイクル—そこから何が
7. 内部の構造—地震波の利用—どろどろなのか
8. マントル—マグマの故郷—実験技術の進歩で
9. 内核と外核—隕石の情報—手の届かない所を
10. 宇宙と地球—存在のルール—生まれと育ちで
11. 地球の現状—偶然と必然—もとをただせば
12. 自然の災害—予知と対策—方法を探るうちに
13. 地球の環境—マクロとミクロ—様々な視点で
14. 地球と人間—地球の自然観—変わらぬことは
15. エピローグ—歴史の重み—課題に向かって

#### 授業方法：

なるべく実際に即した資料や標本を用いて問題点を示し、できるだけ日常生活の中にある具体的なデータや事例に基づいた課題を取り上げ、それについて考えることを通して、基本的なところから十分理解を深められるように授業を進める予定である。

#### 達成目標：

地表付近の各圏の組成と地球の内部構造さらにその形成と変遷の過程について理解を深め、地球環境等の当面する様々な問題について考え、それに取り組んで行く力を高めることを目標とする。

#### 評価方法：

授業への取り組みとレポートおよびテストの成績を各々50%に採点し、それに基づいて評価を行う。  
 学習内容について理解を深め、問題に取り組む力を高めることをほぼ完全に達成している…S  
 学習内容について理解を深め、問題に取り組む力を高めることを相応に達成している……………A  
 Bのレベルを相応に達成しているが、不十分な点がある……………B  
 学習内容について理解を深め、問題に取り組む力を高めることを最低限は満たしている……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

#### 教科書：

授業の中で随時紹介する。

#### 参考文献：

酒井治孝『地球学入門』（東海大学出版会）

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03601	基礎化学 I A	1・2・3・4	2	服部敏明

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学結合, 物質の状態, 酸塩基反応	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

環境と生命の本質を理解するために必要な物質を基とする化学の基礎を学ぶことを授業のテーマとする。

#### 授業の概要：

化学による物質観, 原子の電子構造, 電子構造を基にした化学結合, 物質の様々な状態, 溶液中での酸塩基反応から, 化学の基本を学ぶ。

#### 授業の計画：

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| (1) 化学における物質観と物質量 | (9) 気体と理想気体           |
| (2) 資源とエネルギー      | (10) 気体の状態方程式と気体分子運動論 |
| (3) 原子の構造と電子配置    | (11) 液体と液体の性質         |
| (4) イオン結合         | (12) 固体と状態図           |
| (5) 共有結合          | (13) 酸と塩基             |
| (6) 混成軌道          | (14) 酸塩基平衡            |
| (7) 配位結合          | (15) 溶解度積             |
| (8) 金属結合          |                       |

#### 授業方法：

教科書『基礎化学』を中心にして、授業計画に示した内容について講義する。また、毎回各授業の最後に、授業内容を問う小テストを実施する。

#### 達成目標：

- ①原子や分子における電子配置の重要性を理解し、化合物の性質を考察できるようにする。
- ②物質の三態を理解し、特に液体においては溶液の濃度計算をできるようにする。
- ③酸塩基平衡を理解し、溶液の pH を計算できるようにする。

#### 評価方法：

中間テストと期末テスト（70%）と毎回の小テスト（30%）で判定・評価する。

#### 教科書：

化学教科書研究会編、『基礎化学』, 化学同人, 2300 円

#### 参考文献：

梅本喜三郎著、『標準基礎化学』, 裳華堂, 3300 円

#### 実験・実習・教材費：



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03701	基礎化学 I B	1・2・3・4	2	服部敏明

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学熱力学, 反応速度論, 電気化学	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

自然科学を理解するために必要な熱力学と熱力学的な考え方を学び、化学量論により化学を理解することを授業のテーマとする。

**授業の概要：**

化学熱力学で化学反応の趨勢を学び、反応速度論と電気化学から物理化学の基本を習得する。

**授業の計画：**

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| (1) 熱力学第一法則と仕事         | (8) 化学反応速度         |
| (2) エンタルピーと熱容量         | (9) 一次反応と二次反応      |
| (3) エンタルピー変化と反応のエンタルピー | (10) 酵素反応と触媒反応     |
| (4) エントロピー             | (11) 化学反応速度のまとめ    |
| (5) 自由エネルギー            | (12) 電気化学反応とイオンの活量 |
| (6) 化学平衡               | (13) 電極電位          |
| (7) 化学熱力学のまとめ          | (14) 電池            |
|                        | (15) 電気化学のまとめ      |

**授業方法：**

教科書『基礎化学』を中心にして、授業計画に示した内容について講義する。また、毎回各授業の最後に、授業内容を問う小テストを実施する。

**達成目標：**

- ① 化学熱力学を理解し、自由エネルギー、エンタルピー、エントロピーを計算できるようにする。
- ② 反応速度式を理解し、反応量や反応時間を計算できるようにする。
- ③ 電気化学の測定系と活量を理解し、電極電位と電池の起電力を計算できるようにする。

**評価方法：**

中間テストと期末テスト（70%）と毎回の小テスト（30%）で判定・評価する。

**教科書：**

化学教科書研究会編、『基礎化学』、化学同人、2300円

**参考文献：**

梅本喜三郎著、『標準基礎化学』、裳華堂、3300円

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03801	基礎化学ⅡA	1・2・3・4	2	木曾祥秋

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
原子, 分子, 化学結合, 分子軌道, 有機化学反応	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

化学物質の中で、炭素・水素を基本的な構成元素とし、酸素・窒素なども含む物質が有機化学物質と分類されます。有機化学物質は極めて多様な構造や機能があり、衣食住に密接にかかわる物質であるとともに生体を構成する重要な物質でもあります。有機化学物質の性質や反応性は、分子の構造に基づいています。本科目では、有機化学物質の構造と基本的な反応について科学的視点から学習します。

#### 授業の概要：

有機化学物質について原子・分子の構造に基づいて理解するとともに、有機化学反応は特有のしくみに従って進むことを学習します。

#### 授業の計画：

1. 原子の電子構造
2. 化学結合と分子軌道 (1)
3. 化学結合と分子軌道 (2)
4. 炭素の結合様式と有機化合物の構造
5. 分子の極性と分子間力
6. 脂肪族炭化水素の構造と名称 (1)
7. 脂肪族炭化水素の構造と名称 (2)
8. 官能基を含む化合物の構造と名称
9. 有機化合物の構造と異性体
10. 反応様式の分類
11. 置換反応 (1)
12. 置換反応 (2)
13. 付加反応・脱離反応
14. ラジカル反応
15. ペリ環状反応・酸化・還元

#### 授業方法：

教科書にしたがって講義します。使用する教科書はかなり高度な内容を含んでいますが、基本的な事項を中心に講義を行い、基礎的な概念について解説をします。また、講義の進行に合わせて演習問題や授業内容のまとめをレポートとして課します。

#### 達成目標：

- ・原子・分子の電子軌道を理解する。
- ・化学結合の様式について理解する。
- ・有機化合物の名称と構造を理解する。
- ・有機化学反応の基本的な様式を理解する。

#### 評価方法：

講義は受講することが前提であるので、出席をとります。出席率が著しく低い場合には、期末試験の受験を認めません。期末試験の結果を80%、レポートを20%の割合として評価します。

#### 教科書：

岡野正義, 林 七雄, 深宮齊彦, 本田計一郎, 脇 健:「新しい有機化学 —ライフサイエンスの基礎—」, 三共出版

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A03901	基礎化学ⅡB	1・2・3・4	2	木曾祥秋

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
合成有機化合物，官能基，高分子化合物，生物由来の有機化合物	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

私たちは日常的に多種多様な有機化学物質を利用しており，これら有機化学物質を適切かつ安全に利用するためには，それらの基本的な性質を理解することが大切です。本科目では，有機化学物質を基本的な特性に分類して，その性質や反応について学習します。さらに，身近な物質や環境問題に関連する物質についても取り上げ，安全で快適な生活のための化学的な素養を身につけることを目標とします。

#### 授業の概要：

有機化学物質を官能基などの構造によって分類し，低分子化合物，高分子化合物，生命現象に関連する化学物質等について，その性質や反応について学習します。

#### 授業の計画：

1. 飽和炭化水素の性質と反応
2. 不飽和炭化水素の性質と反応
3. アルコール・フェノールの性質と反応
4. アルデヒド・ケトン性質と反応
5. カルボン酸とその誘導体
6. 窒素化合物
7. 芳香族化合物
8. 複素環式化合物
9. 高分子化合物の構造と反応（1）
10. 高分子化合物の構造と反応（2）
11. 脂肪・脂肪酸
12. 天然有機化合物
13. 糖類
14. タンパク質
15. 核酸

#### 授業方法：

教科書にしたがって講義します。使用する教科書はかなり高度な内容を含んでいますが，基本的な事項を中心に講義を行い，基礎的な概念について解説をします。また，講義の進行に合わせて演習問題や授業内容のまとめをレポートとして課します。

#### 達成目標：

- ・有機化合物の官能基による分類とその性質を理解する。
- ・高分子化合物の構造と性質を理解する。
- ・脂肪・糖類・タンパク質・核酸など生物由来の有機化合物の構造と機能を理解する。

#### 評価方法：

講義は受講することが前提であるので，出席をとります。出席率が著しく低い場合には，期末試験の受験を認めません。

期末試験の結果を80%，レポートを20%の割合として評価します。

#### 教科書：

岡野正義，林 七雄，深宮齊彦，本田計一郎，脇 健：「新しい有機化学 —ライフサイエンスの基礎—」，三共出版

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04001	基礎化学実験 I	1・2・3・4	2	長井・林

期間	曜日	時限	備考：2 時限連続 履修抽選対象科目
前期	金	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学実験 データ処理 レポート作成	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

化学分析の基本である容量分析の技術と知識を習得する。ホールピペット、ビュレット、メスフラスコなどの測容器の使用法、洗浄法を修得するとともに、これらの器具の検定を電子天秤と秤量瓶を用いて行う。その後、中和滴定と酸化還元滴定を行い、技術に加えて、化学量論的な考え方やデータの統計処理の手法を修得する。また、レポート指導を通じて科学論文の書き方を学ぶ。なお後期に行われる基礎化学実験Ⅱを同時に履修すること。

#### 授業の概要：

ガラス器具の検定、中和滴定、酸化還元滴定を行う。

#### 授業の計画：

1. 化学実験を行うにあたっての諸注意
2. 電子天秤の使用法
3. ホールピペットの使用法と検定
4. データの統計処理、レポート指導
5. ビュレットの使用法と1滴の体積
6. ビュレットの検定
7. データの統計処理、レポート指導
8. メスフラスコの使用法、シュウ酸標準溶液の調製
9. 中和滴定
10. 酸塩基反応の解説、データの統計処理、レポート指導
11. 酸化還元滴定
12. 酸化還元反応の解説、データの統計処理、レポート指導
13. ガラス器具の洗浄、廃液処理

#### 授業方法：

教科書と配布プリントに従って行う。毎回の予習とレポートの提出が必須である。

#### 達成目標：

化学実験の基本的な手法とレポート作成法を習得する。

#### 評価方法：

出席重視。実験に対する取り組み方とレポートにより評価する。

#### 教科書：

実験書を配布する。

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

実験試薬および消耗品代として30,000円の実習費が必要である。  
白衣（約3,000円）は別途購入が必要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A04201	基礎化学実験Ⅱ	1・2・3・4	2	長井・林
<b>期間</b>	<b>曜日</b>	<b>時限</b>	<b>備考</b> ：2 時限連続 履修抽選対象科目	
後期	金	3・4		
<b>授業のキーワード</b>		<b>人間環境大学が育む八つの能力</b>		
野外観測 水質測定 レポート作成		コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力		

**授業のテーマ：**

基礎化学実験Ⅰで修得した技術・知識の応用として、環境試料を採取し、その化学分析を行う。測定項目は pH、電気伝導度、溶存酸素量、化学的酸素要求量である。このうち、溶存酸素量と化学的酸素要求量は水質の指標の一つであり、特に時間をかけて実験を行う。  
 なお、この実験は基礎化学実験Ⅰを履修したことを前提に行う。

**授業の概要：**

大学近隣のため池で水を採取し、水質測定を行う。

**授業の計画：**

1. ガイダンス
2. 溶存酸素 (DO) の測定 (1)：DO の固定 (実験室)
3. DO の測定 (2)：DO の測定
4. DO の測定 (3)：レポート指導
5. pH・電気伝導度 (EC) の測定方法
6. DO の測定 (4)：採水・DO の固定 (猿田池)
7. DO の測定 (5)：DO の測定
8. DO の測定 (6)：レポート指導
9. 安全ピペッターの使い方
10. 化学的酸素要求量 (COD) 測定 (1)：シュウ酸ナトリウム標準溶液の調製
11. COD の測定 (2)：過マンガン酸カリウム溶液の標定
12. COD の測定 (3)：COD の測定
13. COD の測定 (4)：レポート指導

**授業方法：**

教科書と配布プリントに従って行う。毎回の予習とレポートの提出が必須である。

**達成目標：**

野外観測と水質測定の基本的手法を習得する。

**評価方法：**

出席重視。実験に対する取り組み方とレポートにより評価する。

**教科書：**

実験書を配布する。

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

実験試薬および消耗品代として 30,000 円の実習費が必要である。  
 白衣着用のこと。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A41201～02	ライティングⅡ	1	1	文野峯子 芳賀康朗

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス【履修条件】ライティングⅠ（文章表現Ⅰ）を修了した者、またはそれと同等の能力を有すると認められた者。
A41201	後期	木	4	
A41202	後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
アカデミック・ライティング、レジюме、レポート、報告文、文の構成	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

アカデミック・ライティング（わかりやすく、趣旨が明瞭に伝わる文を書く）

#### 授業の概要：

意見の混入しない事実文を読み手にわかりやすい構成で書く練習をする。授業時間は、ペア（グループ）で作文推敲・検討作業を行うため、各自の作文作業は授業時間外（宿題）となる。具体的には、以下に示す＜授業計画＞に沿って作業を進める。

#### 授業の計画：

\*漢字学習：毎時間 20 分程度、さまざまな長さの報告文・レポート等の中の漢字を学習（学習した漢字は翌週小テスト）

1. 長すぎる文(1)を修正し、明確に趣旨が伝わる文にする。
2. 長すぎる文(2)を修正し、明確に趣旨が伝わる文にする。
3. ねじれ文を修正し、明確に趣旨が伝わる文にする。
4. 報告文の構成を学ぶ(1)アウトライン作成
5. 報告文の構成を学ぶ(2)アウトライン作成
6. レジюмеを書く一推敲する(1)レポート・報告文を元にレジюмеを書く
7. レジюмеを書く一推敲する(2)レポート・報告文を元にレジюмеを書く
8. レジюмеを書く一推敲する(3)与えられたテーマで調査した結果報告のためのレジюмеを作る
9. レジюмеを書く一推敲する(4)与えられたテーマで調査した結果報告のためのレジюмеを作る
10. 報告文・レポートを書く一推敲する(1)レジюмеに基づき 600 字程度の報告文を書く。
11. 報告文・レポートを書く一推敲する(2) 600 字程度
12. 報告文・レポートを書く一推敲する(3) 800 字程度
13. 報告文・レポートを書く一推敲する(4) 800 字程度
14. 報告文・レポートを書く一推敲する(3) 1000 字程度
15. 報告文・レポートを書く一推敲する(3) 1000 字程度

#### 授業方法：

参加型の授業形態を採る。知識を授けるタイプ（講義型）ではない。

授業では、学生一人一人が活動の主体となり、目標とする知識・技能・能力を獲得するための作業および活動を行う。

#### 達成目標：

1000 文字程度のレポート・報告文を、構成を考えて書くことができる。

#### 評価方法：

小テストおよび課題提出	40%
授業中の議論への参加・貢献度	40%
最終課題	20%

教科書：授業時に指示

参考文献：なし

実験・実習・教材費：なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A41401～02	コミュニケーション I	1	1	文野峯子 花井しおり

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
A41401	前期	火	3	
A41402	前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
意見，伝わる話し方，構成，正確な伝達，正確な理解	コミュニケーション力，社交性，効果的な社会参加

**授業のテーマ：**

意思伝達

**授業の概要：**

コミュニケーションを成立させるための基本練習を行う。  
具体的には，以下に示す＜授業計画＞に沿って作業を進める。

**授業の計画：**

1. 相手に届く声を出す
2. 自分の意図を相手に伝える・相手の意図を聞き取る
3. 自分の意図を相手に伝える・相手の意図を聞き取る
4. 自己紹介・友達紹介
5. 自己をアピールするー相手の話をクリティカルに聞く（面接ロールプレー）
6. 自己をアピールするー相手の話をクリティカルに聞く（面接ロールプレー）
7. 自分の気持ちを伝えるー相手の気持ちを理解するー理解を言葉で伝える（傾聴）
8. 自分の気持ちを伝えるー相手の気持ちを理解するー理解を言葉で伝える（傾聴）
9. グループディスカッション（グループで課題解決）（司会、発表、コメンテーター）
10. グループディスカッション（グループで課題解決）
11. グループディスカッション（グループで課題解決）
12. 価値観の異なる相手と話す（ミニディベート）
13. 価値観の異なる相手と話す（ミニディベート）
14. 2分スピーチ（練習）
15. 2分スピーチ（発表）

**授業方法：**

参加型授業（学生が主体的に活動をすることによって学習が成立する授業）である。

**達成目標：**

相手に伝わる話し方ができる。身近なことを、相手が理解・記憶しやすいような内容・構成を考えて話すことができる。相手の話を聞き取り、意図を正確に理解することができる。

\*日本語スタンダード6レベル中2レベル（A2レベル）

**評価方法：**

授業参加・貢献度	30%
授業中発表・パフォーマンス	40%
最終パフォーマンステスト	30%

**教科書：**

授業中に指示

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A41501～02	コミュニケーションⅡ	1	1	文野峯子 花井しおり

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス 【履修条件】 コミュニケーションⅠを修了した者。
A41501	後期	火	3	
A41502	後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
公の場, 意見, 意見交換, 発表	問題解決力, グローバルな視野, 効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

パブリック・スピーキング（公の場で話す）

#### 授業の概要：

おしゃべりではなく、公の場で相手や聴衆に受け入れられるような話し方、わかりやすい話し方をする練習を行う。公の場とは、教室、教室外の人とのフォーマルな接触、就職面接等である。

具体的には、以下に示す＜授業計画＞に沿って作業を進める。

#### 授業の計画：

1. 1分スピーチ (1) 意見をまとめる。(キーワード, 構成を考える) 書く
2. 1分スピーチ (2) 相手に伝わる話し方練習
3. 1分スピーチ (3) 記憶に残る話し方練習
4. 反対意見の表明 (1)
5. 反対意見の表明 (2)
6. ディスカッション (グループで問題解決・意思決定) → 報告, あるいはディスカッションの再現
7. ディスカッション参加に必要な能力 (役割ごとの評価基準作成)
8. ディスカッション参加能力を評価する
9. プロジェクトワーク (1) (グループでテーマ決定)
10. プロジェクトワーク (2) (グループで問題解決)
11. プロジェクトワーク (3) (発表準備)
12. プロジェクトワーク (4) 発表
13. 簡潔かつ的を射た応答 (面接ロールプレー) (1)
14. 簡潔かつ的を射た応答 (面接ロールプレー) (2)
15. 簡潔かつ的を射た応答 (面接ロールプレー) (3)

#### 授業方法：

参加型授業（学生が主体的に活動をすることによって学習が成立する授業）である。

#### 達成目標：

公共の場面で、簡単な意見交換、意見発表、スピーチ等ができる。わかりやすい報告ができる。

#### 評価方法：

課題発表	40%
授業参加度・貢献度	40%
最終課題	20%

#### 教科書：

授業時に指示。

#### 参考文献：

授業時に指示。

#### 実験・実習・教材費：

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A41801～02	聴読解Ⅱ	1	1	文野峯子 芳賀康朗

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス【履修条件】「聴読解Ⅰ」を修了、あるいはそれと同様の能力があると認定された者。
A41801	後期	木	3	
A41802	後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ニュース、論説文、論旨把握、背景理解、意見述べ	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

ニュースや新聞などの身近なメディアを通じ得た情報で社会を考える。

#### 授業の概要：

授業では、テレビの報道番組を聞く、新聞の論説文を読む→内容を簡潔にまとめる→他者に報告する、などの練習を行う。

#### 授業の計画：

1. テレビの報道番組・ドキュメンタリーを視聴 →まとめ→報告 (1)
2. テレビの報道番組・ドキュメンタリーを視聴 →まとめ→報告 (2)
3. テレビの報道番組・ドキュメンタリーを視聴 →まとめ→報告 (3)
4. テレビの報道番組・ドキュメンタリーを視聴 →まとめ→報告 (4)
5. テレビの報道番組・ドキュメンタリーを視聴 →まとめ→報告 (5)
6. 論説文を読む →要旨を書く (1)
7. 論説文を読む →要旨を書く (2)
8. 論説文を読む →要旨を書く (3)
9. 論説文を読む →要旨を書く (4)
10. 論説文を読む →要旨を書く (5)
11. 論説文を読む →要旨をまとめる→意見を述べる (1)
12. 論説文を読む →要旨をまとめる→意見を述べる (2)
13. 論説文を読む →要旨をまとめる→意見を述べる (3)
14. 論説文を読む →要旨をまとめる→意見を述べる (4)
15. 論説文を読む →要旨をまとめる→意見を述べる (5)

#### 授業方法：

参加型授業（学生が主体的に活動することによって学習が成立する授業）の形態を採る。

授業では、学生一人一人が活動の主体となり、目標とする知識・技能・能力を獲得するための作業および活動を行う。

#### 達成目標：

TVのニュース解説、報道番組、新聞（論説文を含む）などから、社会人に必要な情報収集（聞き取り、読み取り）が短時間にできる。

#### 評価方法：

授業時の課題	40%
授業参加・貢献度	40%
最終課題	20%

#### 教科書：

池上彰「よくわかるニュース」参考？

#### 参考文献：

授業時に指示。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A05601~03	キャリアデザイン I (基礎編)	1・2・3・4	2	樋口・三井

授業コード	期間	曜日	時限	授業コード	期間	曜日	時限	備考:
A05601	前期	火	4	A05603	後期	木	2	A05601 (火/4) - 2・3・4年生対象 A05602 (木/1) A05603 (木/2) - 1年生対象
A05602	後期	木	1					

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア形成、自己理解、仕事理解、将来設計、キャリア選択	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力 (意思決定力)、グローバルな視野

**授業のテーマ:**

キャリアデザインとは、将来の働き方をデザインすることであり、これからの生き方をデザインすることでもあります。社会が大きく転換している今、就職・進学を問わず、その環境は目まぐるしく変化しています。本授業では、さまざまな演習を通じて、社会や自分を取り巻く環境をしっかりと見つめ、「自分らしさ」「自分の強みや課題」「自分の理想とする将来像」などを発見することを目標とします。

**授業の概要:**

キャリアデザインの基礎編として、低学年の早期段階からキャリアデザインを描くために必要な考え方や方策を学びます。具体的には、社会経済の動向をふまえた「仕事理解」と、自分の個性、興味・関心、欲求・動機、価値観、適性といった「自己理解」の両方を推し進め、将来のキャリア選択に備えます。

**授業の計画:**

- |    |                            |     |                    |
|----|----------------------------|-----|--------------------|
| 1回 | 21世紀に求められる人材像              | 9回  | 自己理解⑤「職業興味と適性」     |
| 2回 | キャリア形成に必要な基本的資質            | 10回 | 仕事理解①「業界・企業・職種の研究」 |
| 3回 | 社会経済動向とキャリア形成の必要性          | 11回 | 仕事理解②「さまざまな働き方」    |
| 4回 | キャリア形成の体系とそのプロセス           | 12回 | 仕事理解③「ビジネス基礎能力」    |
| 5回 | 自己理解①「キャリア形成と発達課題」         | 13回 | 目標設定①「自分のキャリアモデル」  |
| 6回 | 自己理解②「自分史作り: ライフ・ライン・チャート」 | 14回 | 目標設定②「目指すキャリアビジョン」 |
| 7回 | 自己理解③「未来予想図: ライフ・キャリアの虹」   | 15回 | 目標設定③「意思決定のあり方」    |
| 8回 | 自己理解④「ライフ・キャリアの価値観」        |     |                    |

**授業方法:**

講義と演習を交えて展開します。講義は、基本的にテキストを使って進めます。演習は、個人ワークとグループセッションの二本立てで進めます。まずは、個人ワークで自分なりの考えをまとめます。つぎに、グループセッションで各自の考えを交換し、互いに学び合います。

**達成目標:**

『キャリア関連の理論を理解したうえで、自らのキャリアデザインを描く』こと。

**評価方法:**

授業の取り組み: 50%、課題・演習: 50%

- キャリア関連の理論を駆使して、完成度の高いキャリアデザインができる…S  
 キャリア関連の理論を部分的に活用して、キャリアデザインができる………A  
 キャリア関連の理論を使いながら、キャリアデザインの一部ができる………B  
 キャリア関連の理論や学術用語を説明できる………C  
 Cのレベルに達していない………D

**教科書:**

樋口貴子著 『キャリアの形成』 (株)キャリアデザイン (1,500円)  
 ※最初の授業内で販売します。

**参考文献:**

授業の中で適宜、紹介します。

**実験・実習・教材費:**

なし。 ※教科書以外に必要な内容は、適宜資料を配布します。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A05801	キャリアデザインⅡ（応用編）	3・4	2	樋口貴子

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア開発、職業人意識、社会人常識、ビジネスマナー、仕事の基本	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

間近に迫る「卒業・就職」という節目を前に、将来の自分の活躍する姿を見据えながら、自分にとって働く意義・働く意味とは何かを考え、社会人・職業人としての意識を醸成します。また、ビジネスパーソンとして仕事を円滑に進めるために必要な常識や仕事の基本について理解を深めます。さらに、さまざまな演習を通じて、ビジネスマナーの習得を目指します。

#### 授業の概要：

キャリアデザインの応用編として、実践的なキャリア開発を進めます。まずは、社会人・職業人として求められる基本姿勢や、仕事の進め方についてケーススタディを交えて学びます。また、ビジネスパーソンとしての予備知識やマナーを身に付けます。就職希望者はぜひ受講してください。

#### 授業の計画：

1回	職業観・勤労観	9回	立居振舞い、挨拶
2回	職業人（プロフェッショナル）意識	10回	言葉遣い（敬語）、話し方
3回	組織で必要とされる基本姿勢	11回	電話応対
4回	キャリア展望を考える①	12回	ビジネスメール、手紙の書き方
5回	キャリア展望を考える②	13回	訪問のマナー
6回	適職探索と職業研究	14回	指示の受け方、報告・連絡・相談
7回	ライフイベントを考える	15回	仕事の進め方（PDCAサイクル）
8回	身だしなみ、勤怠のマナー		

#### 授業方法：

講義と演習を交えて展開します。講義は、基本的にテキストを使って進めます。演習は、個人ワークとグループセッションの二本立てで進めます。まずは、個人ワークで自分なりの考えをまとめます。つぎに、グループセッションで各自の考えを交換し、互いに学び合います。

#### 達成目標：

『ビジネスパーソンとしての基本的なキャリア開発と、自らのキャリアデザインができる』こと。

#### 評価方法：

授業の取り組み：50%、課題・演習：50%  
 完成度の高いキャリア開発と自らのキャリアデザインができる…S  
 部分的なキャリア開発とキャリアデザインができる……………A  
 一部のキャリア開発とキャリアデザインができる……………B  
 基本的なキャリア開発を理解している……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

#### 教科書：

樋口貴子著 『就職スキル・マインド準備』、『就職スキル・ビジネスマナー』（有）キャリアサポーター（2冊セットで1,500円） ※最初の授業内で販売します。

#### 参考文献：

授業の中で適宜、紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし。 ※教科書以外に必要な内容は、適宜資料を配布します。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06001	キャリアデザインⅢ（実践編・インターンシップ）	2・3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：この科目は、事前にガイダンスを実施したうえで履修登録を確定させます。後日、別途期間を定めて追加履修登録を受付けます。
前期	集中	8～9月	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション能力、協調性、責任感	コミュニケーション力、問題解決力、社交性

**授業のテーマ：**

就労体験を通して、仕事に関する知識・理解を深め、自己の適性を理解した上で主体的に進路を選択できる能力・態度を養成します。

**授業の概要：**

この授業では、自らのキャリアデザインの一環として、企業や団体で将来のキャリアに関する就業体験（約2週間）を行い、事後にレポート提出と報告会を実施します。なお、希望者多数の場合は、希望する企業や団体でのインターンシップができない場合があります。また、この授業の受講を希望する場合は「キャリアデザインⅡ（応用編）」を受講することが望まれます。

**授業の計画：**

（スケジュール予定）

5月	事前ガイダンス
8, 9月	インターンシップ実習
9月	レポート提出
10月	報告会

（インターンシップ実施予定企業・団体）

伊良湖ガーデンホテル、カリモク、物語コーポレーション、ラグーナ蒲郡、中部日本広告、ネットヨタ東名古屋、岡崎市役所、岡崎商工会議所

**授業方法：**

企業や団体ごとに方法は異なりますが、それぞれの実習先で就業体験します。

**達成目標：**

職場の人と適切なコミュニケーションがとれ、言われたことだけでなく主体的に仕事をこなす。

**評価方法：**

受け入れ企業・団体からの評価、レポートなどから総合的に判断します。

職場の人と適切なコミュニケーションがとれ、主体的に仕事ができ、事後報告もきちんとできる	S
あまり主体的には仕事ができなかったが、職場の人と適切なコミュニケーションがとれ、事後報告もきちんとできる	A
職場の人と適切なコミュニケーションがとれたが、事後報告があまりできていない	B
適切なコミュニケーションがとれず、事後報告もあまりできない	C
上記のレベルに達していない	D

**教科書：**

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06101	ビジネスコミュニケーション	2・3・4	2	樋口貴子

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション能力、情報伝達、意見主張、意見集約、プレゼンテーション	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

将来、ビジネスパーソンとして社会で活躍するためには、専門知識や業務処理能力だけでなく、ビジネスを円滑に進めたりするうえで必要不可欠な「相手の話を正しく理解し、自分の意思を正しく伝達し表現する」といった意思疎通をはかるコミュニケーション能力が必要です。本授業では、ビジネスコミュニケーション能力の基本から実際までを理解したうえで、実践的なスキルの習得を目標とします。

#### 授業の概要：

就職（採用選考）にあたって最も重視される「コミュニケーション能力」とは何かを理解したうえで、ビジネスシーンを想定したケーススタディやロールプレイングを通じて、実際の場面で活用できるビジネスコミュニケーションを身に付けます。就職希望者はぜひ受講してください。

#### 授業の計画：

1回	ビジネスコミュニケーションとは	9回	アサーショントレーニング
2回	話し方と聞き方の基本「他者紹介に挑戦」	10回	意見集約のスキル
3回	ノンバーバルスキルとバーバルスキル	11回	コンセンサストレーニング
4回	効果的な話し方トレーニング	12回	相手の尊重、人間関係の常識、チームワーク
5回	質問のスキル	13回	プレゼンテーションの企画、設計
6回	効果的な聞き方トレーニング	14回	プレゼンテーションのコンテンツ制作
7回	情報伝達のスキル	15回	プレゼンテーションの実施
8回	意見主張のスキル		

#### 授業方法：

講義と演習を交えて展開します。講義は、基本的にテキストを使って進めます。演習は、個人ワークとロールプレイを中心としたグループワークの二本立てで進めます。

#### 達成目標：

『ビジネスコミュニケーションスキルを身に付け、実際の場面に活用できる』こと。

#### 評価方法：

授業の取り組み：50%、課題・演習：50%

さまざまな場面で、完成度の高いビジネスコミュニケーションスキルが活用できる…	S
限定された場面で、ビジネスコミュニケーションスキルが活用できる……………	A
一部のビジネスコミュニケーションスキルが使える……………	B
ビジネスコミュニケーションの基本を理解している……………	C
Cのレベルに達していない……………	D

#### 教科書：

樋口貴子著 『就職スキル・コミュニケーションスキル』 (有)キャリアサポーター (1,000円)  
※最初の授業内で販売します。

#### 参考文献：

授業の中で適宜、紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし。 ※教科書以外に必要な内容は、適宜資料を配布します。

授業コード	授業科目名		対象学年	単位数	担当教員名
A06701～07	基礎ゼミナールA		1	1	磯貝・島崎・内藤・伊藤・菅原・吉野・花井
期間	曜日	時限	備考：(少人数授業)伊藤・吉野・島崎・磯貝・内藤・花井・神谷・奥田・森・吉田・日比野・渡・菅原・藤井・芳賀・長井・守村・山根 (留学生担当)藪谷・文野		
前期	水	2			
授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力		
スタディ・スキルズ、基礎学力、少人数授業、メンター			分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション力、社交性		

#### 授業のテーマ：

基礎ゼミナールは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探求心を鍛錬することを目的としています。また、少人数教育による教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生どうしの親睦と連帯の意識を育てます。

#### 授業の概要：

- ①基礎ゼミナールは、A（前期）とB（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
- ②基礎ゼミナールは、クラスの全員で学習する「全体授業」とメンター教員ごとに分かれて学習する「少人数授業」で構成されています。
- ③基礎ゼミナールAの全体授業では、共通テキストを使用して、ノート・テイキング、文献調査、レポート作成、プレゼンテーションなど大学に必要な基礎的技法を学びます。少人数授業では、メンター教員による対話方式の授業を行うほか、共通問題集を使って基礎学力の向上を図ります。
- ④全体授業の所属クラス、少人数授業のメンター教員への配属は指定で行います。

#### 授業の計画：

回	月	日	授業形態	内容	備考
1	4	13	全体授業	第1章 スタディスキルズとは	テキスト『知へのステップ』
2		20	少人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(1)	場所:メンター教員研究室
3		27		適性検査 (担当:就職進路相談室)	場所:221教室
4	5	11	全体授業	第2章 ノート・テイキング	第5章は図書館員から説明と案内を受ける。この全体授業の7週でクラスを割り振る
5		18	全体授業	第3章 リーディングの基本スキル	
6		25	全体授業	第4章 より深いリーディングのために	
7		1	少人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(2)	
8	8	全体授業	第5章 大学図書館における情報収集		
9	15	全体授業	第8章 アカデミック・ライティングの基本スキル		
10	22	全体授業	第9章 効果的なアカデミック・ライティングのために①		
11	6	29	少人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(3)	場所:メンター教員研究室
12		6	全体授業	第9章 効果的なアカデミック・ライティングのために②	
13		13	全体授業	第11章 プレゼンテーションの基本スキル	
14		20	全体授業	第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために	
15		27	少人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(4)	場所:メンター教員研究室

#### 授業方法：

初講時に各担当教員が示します。

#### 達成目標：

大学の学習に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探求心を養う。

#### 評価方法：

全体授業と少人数授業の取り組み（レポート提出、討議参加、ドリルの達成など）を総合的に評価します。

#### 教科書：

全体授業－『知へのステップ（改訂版）』（くろしお出版）  
少人数授業－共通問題集（配布）

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06708	基礎ゼミナールA	1	1	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：再履修者指定クラス
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スタディ・スキルズ、基礎学力、少人数授業、メンター	分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション力、社交性

#### 授業のキーワード：

スタディ・スキルズ、基礎学力、少人数授業、メンター

#### 授業のテーマ：

基礎ゼミナールは必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探求心を鍛錬することを目的としています。このクラスは、1年次に何らかの理由で単位修得ができなかった者を対象にしています。1年次生は履修できません。

#### 授業の概要：

- ①基礎ゼミナールは、A（前期）とB（後期）に区分され、両科目は必修科目です。
- ②基礎ゼミナールは、クラスの全員で学習する「全体授業」とメンター教員ごとに分かれて学習する「少人数授業」で構成されています。
- ③「少人数授業」は、「少人数授業（再履修者指定）」か、各自のメンター教員の少人数授業を選択して参加してください。自分のメンター教員が少人数授業を担当していない場合は、「少人数授業（再履修者専用）」へ参加してください。  
少人数授業を担当するメンター教員は、伊藤・吉野・島崎・磯貝・内藤・菅原・神谷・奥田・森・吉田・日比野・渡・岡・藤井・芳賀・長井・守村・山根の各先生です。「少人数授業（再履修者指定）」は川口先生が担当します。
- ④基礎ゼミナールAの全体授業では、共通テキストを使用して、ノート・テイキング、文献調査、レポート作成、プレゼンテーションなど大学に必要な基礎的技法を学びます。少人数授業では、メンター教員による対話方式の授業を行うほか、共通問題集を使って基礎学力の向上を図ります。

#### 授業の計画：

回	月	日	授業形態	内容	備考
1	4	13	全体授業	第1章 スタディスキルズとは	テキスト『知へのステップ』
2		20	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(1)	場所：メンター教員研究室
3		27	全体授業	第2章 ノート・テイキング	場所：221教室
4	5	11	全体授業	第3章 リーディングの基本スキル①	第5章は図書館員から説明と案内を受ける。この全体授業の7週でクラスを割り振る
5		18	全体授業	第3章 リーディングの基本スキル②	
6		25	全体授業	第4章 より深いリーディングのために	
7	6	1	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(2)	
8		8	全体授業	第5章 大学図書館における情報収集	
9		15	全体授業	第8章 アカデミック・ライティングの基本スキル	
10	7	22	全体授業	第9章 効果的なアカデミック・ライティングのために①	
11		29	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(3)	場所：メンター教員研究室
12		6	全体授業	第9章 効果的なアカデミック・ライティングのために②	
13		13	全体授業	第11章 プレゼンテーションの基本スキル	
14		20	全体授業	第12章 わかりやすいプレゼンテーションのために	
15		27	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(4)	場所：メンター教員研究室

#### 授業方法：

初講時に各担当教員が示します。

#### 達成目標：

大学の勉強に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探求心を養う。

#### 評価方法：

全体授業と少人数授業の取り組み（レポート提出、討議参加、ドリルの達成など）を総合的に評価します。

教科書：全体授業－『知へのステップ』（くろしお出版）

少人数授業－共通問題集（配布）

#### 参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名		対象学年	単位数	担当教員名
A06801～07	基礎ゼミナールB		1	1	磯貝・島崎・内藤・伊藤・菅原・吉野・花井
期間	曜日	時限	備考：(少人数授業)伊藤・吉野・島崎・磯貝・内藤・花井・神谷・奥田・森・吉田・日比野・渡・菅原・藤井・芳賀・長井・守村・山根 (留学生担当)藪谷・文野		
後期	水	2			
授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力		
問題意識、知的探求心、テーマの発見、ディスカッション			分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、コミュニケーション力、社交性		

#### 授業のテーマ：

基礎ゼミナールは、本学1年生の必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探求心を鍛錬することを目的としています。また、少人数教育による教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生どうしの親睦と連帯の意識を育てます。

#### 授業の概要：

- ①基礎ゼミナールBの全体授業では、担当教員がテーマやテキストを設定します。現代的な教養や社会問題、問題の発見と解決、創造と発想、調査研究の方法など幅広い分野を取り上げ、基礎ゼミナールAで学んだ技法等を応用しながら、学問に対する知的探求心を養います。
- ②基礎ゼミナールBの少人数授業では、前期に引き続きメンター教員による対話方式の授業を行うほか、共通問題集を使って基礎学力の向上を図ります。

#### 授業の計画：

回	月	日	授業形態	内容	備考
1	9	21	全体授業	後期の全体授業の進め方	
2		28	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(1)	場所:メンター教員研究室
3	10	5	全体授業		
4		12	全体授業		
5		19	全体授業		
6		26	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(2)	場所:メンター教員研究室
7	11	2	全体授業		
8		9	全体授業		
9		16	全体授業		
10		30	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(3)	場所:メンター教員研究室
11	12	7	全体授業		
12		14	全体授業		
13	1	4	全体授業		
14		11	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(4)	場所:メンター教員研究室
15		18	全体授業	アチーブメントテスト	場所:221教室

#### 授業方法：

初講時に各担当教員が示します。

#### 達成目標：

大学の学習に必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探求心を養う。

#### 評価方法：

全体授業と少人数授業の取り組み（レポート提出、討議参加、ドリルの達成など）を総合的に評価します。

#### 教科書：

全体授業－初講時に各担当教員が示します。

少人数授業－共通問題集（配布）

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A06808	基礎ゼミナールB	1	1	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：再履修者指定クラス
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
問題意識、知的探求心、テーマの発見、ディスカッション	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、コミュニケーション力、社交性

#### 授業のテーマ：

基礎ゼミナールは必修科目であり、これから大学で勉強していく上で必要な基礎的な技能や、知的探求心を鍛錬することを目的としています。このクラスは、1年次に何らかの理由で単位修得ができなかった者を対象にしています。1年次生は履修できません。

#### 授業の概要：

- ①基礎ゼミナールBの全体授業では、担当教員がテーマやテキストを設定します。現代的な教養や社会問題、問題の発見と解決、創造と発想、調査研究の方法など幅広い分野を取り上げ、基礎ゼミナールAで学んだ技法等を応用しながら、学問に対する知的探求心を養います。
- ②基礎ゼミナールBの少人数授業では、前期に引き続きメンター教員又は「少人数授業（再履修者指定）」担当教員による対話方式の授業を行うほか、共通問題集を使って基礎学力の向上を図ります。
- ③「少人数授業」は、「少人数授業（再履修者指定）」か、各自のメンター教員の少人数授業を選択して参加してください。自分のメンター教員が少人数授業を担当していない場合は、「少人数授業（再履修者専用）」へ参加してください。

少人数授業を担当するメンター教員は、伊藤・吉野・島崎・磯貝・内藤・菅原・神谷・奥田・森・吉田・日比野・渡・岡・藤井・芳賀・長井・守村・山根の各先生です。「少人数授業（再履修者指定）」は川口先生が担当します。

#### 授業の計画：

回	月	日	授業形態	内容	備考
1	9	21	全体授業	後期の全体授業の進め方	
2		28	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(1)	場所:メンター教員研究室
3	10	5	全体授業		
4		12	全体授業		
5		19	全体授業		
6		26	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(2)	場所:メンター教員研究室
7	11	2	全体授業		
8		9	全体授業		
9		16	全体授業		
10		30	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(3)	場所:メンター教員研究室
11	12	7	全体授業		
12		14	全体授業		
13	1	4	全体授業		
14		11	小人数授業	ディスカッションと基礎学習ドリル(4)	場所:メンター教員研究室
15		18	全体授業		

#### 授業方法：

初講時に各担当教員が示します。

#### 達成目標：

大学で必要な基礎学力、基礎的技能を修得し、学習意欲と知的探求心を養う。

#### 評価方法：

全体授業と少人数授業の取り組み（レポート提出、討議参加、ドリルの達成など）を総合的に評価します。

教科書： 全体授業－初講時に各担当教員が示します。

少人数授業－共通問題集（配布）

#### 参考文献：

実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09001	海外大学単位互換科目 A	1・2・3・4	2	文野・花井

期間	曜日	時限	備考
前期	集中	8～9月	備考:準備期間 H23年4月下旬～研修期間直前 研修期間 H23年8月下旬～9月初旬(予定) ※この授業については、履修登録期間中には登録は行わず、事前説明会を行った上で、別途期間を定め履修登録を行います。

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学生主体、協働学習、異文化間交流、リーダーシップ	コミュニケーション力、問題解決力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

1. 「獲得型」学習。学生各自が、主体的かつ積極的に活動に参加し、知識・能力を獲得する。
2. 価値観や母語の異なる他者と共に学び合う活動を通して、他者理解だけでなく自己理解を深める。

#### 授業の概要：

この科目は、本学と海外の大学が結んだ単位互換協定にもとづいて実施されるものです。本学の学生が当該科目を履修した場合、修得した科目の単位は2科目（2単位×2ヵ年＝4単位）まで本学の『全学共通基礎科目』の科目として卒業要件単位に算入できます。

#### 授業の計画：

##### ＜研修内容＞

台湾の大学から教員と学生が研修に参加する予定です。テーマ等は、先方の大学と話し合いの上決定します。過去のテーマは、「まちづくり」、「コミュニティづくりと言語管理」、「現代の世相に見る日本の社会」などです。各チームは、台湾の学生と本学の学生で混成グループを作ります。グループ編成は、事前のインターネット上のやりとりを通じて台湾の学生の来日前に行われます。

使用言語は、日本語を基本とします。台湾の学生は外国語である日本語でコミュニケーションをしなければなりません。日本人の学生には、語学面からの支援や意思疎通が円滑に進むよう気を配るなどの役割が求められます。グループの研究課題決定から活動計画、研究発表に至るまで学生が主体となって行う実習・演習タイプの科目であり、来日した学生との協働の研修であるので、台湾の学生が活動している間日本人学生は全ての過程においてリーダーとして参加することが期待されます。

##### ＜研修前の活動＞

1) インターネットを通して台湾の学生とやりとりを行います。

インターネット上の議論に参加します。

2) 週一回程度 日本人側の勉強会、受け入れ準備のための話し合いを行います。

##### ＜研修期間中の活動＞

合宿、あるいはホームステイの形態で宿泊をし、台湾の学生と24時間寝食を共にします。

日中は、グループごとにフィールドに行き、必要な調査を行ったり調査結果をまとめたりします。夜は、全体会議でその日の報告をします。最後に、成果を公開で発表します。

##### ＜本学学生の応募条件＞

1. 責任ある態度で主体的かつ積極的な参加ができること。
2. 異文化交流に関心がある者。
3. インターネットでの交信が可能なこと。(学内 PC 利用も含む)

＜募集定員＞ 30名

#### 授業方法：

学外のフィールドに出て、調査研究を行う。

#### 達成目標：

主体的に活動に参加することを通して、広い視野、責任感、自主性、コミュニケーション力、リーダーシップ等社会人に求められる能力を身につける。

評価方法：準備期間および研修期間中の参加状況、グループへの貢献度、発表などを総合的に評価する。

#### 教科書：

なし

#### 評価方法：

準備期間の貢献度	10%
グループ演習（グループでの討論、フィールドでの協働作業）	25%
講義・活動報告（講義・フィールドの報告会）	25%
口頭発表（グループ毎にPPTを用いて発表）	30%
報告書作成	10%

#### 実験・実習・教材費：

なし

※なお、海外からの学生が来日しないなど交流行事そのものが実施されない場合、本科目は不開講となります。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A10801	スポーツ実習(1) A	1・2・3・4	1	菅原 太

期間	曜日	時限	備考：※10月8日、9日および11月19日、20日に集中授業が行われます。
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
奈良 長谷 室生 当尾	社交性、効果的な社会参加、美的感受性

#### 授業のテーマ：

文化財や風土を美的観点から観照しつつトレッキングをおこない、地域の自然環境と伝統文化にふれる。

#### 授業の概要：

前期第1回授業日に授業説明を行い、前期最終授業日に宿泊施設とその部屋割りなどを決めます。事前に連絡の無い欠席は授業放棄と見なすので注意すること。

集中授業として、10月8日(土)9日(日)に奈良公園周辺・当尾(とうの)、11月19日(土)20日(日)に山辺の道・長谷・室生の計2回、1泊2日の日程でトレッキングしながら寺社を巡る。

#### 授業の計画：

第1回：奈良公園・当尾

1日目：近鉄奈良駅集合後、奈良公園周辺をトレッキング(東大寺戒壇堂→法華堂→春日大社→新薬師寺→白毫寺→奈良町)。奈良市で宿泊。

2日目：バスで岩船寺口へ。当尾をトレッキング(浄瑠璃寺、岩船寺を含む石仏巡り)。近鉄奈良駅解散。

第2回：山辺の道・室生・長谷

1日目：近鉄長谷寺駅集合。山辺の道をトレッキング(近鉄天理駅→石上神宮→長岳寺→近鉄柳本駅)。長谷の旅館で宿泊。

2日目：長谷寺周辺と室生寺周辺のトレッキング。近鉄長谷寺駅解散。

\*コースと日程は、受講者の都合・希望や人数、天候その他の事情で変更の可能性あり。変更の際は掲示板上で連絡。

#### 授業方法：

寺社・史跡を徒歩で巡り(1日10kmくらい)、レポートを作成。

#### 達成目標：

地域文化と自然に親しみながら、都市生活で鈍化しがちな身体と感覚器官を活性化させ、健康増進を図る。

#### 評価方法：

出席80%、レポート20%。

#### 教科書：

石井亜矢子『仏像の見方ハンドブック』池田書店 998円

#### 参考文献：

田中英道『法隆寺とパルテノン』祥伝社 1,800円

#### 実験・実習・教材費：

宿泊費は、場合によるが1人1泊4～6千円くらい。現地集合現地解散の為、交通費は乗車駅や交通機関などで異なる(往復その他で8～9千円くらい)。その他、寺社拝観料(1社寺につき300～500円)が必要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A10901	スポーツ実習(1) B	1・2・3・4	1	菅原 太

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
三十三所観音 法蔵寺 山林 石仏	分析・総合の思考力と判断力、社交性、美的感受性

**授業のテーマ：**

文化財や自然の風土を美的観点から観照しつつトレッキングをおこない、自然環境と地域文化に触れる。

**授業の概要：**

本宿旧街道沿いにある法蔵寺の裏山の石仏を、トレッキングしながら調査。

**授業の計画：**

1. 日本の仏教美術についての講義。
2. 三十三所観音の成り立ちについての講義。
3. 仏像の見分け方の講義。
- 4～14. 法蔵寺三十三所観音のフィールド調査。
15. まとめ

\*天候により変更あり。

**授業方法：**

法蔵寺裏山のフィールド調査をおこない、そこにある三十三体の観音の図像的特徴を観察し、観音名を当てるゲーム形式。

**達成目標：**

地域文化と自然に親しみながら、都市生活で鈍化しがちな身体と感覚器官を活性化させ、健康増進を図る。

**評価方法：**

出席 70%、三十三ヶ所観音調査レポート提出 30%。

**教科書：**

石井亜矢子『仏像の見方ハンドブック』池田書店 998円

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A11201	スポーツ実習(3) A	1・2・3・4	1	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
森林、跋涉、自然観察、春、夏	コミュニケーション力

**授業のテーマ:**

森林跋涉と野外生物の探勝。

**授業の概要:**

演習林およびキャンパス周辺の跋涉とともに、春～夏の生物を対象にした自然観察を行う。

**授業の計画:**

演習林・本宿町・上衣文町の森林や田園を散策しながら、下記の項目について季節と天候に応じた自然観察を行う。

1. 分類
2. 生態
3. 群集動態
4. 生物間相互作用
5. 生物多様性
6. 生物季節

**授業方法:**

演習林およびキャンパス周辺の跋涉と自然観察。

**達成目標:**

野山や田園の探索のための基本的な素養と技能を身につける。とりわけ、植物やその他の生物に対する観察眼を養う。

**評価方法:**

レポート(100%)による。出席率6割未満の場合は単位を認めない。

**教科書:**

なし。

**参考文献:**

- 1) 芹沢俊介、「エコロジーガイド人里の自然」、保育社、2,300円(税別)
- 2) 田端英雄、「エコロジーガイド里山の自然」、保育社、2,400円(税別)

**実験・実習・教材費:**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A11301	スポーツ実習(3) B	1・2・3・4	1	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
森林、跋涉、自然観察、秋、冬	コミュニケーション力

**授業のテーマ:**

森林跋涉と野外生物の探勝。

**授業の概要:**

演習林およびキャンパス周辺の跋涉とともに、秋～冬の生物を対象にした自然観察を行う。

**授業の計画:**

演習林・本宿町・上衣文町の森林や田園を散策しながら、下記の項目について季節と天候に応じた自然観察を行う。

1. 分類
2. 生態
3. 群集動態
4. 生物間相互作用
5. 生物多様性
6. 生物季節

**授業方法:**

演習林およびキャンパス周辺の跋涉と自然観察。

**達成目標:**

野山や田園の探索のための基本的な素養と技能を身につける。とりわけ、植物やその他の生物に対する観察眼を養う。

**評価方法:**

レポート(100%)による。出席率6割未満の場合は単位を認めない。

**教科書:**

なし。

**参考文献:**

- 1) 芹沢俊介、「エコロジーガイド人里の自然」、保育社、2,300円(税別)。
- 2) 田端英雄、「エコロジーガイド里山の自然」、保育社、2,400円(税別)。

**実験・実習・教材費:**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A11401	スポーツ実習(4) A	1・2・3・4	1	永田恵理

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツを楽しむ、体力づくり、基本技術の習得、仲間作り	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

卓球を行うことで、運動不足解消や体力向上を目指す。さらに、基礎練習やゲームを通じて体を動かす爽快感や新しい仲間を作り活動するなど、スポーツをする楽しさを実感できると良い。

**授業の概要：**

卓球は誰もが気軽に行えるスポーツであるので、更に技術を身に付けることで、体力差や男女差に関係なくゲームを楽しめると良い。また、基礎練習やゲームを行う中で、他の受講生とコミュニケーションをとり、親交を深める場になると良い。

**授業の計画：**

- (1) 基礎練習（フォアハンド、バックハンド、ドライブ、ツッツキ、スマッシュ、サーブ）
- (2) 応用練習（基礎練習を複合させた練習）
- (3) シングルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (4) ダブルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (5) ゲーム（リーグ戦、団体戦など）

**授業方法：**

一回の授業の流れは、ウォーミングアップ、技術練習、ゲーム、クーリングダウンとする。技術練習の内容を徐々にレベルアップさせることにより、ゲームの内容を向上できると良い。

**達成目標：**

卓球の技術を高めることや、ゲームに勝つことも大事であるが、最も大切なのは、積極的に参加し、真面目に取り組むことである。つまり、運動能力云々より、技術向上の為に努力できるかが大事であり、また周囲と協力し、皆が楽しく円滑に活動できるよう、率先して行動できるようになることが目標となる。

**評価方法：**

出席状況と授業への積極性の評価を 60～70%、ゲームへの貢献度や技術力 20%程度、ルール、ゲームの流れの理解度など 10%程度とする。

- ・大変積極的に参加し、技術が高い、もしくは技術向上の為に努力が見られる。  
ルールやゲームの流れをよく理解できており、また周囲と協力し円滑に活動できている。… S
- ・積極的に参加し、ルールやゲームの流れを理解し、周囲と円滑に活動できる。…………… A
- ・授業に参加し、ルールやゲームの流れを理解し、活動できている。…………… B
- ・積極性にやや欠けるが、授業中の活動はほぼできている。…………… C
- ・Cのレベルに達していない。…………… D

**教科書：**

なし

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

**備考：**

運動できる服装と体育館シューズが必要

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A11501	スポーツ実習(4) B	1・2・3・4	1	永田恵理

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
後期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツを楽しむ、体力づくり、基本技術の習得、仲間作り	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）

#### 授業のテーマ：

バドミントンを行うことで、運動不足解消や体力向上を目指す。また、ゲームやその運営をすることにより、仲間作りや互いに協力して活動する能力を身に付けることをテーマとする。さらに、スポーツの楽しさを実感し、生涯を通じてスポーツをする大切さや、その意義について学習する。

#### 授業の概要：

バドミントンは運動量が多く、様々な動きを必要とするため、授業を通して運動不足を実感したり、運動習慣の必要性を感じる場になると良い。また、リーグ戦などを円滑に進めるために周囲と協力して活動し、他の受講生とコミュニケーションをとることで、親交を深める場になると良い。

#### 授業の計画：

- (1) 基礎練習（クリアー、ドロップ、ヘアピン、スマッシュなど）
- (2) 応用練習（基礎練習を複合させた練習）
- (3) シングルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (4) ダブルスゲーム（ルール、ゲームの流れの学習）
- (5) ゲームやその運営（リーグ戦、団体戦など）

#### 授業方法：

一回の授業の流れは、ウォーミングアップ、基礎練習、ゲーム、クーリングダウンとする。基礎練習、チーム練習の内容を徐々にレベルアップさせることにより、ゲームの内容を向上できると良い。

#### 達成目標：

バドミントンの技術を高めることやゲームに勝つことも大事であるが、最も大切なのは、積極的に参加し、真面目に取り組むことである。つまり、運動能力云々より、技術向上の為に努力できるかが大事であり、また周囲と協力し、皆が楽しく円滑に活動できるよう、率先して行動できるようになることが目標となる。

#### 評価方法：

出席状況と授業への積極性の評価を 60～70%、ゲームへの貢献度や技術力 20%程度、ルール、ゲームの流れの理解度など 10%程度とする。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

#### 備考：

運動できる服装と体育館シューズが必要



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A20101~04	情報実習(1)	1・2・3・4	2	広田建一・ 水谷秀雄

授業コード	期間	曜日	時限	授業コード	期間	曜日	時限	備考：
A20101	通年	月	2	A20103	通年	月	4	
A20102	通年	月	3	A20104	通年	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コンピュータの活用、IT リテラシ、情報技術	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

情報技術を正確に効率よく活用するための基礎知識と、実習を通してワープロソフトによる文書作成の基本、表計算ソフトの利用技術として集計・グラフ表現・データベース機能、またプレゼンテーションソフトの基礎、およびネットワークの利用として電子メールの送受信・インターネットの基礎知識など、パソコン検定3級程度の知識・技術の習得を目指す。

#### 授業の概要：

インターネットの使い方、メールの送受信、またその際に必要となるセキュリティやマナーなど、情報技術を活用する上で必須となる知識を学ぶ。ワード・エクセル・パワーポイントの操作を実習を通して身に付ける。

#### 授業の計画：

前期	後期
1回 パソコン・Windowsの基礎	1回 エクセル：基礎
2回 日本語入力	2回 エクセル：基本的な表計算
3回 インターネット基礎	3回 エクセル：絶対参照
4回 メール活用・データのコピー	4回 エクセル：IF関数
5回 インターネットの活用	5回 エクセル：グラフ1
6回 ワード：基礎	6回 エクセル：グラフ2
7回 ワード：書式設定と編集	7回 エクセル：データベースの活用
8回 ワード：表の作成	8回 エクセル：応用関数
9回 ワード：オブジェクトの作成	9回 エクセル：関数復習
10回 ワード：図形描画とスマートアート	10回 エクセル：ワードとの連携
11回 ワード：差し込み印刷	11回 エクセル：分析・考察
12回 ワード：オブジェクトを効果的に使った文書	12回 パワーポイント：基本操作・ITリテラシ
13回 ワード：ドロー実習	13回 パワーポイント：実践・ITリテラシ
14回 ワード：ドロー実習	14回 パワーポイント：自由制作・ITリテラシ
15回 ワード：総合演習	15回 パワーポイント：自由制作・ITリテラシ

#### 授業方法：

- テキストに沿って、講義を交えながらパソコンを操作して実習する。
- 評価項目ごとに演習課題の作成に取り組む。

#### 達成目標：

コンピュータ・インターネットを活用してレポート、論文の作成を効率よくできる能力を身につける。

#### 評価方法：

評価項目ごとに演習課題に取り組み、その達成度と普段の出席状況・受講態度などから総合評価する。評価の内訳は、出席点15%、テスト(演習問題)60%、課題と受講態度25%である。

#### 教科書：

- 『Windows Vista 対応 30 時間でマスター Word2007』(実教出版株式会社 / 900 円税込)
- 『Windows Vista 対応 30 時間でマスター Excel2007』(実教出版株式会社 / 900 円税込)
- 『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第3版』(日経 BP 社 / 1,260 円税込)

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A20201	情報実習(2)	2・3・4	2	広田建一

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
オフィスソフトの活用、ホームページ作成、ドリームウィーバー	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

情報実習(1)で習得した基礎知識を基に、さらに応用的な知識・技術を習得してレポート・論文の作成や社会人になってからの業務上の文書の作成や表計算ができる能力、ならびにホームページを制作するスキルを身に付けることを目標とする。

テーマは「情報技術(IT)の基礎レベルへの到達」

#### 授業の概要：

概要：ワード・エクセルのビジネス問題集から実務に即した問題を解きながら操作を習得する。インターネットにおけるセキュリティ、著作権、ユーザビリティなど、情報をやり取りする上で必要となる知識を学ぶ。ホームページを作成するソフト(ドリームウィーバー)の操作を習い、ホームページを作成する。

#### 授業の計画：

前期		後期	
1回	ワード：一般的な連絡文書の作成	1回	ワードとエクセルの連携
2回	ワード：文書の書式	2回	インターネットのルールと著作権
3回	ワード：表の文書への組み込み	3回	見やすいホームページと基本計画
4回	ワード：総合的な文書の作成	4回	ドリームウィーバー基礎
5回	ワード：情報伝達の手段としての文書	5回	HTML 基礎
6回	ワード：要件を満たす文書の作成	6回	HTML タグと文法
7回	ワード：要件を満たす文書の作成	7回	HTML タグと文法
8回	エクセル：作表と基本的な計算	8回	CSS ルールの設定
9回	エクセル：グラフと集計	9回	CSS ルールの実践
10回	エクセル：関数・データベース	10回	レイアウト
11回	エクセル：マクロ	11回	ホームページ自由制作
12回	エクセル：クロス集計	12回	ホームページ自由制作
13回	エクセル：要件を満たす表の作成	13回	ホームページ自由制作
14回	エクセル：要件を満たす表の作成	14回	ホームページ自由制作
15回	エクセル：要件を満たす表の作成	15回	アップロードと CGI

#### 授業方法：

- テキストに沿って自主的に実習を進め、作成に必要な操作を解説する。
- 情報公開に必要な知識などは講義形式で行う。
- ホームページについては作成技術を学んだ後に、作成を実習する。

#### 達成目標：

レポート・論文の作成、資料の作成や表計算が出来る能力と、インターネットで自己表現ができるスキルの修得。

#### 評価方法：

評価項目ごとに演習課題に取り組み、その達成度と普段の出席状況・受講態度などから総合評価する。出席点15%、テスト(演習問題)60%、課題と受講態度25%

#### 教科書：

- 『スキルアップ Microsoft Word ビジネス問題集』(日経 BP ソフトプレス/1,050 円税込)
- 『スキルアップ Microsoft Excel ビジネス問題集』(日経 BP ソフトプレス/1,050 円税込)
- 『これからはじめる Dreamweaver の本』(技術評論社/1,974 円税込)

#### 参考文献：

- 『キーワードで理解する最新情報リテラシー 第3版』(日経 BP 社/1,260 円税込)

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A20301	コンピュータグラフィックス (1)	1・2・3・4	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コンピュータグラフィックス、グラフィックデザイン、写真加工、Flash アニメーション	コミュニケーション力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

映画、ゲームなどのエンターテインメント分野や、デザイン、設計、広告、出版、各種シミュレーションにいたるまで、コンピュータグラフィックス（CG）を用いたヴィジュアルな表現は幅広い分野で大変重要なものとなっている。本科目では、CGを自らの表現の道具としてより身近なものとし、実用面で活用するための技術を習得することを目標とする。

#### 授業の概要：

本科目では、CGの基本的技術をソフトウェア実習により習得していく。PCの操作や基本的なオブジェクトの描き方を”体で”覚えてもらうとともに、基本的な図形の組み合わせや少しのコツで、いかに多様なイラスト制作やヴィジュアル表現が可能であるかを、実習を通して説明していく。

#### 授業の計画：

- |                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (前半)<br>1. PCの使用方法、ソフトウェアの紹介<br>(Illustratorによる作画の基礎)<br>2. 基本的な操作<br>3.～6. 基本的な描画<br>7. 移動と調整<br>8. 変形<br>9.～10. ペイント<br>11. 複数オブジェクトの編集<br>12. 文字の入力と編集<br>13. 特殊効果<br>14. 3D効果<br>15. アピアランスとレイヤー | (後半)<br>(Illustratorによる作画の実践)<br>16. トレース<br>17. ハガキ、グラフの作成<br>18. Webページの作成<br>19.～22. 自由制作<br>(さまざまなソフトウェアによるCGの制作)<br>23.～24. Photoshop Elementsによる写真加工<br>25.～26. Flashアニメーション作成の基礎<br>27.～29. Flashアニメーション自由制作<br>30. Windowsムービーメーカーによる動画編集 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### 授業方法：

前半は教科書、後半は適宜与える教材をもとに授業を進行していく。課題制作、自由制作ともに、各学生の習熟度になるべく配慮した進行を行う。

#### 達成目標：

学業や仕事、日常生活のさまざまな場面で生かすことのできる、CG技術の基礎を身につけることを目標とする。

#### 評価方法：

課題・自由制作の成果物（50%）と授業への取り組み（50%）で評価する。

#### 教科書：

広田正康、『Illustrator トレーニングブック CS5/CS4/CS3/CS2/CS対応』、ソーテック社、1,890円

#### 参考文献：

鷹野雅弘、『Illustrator CS2 完全制覇パーフェクト』、翔泳社、3,129円  
 高橋正之他、『Illustrator CS2の仕事術－現場の必須テクニック』、毎日コミュニケーションズ、3,045円  
 エクスメディア、『超図解 Photoshop Elements 4.0 総合編』、エクスメディア、1,764円  
 ワタナベアヤコ、『Photoshop Elementsでカンタンにできる ブログ&ホームページ素材デザインブック』、ソフトバンククリエイティブ、1,680円  
 Illustrator についての紹介：<http://www.adobe.com/jp/products/illustrator/>  
 Photoshop Elements についての紹介：<http://www.adobe.com/jp/products/photoshopel/>

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A20401	コンピュータグラフィックス(2)	2・3・4	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コンピュータグラフィックス、3D、デザイン、景観シミュレーション	コミュニケーション力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

コンピュータグラフィックス(1)での実習内容を踏まえ、おもに3D(3次元)CGによるデジタルコンテンツの制作とその実際面について学ぶ。CINEMA 4D(汎用3DCGソフトウェア)やVue 5(3D景観作成ソフトウェア)、Google SketchUp(3Dモデリングソフトウェア)などの使用を通じ、より柔軟かつ理論的な制作を行うための技能と発想を得ることを目標とする。

#### 授業の概要：

本科目では、おもに3DCGの基本的技術をソフトウェア実習により習得していく。「自分はCGでこういうものがつくりたい」という目的意識をもって参加してもらえるとありがたい。

#### 授業の計画：

(前期)

CINEMA 4Dによる3DCGの制作

1. CINEMA 4Dの使用方法についての基礎
2. 人形の制作(プリミティブオブジェクト)
3. グラスの制作(スプラインモデリング)
4. ソファの制作(ポリゴンモデリング1)
5. テレビの制作(ポリゴンモデリング2)
6. スプーンの制作(ポリゴンモデリング3)
7. フォークの制作(ポリゴンモデリング4)
8. 宇宙船の制作(ポリゴンモデリング5)
9. 花の制作(ベジェNURBSモデリング)
10. チューナの制作(デフォーマとブル演算)
11. レンダリング
12. アニメーション
13. ~ 15. 自由制作

(後期)

Vue 5による景観CGの制作

16. ~ 18. 地形・大気・植物(植生)の作成
19. 景観アニメーションの作成
20. ~ 23. 自由制作(風景、庭、公園など)

その他

24. David Laserscannerによる3Dオブジェクトの制作
25. QuickTime VRムービーの制作と

Webへの公開

26. ~ 30. Google SketchUpを用いた3DCGの制作

#### 授業方法：

前半は教科書、後半は適宜与える教材をもとに授業を進行していく。なお本科目の履修にあたり、コンピュータグラフィックス(1)を履修済み、もしくはそれと同等のスキルを身に付けていることが望ましいが、そうでない場合も歓迎する。

#### 達成目標：

3DCG制作ならびにデジタルコンテンツの公開に関する技術の基本を身につけるとともに、新規技術にも自ら対応できる素養を得ることを目標とする。

#### 評価方法：

課題・自由制作の成果物(50%)と授業への取り組み(50%)で評価する。

#### 教科書：

コンノヒロム、『CINEMA 4D R9 SUPERGUIDE』、BNN ※講義期間中無償貸与

#### 参考文献：

アイザック・ビクターカーロウ、『コンプリート3DCG—デジタル映像に関わるすべての人に』、MdN、6,090円  
 沖乃ワタヤ、『Vue5ガイドブック3DCGでつくる美しい風景』、BNN、2,100円

CINEMA 4Dについての紹介：<http://www.maxon.net/ja/products/cinema-4d.html>

Vueシリーズについての紹介：<http://graphic.e-frontier.co.jp/vue/>

Google SketchUpについての紹介：<http://sketchup.google.com/intl/ja/>

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30101	英語(1)	1	2	岡 良和
<b>期間</b>	<b>曜日／時限</b>	<b>備考：週2回開講</b>		
前期	月／2・水／1			
<b>授業のキーワード</b>		<b>人間環境大学が育む八つの能力</b>		
基礎英文法、発信		コミュニケーション力		

**授業のテーマ：**

高校までに学習した英語の知識を確認し、どのように使うかを習得する。

**授業の概要：**

基礎的な文法の確認から始めてコミュニケーション活動へと進む

**授業の計画：**

1. 2. 5文型・・・5つの文型さえわかれば英語は話せる
3. 4. 現在形と過去形・・・「今」と「昔」を表現する
5. 6. 未来形・・・自分の予定や意思を相手に伝える
7. 8. 進行形・・・現在形だけの英語を卒業する
9. 10. 完了形・・・英語独特の時間感覚を身につける
11. 12. 受動態・・・受動態でなければ話せないこと
13. 14. 不定詞と動名詞・・・会話のための便利な表現
15. 16. 分詞・・・分詞を使ってスマートな表現を
17. 18. 形容詞・・・自分の気持ちや意見を伝える
19. 20. 副詞・・・修飾語句の使い方に慣れる
21. 22. 接続詞・・・語句や文をつなぐ
23. 24. 疑問詞・・・疑問文の答え方もマスター
25. 26. 関係詞・・・相手に何か説明するときが必要
27. 28. 比較・・・比較表現を用いていろいろなことを表現する
29. 30. 仮定法・・・表現に幅が出る「事実と反する仮定」

**授業方法：**

文法を確認→リスニング→文法を活用した会話練習（発音やイントネーションの指導を含む）→重要表現の確認とまとめ

**達成目標：**

これまでに学習してきた基礎英文法を定着させ、これに基づいた英語が使えるようになること。

**評価方法：**

授業中の参加 50% 試験 50%

**教科書：**

小中秀彦（著）『会話作文のための復習英文法』朝日出版社 1800円+税

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30102	英語(1)	1	2	宮本昭義
期間	曜日/時限	備考：週2回開講		
前期	月/3・水/1			
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
基礎英文法、発信		コミュニケーション力		

**授業のテーマ：**

高校までに学習した英語の知識を確認し、どのように使うかを習得する。

**授業の概要：**

基礎的な文法の確認から始めてコミュニケーション活動へと進む

**授業の計画：**

1. 2. 5文型・・・5つの文型さえわかれば英語は話せる
3. 4. 現在形と過去形・・・「今」と「昔」を表現する
5. 6. 未来形・・・自分の予定や意思を相手に伝える
7. 8. 進行形・・・現在形だけの英語を卒業する
9. 10. 完了形・・・英語独特の時間感覚を身につける
11. 12. 受動態・・・受動態でなければ話せないこと
13. 14. 不定詞と動名詞・・・会話のための便利な表現
15. 16. 分詞・・・分詞を使ってスマートな表現を
17. 18. 形容詞・・・自分の気持ちや意見を伝える
19. 20. 副詞・・・修飾語句の使い方に慣れる
21. 22. 接続詞・・・語句や文をつなぐ
23. 24. 疑問詞・・・疑問文の答え方もマスター
25. 26. 関係詞・・・相手に何か説明するときが必要
27. 28. 比較・・・比較表現を用いているいろいろなことを表現する
29. 30. 仮定法・・・表現に幅が出る「事実に反する仮定」

**授業方法：**

文法を確認→リスニング→文法を活用した会話練習（発音やイントネーションの指導を含む）→重要表現の確認とまとめ

**達成目標：**

これまでに学習してきた基礎英文法を定着させ、これに基づいた英語が使えるようになること。

**評価方法：**

授業中の参加 50% 試験 50%

**教科書：**

小中秀彦（著）『会話作文のための復習英文法』朝日出版社 1800円＋税

**参考文献：**なし

**実験・実習・教材費：**なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30103	英語 (1)	1	2	日比野雅彦

期間	曜日／時限	備考：週2回開講
前期	水／1・木／2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

授業の到達目標およびテーマ

英語を使ってコミュニケーションをとるとはということかについて考えを進め、コミュニケーションに必要な基礎知識（文法・語彙・表現）を学び、外国語を使ったコミュニケーションの基礎を習得する。

#### 授業の概要：

リーディング、基礎文法の復習、語彙力増強、およびリスニング、スピーキングをバランスよく学び総合的に英語の基本的な表現力を身につけ、簡単な表現で英語が使えるようになることを目標とする。

#### 授業の計画：

(1)	Chapter 1 : Breaking the Ice (1)	(1 6)	Chapter 8 : Invitations and Social Life (2)
(2)	Chapter 1 : Breaking the Ice (2)	(1 7)	Chapter 9 : Leisure and Free Time (1)
(3)	Chapter 2 : Student Life (1)	(1 8)	Chapter 9 : Leisure and Free Time (2)
(4)	Chapter 2 : Student Life (2)	(1 9)	Chapter 10 : Vacations (1)
(5)	Chapter 3 : Families and Hobbies (1)	(2 0)	Chapter 10 : Vacations (2)
(6)	Chapter 3 : Families and Hobbies (2)	(2 1)	Chapter 11 : Airports and Travel (1)
(7)	Chapter 4 : University Life (1)	(2 2)	Chapter 11 : Airports and Travel (2)
(8)	Chapter 4 : University Life (2)	(2 3)	Chapter 12 : Hotels (1)
(9)	Chapter 5 : Shopping (1)	(2 4)	Chapter 12 : Hotels (2)
(1 0)	Chapter 5 : Shopping (2)	(2 5)	Chapter 13 : Getting around Town (1)
(1 1)	Chapter 6 : My Home Town (1)	(2 6)	Chapter 13 : Getting around Town (2)
(1 2)	Chapter 6 : My Home Town (2)	(2 7)	Chapter 14 : Entertaining (1)
(1 3)	Chapter 7 : Food and Thought (1)	(2 8)	Chapter 14 : Entertaining (2)
(1 4)	Chapter 7 : Food and Thought (2)	(2 9)	Chapter 15 : Health Problems (1)
(1 5)	Chapter 8 : Invitations and Social Life (1)	(3 0)	Chapter 15 : Health Problems (2)

#### 授業方法：

1 課を 2 回にわけて学習する。1 回目は教科書の内容について学び、2 回目は学んだ表現を使って実際のコミュニケーションに応用する。授業では辞書の使い方を確認し、本文の内容の概略をつかみ、練習問題をおこなう。毎回、簡単な表現を使ってプレゼンテーションの原稿を作成する。

#### 達成目標：

「言語に関するヨーロッパ共通基準 (CEF)」の B 1 (自立可能レベル：身近な話題について、標準的でわかりやすい話し方であれば要点を理解でき、簡単な話ができる) 初級

#### 評価方法：

授業への取り組み (20%) と課題およびプレゼンテーション評価 (80%) による総合評価

S : B1 レベルがほぼ完全にできる

A : 上記項目についてやや問題はあがるが、ほぼ完全にできる

B : やや問題はあがるが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C : 表現に問題はあがるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D : C のレベルに到達していない

#### 教科書：

David ALLAN 著 『やさしく学べる総合英語』 朝日出版社、1800 円

#### 参考文献：

英和辞典 (電子辞書でも可)

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30104	英語(1)	1	2	森 順子

期間	曜日/時限	備考：週2回開講
前期	水/1・金/2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

英語を読む、書く、聴く、話す総合的な力を身につけること。

**授業の概要：**

英文の読解を経て、ディスカッションなどで自分の考えを英語で発表できる段階まで楽しく到達できることを目指す。同時にラジオテキストを使用する。

**授業の計画：**

- 1 オリエンテーション
- 2 知性と心
- 3 からだ
- 4 色
- 5 演習
- 6 動物
- 7 植物
- 8 食べ物
- 9 演習
- 10 衣類
- 11 家、家具
- 12 演習
- 13 生死
- 14 数
- 15 まとめ

**授業方法：**

テキストを全員で読解する。適宜文法事項の説明を加えながら解説を行う。自分の意見を発表し合う時には、英語での発表をみんなで楽しみたい。同時にラジオテキストの英文を毎日音読することにより口の筋肉を鍛え暗唱したい。

**達成目標：**

読解力以外にコミュニケーション力を習得すること。特に英語による発表にみんなで楽しんで取り組む姿勢をもつこと。

**評価方法：**

授業の取り組み60%試験40%

英語の読解力をもち完成度の高い独自のコミュニケーションができる…………… S

英語の読解力をもち独自のコミュニケーションができる…………… A

英語の読解力をもちコミュニケーションができる…………… B

英語の読解力をもち合格ラインのコミュニケーションができる…………… C

Cのレベルに達していない…………… D

**教科書：**

George Mano 著『ENGLISH IDIOMS FOR MORE EFFECTIVE LEARNING』松柏社(1900円+税)  
毎月販売のNHKラジオテキスト『英語5分間トレーニング』(380円)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30105	英語(1)	2・3・4	2	森 順子

期間	曜日/時限	備考
前期	木/5・金/1	週2回開講 再履修者指定クラス

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、分析総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

英語を読む、書く、聴く、話す総合的な力を身につけること。

**授業の概要：**

週一回の授業では、英文の読解を経て、ディスカッションなどで自分の考えを英語で発表できる段階まで楽しく到達できることを目指す。もう一回の授業では文法書の前半部を終える。

**授業の計画：**

- 1 オリエンテーション
- 2 知性と心
- 3 からだ
- 4 色
- 5 演習
- 6 動物
- 7 植物
- 8 食べ物
- 9 演習
- 10 衣類
- 11 家、家具
- 12 演習
- 13 生死
- 14 数
- 15 まとめ

**授業方法：**

週二回ある授業のうち、一回の授業では、テキストを全員で読解する。適宜文法事項の説明を加えながら解説を行う。自分の意見を発表し合う時には、英語での発表をみんなで楽しみたい。もう一回の授業では文法書を使用する。

**達成目標：**

読解力以外にコミュニケーション力を習得すること。特に英語による発表にみんなで楽しんで取り組む姿勢をもつこと。文法書の前半部を終えること。

**評価方法：**

授業の取り組み60% 試験40%

英語の読解力をもち完成度の高い独自のコミュニケーションができる…S  
 英語の読解力をもち独自のコミュニケーションができる……………A  
 英語の読解力をもち相応のコミュニケーションができる……………B  
 英語の読解力をほぼ相応のコミュニケーションができる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

George Mano 著『ENGLISH IDIOMS FOR MORE EFFECTIVE LEARNING』松柏社(1900円+税)  
 Y・Tomoshige 著『A COMMUNICATIVE GRAMMAR OF ENGLISH』南雲堂(2100円)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30201	英語(2)	1	2	岡 良和

期間	曜日/時限	備考：週2回開講
後期	月/2・水/1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
TOEIC 基礎、聴解、読解	コミュニケーション力

**授業のテーマ：**

TOEIC Test の問題を通して受信能力を身につける。

**授業の概要：**

TOEIC の形式の課題に取り組みリーディングとリスニングの能力を育成する。

**授業の計画：**

1. 2. 3. オフィスでー自動詞と他動詞
4. 5. 買い物ー形容詞・副詞・前置詞
6. 7. 8. 食事ー名詞と冠詞
9. 10. 11. 健康・スポーツー進行形
12. 13. コマーシャルー完了形
14. 15. 数字ー不定詞
16. 17. 日常生活のトラブルー動名詞
18. 19. 余暇・社交ー関係代名詞と関係副詞
20. 21. 22. ガイドー複文
23. 24. 25. 説明ー受動態
26. 27. いろいろな国の英語 1 - 分詞
28. 29. 30. いろいろな国の英語 2 - 比較表現

**授業方法：**

リスニング：聞き方のコツを示し、練習問題に取り組み、聞き取りにくい個所を検討する。リーディング：文法や読解の練習問題に取り組み、英文の要点を把握する。また重要語句を確認する。

**達成目標：**

TOEIC 基礎レベルである 300 点程度の英語運用能力の育成

**評価方法：**

授業中での取り組み 50% 試験 50%

**教科書：**

田辺正美ほか(著)『TOEIC テスト トレーナー ターゲット 350』 トムソンラーニング  
2100円 (CD付き)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30202	英語(2)	1	2	宮本昭義
期間	曜日/時限	備考：週2回開講		
後期	月/3・水/1			
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
TOEIC 基礎、聴解、読解		コミュニケーション力		

**授業のテーマ：**

TOEIC Test の問題を通して受信能力を身につける。

**授業の概要：**

TOEIC の形式の課題に取り組みリーディングとリスニングの能力を育成する。

**授業の計画：**

1. 2. 3. オフィスで—自動詞と他動詞
4. 5. 買い物—形容詞・副詞・前置詞
6. 7. 8. 食事—名詞と冠詞
9. 10. 11. 健康・スポーツ—進行形
12. 13. コマーシャル—完了形
14. 15. 数字—不定詞
16. 17. 日常生活のトラブル—動名詞
18. 19. 余暇・社交—関係代名詞と関係副詞
20. 21. 22. ガイド—複文
23. 24. 25. 説明—受動態
26. 27. いろいろな国の英語 1—分詞
28. 29. 30. いろいろな国の英語 2—比較表現

**授業方法：**

リスニング：聞き方のコツを示し、練習問題に取り組み、聞き取りにくい個所を検討する。リーディング：文法や読解の練習問題に取り組み、英文の要点を把握する。また重要語句を確認する。

**達成目標：**

TOEIC 基礎レベルである 300 点程度の英語運用能力の育成

**評価方法：**

授業中での取り組み 50% 試験 50%

**教科書：**

田辺正美ほか（著）『TOEIC テスト トレーナー ターゲット 350』トムソンラーニング  
2,100 円（CD 付き）

**参考文献：**なし

**実験・実習・教材費：**なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30203	英語(2)	1	2	日比野雅彦

期間	曜日/時限	備考: 週2回開講
後期	水/1・木/2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ:

授業の到達目標およびテーマ

英語を使ってコミュニケーションをとるとはどういうことかについて考えを進め、コミュニケーションに必要な基礎知識(文法・語彙・表現)を学び、外国語を使ったコミュニケーションの基礎を習得する。

#### 授業の概要:

リーディング、基礎文法の復習、語彙力増強、およびリスニング、スピーキングをバランスよく学び総合的に英語の基本的な表現力を身につけ、簡単な表現で英語が使えるようになることを目標とする。

#### 授業の計画:

- |      |                            |      |                          |
|------|----------------------------|------|--------------------------|
| (1)  | 1. 「名前」                    | (17) | 5文型、現在進行形、現在分詞、「感情表現」    |
| (2)  | 動詞の基本、「自己紹介」               | (18) | 8. 「男性と女性」               |
| (3)  | 2. 「あなた」                   | (19) | 過去時制、現在完了時制、「伝言」         |
| (4)  | 名詞と代名詞、「他己紹介」              | (20) | 9. 「和製英語」                |
| (5)  | 3. 「英語の中の外来語」              | (21) | 受動態、過去分詞、Itの用法、「公共アナウンス」 |
| (6)  | 形容詞、副詞、比較、「レストラン案内」        | (22) | 7～9のまとめと復習               |
| (7)  | 1～3のまとめと復習                 | (23) | 10. 「俗語」                 |
| (8)  | 4. 「ジョーク」                  | (24) | 関係詞                      |
| (9)  | 構文について、疑問詞、前置詞、「レストランでの注文」 | (25) | 11. 「英語の俳句」              |
| (10) | 5. 「外国語としての英語」             | (26) | 仮定法、「郵便局での会話」            |
| (11) | 助動詞、「店内の案内」                | (27) | 12. 「異文化コミュニケーション」       |
| (12) | 6. 「英語のつづり」                | (28) | 冠詞、文                     |
| (13) | 動名詞、不定詞、「問題解決」             | (29) | 10～12のまとめと復習             |
| (14) | 4～6のまとめと復習                 | (30) | 7～12で学んだ英語でのプレゼンテーション    |
| (15) | 1～6で学んだ英語でのプレゼンテーション       |      |                          |
| (16) | 7. 「アメリカ英語とイギリス英語」         |      |                          |

#### 授業方法:

次に読む英語の単語や熟語をあらかじめ調べ、CDをよく聞いて繰り返し練習をしてください。授業では辞書の使い方を確認し、本文の内容の概略をつかみ、内容について考えます。基本文法の確認をしてそれをもとに練習問題をして表現に慣れ、簡単なことを英語で表現します。毎回、課題を提出。

#### 達成目標:

「言語に関するヨーロッパ共通基準(CEF)」のA2(基礎レベル初級:きわめて身近な領域に関する文や表現を理解でき、簡単に直接的なコミュニケーションをはかることができる)

#### 評価方法:

授業への取り組み(20%)と課題およびプレゼンテーション評価(80%)による総合評価

S: A2レベルをほぼ完全にできる

A: 上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる

B: やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C: 表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D: Cのレベルに到達していない

#### 教科書:

小島章子、Daniel H. Lowit 著 『イングリッシュ・ワールド』 朝日出版社、1700円

#### 参考文献:

英和辞典(電子辞書でも可)

#### 実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30204	英語(2)	1	2	森 順子

期間	曜日/時限	備考: 週2回開講
後期	水/1・金/2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性(社会的相互関係力)

**授業のテーマ:**

英語を読む、書く、聴く、話す総合的な力を身につけること。

**授業の概要:**

英文の読解を経て、ディスカッションなどで自分の考えを英語で発表できる段階まで楽しく到達できることを目指す。同時にラジオテキストを使用する。

**授業の計画:**

- 1 時間
- 2 名前
- 3 お金
- 4 演習
- 5 天気
- 6 空気と水
- 7 大地と火
- 8 演習
- 9 世界
- 10 からだ
- 11 演習
- 12 スポーツ
- 13 その他
- 14 演習
- 15 まとめ

**授業方法:**

テキストを全員で読解する。適宜文法事項の説明を加えながら解説を行う。自分の意見を発表し合う時には、英語での発表をみんなで楽しみたい。同時にラジオテキストの英文を毎日音読することにより口の筋肉を鍛え暗唱したい。

**達成目標:**

読解力以外にコミュニケーション力を習得すること。特に英語による発表にみんなで楽しんで取り組む姿勢をもつこと。

**評価方法:**

授業の取り組み60% 試験40%

英語の読解力をもち完成度の高い独自のコミュニケーションができる…………… S

英語の読解力をもち独自のコミュニケーションができる…………… A

英語の読解力をもちコミュニケーションができる…………… B

英語の読解力をもち合格ラインのコミュニケーションができる…………… C

Cのレベルに達していない…………… D

**教科書:**

George Mano 著『ENGLISH IDIOMS FOR MORE EFFECTIVE LEARNING』松柏社(1900円+税)  
毎月販売のNHKラジオテキスト『英語5分間トレーニング』(380円)

**参考文献:**

なし

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30205	英語(2)	2・3・4	2	森 順子

期間	曜日／時限	備考：週2回開講 再履修者指定クラス
後期	木／5・金／1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、分析総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

英語を読む、書く、聴く、話す総合的な力を身につけること。

**授業の概要：**

週一回の授業では、英文の読解を経て、ディスカッションなどで自分の考えを英語で発表できる段階まで楽しく到達できることを目指す。もう一回の授業では文法書の後半部を終える。

**授業の計画：**

- 1 時間
- 2 名前
- 3 お金
- 4 演習
- 5 天気
- 6 空気と水
- 7 大地と火
- 8 演習
- 9 世界
- 10 からだ
- 11 演習
- 12 スポーツ
- 13 その他
- 14 演習
- 15 まとめ

**授業方法：**

週二回ある授業のうち、一回の授業ではテキストを全員で順番に読解する。適宜文法事項の説明を加えながら解説を行う。ディスカッションの時間には自分の意見を発表し合う。英語で発表できる到達点までみんなで楽しみたい。もう一回の授業では文法書を使う。

**達成目標：**

読解力の他コミュニケーション力を習得する。特に英語による発表にみんなで楽しんで取り組む姿勢をもつこと。文法書は後半部を終えること。

**評価方法：**

授業の取り組み60% 試験40%

英語の読解力をもち完成度の高い独自のコミュニケーションができる…S

英語の読解力をもち独自のコミュニケーションができる……………A

英語の読解力をもち相応のコミュニケーションができる……………B

英語の読解力をほぼ相応のコミュニケーションができる……………C

Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

George Mano 著『ENGLISH IDIOMS FOR MORE EFFECTIVE LEARNING』松柏社(1900円+税)

Y・Tomoshige 著『A COMMUNICATIVE GRAMMAR OF ENGLISH』南雲堂(2100円)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30301	英語 (3)	2・3・4	2	磯貝 明

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
語学力、読解力、コミュニケーション	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

英文の精読によって読解力を高めることを目的とする。内容は比較的容易であると思われるが、正確な読解に重点をおいていく。

#### 授業の概要：

9.11 同時多発テロの実態を精査した報告書「The 9.11 Commission Report」を素材として、これを精読することによって長文読解力を習得する。また内容把握の後、TOEIC 形式を含めた総合的な英語演習問題を解き、理解程度の確認を行う。

#### 授業の計画：

各回の英文について精読し、内容を理解し、問題を解いていく。

##### 前期

1. オリエンテーション、受講上の注意点
2. Lesson 1 (Tuesday, September 11, 2001)
3. Lesson 2 (The Hijacking of American 11)
4. Lesson 3 (The Hijacking of United 175)
5. Lesson 4 (The Hijacking of American 77)
6. Lesson 5 (The Battle of United 93 ①)
7. Lesson 6 (The Battle of United 93 ②)
8. Lesson 7 (American 11: Military Response)
9. Lesson 8 (United 175 ① FAA Awareness)
10. Lesson 9 (United 175 ② FAA Awareness)
11. Lesson 10 (American 77 FAA Awareness)
12. Lesson 11 (American Airlines)
13. Lesson 12 (United 93 ① FAA Awareness)
14. Lesson 13 (United 93 ② FAA Awareness)
15. Lesson 14 (A Flight Crashed Into WTC1)

##### 後期

1. Lesson 15 (Then the Second Plane Hit ①)
2. Lesson 16 (Then the Second Plane Hit ②)
3. Lesson 17 (Then the Second Plane Hit ③)
4. Lesson 18 (The South Tower Collapsed ①)
5. Lesson 19 (The South Tower Collapsed ②)
6. Lesson 20 (The South Tower Collapsed ③)
7. Lesson 21 (The South Tower Collapsed ④)
8. Lesson 22 (NYPD and After 10:28 am)
9. 配布プリント
10. 配布プリント
11. 配布プリント
12. 配布プリント
13. 配布プリント
14. 配布プリント
15. 配布プリント

#### 授業方法：

テキスト及び配布するプリントの英文を精読する。精読した後で、内容に関する問題を解き、内容について理解できているかを確認する。

#### 達成目標：

長文の正確な読解力、語彙力

#### 評価方法：

定期試験または小テスト 60%、授業への取り組み 40%

前期・後期それぞれ規定回数以上の発表（音読・翻訳・問題解答等）を課す。

\* 受講者少数の場合は演習形式とし、試験を行わず、発表と授業への取り組みのみで評価する。

#### 教科書：

Hideo Takemura 『The 9・11 Commission Report』 三修社 ¥1,995  
配布プリント

#### 参考文献：

必要に応じて適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30302	英語 (3)	2・3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
Nature, Environment, Air Pollution, Global Warming	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

環境に関する基礎的な英語文章の読解能力を養います。

**授業の概要：**

英文で書かれた環境問題に関するテキスト『Nature and the Environment』のプログラムに従って進めます。授業速度は各章を2回程度で進めます。

**授業の計画：**

<前期>

- 1回 授業の概要
- 2・3回 Chapter 1 Why Study Environmental Issues ?
- 4・5回 Chapter 2 Endangered and Extinct Species
- 6・7回 Chapter 3 Medicines from Nature
- 8・9回 Chapter 4 Rain Forests
- 10・11回 Chapter 5 Ecotourism
- 12・13回 Chapter 6 Wildlife Trafficking
- 14・15回 Chapter 7 Abuse of the Oceans

<後期>

- 1・2回 Chapter 8 Freshwater Pollution
- 3・4回 Chapter 9 Acid Rain
- 5・6回 Chapter 10 Air Pollution
- 7・8回 Chapter 11 Global Warming
- 9・10回 Chapter 12 Fossil Fuels and Nuclear Energy
- 11・12回 Chapter 13 Renewable Sources of Energy
- 13・14回 Chapter 14 Toxic Catastrophes
- 15回 まとめ

**授業方法：**

受講者には、順次にテキスト本文の音読と翻訳、各章に付属する練習問題をしてもらい内容のいっそうの理解を深めます。

**達成目標：**

環境分野の基礎的用語の英文表記を修得するとともに、中レベルの文章構造を即座に理解できるようになることをめざします。

**評価方法：**

授業の取り組み 40%、テスト 60% (前期 30%、後期 30%) で評価します。

- 正確で流暢な音読、文章構造を即座に理解し、日本語として完成された翻訳… S
- 正確な音読、文章構造を理解し、日本語として違和感の少ない翻訳…………… A
- 正確さをやや欠く音読、文章構造を理解し、直訳できる…………… B
- 正確さをやや欠く音読、文章構造の理解と直訳にやや時間がかかる、…………… C
- C のレベルに達していない…………… D

**教科書：**

Greg Goodmacher 著、福田一雄編著『Nature and the Environment』(成美堂/1,700円+税)

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30303	英語 (3)	2・3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境、経済、日本の精神と文化	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

環境、経済、日本の精神と文化を総合的に学ぶ。

**授業の概要：**

日本古来の環境意識、死生観などに関する知識を学び、それらが環境問題や医療問題への取り組みにどう関わってくるかを考える。

**授業の計画：**

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| (前期)                | (後期)          |
| (1) イントロダクション       | (1) 存続可能な経済   |
| (2) 食糧問題            | (2) 演習問題      |
| (3) 問題演習            | (3) 有効な税体系    |
| (4) 持続可能なエネルギー      | (4) 演習問題      |
| (5) 問題演習            | (5) 地球温暖化問題   |
| (6) 汚染排出の少ない交通機関と住宅 | (6) 演習問題      |
| (7) 演習問題            | (7) 公平な医療システム |
| (8) 水の供給            | (8) 演習問題      |
| (9) 演習問題            | (9) 高齢者の介護    |
| (10) 人口問題           | (10) 演習問題     |
| (11) 演習問題           | (11) 終末医療     |
| (12) 教育について         | (12) 演習問題     |
| (13) 演習問題           | (13) 演習問題     |
| (14) 演習問題           | (14) 演習問題     |
| (15) 演習問題           | (15) 演習問題     |

**授業方法：**

毎週1章分ほど予習しておく。本文全体を聞き取った後、一人一文ずつ訳してもらう。本文が終わったら演習問題を解く。

**達成目標：**

適切に訳すことができるだけでなく、内容全体を明確に理解する。

**評価方法：**

授業への取り組み…50%      期末試験…50%

適切に訳すことができるだけでなく、内容を明確に理解している……S

適切に訳すことができるだけでなく、内容をある程度理解している…A

適切に訳すことができる………B

ところどころ間違えているが、訳すことができる………C

上記のレベルに達していない………D

**教科書：**

Carl Becker, Japan's Wisdom: How it can save the Future, 田守育啓・富永英夫注解『ジャパニーズ・ウィズダム－日本の知恵が未来を救う』英宝社。1995 円

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30401	英語(4)	2・3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
語学に王道なし、諦めない、異文化世界への関心	コミュニケーション力、社交性(社会的相互関係力)

**授業のテーマ：**

年間を通じての出席とまじめな予習と受講態度を求めます。繰り返し基本に立ち返るので再チャレンジ意欲と欠席しない覚悟のある人のみを歓迎したい。一緒にがんばろう！

**授業の概要：**

きっちりとした構文から成る親しみやすい短文の多読・精読、英単語テスト、文法の再学習という三段構えで効率的に英語学習に取り組む。

**授業の計画：**

外国の人々の、日本と日本人への興味と疑問に答える主旨で書かれた日本紹介の文章を多読する。

前期：日本人の暮らし

後期：日本の文化

・ 1課 家族

・ 1課 年中行事

・ 2課 住居

・ 2課 芸能

・ 3課 教育

・ 3課 芸術

・ 4課 食

・ 4課 娯楽

・ 5課 仕事

・ 5課 スポーツ

・ 6課 結婚

・ 6課 和の文化等

・ 7課 冠婚葬祭等)

・ 7課 天皇制

以上を軸に文法学習を交互に入れる、それぞれ最後の回をまとめとする。

**授業方法：**

基本的にはテキストの輪読を軸にして進めるが、

- ・ 毎回、指定小辞書4ページ分の単語テストを実施する。
- ・ 代表的な英語構文(約160例文)についても解説する。

**達成目標：**

グローバル世界への関心もつこと。英語の自学自習のノウハウを身に付けること。

**評価方法：**

出席点60%、定期試験40%(チャレンジ点と自主的なホームワーク提出も考慮)

**教科書：**

- ・ テキストはプリントして配布する。<クラスで友人関係をつくることも大切という理由により(届があった場合を除いて)再配布しないので、貸し借りすること。
- ・ 「茅ヶ崎方式 改訂新版 国際英語基本 4000語(ポケット版)」(茅ヶ崎出版)

**参考文献：**

到達度にあわせて個人指導する

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30501	海外英語実習 I	1・2・3・4	2	岡 良和

期間	曜日	時限	備考：この科目は事前にガイダンスを実施したうえで履修登録を確定させます。後日、別途期間を定めて追加履修登録を受付けます。
前期	集中	8月頃	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語運用力、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

授業で学んだ英語力やその運用能力をより高めること、また、実生活を通して英語圏の文化や生活・風俗・歴史にじかに触れ、人々と英語でコミュニケーションすることにより、国際人としての視野を広げる。なお、このプログラムにおいては、滞在中に起こる諸問題を自ら解決する能力を身につけることも目的とするので、原則として教員は同行しない。

**授業の概要：**

研修先で実施されるテストにより習熟度別のクラスに配属された上で、1週当たり20時間で構成される集中コースを4週間受講し、日常的な英語を学ぶ。

**授業の計画：**

研修校のプログラムに準ずる。

**授業方法：**

研修校のプログラムに準ずる。

**達成目標：**

英語圏で生活するのに不自由しない程度の語学力と文化理解力を身につける。

**評価方法：**

研修校で発行される成績に基づいて行う。

**教科書：**

研修校で与えられる。

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

**研修にかかる費用（概算）：**

50万円程度（航空券代20万円程度、レッスン代（テキスト代含む）滞在費30万円程度、その他）  
いったん納入された費用は返還されない。

**登録方法：**

4月下旬に説明会を行い適性に関する審査のうえ、別途履修登録を行う。

**危機管理について：**

旅行者損害保険には必ず加入してもらうが、病気、事故、犯罪被害などの諸問題に関しては、事故責任を基本とする。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A30601	時事英語	1・2・3・4	2	石上文正

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
①マスコミの英語を読む、②社会・世界の動きを知る、③英語を精読する	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

この授業の目的は、英字新聞や英語の雑誌を読む力を身につけることを目的としています。さらに、授業に準拠したテープも聴いてもらい、ある程度海外の英語ニュースを聴き取れる力を身につけることも目指します。また、時事英語はたんなる英語の学習ではなく、ニュース英語を通して、現代の社会、内外の政治、経済、環境、軍事等についての理解を深めることも重要な目的です。

**授業の概要：**

毎回、異なったテーマの英文を声をだして読み、読解し、重要な箇所については、翻訳もすることになります。また、英語の授業ですので、重要な単語や構文を暗唱します。

**授業の計画：**

前期

1. Chapter 1 国内政治
2. Chapter 1 国内政治
3. Chapter 1 国内政治
4. Chapter 2 ビジネス
5. Chapter 2 ビジネス
6. Chapter 2 ビジネス
7. Chapter 3 外交・国際会議
8. Chapter 3 外交・国際会議
9. Chapter 3 外交・国際会議軍事
10. Chapter 4 海外政治情勢軍事
11. Chapter 4 海外政治情勢事故・災害
12. Chapter 4 海外政治情勢事故・災害
13. Chapter 7 犯罪・司法
14. Chapter 7 犯罪・司法
15. まとめ

後期

1. Chapter 8 環境・公害
2. Chapter 8 環境・公害
3. Chapter 8 環境・公害
4. 自作プリント
5. 自作プリント
6. 自作プリント
7. Chapter 9 文化・科学
8. Chapter 9 文化・科学
9. Chapter 10 スポーツ
10. Chapter 10 スポーツ
11. 自作プリント
12. 自作プリント
13. 自作プリント
14. 自作プリント
15. まとめ

**授業方法：**

授業は、下記教材を用いて行い、次のような学習を中心におこないます。

- ①基礎的な英文の精読（文法的にも語彙的にも英文を理解する）
- ②英文のリスニング
- ③英文の音読
- ④英文の暗唱
- ⑤基礎的な英文法の確認
- ⑥英文の翻訳

**達成目標：**

社会の動きに興味をもち、理解するとともに、人前で声を出して読んだり、暗唱したりする訓練を通じて、コミュニケーション力を高めることの二つが目標です。

**評価方法：**

定期試験（筆記）（60%）および授業への取り組み（40%）によって評価する。

**教科書：**

『時事英語の総合演習 2011年度版』 朝日出版社 1,500円＋税  
授業に、英和辞典を持参すること

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名		対象学年	単位数	担当教員名
A30701	英会話(1)		2・3・4	2	ジェラルド・マクレラン
期間	曜日	時限	備考:		
通年	金	1			
授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力		
Speaking, Listening, Communicating			コミュニケーション力		

授業のテーマ :

In this class students will be required to be able to communicate in English at a basic level. This class will concentrate on reinforcing the language learned at junior high school.

As the level is low, students will be expected to master it and to do well in tests. We will do easy tasks in English and there are many structured questions to build confidence.

授業の概要 :

We will cover all the basic grammar points. Students should be prepared to speak in class and to contribute to the lessons. Students who assume a passive role will fail this class.

授業の計画 :

1 Unit 1: What's in a name?	16 Unit 7: What time do you get up?
2 Unit 1	17 Unit 7
3 Unit 2: Where do you live?	18 Unit 8: how was your holiday?
4 Unit 2	19 Unit 8:
5 Unit 3: When is your birthday?	20 Unit 9: What are you going to do?
6 Unit 3:	21 Unit 9
7 Unit 4: Free Time	22 Unit 10: how can I get to the station
8 Unit 4:	23 Unit 10:
9 Unit 5: At home	24 Unit 11: how do you make that?
10 Unit 5	25 Unit 11:
11 Unit 6: Free Time	27 Unit 12: Do you want to get married
13 Unit 7: Can you dance?	28 Unit 12:
14 Unit 7:	29 Unit 13: Do you think it will rain?
15 Class Test	30 Class Test

授業方法 :

We will use the textbook to discuss the various topics. Each unit should take two class periods.

達成目標 :

The aim is to allow students to use language that they should already know in a natural way. Emphasis will be given to listening and speaking in this class. Students will be required to study.

評価方法 :

Effort/ Participation: 20%. Class Tests: 80%. Students who DO NOT attend this class will fail.  
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 80% in class tests..... S  
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 70% in class tests.....A  
 Participates in class, communicates with difficulty, and gets over 60% in class tests.....B  
 Participates in class, communicates with help, and gets over 60% in class tests.....C  
 Fails to show, doesn't participate in class, gets below 60% in class tests.....D

教科書 :

Gerry Mclellan. Everyday English. MGS publications ( ¥2000)

参考文献 : None

実験・実習・教材費 : None

授業コード	授業科目名		対象学年	単位数	担当教員名
A30801	英会話(2)		2・3・4	2	ジェラルド・マクレラン
期間	曜日	時限	備考：		
通年	金	3			
授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力		
Speaking, listening, Communication			コミュニケーション力		

授業のテーマ：

In this class students will be required to be able to communicate in English at a basic level. This class will concentrate on reinforcing the language learned at junior high school.

As the level is low, students will be expected to master it and to do well in tests. We will do easy tasks in English and there are many structured questions to build confidence.

授業の概要：

We will cover all the basic grammar points. Students should be prepared to speak in class and to contribute to the lessons. Students who assume a passive role will fail this class.

授業の計画：

1 Unit 1: What's in a name?	16 Unit 7: What time do you get up?
2 Unit 1	17 Unit 7
3 Unit 2: Where do you live?	18 Unit 8: how was your holiday?
4 Unit 2	19 Unit 8:
5 Unit 3: When is your birthday?	20 Unit 9: What are you going to do?
6 Unit 3:	21 Unit 9
7 Unit 4: Free Time	22 Unit 10: how can I get to the station
8 Unit 4:	23 Unit 10:
9 Unit 5: At home	24 Unit 11: how do you make that?
10 Unit 5	25 Unit 11:
11 Unit 6: Free Time	27 Unit 12: Do you want to get married
13 Unit 7: Can you dance?	28 Unit 12:
14 Unit 7:	29 Unit 13: Do you think it will rain?
15 Class Test	30 Class Test

授業方法：

We will use the textbook to discuss the various topics. Each unit should take two class periods.

達成目標：

The aim is to allow students to use language that they should already know in a natural way. Emphasis will be given to listening and speaking in this class. Students will be required to study.

評価方法：

Effort/ Participation: 20%. Class Tests: 80%. Students who DO NOT attend this class will fail.  
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 80% in class tests..... S  
 Participates in class, speaks fluently, and gets over 70% in class tests.....A  
 Participates in class, communicates with difficulty, and gets over 60% in class tests.....B  
 Participates in class, communicates with help, and gets over 60% in class tests.....C  
 Fails to show, doesn't participate in class, gets below 60% in class tests.....D

教科書：

Angela Buckingham 著 「My First passport level 1」 Oxford University Press

参考文献：None

実験・実習・教材費：None

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33101	中国語(1)	1・2・3・4	2	石田卓生

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
通年	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
中国語、中国文化、簡体字（中国の漢字）	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

日本人が何気に使っている「漢字」とは、もともと中国に住む「漢」民族の「字」という意味です。つまり、日本人は外国語という点ではアルファベットやハングルと同じであるはずの「漢字」に自らの言葉を託しているのです。このことからわかるように日本と中国の関係はとて深いです。また、両国は地理的にも近く、旅行、ビジネスなどでも将来的にさまざまな交流がなされるに違いありません。本授業では、今後ますます重要性をますますおもわれる中国語の基礎的な学力を身につけていきます。

#### 授業の概要：

- ・ピンイン（「拼音」中国語のローマ字綴り）と常用する簡体字を習得します。
- ・基礎的な文法事項を学び、それらを用いた表現を練習していきます。

#### 授業の計画：

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>前期（第1～9課）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス、第1課・声調</li> <li>2. 第2課・有気音・無気音</li> <li>3. 第2～3課・そり舌音</li> <li>4. 第4～5課・発音のまとめ</li> <li>5. 発音のテスト</li> <li>6. 第6課①・動詞“是”、疑問文</li> <li>7. 第6課②・復習、練習</li> <li>8. 第7課①・動詞述語文、形容詞述語文</li> <li>9. 第7課②・復習、練習</li> <li>10. 中間テスト</li> <li>11. 第8課①・指示代詞、疑問詞疑問文、連体修飾語、存在の“有”</li> <li>12. 第8課②・復習、練習</li> <li>13. 第9課①・量詞、所有の“有”、親族呼称、疑問詞と“都”</li> <li>14. 第9課②・復習、練習</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol> | <p>後期（第10～16課）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発音の復習</li> <li>2. 第10課①・反復疑問文、数量のたずね方、選択疑問文</li> <li>3. 第10課②・復習、練習</li> <li>4. 第11課・時間の表現</li> <li>5. 第12課①・変化の“了”、比較の表現</li> <li>6. 第12課②・復習、練習</li> <li>7. 第13課①・所在を表す“在”、前置詞“离”“从～到”</li> <li>8. 第13課②・復習、練習</li> <li>9. 中間テスト</li> <li>10. 第14課①・経験の表し方、助動詞“想”“打算”“要”、連動文、完了の“了”</li> <li>11. 第14課②・復習、練習</li> <li>12. 第15課①・助動詞“会”“能”、様態補語</li> <li>13. 第15課②・復習、練習</li> <li>14. 第16課①・動作の進行、結果補語、方向補語、動作の持続</li> <li>15. 第16課②・復習、練習</li> </ol> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
- ・ただし、受講生の習熟度により授業計画を変更することがあります。

#### 授業方法：

- ・毎回の授業は、①発音練習復習、②前回復習、③新出事項解説、④本文読解練習の順に進めます。
- ・随時、小テストを実施します。

#### 達成目標：

- ・ピンインを正しく発音できる。
- ・テキスト収録の重要表現の読み書きができる。

#### 評価方法：

- ・前後期2回の期末試験50%、平常点（出席、課題、小テスト、中間テスト）50%で評価します。
- 「S」正しい発音ができ、基礎的な文法事項を活用したコミュニケーションができる。
- 「A」正しい発音ができ、基礎的な文法事項に基づいたコミュニケーションができる。
- 「B」正しい発音ができ、基礎的な文法事項を用いた表現の読解ができる。
- 「C」ピンインを読むことができ、基礎的な文法事項を理解している。
- 「D」ピンイン、基礎的な文法事項を理解していない。
- ・正当な理由がなく前後期各6回以上欠席した者は期末試験受験資格を失います。
- ・正当な理由がなく遅刻した者は欠席とみなします。
- ・テキストを持参せずに受講すること、携帯電話を机に出すことを禁止します。違反者は退席の上、欠席とみなします。

#### 教科書：

相原茂・郭雲輝・保佐か律子共著『新訂 学ビテ時ニ之ヲ習フ』好文出版、2006年初版、2,520円。

#### 参考文献：

随時紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33301	原書講読（中国語）Ⅰ	2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

**授業のテーマ：**

コミュニケーション能力の育成をテーマとして、中国人の生活に関する文章を読み、日本との相違点・共通点も考えていく。

**授業の概要：**

原書講読とはいえ、意味をとるだけにならないことが重要なので、教科書にはピンインの付いたものを使用するが、慣れてきたらピンインの無い文章にも挑戦する。

**授業の計画：**

以下の予定。なおワープロ機能の都合で日本の常用漢字を使用。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 初級文法のポイント    | 2. 教育的公平（1）     |
| 3. 教育的公平（2）     | 4. 就職難（1）       |
| 5. 就職難（2）       | 6. 若年人婚観的变化（1）  |
| 7. 若年人婚観的变化（2）  | 8. 若年人婚観的变化（3）  |
| 9. 房奴（1）        | 10. 房奴（2）       |
| 11. 衆多的股民（1）    | 12. 衆多的股民（2）    |
| 13. 城市里的消費熱（1）  | 14. 城市里的消費熱（2）  |
| 15. まとめ（1）      |                 |
| 16. 考石宛族（1）     | 17. 考石宛族（2）     |
| 18. 考石宛族（3）     | 19. 保姆（1）       |
| 20. 保姆（2）       | 21. 民以食为天（1）    |
| 22. 民以食为天（2）    | 23. 民以食为天（3）    |
| 24. 80后与養兒防老（1） | 25. 80后与養兒防老（2） |
| 26. 養老危機（1）     | 27. 養老危機（2）     |
| 28. 公益活動在中国（1）  | 29. 公益活動在中国（2）  |
| 30. まとめ（2）      |                 |

**授業方法：**

演習形式。教科書にしたがって読み進めますが、進度は変更することがあります。

**達成目標：**

コミュニケーション能力のうち、特に文章の効果的な読み書きの能力を習得する。

**評価方法：**

試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。  
 理論を駆使して完成度の高い独自の読み書きができる…S  
 理論を部分的に活用して読み書きができる……………A  
 理論を使いながら内容の理解ができる……………B  
 理論や内容を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

授業時に指示する。

**参考文献：**

中日辞典。

**実験・実習・教材費：**

なし。



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33401	原書講読（中国語）Ⅱ	2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

**授業のテーマ：**

コミュニケーション能力の育成をテーマとして、中国人の生活に関する文章を読み、日本との相違点・共通点も考えていく。

**授業の概要：**

原書講読とはいえ、意味をとるだけにならないことが重要なので、教科書にはピンインの付いたものを使用するが、慣れてきたらピンインの無い文章にも挑戦する。

**授業の計画：**

以下の予定。なおワープロ機能の都合で日本の常用漢字を使用。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 初級文法のポイント    | 2. 教育的公平（1）     |
| 3. 教育的公平（2）     | 4. 就職難（1）       |
| 5. 就職難（2）       | 6. 若年人婚観的变化（1）  |
| 7. 若年人婚観的变化（2）  | 8. 若年人婚観的变化（3）  |
| 9. 房奴（1）        | 10. 房奴（2）       |
| 11. 衆多的股民（1）    | 12. 衆多的股民（2）    |
| 13. 城市里的消費熱（1）  | 14. 城市里的消費熱（2）  |
| 15. まとめ（1）      |                 |
| 16. 考石宛族（1）     | 17. 考石宛族（2）     |
| 18. 考石宛族（3）     | 19. 保姆（1）       |
| 20. 保姆（2）       | 21. 民以食为天（1）    |
| 22. 民以食为天（2）    | 23. 民以食为天（3）    |
| 24. 80后与養兒防老（1） | 25. 80后与養兒防老（2） |
| 26. 養老危機（1）     | 27. 養老危機（2）     |
| 28. 公益活動在中国（1）  | 29. 公益活動在中国（2）  |
| 30. まとめ（2）      |                 |

**授業方法：**

演習形式。教科書にしたがって読み進めますが、進度は変更することがあります。

**達成目標：**

コミュニケーション能力のうち、特に文章の効果的な読み書きの能力を習得する。

**評価方法：**

試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。

理論を駆使して完成度の高い独自の読み書きができる…S

理論を部分的に活用して読み書きができる……………A

理論を使いながら内容の理解ができる……………B

理論や内容を説明できる……………C

Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

授業時に指示する。

**参考文献：**

中日辞典。

**実験・実習・教材費：**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33501	ドイツ語(1)	1・2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考:
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文化理解、言語習得、読解力	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ:

本講は、ドイツ語の初学者を対象に、基礎的な文法の習得を目的とする。もっとも、どのような言語であっても、その言語の背景にある文化、歴史、社会について理解しておかなければならない。したがって、同時にドイツの文化、歴史、社会についても学んでいくこととなる。また、本講は1年間でドイツ語の基礎的な文法の一通りを習得しなければならないので、毎回の出席、予習、復習は必須である。

#### 授業の概要:

ドイツ語初級のテキストに沿い、文法を学ぶ。教科書は全12課であるので、ほぼ2回に1課ずつ進める。文法の解説、理解、発音練習、練習問題(和訳、独訳)など。練習問題の予習は必須。

#### 授業の計画:

前期	後期
1 ドイツ語の学び方	1 前期の復習
2 「さあ、ドイツ語の勉強をはじめましょう！」	2 LEKTION 6 前置詞の格支配 3・4格支配の前置詞 前置詞と定冠詞の融合
3 「ドイツ語の発音 基本原則」	3 LEKTION 6 演習
4 「注意すべき母音の発音、注意すべき子音の発音」	4 LEKTION 7 分離動詞・非分離動詞 形容詞の格変化 形容詞の比較級 序数
5 LEKTION 1 不定詞 動詞の現在人称変化(1) 最重要動詞	5 LEKTION 7 演習
6 LEKTION 1 演習	6 LEKTION 8 動詞の3基本形 過去形の人称変化 完了形
7 LEKTION 2 名詞の性と冠詞 名詞の格変化	7 LEKTION 8 演習
8 LEKTION 2 演習	8 LEKTION 9 話法の助動詞 未来形 非人称の es
9 LEKTION 3 定動詞の位置 並列の接続詞 従属の接続詞	8 LEKTION 9 演習
10 LEKTION 3 演習	10 LEKTION 10 再帰代名詞・再帰動詞 zu 不定詞 受動態
11 LEKTION 4 名詞の複数形 定冠詞類 不貞冠詞類 基数	11 LEKTION 10 演習
12 LEKTION 4 演習	12 LEKTION 11 定関係代名詞 指示代名詞 不定関係代名詞 関係副詞
13 LEKTION 5 動詞の現在人称変化(2)	13 LEKTION 11 演習
14 LEKTION 5 演習	14 LEKTION 12 接続法の作り方 間接話法 非現実話法
15 前期のまとめ	15 後期のまとめ

#### 授業方法:

ひとつのレッスンをほぼ2回の授業ですすんでいく。一回目には文法事項解説、発音練習など。2回目には教科書の練習問題を解く。練習問題の予習は必須で、アトランダムにあてる。

#### 達成目標:

ドイツ語初級文法を理解し身につける。

#### 評価方法:

出席状況、授業態度、試験(年2回)を総合的に評価する。特に、出席状況については条件を課す。後期試験を評価の基本とし、他で加減点する。試験80%、授業への取り組み20%。

- S. ほぼ完全に理解
- A. ほとんど理解
- B. ポイントを理解
- C. 理解している
- D. 理解していない

#### 教科書:

『Web Deutsch』(白水社/1,785円)

#### 参考文献:

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33502	ドイツ語(1)	1・2・3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考:
通年	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ドイツ語、基礎、ドリル	コミュニケーション力、問題解決力、分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ:**

ドイツ語文法の基礎を学び、基本的語彙（500語から1000語程度）を記憶する。

**授業の概要:**

教科書（全10課）に即し、ドイツ語文法知識の理解とドリルを頻繁に行う事により文法力・語彙力の定着を目指す。

**授業の計画（大体の予定）:**

前期	内容	後期	内容
第1回	概論：ドイツ語の特徴と学習方法など	第1回	第6課-1
第2回	発音	第2回	第6課-2
第3回	第1課-1	第3回	第6課-3
第4回	第1課-2	第4回	第7課-1
第5回	第2課-1	第5回	第7課-2
第6回	第2課-2	第6回	第7課-3
第7回	第3課-1	第7回	第8課-1
第8回	第3課-2	第8回	第8課-2
第9回	第3課-3	第9回	第8課-3
第10回	第4課-1	第10回	第9課-1
第11回	第4課-2	第11回	第9課-2
第12回	第4課-3	第12回	第9課-3
第13回	第5課-1	第13回	第10課-1
第14回	第5課-2	第14回	第10課-2
第15回	第5課-3	第15回	第10課-3

**授業方法:**

受講者は、必ず本文を一応訳せるように見当をつけた上で出席すること。この作業なしで出席しても実力は上がらないし、評価も出来ない。ほぼ毎回、単語試験を行う。

**達成目標:**

ドイツ語文法と語彙の基本をマスターする。

**評価方法:**

- ① 授業への参加態度（間違っても良いからあらかじめ見当をつけておく）。単に出席するだけで授業準備が無ければ平常点の加算はしない。必ず予習して出席すること。欠席10回で単位認定不可。
- ② ほぼ毎回最初に行う単語テスト。
- ③ 定期試験等による。定期試験の比重は軽い。

**教科書:**

『新ドイツに行ってみませんか』（郁文堂）ISBN 978-4-261-01232-3 \2,500+ 税

**参考文献:**

<参考書>: (一応次のものを挙げておく)

常木実『標準ドイツ語』（郁文堂）\2500

<推薦辞書>:

(このほかにもあるが、一応次のものを推薦する。学習意欲に応じて選択のこと)

a) 原書購読までやる気のある人には、『郁文堂独和辞典』第2版（郁文堂）\4200 [語彙数11万語]

b) 入門・初級程度で終わるつもりの人には、『パスポート独和辞典』第2版（白水社）\2900

[語彙数1万5千語] か『エクセル独和辞典』（郁文堂）\2800 [語彙数2万語]

c) どちらか迷っている人には、『クラウン独和辞典』第3版（三省堂）\4100 [語彙数6万4000語]

や『アクセス独和辞典』第3版（三修社）\4100 [語彙数7万3500語] や『フロイデ独和辞典』

(白水社) \4000 [語彙数7万5千語] など

担当者ホームページ (<http://www1.uhe.ac.jp>) 参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33601	ドイツ語(2)	1・2・3・4	2	伊藤利行

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ドイツ語、基礎復習、精読	コミュニケーション力、問題解決力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

ドイツ語(1)[文法]を習得済みの学習者を対象とし、読物を取り扱い、原書購読(中級ドイツ語)につなぐ。次の3つを目的とする。

①文法知識の復習、②語彙力の拡充(1000語以上2000語以下)、③精読する技術。

#### 授業の概要：

ドイツ語(1)で学んだドイツ語文法の基礎を数回で復習した後、受講者のレベルに合致したテキストを選択し、講読しながらドイツ語の精読の力を養う。

#### 授業の計画：

本授業は、次の事柄を取り扱う。

- ①文法知識の復習と補い：基本中の基本は100%マスターできるようにする。
- ②語彙力の拡充：テキストに出てくる単語および言い回しの中で使用頻度の高いものや、関連する語彙を指摘し、ほぼ毎回次の授業開始時に短いテストを実施する。
- ③精読：初めのときこそ、様々な事柄に対して疑問が出るものである。あいまいなまま何度読んでも内容の把握はできない。こだわるべき事柄が出てきたときは、徹底的に時間をかけて説明する。進捗状況に依存した授業なので、前期後期の区別はできない。

#### 授業方法：

- \*はじめ数回は、ドイツ語(1)の確認と補足。
- \*受講者は、必ず本文を一応訳せるように検討をつけた上で出席すること。もちろん間違っていてもかまわない。この作業なしで出席しても実力は上がらないし、評価も出来ない。
- \*ほぼ毎回、単語試験を行う。

#### 達成目標：

ドイツ語初級文法の完成と語彙力の充実。

#### 評価方法：

- ①授業への参加態度(間違っても良いからあらかじめ見当をつけておく)。単に出席するだけで授業準備が無ければ平常点の加算はないので、必ず予習して出席すること。欠席10回で単位認定不可。
- ②ほぼ毎回最初に行う単語テストを行う。
- ③定期試験の比重は軽い。

#### 教科書：

初め数回は初級文法の復習を行い、受講者の状況を把握後に適切な教科書を決める。

#### 参考文献：

<参考書>：(一応次のものを挙げておく)

常木実『標準ドイツ語』(郁文堂)\2500

<推薦辞書>：(このほかにもあるが、一応次のものを推薦する。学習意欲に応じて選択のこと)

a) 原書購読までやる気のある人には、『郁文堂独和辞典』第2版(郁文堂)\4200[語彙数11万語]

b) 入門・初級程度で終わるつもりの人には、『パスポート独和辞典』第2版(白水社)\2900

[語彙数1万5千語]か『エクセル独和辞典』(郁文堂)\2800[語彙数2万語]

c) どちらか迷っている人には、『クラウン独和辞典』第3版(三省堂)\4100[語彙数6万4千語]

や『アクセス独和辞典』(三修社)\4000[語彙数5万5千語]や『フロイデ独和辞典』(白水社)

\4000[語彙数7万5千語]など

担当者ホームページ(<http://www1.uhe.ac.jp>)参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33701	海外ドイツ語実習 I	1・2・3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：この科目は事前にガイダンスを実施したうえで履修登録を確定させます。後日、別途期間を定めて追加履修登録を受付けます。
前期	集中	8月頃	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
会話力、ドイツ文化、体験	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

実際にドイツに滞在してドイツ語会話能力を向上させ、ドイツ文化を体感すること。

#### 授業の概要：

実際にドイツに滞在して、ドイツ文化とドイツ語に囲まれる生活をし、ドイツ語会話学校に在籍して、そこで学ぶ。

#### 授業の計画：

8月に、ドイツの語学学校ゲーテ・インスティテュート (Goethe-Institut) で、4週間の語学研修 Intensivkurs(vier Woche) を受ける。一日の授業時間は、午前中の4時間である。午後や週末には、任意参加の文化プログラムや小旅行が多数準備されているほか、晩には簡単な飲食会も随時開かれる。これらに積極的に参加し、各国からの参加者とコミュニケーションをとることが不可欠である。

#### 授業方法：

履修希望者は、4月27日(水曜日)までに、担当教員(吉田)に個別に相談すること。その際、ドイツ語のみによる面接を行なって、参加の可否を決定する。その後、参加者を対象として数回のオリエンテーションを実施する(日程と場所は別途指示)。帰国後レポートの提出を求めるが、まった参加者がある場合には、報告会を開催する。

#### 達成目標：

ドイツで少なくともある程度のドイツ語会話能力を養うこと。

#### 評価方法：

履修した語学学校で発行される修了証明書を提出してもらい、これによって評価する。オリエンテーションへの参加、帰国後のレポート等も評価対象とする。さらに、現地での履修態度について、担当教員が直接語学学校に問い合わせることもある。

#### 教科書：

事前にはなし。現地では現地の指示に従うこと。

#### 参考文献：

履修が決定した時点で、準備に役立つ参考書などを紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

研修費用は、二人部屋での滞在費用を含めて、およそ1,300～1,500ユーロ(大都市ほど高い)である。これ以外に、往復の航空運賃、現地での旅行費、食費、研修期間以外に旅行する場合は、その旅費、宿泊費等。

#### 特記：

担当教員は、研修の申し込みに関わる支援は或る程度行なうが、現地での滞在、研修、旅行等については一切支援しない。また、現地におけるリスク(事故、病気、犯罪被害等)もすべて参加者が自分で負わなくてはならず、担当教員は一切責任を負うことができない。履修は、以上の点を十分理解した上で行なうこと。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33801	原書講読（ドイツ語）I	2・3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文構造の把握、読解力、語彙力	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

前期では、ドイツ語の文章の構造が把握できて、少なくとも中級程度のドイツ語の文章が読めるようになる力をつけるための下地を養い、後期では、辞書を引きながらではあっても、学生自身が各専門分野のドイツ語原書が読めるようになることを目指す。

**授業の概要：**

前期では、中級程度のテキストを使用して、ドイツ語のさまざまな文章について、疑問の余地の残らないような徹底的な構造説明を行なう。それによって、前期後半から後期前半にかけて、学生自身が自分でドイツ語の文の構造を明確に把握できるようになり、さらに後期後半以降は、中級レベル以上のドイツ語も読めるようにする。また、語彙力をふやす為に、重要な熟語等の含まれた独作文小テストを毎回行なう。なお、ドイツ語(1)、(2)を終了していること、またはそれらの終了と同等以上のドイツ語力があることのいずれかを前提とする。

**授業の計画：**

**前期**

- ①今年度の授業の Einf hrung。中級程度以上のドイツ語能力を身につけ、原書講読できるようになるための具体的方法の説明。ドイツ語学習意欲を喚起するための導入講話。
- ②～⑨テキストの第1課の文章について、学生自身に説明させた後、それぞれの文章について、徹底的な構造分析を行ない、ドイツ語の文章が疑問の余地なく解るとはどういうことか、学生に実感させる。また、中級レベル以上のドイツ語文法の説明。文法は単に丸暗記ではなく、なぜそうなるのか理由が説明できる事項については詳しい説明を行なうことにより、理解した上で記憶する作業に進めるようにする。文法についての練習問題も行なう。毎回、独作文小テストの実施。
- ⑩～⑫第2課について、上記と同様、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テストの実施。
- ⑬⑭第3課について、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テスト。
- ⑮第4課について、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テスト。

**後期**

- ①～③夏期休暇課題として出したドイツ語の文章について、和訳させ、文の構造や文法等について、こちらの出した問いに答えさせる。同じく課題としておいた中級以上のレベルの文法の問題に答えさせる。
- ④～⑧テキスト後半の課の文章に即して、引き続き文の構造説明を学生自身に行なわせ、学生の理解に不十分なところがあれば、質し補う。中級レベル以上のドイツ語を読むために必要なドイツ語文法やこれまでに学んだ表現を応用した文を、独作文小テストに加える。
- ⑨原書講読用のテキストをコピーで配布（テキストは、履修者の専攻を考慮して決める）。この新しいテキストについて、予習の仕方等を説明する。
- ⑩～⑬新しいテキストの講読。一段落すべてを正確に和訳させる。やや難解なドイツ語の文章については、文の構造について説明させ、こちらの問いに答えさせる。必要に応じて、上級レベルのドイツ語文法の説明。独作文小テストはやや高レベルのもの。
- ⑭⑮学生に未見のテキストを配布し、語彙についての援助を与えつつ、その場で和訳と説明を行なわせる。但し、学生の到達度によって、13回までのテキストを続行する。

**授業方法：**

単に和訳させて了りというような単調な授業方法はとらない。中級レベル以上のドイツ語の読解能力が身につくようなテキストを選び、ドイツ語文法力や語彙力も強化しつつ、それぞれの文について徹底的な構造分析を繰り返し行なう。

**達成目標：**

上記のような方法によって、履修者自身が自力で文の構造が把握できるなることを第一の目標とし、あわせて中級レベル以上の文法力も確実なものとし、語彙もふやすことを目指す。

**評価方法：**

毎回必ず当たるので、予告された箇所の予習をしてもらうことが評価の前提条件である。その上で、授業時の応答や小テストの結果等の平常点や、学期末試験の成績等から総合的に評価する。  
 ドイツ語の文の構造が正確に把握でき、文法問題や独作文小テストの結果も良好…………… S  
 ドイツ語の文の構造がほぼ把握でき、文法問題や独作文小テストの結果もほぼ良好…………… A  
 ドイツ語の文の構造は説明されれば解り、文法問題や独作文小テストも3分の2程度はできる… B  
 ドイツ語の文の構造は説明されれば解り、文法問題や独作文小テストにも努力はしている…………… C  
 Cのレベルに達していない…………… D

**教科書：**

前期：『ドイツ語読み方教室 中級表現練習読本』三修社。後期：プリント配布。

**参考文献：**

最初の授業時に、日本におけるドイツ語研究史のみならず、ドイツ語学習史とでもいべきものに言及するが、その折りに参考書等も紹介する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A33901	原書講読（ドイツ語）Ⅱ	2・3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文構造の把握、読解力、語彙力	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

前期では、ドイツ語の文章の構造が把握できて、少なくとも中級程度のドイツ語の文章が読めるようになる力をつけるための下地を養い、後期では、辞書を引きながらではあっても、学生自身が各専門分野のドイツ語原書が読めるようになることを目指す。

#### 授業の概要：

前期では、中級程度のテキストを使用して、ドイツ語のさまざまな文章について、疑問の余地の残らないような徹底的な構造説明を行なう。それによって、前期後半から後期前半にかけて、学生自身が自分でドイツ語の文の構造を明確に把握できるようになり、さらに後期後半以降は、中級レベル以上のドイツ語も読めるようにする。また、語彙力をふやす為に、重要な熟語等の含まれた独作文小テストを毎回行なう。なお、ドイツ語(1)、(2)を終了していること、またはそれらの終了と同等以上のドイツ語力があることのいずれかを前提とする。

#### 授業の計画：

##### 前期

- ①今年度の授業の Einf hrung。中級程度以上のドイツ語能力を身につけ、原書講読できるようになるための具体的方法の説明。ドイツ語学習意欲を喚起するための導入講話。
- ②～⑨テキストの第1課の文章について、学生自身に説明させた後、それぞれの文章について、徹底的な構造分析を行ない、ドイツ語の文章が疑問の余地なく解るとはどういうことか、学生に実感させる。また、中級レベル以上のドイツ語文法の説明。文法は単に丸暗記ではなく、なぜそうなるのか理由が説明できる事項については詳しい説明を行なうことにより、理解した上で記憶する作業に進めるようにする。文法についての練習問題も行なう。毎回、独作文小テストの実施。
- ⑩～⑫第2課について、上記と同様、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テストの実施。
- ⑬⑭第3課について、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テスト。
- ⑮第4課について、徹底的な構造分析、中級以上の文法の説明、練習、独作文小テスト。

##### 後期

- ①～③夏期休暇課題として出したドイツ語の文章について、和訳させ、文の構造や文法等について、こちらの出した問いに答えさせる。同じく課題としておいた中級以上のレベルの文法の問題に答えさせる。
- ④～⑧テキスト後半の課の文章に即して、引き続き文の構造説明を学生自身に行なわせ、学生の理解に不十分なところがあれば、質し補う。中級レベル以上のドイツ語を読むために必要なドイツ語文法やこれまでに学んだ表現を応用した文を、独作文小テストに加える。
- ⑨原書講読用のテキストをコピーで配布（テキストは、履修者の専攻を考慮して決める）。この新しいテキストについて、予習の仕方等を説明する。
- ⑩～⑬新しいテキストの講読。一段落すべてを正確に和訳させる。やや難解なドイツ語の文章については、文の構造について説明させ、こちらの問いに答えさせる。必要に応じて、上級レベルのドイツ語文法の説明。独作文小テストはやや高レベルのもの。
- ⑭⑮学生に未見のテキストを配布し、語彙についての援助を与えつつ、その場で和訳と説明を行なわせる。但し、学生の到達度によって、1・3回までのテキストを続行する。

#### 授業方法：

単に和訳させて了りというような単調な授業方法はとらない。中級レベル以上のドイツ語の読解能力が身につくようなテキストを選び、ドイツ語文法力や語彙力も強化しつつ、それぞれの文について徹底的な構造分析を繰り返し行なう。

#### 達成目標：

上記のような方法によって、履修者自身が自力で文の構造が把握できるなることを第一の目標とし、あわせて中級レベル以上の文法力も確実なものとし、語彙もふやすことを目指す。

#### 評価方法：

毎回必ず当たるので、予告された箇所の予習をしてもらうことが評価の前提条件である。その上で、授業時の応答や小テストの結果等の平常点や学期末試験の成績等から総合的に評価する。テキストのドイツ語の文の構造が正確に把握でき、文法問題や独作文小テストの結果も良好…………… S  
 ドイツ語の文の構造がほぼ把握でき、文法問題や独作文小テストの結果もほぼ良好…………… A  
 ドイツ語の文の構造は説明されれば解り、文法問題や独作文小テストも3分の2程度はできる… B  
 ドイツ語の文の構造は説明されれば解り、文法問題や独作文小テストにも努力はしている…………… C  
 Cのレベルに達していない…………… D

#### 教科書：

前期：『ドイツ語読み方教室 中級表現練習読本』三修社。後期：プリント配布。

#### 参考文献：

最初の授業時に、日本におけるドイツ語研究史のみならず、ドイツ語学習史とでもいべきものに言及するが、その折りに参考書等も紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34001~02	フランス語(1)	1・2・3・4	2	日比野雅彦

授業コード	期間	曜日	時限	備考：
A34001	通年	月	1	
A34002	通年	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

現在フランス語が使われている地域とその歴史的経緯について概観し、フランス語を学ぶ意味について考える。フランス語を使ってコミュニケーションをとるとはどういうことかについて考えを進め、コミュニケーションに必要な基礎知識（文法・語彙・表現）を学ぶ。

**授業の概要：**

フランス語の基礎を学びながら、フランス語とフランス文化の理解を深める。日常的に使われるきわめて簡単な表現を理解し、簡単な内容であればフランス語でやり取りができるところまで到達できるようにする。

**授業の計画：**

- 前期は教科書を中心に、後期はプリントも参考にしながらすすめます。
- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| (1) フランスとフランス語    | (15) 前期で学んだフランス語のチェック  |
| (2) つづり字と発音のしくみ   | (16) 前期に学んだことをもう一度     |
| (3) あいさつ(自己紹介)    | (17) フランス語の特徴について      |
| (4) 持ち物をたずねる      | (18) 未来と過去の表現          |
| (5) 趣味をたずねる       | (19) 語順について            |
| (6) パリの紹介         | (20) 代名動詞を使った表現        |
| (7) On を使った表現     | (21) 複合過去の使い方          |
| (8) あいさつ(2)       | (22) フランス語の文を読んでみよう(1) |
| (9) 年齢の言い方、名前の聞き方 | (25) フランス語の文を読んでみよう(2) |
| (10) カフェで         | (26) フランス語の文を読んでみよう(3) |
| (11) 飲み物を頼む       | (27) フランス語の文を読んでみよう(4) |
| (12) あいさつ(3)      | (28) フランスの映画を見てみよう(1)  |
| (13) フランス式挨拶のさまざま | (29) フランスの映画を見てみよう(2)  |
| (14) フランス語の簡単な文法  | (30) フランス語のステップアップには   |

**授業方法：**

音声教材を利用して発音練習をし、基本的な表現をもとに練習問題をやります。予習は必要ありませんが必ず復習をしてください。

**達成目標：**

「言語に関するヨーロッパ共通基準(CEF)」のA1(基礎レベル入門：くだけた言い回しや日常的な語句、および具体的な用件をすませるためによく使われる簡単な表現を理解し用いることができる)

**評価方法：**

授業への取り組み(20%)と課題およびプレゼンテーション評価(80%)による総合評価

- S: A12レベルをほぼ完全にできる  
A: 上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる  
B: やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションが可能である。  
C: 表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。  
D: Cのレベルに到達していない

**教科書：**

小笠原洋子 著 『ピエールとユゴー』 白水社、2500円  
プリント教材

**参考文献：**

『ディコ仏和辞典』(白水社)、『クラウン仏和辞典』(三省堂)、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、  
『プログレッシブ仏和辞典』(小学館)

**実験・実習・教材費：**



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34101	フランス語(2)	1・2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考:
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ:**

フランス語の文章を主として文法的側面から勉強し、コミュニケーションに必要なフランス語の基礎を身につける。

**授業の概要:**

フランス語の文法の基本を学び、簡単な会話を使って表現に慣れ、文章を読む練習をする。

**授業の計画:**

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| (1) フランス語の読み方              | (16) 名詞と形容詞について(まとめ) |
| (2) あいさつのフランス語             | (17) 目的語の代名詞について     |
| (3) 名詞と冠詞                  | (18) 代名動詞について        |
| (4) être 動詞、形容詞            | (19) 過去形のことと過去の表現    |
| (5) avoir 動詞、肯定形と否定形       | (20) 複合過去形           |
| (6) -er 動詞、疑問文             | (21) 半過去形            |
| (7) フランス紹介                 | (22) 構文のこと           |
| (8) il y a の構文、所有形容詞       | (23) 関係代名詞の使い方       |
| (9) aller, venir           | (24) 文法について          |
| (10) 近接未来と近接過去             | (25) 書き言葉のフランス語      |
| (11) -ir 動詞の活用と用法、形容詞の比較表現 | (26) フランス語で読んでみよう(1) |
| (12) 不規則動詞について             | (27) フランス語で読んでみよう(2) |
| (13) 疑問形容詞のこと              | (28) フランス語で読んでみよう(3) |
| (14) 不規則動詞あれこれ、非人称動詞のこと    | (29) フランス語で読んでみよう(4) |
| (15) フランス語の動詞と語順について(まとめ)  | (30) フランス語で書いてみよう    |

**授業方法:**

教科書にしたがって基本的な文法事項を説明し、それに関連する練習問題をおこなう。耳から聞き取る力を高めるために音声を取り取る練習もおこなう。

**達成目標:**

「言語に関するヨーロッパ共通基準(CEF)」のA2(基礎レベル初級:きわめて身近な領域に関する文や表現を理解でき、簡単に直接的なコミュニケーションをはかることができる)

**評価方法:**

授業への取り組み(20%)と課題およびプレゼンテーション評価(80%)による総合評価

S: A2レベルをほぼ完全にできる

A: 上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる

B: やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C: 表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D: Cのレベルに到達していない

**教科書:**

大岩 昌子 他 著『パラレル』、白水社、2300円

**参考書:**

『ディコ仏和辞典』(白水社)、『クラウン仏和辞典』(三省堂)、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)、『プログレッシブ仏和辞典』(小学館)

**実験・実習・教材費:**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34201	海外フランス語実習 I	1・2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：この科目は事前にガイダンスを実施したうえで履修登録を確定させます。後日、別途期間を定めて追加履修登録を受付けます。
前期	集中	8月頃	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

フランス語が実際に使われている地域で学び、生活することによって、フランス語の運用能力をさらに高めること、同時にフランスの生活を直接体験することによって、机上の学修では学ぶことのできない生の文化に触れることを目標とする。

**授業の概要：**

8月の3週間をフランスの語学学校でフランス語研修を受ける。

**授業の計画：**

予定されている研修はフランス北西部の都市ルーアンにあるアリアンス・フランセーズでの夏期集中レッスン。詳細は別途。

**授業方法：**

現地のアリアンス・フランセーズでクラス分けテストを受けてグループレッスンを受ける。

**達成目標：**

**評価方法：**

アリアンス・フランセーズでの評価を受け、本学の評価基準にそって評価する。

**教科書：**

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34301	原書講読（フランス語）Ⅰ	2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

初級レベルのフランス語をマスターした学生が、フランス語の基礎的な力をさらに高め、フランス語の運用能力を高めることを目標とする。

#### 授業の概要：

初級文法を復習しながら現在のフランスに関する記事を読む。

#### 授業の計画：

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| (1) 初級文法の復習         | (16) ダカールラリー       |
| (2) フランス語の語順、辞書の使い方 | (17) ビニール袋         |
| (3) パンは進化する (1)     | (18) チョコレート戦争      |
| (4) パンは進化する (2)     | (19) モンサンミッシェル     |
| (5) 複合過去の使い方        | (20) エアバス対ボーイング    |
| (6) 新幹線とTGV (1)     | (21) 遺伝子組み換え作物     |
| (7) 新幹線とTGV (2)     | (22) 目的語の代名詞と語順    |
| (8) ベルサイユ宮殿         | (23) バイオエタノール      |
| (9) 代名動詞の使い方        | (24) 代名動詞の使い方 (2)  |
| (10) フランスは原子力に力をつける | (25) ツールドフランス      |
| (11) 自動車製造業         | (26) マグロの問題        |
| (12) BSEとホルモン牛      | (27) フェアトレード       |
| (13) 関係代名詞の使い方      | (28) 経済的愛国心        |
| (14) 宇宙への競争         | (29) EUの牽引車 フランス？  |
| (15) 前期のまとめ         | (30) インターネットのフランス語 |

#### 授業方法：

・辞書を使用してテキストを読み、学んだ表現を用いてフランス語を書く力を養います。フランス語の基本的な文法事項について解説し、フランス語の文章を読むテクニックをマスターします。辞書の使い方、発音のコツについても解説を加えていきます。授業に際しては事前に単語を調べておいてください。

#### 達成目標：

「言語に関するヨーロッパ共通基準 (CEF)」の B1 (自立可能レベル：身近な話題について、標準的でわかりやすい話し方であれば要点を理解でき、簡単な話ができる) 初級

#### 評価方法：

授業への取り組み (20%) と課題およびプレゼンテーション評価 (80%) による総合評価

S：B1 レベルをほぼ完全にできる

A：上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる

B：やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C：表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D：C のレベルに到達していない

#### 教科書：

井上美穂著『アンフォ フランス語でニュースを読む』駿河台出版社、1600 円

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A34401	原書講読（フランス語）Ⅱ	2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話、異文化理解	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

初級レベルのフランス語をマスターした学生が、フランス語の基礎的な力をさらに高め、フランス語の運用能力を高めることを目標とする。

**授業の概要：**

初級文法を復習しながら現在のフランスに関する記事を読む。

**授業の計画：**

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| (1) 初級文法の復習         | (16) ダカールラリー       |
| (2) フランス語の語順、辞書の使い方 | (17) ビニール袋         |
| (3) パンは進化する (1)     | (18) チョコレート戦争      |
| (4) パンは進化する (2)     | (19) モンサンミッシェル     |
| (5) 複合過去の使い方        | (20) エアバス対ボーイング    |
| (6) 新幹線とTGV (1)     | (21) 遺伝子組み換え作物     |
| (7) 新幹線とTGV (2)     | (22) 目的語の代名詞と語順    |
| (8) ベルサイユ宮殿         | (23) バイオエタノール      |
| (9) 代名動詞の使い方        | (24) 代名動詞の使い方 (2)  |
| (10) フランスは原子力力に力ける  | (25) ツールドフランス      |
| (11) 自動車製造業         | (26) マグロの問題        |
| (12) BSEとホルモン牛      | (27) フェアトレード       |
| (13) 関係代名詞の使い方      | (28) 経済的愛国心        |
| (14) 宇宙への競争         | (29) EUの牽引車 フランス？  |
| (15) 前期のまとめ         | (30) インターネットのフランス語 |

**授業方法：**

・辞書を使用してテキストを読み、学んだ表現を用いてフランス語を書く力を養います。フランス語の基本的な文法事項について解説し、フランス語の文章を読むテクニックをマスターします。辞書の使い方、発音のコツについても解説を加えていきます。授業に際しては事前に単語を調べておいてください。

**達成目標：**

「言語に関するヨーロッパ共通基準 (CEF)」の B1 (自立可能レベル：身近な話題について、標準的でわかりやすい話し方であれば要点を理解でき、簡単な話ができる) 初級

**評価方法：**

授業への取り組み (20%) と課題およびプレゼンテーション評価 (80%) による総合評価

S: B1 レベルをほぼ完全にできる

A: 上記項目について、やや問題はあるがほぼ完全にできる

B: やや問題はあるが、ほぼコミュニケーションが可能である。

C: 表現に問題はあるが、コミュニケーションはどうか可能である。

D: C のレベルに到達していない

**教科書：**

井上美穂著『アンフォ フランス語でニュースを読む』駿河台出版社、1600 円

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B08301	環境保全論特殊講義 I A (環境計画と環境破壊)	2・3	2	倉田 亮
B12701	環境計画と環境破壊 A	4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境問題の系譜、地球規模の環境、水圏、EST (環境にやさしい技術)、世界遺産	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ:

人間は、自然を資源として利用し、改造することによって文明を構築してきたが、その開発の結果、さまざまな環境破壊が進み、文明の危機に直面している。しかし、自然環境にしても社会環境にしても、それが人間の働きによって構成される環境である限り、新しいパラダイムによる科学技術を用いて、環境の回復を図ることは可能である。そのための基礎理論と具体的手法を学ぶ。

#### 授業の概要:

水圏及び陸地圏における地球規模の問題に重点を置いて、その複合生態系の基礎理論と概念を解説し、国内及び海外の事例に基づいて講述する。また合わせて、積極的な水環境の修復と管理、共生の考え方や手法のわが国における展開、国際的な動向などについても紹介し解説する。

#### 授業の計画:

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1) 環境とは、そのとらえ方        | 9) 地産地消             |
| 2) 環境問題の系譜            | 10) EST (環境にやさしい技術) |
| 3) 環境政策進展の経過          | 11) EST の各種事例       |
| 4) 生活環境項目、健康項目        | 12) エコビジネス          |
| 5) 土壌汚染、農薬汚染、食品公害     | 13) 自然保護行政と政策       |
| 6) 地球規模の環境の現状 (大気、海洋) | 14) 世界遺産の自然遺産       |
| 7) 地球規模の環境の現状 (地球温暖化) | 15) 世界遺産の水環境        |
| 8) 日本の水資源、水環境         |                     |

#### 授業方法:

各種専門誌や環境白書、教員自身の著作や論文などからまとめた資料を用いて、質疑応答を含めた講義形式で進めるが、必要に応じて多くのデータをまとめたプリントを配布し、ビデオなどの映像資料も多く用いる。

#### 達成目標:

現在の地球環境が抱えている深刻な環境問題の原因と現象の理解、解決と克服への道筋の理解、環境管理、保全及び修復への科学的基礎理論と手法の習得、習熟。

#### 評価方法:

質疑応答などを含み、授業への取り組みが50%。適宜行う小テストの結果及び期末テストの成績(あるいはレポート)が50%。

#### 教科書:

倉田 亮著、「世界の湖と水環境」(成山堂書店 /1,600 円)

#### 参考文献:

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B08401	環境保全論特殊講義 I B (環境計画と環境破壊)	2・3	2	倉田 亮
B12801	環境計画と環境破壊 B	4		

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境問題の多様化、固有種と移入種、水辺・海浜修復事業、自然浄化、エネルギー転換	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ:

人間は、自然を資源として利用し、改造することによって文明を構築してきたが、その開発の結果、さまざまな環境破壊が進み、文明の危機に直面している。しかし、自然環境にしても社会環境にしても、それが人間の働きによって構成される環境である限り、新しいパラダイムによる科学技術を用いて、環境の回復を図ることは可能である。そのための基礎理論と具体的手法を学ぶ。

#### 授業の概要:

水圏及び陸地圏における地球規模の問題に重点を置いて、その複合生態系の基礎理論と概念を解説し、国内及び海外の事例に基づいて講述する。また合わせて、積極的な水環境の修復と管理、共生の考え方や手法のわが国における展開、国際的な動向などについても紹介し解説する。

#### 授業の計画:

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1) 多様化する環境問題            | 9) 水辺・海浜修復事業          |
| 2) 環境影響評価               | 10) 脱ダム運動             |
| 3) 環境基準、環境容量            | 11) 自然資源エネルギー         |
| 4) 固有種・移入種とは、特に水圏の生物多様性 | 12) エネルギー転換の世界的動向     |
| 5) 生物の多様性保全戦略           | 13) 内外の水環境保全活動        |
| 6) 水資源確保の国際的な争い         | (ナショナルトラスト、エコツーリズム)   |
| 7) 環境浄化                 | 14) 多様な世界の水環境         |
| 8) ヒートアイランド現象           | 15) 環境計画 (素案による討議と立案) |

#### 授業方法:

各種専門誌や環境白書、教員自身の著作や論文などからまとめた資料を用いて、質疑応答を含めた講義形式で進めるが、必要に応じて多くのデータをまとめたプリントを配布し、ビデオなどの映像資料も多く用いる。

#### 達成目標:

現在の地球環境が抱えている深刻な環境問題の原因と現象の理解、解決と克服への道筋の理解、環境管理、保全及び修復への科学的基礎理論と手法の習得、習熟。

#### 評価方法:

質疑応答なども含み、授業への取り組みが50%。適宜行う小テストの結果及び期末テストの成績(あるいはレポート)が50%。

#### 教科書:

倉田 亮著、「世界の湖と水環境」(成山堂書店 /1,600 円)

#### 参考文献:

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
B08801	環境保全論演習及び実習〔水圏生態学〕	3・4	4	倉田 亮

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
微生物学実験、データ解析、専門書、輪読、自主研究	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

自然科学の特定課題についての論文(和文及び英文)を例として、論旨の把握、データの解釈、考察の進め方などに習熟して、科学論文に親しむとともに卒業論文作成への準備を図る。

#### 授業の概要：

野外で採取した試料を用いて、プロゼミナールで行ったプランクトン観察や計測をさらにレベルアップした細菌学実験を行い、水質分析評価手法を深化させる。また、自然科学分野における専門用語や基礎理論を習得しながら、科学論文の解釈に習熟するとともに、自主研究のプレゼンテーションを行ってコミュニケーション能力を高める。

#### 授業の計画：

1 項目が複数回の講義にわたる。実験室と実験器具の制約があるため、履修者を18名までとする。

前期	後期
1) 水環境のとらえ方	1) 最確数法(MPN法)
2) 多様な水環境の解析	2) 大腸菌群検査
3) 微生物学実験の基本	3) 培養基調製法、希釈法、接種法
4) 無菌法、培養法	4) 試料培養
5) 生菌数計測	5) 計測、同定、解析、評価、判定
6) 分離培養、分類、同定	6) 科学論文の輪読、解釈
7) 特定課題の自主研究	7) 特定課題の自主研究
8) プレゼンテーション	8) プレゼンテーション

#### 授業方法：

講義と実験を併用しつつ進める。実験では、各種試薬、ガラス器具類、計測器具及び備品などを用いるが、必要に応じて野外で試料も採取する。講義では、教員自身の著作、論文、データ集、その他の関連論文や評論、スピーチ(英文)などを用いる。

#### 達成目標：

微生物学実験の基本を反復履修し、水質分析評価手法を深化させるとともに、自然科学論文のデータ解釈、理解の仕方に習熟し、卒業論文作成の効果的な手法を習得しつつ、プレゼンテーション能力を高める。

#### 評価方法：

野外調査への参加も含め、データの解釈とまとめなどの授業への取り組みが50%。適宜行う小テスト、プレゼンテーションなどが50%。

#### 教科書：

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

消耗品や試薬及びガラス器具類などの補充費4,000円と、野外調査及び見学を行う際の交通費実費。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B00101	環境保全論講義A〔生物多様性論〕	1・2・3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：(2・3年生) 環境保全論講義 A (水圏生態学) の単位修得者も履修可。
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然環境、気候帯、モンスーン、植生、生態系	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

植生と生態系からみた自然環境の成り立ち。

**授業の概要：**

気候帯形成のメカニズム、植生類型、気候と植生、モンスーン、日本の気候と森林植生、生態系の成り立ちといった自然環境についての基礎的な知識を学ぶ。

**授業の計画：**

- 1～3回：生物的環境と非生物的環境
- 4～7回：気候と植生
- 8～9回：モンスーン
- 10～12回：日本の気候と森林植生
- 13～14回：食物連鎖と生物ピラミッド
- 15回：生物濃縮

**授業方法：**

板書を中心とした講義。

**達成目標：**

気候と植生および生態系を例に、自然環境についての基礎的な知識を身につけ、環境保全のための科学的理解と科学的価値観の基盤形成を目指す。

**評価方法：**

試験(100%)による。

**教科書：**

なし。

**参考文献：**

- 1) 鈴木孝仁(監修)、視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録、数研出版、880円(税別)。
- 2) 日本生態学会(編)、「生態学入門」、東京化学同人、2,800円(税別)。
- 3) 倉嶋厚、日本の気候、古今書院、1,900円(税別)。
- 4) 山中二男、「日本の森林植生(増補版)」、築地書館、1,900円(税別)。
- 5) 沼田真・岩瀬徹、「図説日本の植生」、講談社学術文庫、1,155円。

**実験・実習・教材費：**



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B00201	環境保全論講義B〔生物多様性論〕	1・2・3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：(2・3年生) 環境保全論講義B(水圏生態学)の単位修得者も履修可。
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
物質生産、生態系サービス、指標種、レッドデータブック、環境アセスメント、ビオトープ	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

生物保全における指標と価値観。

**授業の概要：**

物質生産からみた環境評価、生態系サービスの概念、指標種の意義、絶滅危惧種の評価方法、レッドデータブックの役割、環境アセスメントの具体例と問題点、生物保全における価値観についての基礎知識を学ぶ。

**授業の計画：**

- 1～2回：バイオマスと物質生産
- 3～4回：生態系サービス
- 5～7回：指標種
- 8～9回：絶滅危惧種とレッドデータブック
- 10～11回：環境アセスメント
- 12～13回：生物保全の価値観
- 14～15回：生物保全とビオトープ

**授業方法：**

板書を中心とした講義。

**達成目標：**

生物多様性に関する各種の指標を例示し、それらから生物保全の価値基準の多様性と複雑性を学ぶことで、環境保全のための科学的理解と科学的価値観の基盤形成を目指す。

**評価方法：**

試験(100%)による。

**教科書：**

なし。

**参考文献：**

- 1) 日本生態学会(編)、「生態学入門」、東京化学同人、2,800円(税別)。
- 2) B. プリマック・小堀洋美、「保全生物学のすすめ」、文一総合出版、3,800円(税別)。
- 3) 横浜国立大学21世紀COE翻訳委員会(訳)、「生態系サービスと人類の将来」、オーム社、2,800円(税別)。
- 4) 加藤辰己・太田英利、「エコロジーガイド日本の絶滅危惧生物」、保育社、2,000円(税別)。
- 5) 松田裕之、「なぜ生態系を守るのか?」、NTT出版、1,900円(税別)。

**実験・実習・教材費：**

**その他：**

「環境保全論講義A」を履修済みであることが望まれる。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B00301	環境保全論特殊講義 I A (生物環境論)	2・3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生態学、適応、数理モデル	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ:**

生態学の視点から見た自然環境とその特質についての知識を学ぶとともに、生態学の基礎理論の理解をを目指す。生態学的な科学理論に基づいた保全生物学の論理と思考方法を身につけることが目標。

**授業の概要:**

生物と環境の相互作用系における具体例について紹介し、そのような関係を説明するための理論と数理モデルについて論考する。とくに、生活史、季節応答、増殖、適応度に関する話題を例示する。

**授業の計画:**

- 1～2. 環境と生物
- 3～5. 環境と生活史
- 6～7. 季節への応答
- 8～11. 個体群増殖モデル
- 12～15. 繁殖と適応度

**授業方法:**

板書を中心とした講義による。適宜資料を配付する。

**達成目標:**

生物の相互作用系における科学的な理論を学ぶことにより、生物保全の考え方や手法をにおける科学の重要性を理解することで、環境保全のための論理的思考力の醸成を目指す。

**評価方法:**

試験(100%)による。

**教科書:**

なし。ただし、辞書として次の書籍購入を薦める。  
生態学事典、共立出版、13,000円。

**参考文献:**

- 1) 日本生態学会(編)、「生態学入門」、東京化学同人、2,800円(税別)。
- 2) 河野昭一(総監修)、「ニュートンムック植物の世界草本編(上)」、ニュートンプレス 1,800円(税別)。
- 2) 河野昭一(総監修)、「ニュートンムック植物の世界草本編(下)」、ニュートンプレス 1,800円(税別)。
- 3) 鷲谷いづみ、「生物保全の生態学」、共立出版、2,200円(税別)。
- 4) 菊沢喜八郎、「植物の繁殖生態学」、蒼樹書房、4,500円(税別)。
- 5) 種生物学会(編)、「保全と復元の生物学」、文一総合出版、3,200円(税別)。

**実験・実習・教材費:**

**その他:**

「基礎数学」と「基礎生物学」を履修済みであることが望まれる。微分方程式の理解のために数学的素養が必要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B00401	環境保全論特殊講義 I B (生物環境論)	2・3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生態学、共進化、数理モデル、外来生物	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

生態学の視点から見た自然環境とその特質についての知識を学ぶとともに、生態学の基礎理論の理解をを目指す。生態学的な科学理論に基づいた保全生物学の論理と思考方法を身につけることが目標。

#### 授業の概要：

生物と環境の相互作用系における具体例について紹介し、そのような関係を説明するための理論と数理モデルについて論考する。とくに、種分化、共進化、侵略的外来生物に関する話題を例示する。

#### 授業の計画：

- 1～3. 生態的地位と種分化
- 4～6. 生物間相互作用と共進化
- 7～9. 進化生物学と数理モデル
- 10～12. 移入と絶滅
- 13～15. 外来生物

#### 授業方法：

板書を中心とした講義による。適宜資料を配付する。

#### 達成目標：

生物の相互作用系における科学的な理論を学ぶことにより、生物保全の考え方や手法をにおける科学の重要性を理解することで、環境保全のための論理的思考力の醸成を目指す。

#### 評価方法：

試験（100％）による。

#### 教科書：

なし。ただし、辞書として次の書籍購入を薦める。  
生態学事典、共立出版、13,000 円。

#### 参考文献：

- 1) 生態学入門、東京化学同人、2,800 円（税別）。
- 2) 日本生態学会、「エコロジー講座 森の不思議を解き明かす」、文一総合出版、1,890 円（税別）。
- 3) 外来種ハンドブック、地人書館、4,000 円（税別）
- 4) さまざまな共生－生物種間の多様な相互作用－、平凡社、3,200 円（税別）。
- 5) 植物の繁殖生態学、蒼樹書房、4,500 円（税別）。

#### 実験・実習・教材費：

#### その他：

「基礎数学」と「基礎生物学」を履修済みであることが望まれる。モデル式の理解のために数学的素養が必要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B00701	環境保全論プロゼミナール〔生物多様性論〕	2・3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：(3・4年生) 環境保全論プロゼミナール(水圏生態学)の単位修得者も履修可。
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読解力、整理能力、再構成力、口頭発表	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

読解力、情報整理力、再構成力、発表技能を養う。

#### 授業の概要：

「改訂・近畿地方の保護状重要な植物－レッドデータブック近畿 2001－」と「エコロジー講座 森の不思議を解き明かす」を材料に、各自が1章程度を分担して口頭発表形式の輪読を行う。

#### 授業の計画：

初回時に各自の発表担当日程を決めるので、必ず出席すること。

前期の予定

- ・絶滅危惧種
- ・種の多様性と環境の保全
- ・レッドデータブック
- ・気候と植物
- ・地質・地形と植物
- ・近畿地方の植物相
- ・保護状重要な種のカテゴリー
- ・保護状重要な種の生育環境
- ・各府県の現状
- ・保全への課題

後期の予定

- ・森林における生物間相互作用(詳細は、前期末に決定)

#### 授業方法：

各回につき、数名のレポーターによる発表形式。

#### 達成目標：

口頭発表に必要な素養・技能としての読解力、整理能力、再構成力、発表技能に習得。

#### 評価方法：

発表(60%)とレポート(40%)による。なお、出席率7割未満の者には単位を認めない。

#### 教科書：

下記2冊を併用する。1)は前期に、2)は後期に、それぞれ使用。

- 1) レッドデータブック近畿研究会、「改訂・近畿地方の保護状重要な植物－レッドデータブック近畿 2001－」、平岡環境科学研究所、3,200円(初回講義時に販売予定)。
- 2) 日本生態学会、「エコロジー講座 森の不思議を解き明かす」、文一総合出版、1,890円(税別、各自で購入のこと)。

#### 参考文献：

佐竹義輔他、「フィールド版日本の野生植物－草本」、平凡社、8,190円。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B00801	環境保全論演習及び実習〔生物多様性論〕	3・4	4	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
後期	木	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
データ解析、発表技能、論理性、客観性	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

卒業研究に必要な実験計画の構築、データの解析技術、口頭発表技能の習得および科学的論理性。

**授業の概要：**

研究レポートの発表とデータ解析実習を平行して行う。

**授業の計画：**

初回時にガイダンス（発表順および実習の計画についての調整と決定）を行うため、必ず出席すること。

**授業方法：**

研究レポート発表（3年生）または卒業研究の中間発表（4年生）とそれに対する議論形式で行う。また、データの収集と解析についての実習もあわせて行う。

**達成目標：**

卒業研究に必要な実験計画の構築能力、科学的客観性、科学的論理性、発表技術の習得。

**評価方法：**

出席と発表およびレポートによって評価する。15分以上の遅刻は欠席とみなす。4回以上欠席の場合は単位を認めない。

**教科書：**

山田作太郎・北田修一、「生物統計学入門」、成山堂書店、3,800円（税別、各自で購入のこと）。

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

受講にあたっては、上記教科書の他に実習費（データ解析消耗品費、パソコン・プリンタ消耗品費）7,000円が必要。

**その他：**

本実習を受講するにあたり、「基礎数学」と「計量管理概論」を履修済みであることが望ましい。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09101	森林環境・水環境化学講義A	1・2・3	2	片山幸士・ 長井正博
B06101	森林環境学講義A	4		
B05101	環境分析化学講義A			

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
水質、物質循環、地球化学	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

地球環境は岩石圏、水圏、気圏、生物圏から構成されている。水は4圏を循環しており、そのため、水質、すなわち水に含まれている物質に関する情報は、地球環境の状態を反映していることになる。地球環境の水質データを解析し、考察することで地球環境が相互につながっていることを理解する。また、水質に関する理解を深めるため、岩石圏、気圏、生物圏に含まれる物質についても考察する。

#### 授業の概要：

地球環境を岩石圏・水圏・気圏・生物圏に分け、それぞれの環境がどのような元素・物質を含んでいるのか、その配置はどうなっているのかを具体的なデータと地球化学的知見に基づいて考えていく。

#### 授業の計画：

1. 宇宙の元素存在度
2. 岩石圏の化学 (1) 元素組成
3. 岩石圏の化学 (2) 原子の配列
4. 岩石圏の化学 (3) ケイ酸塩鉱物の種類
5. 気圏の化学 (1) 化学組成
6. 気圏の化学 (2) 二酸化炭素の濃度
7. 生物圏の化学 (1) 元素組成とレッドフィールド比
8. 生物圏の化学 (2) 光合成と呼吸
9. 水圏の化学 (1) 地球環境の水循環、風化反応
10. 水圏の化学 (2) 海水の化学組成
11. 水圏の化学 (3) 平均滞留時間・水和の強さと化学種
12. 水圏の化学 (4) 海水中の元素の鉛直分布
13. 水圏の化学 (5) 降水の化学組成
14. 水圏の化学 (6) 森林内の物質循環
15. 水圏の化学 (7) 渓流水と河川水の化学組成

#### 授業方法：

板書と配布プリントにより授業を進める。また、毎回、計算や作図を課題として出す。

#### 達成目標：

地球化学的知見を知る。データを解析・考察し、それに基づいて判断する力を習得する。

#### 評価方法：

授業への取り組み (20%) と課題への取り組み (20%)、試験 (60%) により行う。地球化学的知見の理解とデータを解析・考察する力を評価する。

#### 教科書：

J. E. アンドリューズら著、渡部 正訳、『地球環境化学入門』、シュプリンガー・フェアラーク東京、2,940円

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09201	森林環境・水環境化学講義B	1・2・3	2	片山幸士・ 長井正博
B06201	森林環境学講義B	4		
B05201	環境分析化学講義B			

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
光合成, 樹木, 土壌, 大気, 気候	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

森林を構成しているのは、樹木を始めとする植物、土壌、大気などである。これらの要素が相互に関連しあって森林環境を形成している。したがって、森林の立地条件によっても森林の環境は異なってくる。森林環境についての理解を深めるため、個々の要素と相互作用について講述する。

#### 授業の概要：

光合成によって草本・木本植物が生育することによって森林が成立する。森林生態系での大気、土壌、水、物質循環との関わりでその環境が決定される。この生態系での各要素の静的・動的な挙動について考える。

#### 授業の計画：

1. 光合成 (1) 光合成の機構 (1)
2. 光合成 (2) 光合成の機構 (2)
3. 光合成 (3) 光合成産物
4. 光合成 (4) 光合成産物の貯留と消費
5. 樹木 (1) 樹木の構成化学成分
6. 樹木 (2) 樹木の組織
7. 土壌 (1) 土壌概論
8. 土壌 (2) 森林土壌
9. 大気 (1) 気象条件の緩和
10. 大気 (2) 樹木からの発散物質
11. 物質循環 (1) 森林での水の流れ
12. 物質循環 (2) 有機物の分解, リターフォール
13. 浄化作用 環境汚染物質の浄化
14. 環境保全 (1) 温暖化と森林
15. 環境保全 (2) 災害防止と森林

#### 授業方法：

板書と配布するプリントで行なう。

#### 達成目標：

森林環境についての基礎的項目について理解し、環境保全や浄化作用について検討できるようにする。

#### 評価方法：

授業への取り組み (25%程度), 小テスト (15%程度), 定期試験 (60%程度)

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09301	森林環境・水環境化学特殊講義 I A	2・3	2	片山幸士・ 長井正博
B06301	森林環境学特殊講義 I A	4		
B05301	環境分析化学特殊講義 I A (環境アセスメント論)			

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
有機化学 森林環境 樹木	分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

森林内の物質循環や樹木の構造を理解するために必要な有機化学の基礎を習得する。特に森林との関連を意識して講義を行う。

**授業の概要：**

原子と分子の電子構造，有機分子の形，有機物の種類と反応など，有機化学の基礎を理解させる。その上で森林環境・樹木を構成する有機物質について講述する。

**授業の計画：**

1. 有機化合物の構造と種類
2. 有機化合物の分類と命名
3. 有機化合物の立体構造
4. 有機反応のかたちと仕組み
5. 有機化合物の基本骨格と反応
6. 有機ハロゲン化合物
7. アルコールとフェノール
8. エーテルとエポキシド
9. アルデヒドとケトン
10. カルボン酸とその誘導体
11. アミンとその誘導体
12. 炭水化物と核酸
13. アミノ酸とタンパク質
14. 脂質
15. セルロース・ヘミセルロース・リグニン

**授業方法：**

教科書を中心に講義する。理解を進めるためビデオも使用する。また，授業中に小テストを数回行う。

**達成目標：**

有機化学の基礎を理解し，森林生態系での物質循環や樹木の化学に対する理解を深める。

**評価方法：**

授業への取り組み（20%程度）と課題への取り組み（20%程度）、試験（60%程度）により行う。

**教科書：**

大野公一ら『化学入門』，共立出版，1900円

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09401	森林環境・水環境化学特殊講義 I B	2・3	2	片山幸士・ 長井正博
B06401	森林環境学特殊講義 I B	4		
B05401	環境分析化学特殊講義 I B (環境アセスメント論)			

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
機器分析 分光分析 クロマトグラフ分析 電位差分析	分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

環境試料中の化学成分を分析するにあたって機器分析はますます重要になってきている。本講義では、機器分析の中でも特によく利用される分光分析を中心に、クロマトグラフ分析と電位差分析の原理と実際を習得する。

#### 授業の概要：

分光分析の基礎となる光と物質の相互作用について解説したあとで、いくつかの分光分析法について紹介する。

また、イオンクロマトグラフ分析と電位差分析についても、基本原理の解説後に、分析の実際を紹介する。

#### 授業の計画：

1. 原子と分子の電子配置
2. 光子の波長とエネルギー
3. 光子と物質の相互作用
4. 吸光光度法
5. 検量線を利用した濃度の算出
6. 分光光度計の仕組み
7. 原子吸光分析
8. 発光分光分析
9. 蛍光分析
10. 分子の運動
11. 赤外吸収スペクトル法
12. イオンクロマトグラフ分析
13. 酸化還元電位
14. 電位差分析
15. pH メーター

#### 授業方法：

配付プリントを参考にして、板書により講義を行う。毎回、計算演習などの課題を出す。

#### 達成目標：

機器分析の原理を理解する。また、主な機器の概要を説明できるようになる。

#### 評価方法：

授業への取り組み（20%）と課題への取り組み（20%）、試験（60%）により行う。機器分析の理解度を評価する。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09701	森林環境・水環境化学プロゼミナール	2・3	2	片山幸士・ 長井正博
B06701	森林環境学プロゼミナール	4		
B05701	環境分析化学プロゼミナール			

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
水環境 森林環境 水質 学術論文 精読	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

水環境化学、森林環境に関係する基本的な学術論文を精読し、これらの分野の研究例に親しむ。また、英文読解力を養う。

**授業の概要：**

前期は日本語の文献を、後期は英語の文献を読み進める。

**授業の計画：**

1. 文献配布，論文の構成
2. 文献収集の方法
- 3～15. 文献を読む
16. 文献配布
- 17～30. 文献を読む

**授業方法：**

和文・英文の論文を配布し分担を決めて読み進める。

**達成目標：**

科学論文の基本的な構成がわかる。文献収集を行うことができる。

**評価方法：**

授業への取り組みとレポートで行う。

**教科書：**

特になし

**参考文献：**

特になし

**実験・実習・教材費：**

特になし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B09801	森林環境・水環境化学演習及び実習	3	4	片山幸士・ 長井正博
B06801	森林環境学演習及び実習	4		
B05801	環境分析化学演習及び実験			

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文献講読 野外調査 データ処理	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

自分の研究テーマに必要なデータを集め、データに基づいて考え、考えを他人に伝える力を修得する。

**授業の概要：**

卒業研究の進捗状況、機器の使用状況、野外観測の実施などについて、報告してもらい、議論を行う。

**授業の計画：**

次の事項について本授業のみでなく、日常的に議論して、卒業研究の完成を目指す。

- ・研究テーマの決定
- ・研究計画の立案
- ・実験手法の検討
- ・データの処理と検討
- ・機器の管理
- ・研究報告

**授業方法：**

毎週、研究の進捗状況、野外観測の計画、分析機器の使用状況などを研究グループと個人毎に報告してもらい、報告内容に応じて、議論やアドバイスをもらう。

研究テーマに関する文献を読み、その内容の紹介も行ってもらう。

卒業研究の中間報告を数回行ってもらう。

**達成目標：**

一つのテーマに沿って、文献調査、野外観測、データ処理、報告書の作成ができる。

**評価方法：**

出席と発表内容、さらに機器管理への貢献度などで評価する。

**教科書：**

特になし

**参考文献：**

特になし

**実験・実習・教材費：**

特になし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B03101	景観生態学講義A	1	2	守村敦郎
D22101	景観文化論講義A	2・3・4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
景観、造園、庭園、公園、緑化	問題解決力、グローバルな視野、美的感受性

#### 授業のテーマ：

地域における自然環境の役割は、単に地形学や地質学、生態学の見地からのみ考えられるのではなく、社会的文化的価値をもった景観（ランドスケープ）の意味をえて、これまでにない重要性を増しつつある。本講義では、身のまわりの景観や人間性の発露というべき庭園や公園、そして景観の持つ意味について明らかにし、それを読み解く知識や考え方を身につけることを目標とする。

#### 授業の概要：

本講義では、景観デザイン分野の学問的背景や歴史、そして環境保全における役割などについて論じ、その理論や取り組みの内容について広く紹介する。

#### 授業の計画：

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. 概論                | 8. 〃 (大名庭園、現代の庭) |
| 2. 景観デザインの役割         | 9. 公園・広場の歴史      |
| 3. 西洋の庭園の歴史（古代～中世の庭） | 10. 〃            |
| 4. 〃 (ルネッサンス・バロックの庭) | 11. 景観デザインの流れ    |
| 5. 〃 (風景式庭園、現代の庭)    | 12. 景観の価値        |
| 6. 日本の庭園の歴史（古代～中世の庭） | 13. 景観の分析        |
| 7. 〃 (枯山水の庭、茶庭)      | 14. 景観の評価        |
|                      | 15. 景観の予測        |

#### 授業方法：

通常の講義形式をとる。図表やスライド等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。

#### 達成目標：

景観デザインの役割や歴史、理論を理解し、具体的な身のまわりの事例からそれらの意義について自ら考える能力を身につけることを目標とする。

#### 評価方法：

定期試験（50%）と授業への取り組み（50%）で評価する。

#### 教科書：

特に指定しない。教材は適宜配布する。

#### 参考文献：

森山雅幸編、『ランドスケープアーキテクチャーの起点』、ぎょうせい、2,800円  
「造園がわかる」研究会、『造園がわかる本』、彰国社、3,150円  
ランドスケープのしごと刊行委員会、『ランドスケープのしごと一人と自然があやなす風景づくりの現場』、彰国社、2,520円  
美しい国づくりRLA展記念出版編集委員会、『ランドスケープアーキテクト100の仕事』、東京農業大学出版会、1,680円  
篠原修、『景観用語事典 増補改訂版』、彰国社、3,780円

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B03201	景観生態学講義B	1	2	守村敦郎
D22201	景観文化論講義B	2・3・4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
景観、造園、庭園、公園、緑化	問題解決力、グローバルな視野、美的感受性

#### 授業のテーマ：

生活環境において快適性や個性の追求が広くなされるなか、目に見える構造物や風景を美しく印象深くし、社会的な価値を高めようとする景観デザインの役割はより重要度を増しつつある。本講義では、地域や都市を舞台とした今後あるべき景観とは何かについて、その利用と保全の拮抗する要求を考慮した問題性の中で考察し、さらには地域のデザインへと発展させる理論と手法について理解する。

#### 授業の概要：

本講義では、景観のデザインから施工、そして活用までの範囲について、その考え方や技術、手法などについて広く紹介する。

#### 授業の計画：

- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| 1. 景観デザインにおける緑の役割      | 9. 道路のデザイン    |
| 2. 緑化材料（植物の形態・分類）      | 10. 水辺のデザイン   |
| 3.     〃（植物の生理・生態）     | 11. 農村景観のデザイン |
| 4. 緑化技術（緑化基盤の整備）       | 12.     〃     |
| 5.     〃（人工地盤緑化）       | 13. 自然公園のデザイン |
| 6.     〃（自然再生緑化）       | 14. 景観デザインの実践 |
| 7.     〃（施工と管理、モニタリング） | 15.     〃     |
| 8. 都市景観のデザイン           |               |

#### 授業方法：

通常の講義形式をとる。図表やスライド等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。

#### 達成目標：

景観デザインの具体的な事例から、それらの意義について自ら考える能力を身につける。緑化技術についての基本的知識を習得し、その環境問題に対処する役割について理解する。

#### 評価方法：

定期試験（50%）と授業への取り組み（50%）で評価する。

#### 教科書：

特に指定しない。教材は適宜配布する。

#### 参考文献：

- 森山雅幸編、『ランドスケープアーキテクチャーの起点』、ぎょうせい、2,800円  
「造園がわかる」研究会、『造園がわかる本』、彰国社、3,150円  
ランドスケープのしごと刊行委員会、『ランドスケープのしごと一人と自然があやなす風景づくりの現場』、彰国社、2,520円  
美しい国づくりRLA展記念出版編集委員会、『ランドスケープアーキテクト100の仕事』、東京農業大学出版会、1,680円  
篠原修、『景観用語事典 増補改訂版』、彰国社、3,780円

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41101	現代文明論講義A	1・2・3・4	2	奥田 栄

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ミツバチの寓話、デザインと広告、貧困、人口問題	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

現代文明がこれからどうなるのか、その中で人はどんな風に生きることになるのか、それを改善するにはどうしたらいいか、そのようなことを自らの問題として考える。講義Aでは、情報化・消費化社会の現在と未来について学ぶ。

#### 授業の概要：

現代文明の一つの特徴を情報化・消費化と捉え、そのもたらしたさまざまな影響について概観するとともに、情報化・消費化が今後の文明にいかなる影響を与えるかを考える。

#### 授業の計画：

1. ガイダンス
2. 『ミツバチの寓話』
3. 新しいミツバチの寓話
4. デザインと広告とモード
5. 純粋資本主義
6. 『沈黙の春』
7. 環境と資源
8. ブームタウン
9. 南の貧困
10. 豊かな社会の作り出す飢え
11. 「人口問題」の構造
12. 北の貧困
13. 限界問題
14. 情報化・消費化社会
15. まとめ

#### 授業方法：

教科書を中心とした講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

#### 達成目標：

現代文明の大きな特徴である情報化・消費化について正しく理解するとともに、その内包する課題について身近な問題として捉えられるようになること。

#### 評価方法：

授業への取組（40％）に試験の結果（60％）を加味して判定する。

#### 教科書：

見田 宗介『現代社会の理論—情報化・消費化社会の現在と未来』（岩波新書）735円

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41201	現代文明論講義B	1・2・3・4	2	奥田 栄

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資本主義、国富、マルクス、豊かな社会、必要と需要	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

現代文明がこれからどうなるのか、その中で人はどんな風に生きることになるのか、それを改善するにはどうしたらいいか、そのようなことを自らの問題として考えるようになること。講義Bでは、現代文明の特徴の一つである資本主義の発展とその課題について考える。

#### 授業の概要：

資本主義の性質についてのアダム・スミスの発見から始まり、マルクスの分析を経て現代の市場主義の課題に至るまでを考察する。

#### 授業の計画：

資本主義の発展と課題

1. ガイダンス
2. 国の富とは何か（アダム・スミス）
3. 経済成長の要因（アダム・スミス）
4. 経済成長の限界（マルサス）
5. 避けられない停止状態（リカード）
6. 持続可能な発展の提唱（J. S. ミル）
7. マルクスの分析（1）
8. マルクスの分析（2）
9. 覆されたマルクスの予測
10. 大量生産
11. 大量消費と豊かな社会
12. 必要と需要の乖離
13. 資本主義の宿命
14. 市場の失敗
15. まとめ

#### 授業方法：

参考資料を中心とした講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

#### 達成目標：

さまざまな思想家によって資本主義がどのようなものとして捉えられてきたのかを理解し、その今日的課題について思い巡らせることができるようになること。

#### 評価方法：

授業への取組（40%）に試験の結果（60%）を加味して判定する。

#### 教科書：

#### 参考文献：

その都度プリントを配布したり参考文献を指示したりする。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41301	現代文明論特殊講義 I A (文明と環境理解)	2・3・4	2	奥田 栄

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境理解、呪術的世界観、共有地の悲劇	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力

**授業のテーマ:**

環境の変化は人間の生活をさまざまに規定してきた。その中で人間は環境を理解し、できるだけ生き易くしようと努力し、ついには環境を思い通りにできるようになっていった。その結果、地球環境が危機に瀕することになったわけであるが、そうした人間の活動を振り返り、今後の文明のあり方を考える。

**授業の概要:**

産業社会以前の文明による環境理解について講義する。この中には、日本の伝統的な環境理解も含まれる。

**授業の計画:**

1. ガイダンス
2. 人類はどのようにして発生したと考えられているか
3. 狩猟採集文化と環境
4. 農業の発生
5. ギルガメッシュ叙事詩
6. 環境破壊による文明の衰亡
7. 呪術的世界観とはどのようなものか
8. 神と仏
9. 平安時代と怨霊
10. 中世の終焉と環境
11. 資本主義の登場と環境
12. 共有地の悲劇とは
13. 共有地の悲劇という幻想
14. 『はげ山の研究』にみる共有地の悲劇という幻想
15. まとめ

**授業方法:**

講義による。なお、毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

**達成目標:**

現在の日本に存在する二つの世界観のうち、呪術的世界観について正しく理解するとともに、その問題点を理解できるようになること。

**評価方法:**

授業への取組(40%)に定期試験の結果(60%)を加味して判定する。

**教科書:**

とくになし。その都度参考文献を指示する。

**参考文献:**

**実験・実習・教材費:**



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41401	現代文明論特殊講義 I B (文明と環境理解)	2・3・4	2	奥田 栄

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境理解、合理的世界観、科学的世界観、相対主義	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力

**授業のテーマ:**

環境の変化は人間の生活をさまざまに規定してきた。その中で人間は環境を理解し、できるだけ生き易くしようと努力し、ついには環境を思い通りにできるようになっていった。その結果、地球環境が危機に瀕することになったわけであるが、そうした人間の活動を振り返り、今後の文明のあり方を考える。

**授業の概要:**

科学的世界観の登場とその日本への導入についてみた上で、その世界観の弊害について考える。

**授業の計画:**

1. ガイダンス
2. アリストテレスの合理主義
3. 中世の合理主義
4. デカルトの懐疑
5. ベーコンのビジョン
6. ニュートンと物理学の誕生
7. 宇宙の大きさと年齢
8. 創造説と進化論
9. 日本への合理主義の導入
10. 合理主義と迷信
11. 原子爆弾の誕生
12. 戦争と合理主義
13. 科学絶対主義から相対主義へ
14. 科学と疑似科学
15. まとめ

**授業方法:**

講義による。なお、毎回講義の最初の 20 分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

**達成目標:**

現在日本の公教育で教えられる公式の世界観である合理的世界観を正しく理解すると同時に、その世界観のもたらした弊害についても理解できるようになる。

**評価方法:**

授業への取組 (40%) に定期試験の結果 (60%) を加味して判定する。

**教科書:**

とくになし。その都度参考文献を指示する。

**参考文献:**

**実験・実習・教材費:**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41701	現代文明論プロゼミナール	2・3・4	2	奥田 栄

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
マイケル・サンデル、正義論、読む、まとめる、発表する	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

今回取り上げるのは、ハーバード白熱講義としてNHKで放映され評判となったマイケル・サンデルの『これからの「正義」の話しよう』である。一冊のテキストを時間をかけて批判的に読むことによって、テキストに書かれていることを正しく読み、理解し、解釈し、その内容を批判的に吟味する力を養う。

#### 授業の概要：

教科書を中心にスロー・リーディングの手法によって、問題の所在やその理解、解決の可能性などを考える。一章を読み終わるごとに、そのテーマに関係するマイケル・サンデルの講義のビデオを見て理解を深める。

#### 授業の計画：

一冊のテキストについて、

1. 朗読することによって、個々の漢字の読み方を知る
  2. 分からない言葉を調べ、辞書だけでは意味が分からない場合があることを知る
  3. 書いてあることを自分の言葉で言い換えてみる
  4. 書いてあることを長く引き伸ばして表現してみる
  5. 段落ごとに、何がテーマとなっているかをまとめる
  6. 節や章が終わるごとに、筆者が何を言いたかったのかをまとめる
  7. 節や章が終わるごとにそこに書かれていることを批判的に吟味するにはどのようなことを行えばよいかを学ぶ
- 以上の作業を通して、調べ、討論し、疑問を見出し、その答えを見つけ、自分の考えを発表する能力を養う。

#### 授業方法：

教科書を中心とした演習形式による。

#### 達成目標：

一冊の本を読み通し、そこに書かれていることを自分の言葉でまとめ、その内容を批判的に吟味して発表できるようになること。

#### 評価方法：

授業への取組（40％）に章毎のまとめ（60％）を加味して判定する。

#### 教科書：

マイケル・サンデル『これからの「正義」の話しよう』（早川書房）2415円

#### 参考文献：

マイケル・サンデル出演『ハーバード白熱教室』（NHK）

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B41801	現代文明論演習	3・4	4	奥田 栄

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
批判的吟味、問題発見、問題解決、プレゼンテーション	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

各人がそれぞれに興味を持った話題について発表し、その発表に基づいて討論を行う。テーマについての制限は設けず、出来るだけ広範な問題を取り上げて、批判的に考察する能力と態度を養う。

#### 授業の概要：

授業の参加者は、まず自分が興味を持てる分野が何かを明確にする。その分野についての参考となるテキストがあるかないかを調べ、見つかったときには、その内容を批判的に吟味する。見つからなかった場合には、テーマにかかわる資料を収集し、その資料の適切さなどをも含めて批判的に吟味する。

#### 授業の計画：

3年次生

各人が興味を持った著作を読み、その内容について報告を行い、その報告に基づいて議論する。

4年次生

前期

- (1) 各自の興味に応じて、課題を設定する。
- (2) 課題を探求する上で必要な資料を収集する。
- (3) 収集した資料の分析を行う。

後期

- (4) 作成中の卒業論文の内容について発表し、他のゼミ生からの批判を受ける。
- (5) 卒業論文を完成させる。

#### 授業方法：

各人の選択したテキストや資料の講読とそれに基づく議論を中心に、質疑応答を行う演習形式

#### 達成目標：

3年次生にあっては、各人が興味を持った著作を批判的に解読できるようになること。4年次生にとっては卒業論文を完成させることが目標である。

#### 評価方法：

授業への取組によって判定する。

#### 教科書：

#### 参考文献：

各人がテキストを選定し、それにもとづいて発表し、議論する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02101	環境倫理学講義A	1・2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境問題、批判的思考、論理的思考、社会問題への関心	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

今、資源、食料、環境、人口の大きな問題が同時に深刻化しつつある。私たちの人生、未来に生きる人々の命はかけがえのないものである。これらをまもるために人間は変わることができるのか？  
本講義では、今人間に求められている生き方・倫理を明らかにし、これを実現するために、新しい環境倫理学を構想する。

#### 授業の概要：

「自然」「環境」「倫理」といった語を疑い、反省していくことで、私たちの偏った自然観、人間観を把握することからはじめる。こうして、現代文明と私たちの生き方の問題を捉え、さらに学問の問題と使命について考えていく。

#### 授業の計画：

1. まもるべき「環境」とは何か？
- 2・3. 「自然」とは何を指すのか？（「自然」の概念について）①②
- 4・5. 人間の生き方としての「倫理」とその現状 ①②
- 6・7・8. 公害と地球規模の自然破壊の違い。環境倫理学の使命。①②
- 9・10・11・12. 「学問」への批判。真剣な取り組みの必要性。①②③④
- 13・14. 環境倫理学の既存の諸説の批判。環境倫理学の条件とは。①②
15. まとめ

#### 授業方法：

講義を中心に、レポートなどを課し、試験を行う。

#### 達成目標：

環境問題の現状を理解し、本質にある倫理の問題を考える。

#### 評価方法：

試験 90%、レポート、取り組み 10%。

- S. 環境問題の本質を適切に論じることができる。
- A. 環境問題の本質を批判的に論じることができる。
- B. 環境問題の本質について論じることができる。
- C. 環境倫理について論じることができる。
- D. 環境倫理について論じることができない。

#### 教科書：

増田昭一『満州の星くずと散った子供たちの遺書』（夢書房）

#### 参考文献：

授業中に指示。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02201	環境倫理学講義B	1・2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
批判的思考、社会的問題への関心、異文化理解	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

環境問題を解決する前に、私たちはモラルが崩壊してしまった現状を変えなければならない。地球規模の環境破壊の由来を近代以来のヨーロッパ思想、さらに古代ギリシアの哲学までさかのぼり、今日の人間の生き方の謎、文明の謎を解き明かす。また、東洋思想に人間の別の生き方の可能性を探る。そして、自分自身を変える、生きた倫理思想の条件を明らかにする。

#### 授業の概要：

自然に対する倫理が欠如した現状の本質を西洋思想の問題と捉え、過去にその原因をさぐってさかのぼっていく。又、次世代への責任を自覚した倫理の可能性を非西洋の倫理の伝統に求め、考察する。

#### 授業の計画：

1. 破壊されたモラルの現状。人間と人間をつなぐものは何か？
2. 人間と環境の対立。現代文明における倫理の欠如の由来について。
- 3・4・5・6. 現代文明の自然観の由来。ヨーロッパ思想の歴史。①②③④
- 7・8. 科学技術文明に対する哲学的考察。①②
- 9・10. 別の生き方の可能性。文化の多様性と可能性。①②
- 11・12. 人間の生きるべき価値・意味。人類存続の意味とは。①②
- 13・14. 環境倫理学、環境学、そして学問の現代における使命。①②
15. まとめ

#### 授業方法：

講義を中心に適宜レポートを課し、試験を行う。

#### 達成目標：

環境問題の本質と原因、次世代への責任を自覚した倫理の必要性を理解する。

#### 評価方法：

試験 90%、取り組み 10%。

- S. 環境問題の本質と課題を適切に論じることができる。
- A. 環境問題の課題と本質とを論じることができる。
- B. 環境問題の本質を論じることができる。
- C. 環境倫理について論じることができる。
- D. 環境倫理について論じることができない。

#### 教科書：

増田昭一『約束』（夢書房）

#### 参考文献：

授業中に指示

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02301	環境倫理学特殊講義 I A (自然と生)	2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然観、生、西洋思想	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

環境と人間の行為の関係構造を解明し、新しい倫理と人間像を構想するためには、自然とそのうちに生を営む人間存在の理解が要求される。本科目においては、人間と自然とを存在論的に究明した歴史上の哲学・思想における諸主張を吟味し、人間的生と自然との根本からの理解を得ることを目的とする。

#### 授業の概要：

今日の我々の自然観、人間観の由来となっている西洋思想の歴史を、発端となった古代ギリシアの諸哲学からたどる。その中で、今日の環境問題を生じさせた自然観の本質について考察する。

#### 授業の計画：

- 1 環境問題と自然観・人間観のかかわり
- 2 現代文明と古代ギリシアの自然観のかかわり
- 3 タレス 万物の根源アルケー
- 4 ヘラクレイトス 万物は流転する
- 5 パルメニデス 有るものは有る
- 6 デモクリトス アトム
- 7 プラトンにおける自然および人間 アイデア
- 8 プラトンの思想の影響
- 9 近代思想と環境問題
- 10 デカルト 「われ思うゆえにわれあり」と人間理解
- 11 デカルト 『方法序説』心身二元論における自然理解
- 12 ニュートン力学 および カント哲学
- 13 ヨーロッパにおける自然観と人間観の現代への影響
- 14 環境問題とヨーロッパ思想
- 15 まとめ

#### 授業方法：

授業は各時代の哲学者・思想家の自然・人間理解に関わる文献の解釈を中心に進められる。

#### 達成目標：

古代ギリシア以来のヨーロッパの各時代の自然観・人間観とその本質について理解し、今日の環境問題とのかかわりについて認識する。

#### 評価方法：

後期試験を中心に、出席率、レポートなどを考慮して評価する。

- S 西洋の自然観・人間観の本質を理解。
- A 西洋の自然観・人間観を理解。
- B 西洋の自然観・人間観をほぼ理解。
- C 西洋の自然観・人間観のいくつかを理解。
- D 西洋の自然観・人間観を理解していない。

#### 教科書：

授業中に適宜、解釈する文献のプリントを配布する。

#### 参考文献：

授業中に指示する。

#### 実験・実習・教材費：

ナシ

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02401	環境倫理学特殊講義 I B (自然と生)	2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ニーチェ、自然、非西洋文化	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力 (意思決定力)

#### 授業のテーマ:

環境と人間の行為の関係構造を解明し、新しい倫理と人間像を構想するためには、自然とそのうちに生を営む人間存在の理解が要求される。本科目においては、人間と自然とを存在論的に究明した歴史上の哲学・思想における諸主張を吟味し、人間的生と自然との根本からの理解を得ることを目的とする。

#### 授業の概要:

近代哲学において確立された自然観、人間観を諸思想に吟味し、その問題点を考察する。また西洋史層以外の可能性を東洋の諸思想に検証し、今日のあるべき自然観、人間観を考察する。特に、ニーチェによる西洋思想批判の意義について検証する。

#### 授業の計画:

- 1 古代ギリシアにおける自然理解と人間理解
- 2 近代思想における自然理解と人間理解
- 3 現代における自然および人間理解の問題
- 4 ニーチェ 永遠回帰 生成する世界
- 5 ニーチェ 身体を含んだ生の全体
- 6 非ヨーロッパの自然観・人間観
- 7 仏教における自然 道元『正法眼蔵』
- 8 仏教における人間観 鈴木正三『驢鞍橋』 死にならう生
- 9 アイヌ文化における自然観・人間観
- 10 アイヌ文化における自然観・人間観
- 11 環境問題に直面して動揺する自然理解・人間理解
- 12 現代文明における自然観・人間観の限界
- 13 環境問題の克服と自然観・人間観の克服
- 14 環境倫理学と現代の哲学
- 15 まとめ

#### 授業方法:

授業は各時代の哲学者・思想家の自然・人間理解に関わる文献の解釈を中心に進められる。

#### 達成目標:

ニーチェ以後の西洋哲学や東洋など諸文化における自然観・人間観とその現代的な意義をそれぞれ理解し、環境問題の克服という観点からからそれらの現代における可能性を把握する。

#### 評価方法:

後期試験を中心に、出席率、レポートなどを考慮して評価する。

- S 非西洋の自然観・人間観の意義を十分理解している。
- A 非西洋の自然観・人間観を理解している。
- B 非西洋の自然観・人間観を理解することができた。
- C 非西洋の自然観・人間観一部を理解した。
- D 非西洋の自然観・人間観の意義を理解していない。

#### 教科書:

授業中に適宜、解釈する文献のプリントを配布する。

#### 参考文献:

授業中に指示する。

#### 実験・実習・教材費:

ナシ

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
B02701	環境倫理学プロゼミナール	2・3・4	2	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
批判的思考、議論、プレゼンテーション、倫理	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

身近な問題、報道される地球規模の問題など、私たちが直面している環境の様々な問題を取り上げ、発表とその議論によって、その問題の本質を明らかにすること試みる。この議論の中で、社会のあり方、私たち自身のあり方、考え方を考える仕方を身につけ、環境倫理学への問題意識を養う。

**授業の概要：**

人間の生き方、倫理を考える視点をまず身につけることから始める。命の価値や死の問題、時代や文化による考え方の違い、そして、人間の生きる意味や目的など倫理の基本的な考え方を討論し、倫理・哲学の考え方に親しみ、最終的には自分自身で問題を見つけて発表、討論する。

**授業の計画：**

1. 環境倫理学の考え方について。倫理的な考え方。
2. 自然の価値や動物の生命の意味、人間の生きる意味など、基本的な問題を議論。
3. 問題の見つけ方、問いの立て方、発表のためのレジユメの制作などについて。
- 4～13. 発表と議論。
14. 発表・議論の総括。
15. まとめ

**授業方法：**

講義と発表を組み合わせ、発表や議論への参加の仕方を学んでいく。

**達成目標：**

環境問題や関係する現代社会の諸問題の本質を考察する観点を身につける。ゼミにおける発表やレジユメの作成、議論の仕方について習得する。

**評価方法：**

- 発表 50%、議論への参加 30%、授業への取り組み 20%。
- S. 発表、議論に積極的に参加、確かな思考を身につける。
  - A. 発表、議論の中で、環境問題に対する批判的思考を身につける。
  - B. 発表をし、議論に参加できる。
  - C. 発表をする。
  - D. 発表することができない。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

授業中に指示。

**実験・実習・教材費：**



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B02801	環境倫理学演習	3・4	4	内藤可夫

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
批判的思考、論理的思考、社会問題への関心、倫理的判断	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

現代の環境倫理学の諸文献を批判的に検討することを通じ、今日、人間の生き方の何が問題となっているのか考えていく。又、自らテーマを見つけ、考察し、批判的思考を以って環境問題に取り組んでいく。

**授業の概要：**

本科目においては、環境倫理の諸論文を取り上げ、そこで為される議論を検討することを通じて、環境倫理学の可能性を求める。また、それらの論文の背景にあるヨーロッパの古典的な思想についても議論していく。その後、個別に発表、議論を行っていく。

**授業の計画：**

前期 1～5 倫理学・哲学の基本となる文献を講読する。  
 前期 6～15 発表、討論  
 後期 1～15 発表、討論

**授業方法：**

倫理学・哲学の基本的な文献の講読を通じ、現今の環境をめぐる諸問題から哲学・倫理的な本質へと探る力を身につけることを目指し、発表の中でその成果を問う

**達成目標：**

自ら関心を持ち、調べ、分析し、議論を構成していく力を身につける。

**評価方法：**

発表 70%、授業への取り組み 30%。  
 S. 問題の本質へ近づく考察を行った発表をし、積極的に議論に参加する。  
 A. 十分な調査、考察を行った発表をし、議論に参加する。  
 B. 発表と議論とにおいて積極的に意見を述べる。  
 C. 自ら調べ考察する。  
 D. 自ら調べ考察できない。

**教科書：**

プリントなど。

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B12401	環境衛生学	2・3・4	2	木曾祥秋

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
上水道, 下水道, 水処理技術, 廃棄物, 水質汚濁	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

人間活動によって生産された物質が、適切に管理されないことによって人々の健康を脅かしてきたことは公害問題として経験しています。また、都市における人間活動の集中もまた排水や廃棄物の集中をもたらし、それらの適切な管理・処理をなくして健全な都市活動を維持することができません。本科目では、衛生的な生活環境を維持するための基盤技術について学習します。

#### 授業の概要：

公害問題の歴史的経緯を概括するとともに、安全で健康な生活を維持するための社会基盤技術について学習します。特に、身近な環境保全技術である上下水道システムを中心として、近年懸念される水系感染症、水処理技術、廃棄物処理、水質汚濁問題などについて学習します。

#### 授業の計画：

1. 公害と環境問題の歴史・・・公害対策基本法から環境基本法へ
2. 都市の衛生問題・・・水系伝染病の概史と最近問題となる病原微生物
3. 上水道（1）・・・上水道の役割
4. 上水道（2）・・・水質基準
5. 上水道（3）・・・上水道施設と浄水処理
6. 生活排水処理の社会的制度と汚濁物質
7. 汚濁物質と排水処理技術の概要
8. 下水道（1）・・・下水道の制度と役割
9. 下水道（2）・・・下水処理システム
10. 浄化槽・し尿処理
11. 廃棄物・・・分類・発生量・処理・処分
12. 水質汚濁・・・汚濁指標とその意義
13. 富栄養化による水質汚濁
14. 水質汚濁と生態系（1）
15. 水質汚濁と生態系（2）

#### 授業方法：

授業では、上記項目ごとに作成したプリントを配布し、プリントにしたがって講義します。数回のレポートを課すので、課題に関する資料などを各自が調べてレポートを作成し提出することが必要です。

#### 達成目標

- ・上下水道の役割を理解する。
- ・水処理技術の機能を理解する。
- ・廃棄物処理の仕組みを理解する。
- ・水質汚濁の現状と原因を理解する。

#### 評価方法：

講義は受講することが前提であるので、出席をとります。出席率が著しく低い場合には、期末試験の受験を認めません。

学期末に実施する試験の結果を80%、レポートを20%の割合として評価します。

#### 教科書：

適宜プリントを配布します。

#### 参考文献：

授業計画に示した事項ごとに多数の図書が出版されているので、参考にするのを勧めます。

また、環境統計資料などは環境省などのホームページから入手できます。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B12501	人文地理学	1・2・3	2	伊藤貴啓

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地理的見方・考え方 環境と人間 空間認知 地域イメージ 地域	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

地理学とは問われたら、どう答えるだろうか？地理学は文字通り、地の理（ことわり）を学ぶ学問である。高校時代の地理 A・B や中学校社会科の地理的分野とこの点で異なる。では、地のことわりを学ぶとはどういうことだろうか？人文地理学は人文現象を対象に、それを究明していく学問である。本講義では環境と人間の関わりを軸に、地の理を明らかにする視点としての地理的見方・考え方の獲得を目的とする。

#### 授業の概要：

まずは、地理学がいかに生まれてきたのかを概観してみよう。その後、人間と環境の関わりを地理学がどのようにとらえてきたのか。すなわち、地理学における環境論の変遷をみた後、地理学が対象とする地域を私たちがいかに認識し、地域イメージを形成していくのかを捉えていきたい。その際、地域イメージと文学やマスメディアの関係などに視点を置いて考えることにしよう。

#### 授業の計画：

- 第1回 地理学とは：時間と空間、そして地理学
- 第2回 地理的見方・考え方（1）地域と地域の関係：名古屋大都市圏の拡がり
- 第3回 “（2）自然と自然の関係：自然が織りなす地形
- 第4回 “（3）自然と人間の関係：オランダを事例に
- 第5回 “（4）地域的特色の把握：東日本と西日本
- 第6回 地理学における空間認識の変遷（1）環境決定論
- 第7回 “（2）環境可能論
- 第8回 “（3）環境認知論
- 第9回 心象風景と地域（1）原風景の形成：新美南吉の場合
- 第10回 “（2）文学と地理空間：夏目漱石の場合
- 第11回 “（3）軽井沢のイメージはいかにつくられたのか
- 第12回 地域イメージの形成と地域（1）農村という神話
- 第13回 “（2）アニメと地域
- 第14回 “（3）マスメディアと地域
- 第15回 地理学と地域－前期まとめ

#### 授業方法：

教科書は利用せず、各回に資料を配付しながら、パワーポイントで講義を行う。参考文献は適宜、提示する。第9回の新美南吉では『ごんぎつね』、第10回の夏目漱石では『門』を取り扱うので、事前に読んでくること。なお、各回に疑問点などを提出してもらう。

#### 達成目標：

地域の諸現象を地理的見方・考え方から認識する能力を培う

#### 評価方法：

評価は平常点（30%）、試験（70%）で行う。なお、平常点は各回の疑問点などの記入内容を基に判断する。

- S：授業で取り扱わなかった地域の諸現象を地理的見方・考え方をういて自ら考察できる水準に達したもの
- A：授業で取り扱った地域の諸現象を4つの地理的見方・考え方をういて適切に考察できる水準に達したもの
- B：授業で取り扱った地域の現象を地理的見方・考え方の一つをういて考察できる水準に達したもの
- C：授業で取り扱った地域の現象と地理的見方・考え方の関係を考察できる水準に達したもの
- D：授業で取り扱った地域の現象と地理的見方・考え方の関係を考察できる水準に達していないもの

#### 教科書：

利用せず

#### 参考文献：

各回に適宜明示

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B12601	地誌学	1・2・3	2	伊藤貴啓

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地域と地域性 日本の地域構造 人口移動 都市システム 産業と地域	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

地誌学は地理学において、系統地理学とともに二大分野をなす。それは地域を対象に、地域の仕組み・構造を明らかにするものである。社会科では小学校中学年から5年生にかけて、地域教材や日本の産業などさまざまなことを学ぶ。また、中学校地理的分野では学指導要領の改訂によって、日本の各地方や世界に関する地誌的内容を学ぶ場面が増えることとなった。では、地誌的に地域を把握するとはどのようなことであろうか。本講義では、日本を題材に現代日本の地域構造からこの点に迫り、地域を地誌的に考えることができるようになることを目的とする。

**授業の概要：**

まずは地誌学とはどのようなことを究明しようとするのかをみてみよう。その後、社会科における地誌の取扱いをみた後、具体的題材としての現代日本の地域構造を人口・都市・産業の側面から明らかにしていく。

**授業の計画：**

- 1回 地誌学とは
- 2回 地域と地誌
- 3回 人口からみた日本の地域構造 (1)：人口推移と人口学方程式
- 4回 〃 (2)：人口動態の変化
- 5回 〃 (3)：人口移動の地域性
- 6回 〃 (4)：高齢化の地域性
- 7回 〃 (5)：日本の将来人口と外国人集住
- 8回 都市からみた日本の地域構造 (1)：都市の形成と都市化
- 9回 〃 (2)：都市の階層性とその変化
- 10回 〃 (3)：都市システムからみた日本
- 11回 産業からみた日本の地域構造 (1)：産業構造の変化と地域
- 12回 〃 (2)：工業都市とその変化
- 13回 〃 (3)：工業の地域構造
- 14回 〃 (4)：サービス経済化と地域
- 15回 後期のまとめ－地誌学と日本の地域構造

**授業方法：**

教科書は利用せず、各回に資料を配付しながら、パワーポイントで講義を行う。参考文献は適宜、提示する。なお、各回に疑問点などを提出してもらう。

**達成目標：**

地域の特色を考察できる能力を培う

**評価方法：**

評価は平常点(30%)、試験(70%)で行う。なお、平常点は各回の疑問点などの記入内容を基に判断する。

- S：授業で取り扱わなかった地域の諸現象を用いて地域的特色を自ら考察できる水準に達したもの
- A：授業で取り扱った地域の諸現象を用いて地域的特色を適切に考察できる水準に達したもの
- B：授業で取り扱った地域の諸現象のうち、一つの側面から地域的特色との関係を考察できる水準に達したもの
- C：授業で取り扱った地域の現象と地域的特色の関係を考察できる水準に達したもの
- D：授業で取り扱った地域の現象と地域的特色の関係を考察できる水準に達していないもの

**教科書：**

利用せず

**参考文献：**

各回に適宜明示

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13101	森林管理学A	2・3	2	北川勝弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
森林管理の理念、環境倫理、生態系重視、持続可能な森林	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

森林と人間が共生しうるような望ましい森林管理のあり方を、環境倫理の視点に立ち、日本の自然思想の歴史を辿ることによって検討し、森林生態系を重視した森林管理が重要であることを述べる。そして、森林のもつ環境保全と木材生産の両機能を両立させる森林管理を実現させる手法について、技術的な面からも具体的に考究する。

#### 授業の概要：

森林と人間が共生しうる望ましい森林管理の理念について、環境倫理の考え方に基づいて検討した後、森林のもつ環境保全機能を維持しながら木材生産を経営的に成り立たせる森林管理を実現させる手法について、森林のゾーニングや路網整備など、技術的な面からも講述する。

#### 授業の計画：

1回	森林管理の理念(1) - 従来の問題点	9回	森林のゾーニング
2回	<現地見学①：里山整備>	10回	森林管理の基盤整備 - 路網整備と機械化
3回	森林管理の理念(2) - 生態系の重視	11回	<現地見学④：機械化林業>
4回	森林管理の理念(3) - 自然との共生	12回	森林管理作業の実行
5回	<現地見学②：人工林整備>	13回	モントリオールプロセスと森林認証
6回	森林管理の理念(4) - 持続可能性	14回	<現地見学⑤：巨樹・希少樹探訪>
7回	わが国における森林利用の歴史	15回	森林技術者養成
8回	<現地見学③：東海道松並木>		

#### 授業方法：

主として教科書に基づく解説の他、適宜、配布資料により内容を補う。なお、「森林管理学B」(4時限目)と組み合わせて、近在の民有林等をマイクロバスで訪問し、森林管理状況などを現地見学する(5回予定)ので、「森林管理学B」との同時受講者のみを、マイクロバスの乗車定員(20名)まで、受け付ける。

#### 達成目標：

「望ましい森林管理のあり方」を考えるうえで、「環境倫理」の視点に立ち、森林生態系を重視する必要があることを理解する。

#### 評価方法：

期末試験(50%)と学期途中で出題するレポート(1回;20%)、および授業への取り組み(30%)により行う。

#### 教科書：

山田容三：『森林管理の理念と技術』。昭和堂、p.225、2009年、(3,000円+税)

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

現地見学に5回(予定)出かけるためのマイクロバス・チャーター代(1人1,000円/回)を教務課に前納のこと。「森林管理学B」と併せての見学行事。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13201	森林管理学B	2・3	2	北川勝弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
森林整備、森林の健全性、森林バイオマス利用、持続可能な森林経営、森林保全の国際協調	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

森林と人間が共生しうるような、今日的な視点に立った森林管理のあり方に関わる、個別の重要課題を取り上げて、それらの今日的な意義と問題点、および、問題解決への方策について考究する。

**授業の概要：**

里山整備、人工林整備など、森林管理に関わる典型的なトピックスを取り上げて、現地見学とも関連させながら、国際的な視野と地域的な視野の両面から、各課題についての理解を深められるよう、講述する。

**授業の計画：**

- |    |                     |     |                   |
|----|---------------------|-----|-------------------|
| 1回 | 里山整備－COP10と里山イニシアチブ | 9回  | 森林バイオマス利用と木材の地産地消 |
| 2回 | <現地見学①：里山整備>        | 10回 | 持続可能な森林経営         |
| 3回 | 人工林整備－森林作業のあり方      | 11回 | <現地見学④：機械化林業>     |
| 4回 | 森の健康診断－間伐作業の必要度判定   | 12回 | 樹木と文明             |
| 5回 | <現地見学②：人工林整備>       | 13回 | 森林保全の国際協調         |
| 6回 | 都市林の造成－明治神宮の森       | 14回 | <現地見学⑤：巨樹・希少樹探訪>  |
| 7回 | 世界の森林利用の歴史          | 15回 | 岡崎市の百年後の森林ビジョン    |
| 8回 | <現地見学③：東海道松並木>      |     |                   |

**授業方法：**

毎回、資料を配布して解説する。場合により、テーマと関連したビデオを放映する。なお、「森林管理学A」（3時限目）と組み合わせて、近在の民有林等をマイクロバスで訪問し、森林管理状況などを現地見学する（5回予定）ので、「森林管理学A」との同時受講者のみを、マイクロバスの乗車定員（20名）まで、受け付ける。

**達成目標：**

各トピックスを通じて、「望ましい森林管理のあり方」を考えるうえで基本となる、今日的な視点について理解する。

**評価方法：**

期末試験（50％）と学期途中で出題するレポート（1回；20％）、および授業への取り組み（30％）により行う。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

各回の授業の際に紹介する。

**実験・実習・教材費：**

現地見学に5回（予定）出かけるためのマイクロバス・チャーター代（1人1,000円／回）を教務課に前納のこと。「森林管理学A」と併せての見学行事。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13301	森林生態学	2・3	2	北川勝弘

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物多様性、生態系／生態系サービス、森林環境、生態系の保全修復	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

地球上の植物生態系の中で最大のバイオマスを持つ森林の生態系について、構造、機能、動態などの面から考究し、生態系の保全・修復に関する基本的な考え方についても述べる。最後に、以上の森林生態学の基礎的な知識を踏まえて、今日の世界的な大きな関心事のひとつである、持続可能な森林経営に至る道筋について考える。

**授業の概要：**

森林生態系の構造、機能、動態を概観し、森林と樹木の生活史を詳細に分析することにより、生物多様性、生態系／生態系サービス、森林環境、生態系の保全・修復についての基本的な理解を深められるよう、講述する。

**授業の計画：**

1回	生物多様性と生態系	9回	森林と樹木の生活史(2) - 有性繁殖
2回	森林生態系の特徴と生態系サービス	10回	森林と樹木の生活史(3) - 有無性繁殖
3回	森林と環境(1) - 気候と森林群系	11回	森林の生態的保全(1) - 天然林と二次林
4回	森林と環境(2) - 環境と森林植生	12回	森林の生態的保全(2) - 自然撓乱と管理
5回	森林の遷移(1) - 生態遷移	13回	生態系修復(1) - やせ地の緑化
6回	森林の遷移(2) - 極相論	14回	生態系修復(2) - 共生菌類の修復への利用
7回	森林の遷移(3) - 二次遷移	15回	森林・樹木の健全性 - 持続可能な森林管理
8回	森林と樹木の生活史(1) - 展葉		

**授業方法：**

毎回、資料を配布して、解説する。場合により、テーマと関連したビデオを放映する。

**達成目標：**

望ましい地球環境を保全するうえで不可欠な、森林と人間が共生しうる社会を考えるうえでの出発点となる、森林についての基礎的知識を習得する。

**評価方法：**

期末試験(50%)と学期途中で出題するレポート(1回;20%)、および授業への取り組み(30%)により行う。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

堤 利夫 編：『森林生態学』。朝倉書店、p.166、1989年、(2,987円)  
 小池孝良 編：『樹木生理生態学』。朝倉書店、p.264、2004年、(5,040円)  
 佐々木恵彦・木平勇吉・鈴木和夫 編著：『森林科学』。文永堂出版、p.294、2007年、(5,040円)

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13401	海洋環境学A	2・3・4	2	鈴木輝明

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
海洋生態系、海洋環境修復、赤潮、貧酸素、干潟域	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

**授業のテーマ：**

海洋特に内湾域における環境の悪化は、多様な海洋生物群集からなる浮遊生態系及び底生生態系の構造の変化と、それに伴う物質循環の歪みとして現れる。従って、悪化した海洋環境の修復には、これら生態系の構造と機能を理解する必要がある、本特論はその中心となる海洋環境学および海洋生態学についての基礎的な理解と最新の研究内容を探求する。

**授業の概要：**

海洋環境学、海洋生態学の専門用語や基礎的理論を習得しながら、現在多くの海域で発生している深刻な海洋環境問題の現状及びその原因分析とそれらに対する適切な対応策に対する理解を深める。

**授業の計画：**

- 1回～ 2回 海洋環境問題の現況
- 3回～ 4回 海洋における浮遊生態系、底生生態系の基本的構造
- 5回～ 8回 内湾に発生する赤潮及び貧酸素水塊の発生機構
- 9回～10回 赤潮及び貧酸素水塊の予測に係わる生態系モデルの理論と応用
- 11回～13回 干潟・藻場生態系の構造と機能及びその定量的解析手法
- 14回～15回 海洋環境修復に関する政策論

**授業方法：**

講義内容を整理したパワーポイントによって解説し、これに加えて関連資料を適宜配布し理解度を深める。

**達成目標：**

海洋、特に人間活動の影響を強く受ける沿岸域の様々な海洋環境問題の実態や海洋生態系の悪化機構について科学的に理解し、それらに対する適切な対応を思考できる能力を習得する。

**評価方法：**

前期末の試験（70%）と授業への取り組み（30%）により行う。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13501	海洋環境学B	2・3・4	2	鈴木輝明

期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目 この科目を履修希望するためには、Aの履修が必須です。
前期	集中	A	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
海洋生態系、海洋環境修復、赤潮、貧酸素、干潟域	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

**授業のテーマ：**

海洋環境学Aで習得した基礎的な知識を基に、海洋環境の変動に強く依存している漁業生産現場やそれらを専門的に研究している機関等を訪問し、関係者の講話や意見交換の中でより海洋環境問題の現況とそれに対する対応策についての理解を深める。

**授業の概要：**

漁業生産現場を訪問し、直接、漁業関係者から海洋環境問題の漁業への影響を聞き取り認識を深めるとともに、専門研究機関に出向いて最新の環境修復策等についての研究成果を聴聞し、意見交換を行う。

**授業の計画：**

日程、訪問場所等は後日提示

**授業方法：**

現場視察

**達成目標：**

海洋、特に人間活動の影響を強く受ける沿岸域の様々な海洋環境問題に対する適切な対応を思考できる能力を習得する。

**評価方法：**

レポート提出

**教科書：**

なし

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

後日提示

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13601	環境意識調査法	2・3・4	2	吉岡崇仁

期間	曜日	時限	備考：
後期	集中	F	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境意識、環境の価値、環境アセスメント、シナリオ、選好	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

環境意識とは何だろうか。そもそも、人が何かを意識するとはどういうことなのか。環境保全に対する意識の高さを表すいわゆる「環境意識」とは違うのか。地球環境問題が抜き差しならなくなってきた21世紀に、人間と環境の間を取り結んでいる環境意識そのものの意味を考え、知る方法にはどのようなものがあるのかを考えます。

#### 授業の概要：

環境を意識するということの概念的理解、環境の何を意識しているのかについて考察します。環境に対する意識を調査する方法として、環境が変化すること（環境変化シナリオ）に対し、人びとが環境への価値判断（選好）を変動させるかどうかを調べることによって、環境意識を解析する方法について概説します。

#### 授業の計画：

- (1)「環境意識を理解する」 環境意識とは何か、環境の価値評価、環境アセスメント
- (2)「環境意識を調査する」 環境経済学的手法の概要、調査対象環境と調査対象者の関係、質的データの解析、環境シナリオの作成、シナリオアンケート
- (3)「環境の将来像にむけて」 環境意識再考、環境意識のうちとそと、環境の物語り論から環境教育

#### 授業方法：

主に、板書とプリント、一部スライドを用いた講義形式で進めますが、上記(1)～(3)の項目ごとに質疑応答と受講生間での議論によって理解を深めて行きます。

#### 達成目標：

環境の価値評価・価値判断が、人びとの環境への態度や行動を決める上で重要であることを理解できるようにします。環境意識の多様性を越えて環境の将来像を考える総合的な能力を習得します。

#### 評価方法：

質疑応答や議論への参加など授業への取り組みと後日提出してもらったレポートを各50%として評価します。

#### 教科書：

『環境意識調査法 環境シナリオと人びとの選好』吉岡崇仁編、勁草書房（2009）  
総合地球環境学研究所で実施された「環境意識プロジェクト」の成果本。環境シナリオを用いて人びとの環境意識を明らかにする方法についてまとめられており、これを教科書として授業を進めます。

#### 参考文献：

『環境の哲学』桑子敏雄、講談社学術文庫、講談社（1999）環境と人との関係の概念について学ぶ。  
『環境評価入門』鷺田豊明、勁草書房（1999）環境の価値とその評価方法の基本を学ぶ。  
『環境評価と環境会計』栗山浩一、日本評論社（2000）仮想評価法による環境の経済評価について学ぶ。  
『環境と観光の経済評価』栗山浩一・庄子康、勁草書房（2005）環境経済学手法について学ぶ。  
『森里海連環学』京都大学フィールド科学教育研究センター編、山下洋監修、京都大学学術出版会（2007）  
京大の全学共通科目「森里海連環学」の講義内容がまとめられており、森と里と海のつながりを自然科学、人文社会学の多方面から学ぶことができる書籍です。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13701	地球環境問題概説	1・2・3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地球環境、温暖化、海洋汚染、生物多様性、森林の減少	問題解決能力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

温暖化、砂漠化、森林破壊、海洋汚染、生物多様性の減少など地球規模の環境問題が深刻化しつつあり、人類の存続さえ脅かしています。その主要な要因は急激に膨張した人類活動が、46億年をかけて形成してきた地球の恒常的なメカニズムを攪乱していることにあります。この地球環境問題の解決は人類の喫緊的課題であり、高度な国際的取り組みだけでなく、私たち一人一人の自覚と行動が求められています。この授業では地球環境問題全般を概説し、基本的な知識の修得と環境マインドを醸成し、より専門的な学修のための知的土台を形成することにあります。

#### 授業の概要：

地球環境問題に対する基本的な見方、考え方を説明したうえで、温暖化、酸性雨、砂漠化など代表的な個別テーマを毎回取り上げて、その現象と構造、影響と要因、国際的取り組みと日本の対策などを概説する。最後に地球環境問題の文明的な位置づけと今後の展望について検討する。

#### 授業の計画：

1. 地球環境問題の見取り図 (1)
2. 地球環境問題の見取り図 (2)
3. 地球の温暖化 (1)
4. 地球の温暖化 (2)
5. オゾン層の破壊
6. 酸性雨
7. 海洋汚染
8. 有害廃棄物の越境移動
9. 生物の多様性の減少
10. 森林の減少
11. 砂漠化
12. 開発途上国等における環境問題
13. その他 (南極、世界遺産、黄砂、漂流・漂着ゴミ)
14. その他 (食糧問題、水問題)
15. まとめ (地球環境問題と文明)

#### 授業方法：

教科書を基本にスライドと配布資料を活用した講義形式とする。

#### 達成目標：

1. 地球環境問題に関する時事報道を容易に理解できる知識レベルと、それを正しく読み解く環境リテラシーを身につける。
2. 地球環境問題へ高い関心を持ち、環境に配慮した日常行動を心掛ける環境マインドを身につける。

#### 評価方法：

授業の取り組み 40%、テスト 60%として評価する。

#### 教科書：

地球環境研究会編『地球環境キーワード辞典』中央法規 1,575円

#### 参考文献：

「気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第4次評価報告書統合報告書要約」  
[http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/syr\\_spm.pdf](http://www.env.go.jp/earth/ipcc/4th/syr_spm.pdf)

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B13801	日本低炭素社会のシナリオ	1・2・3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
気候変動、京都議定書、国内対策、京都議定書以降のシナリオ、経済成長、人間の欲望	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

まず科学編として、現状では温室効果ガスがどれくらい排出されているのか、気候変動を急激なものとしないうためには地球全体でどれだけ排出を削減する必要があるのかなどについて、IPCC や国立環境研究所などの見解に基づき講義する。次に対策編として、排出削減義務を各国・各部門がどれだけ負うのか、どのような方法で排出削減するのかなどについて、京都議定書に基づく現状の取り組みについて講義した後、京都議定書以降（2013年以降）のシナリオ（例として、国立環境研究所と京都大学を中心とする「2050 日本低炭素社会シナリオ」研究）を紹介する。

#### 授業の概要：

急激な気候変動を防止するための国際的取り決めや各国・各部門の対策について紹介し、その実態と問題点についても考える。

#### 授業の計画：

- (1) イントロダクション
- (2) 気候変動に関する基礎知識
- (3) 京都議定書（2012年までの国際的取り決め）
- (4) 京都議定書の運用ルール（京都メカニズム・森林吸収源・遵守制度など）
- (5) 日本国内の政策の現状
- (6) 環境税・排出権取引、詳論
- (7) (8) EU（特にイギリス）の政策の現状
- (9) ～ (13) 2013年以降のシナリオ：「2050 日本低炭素社会シナリオ」研究
- (14) グリーン・ニューディール
- (15) まとめ

#### 授業方法：

教科書や資料をもとにした講義形式で進行する。

#### 達成目標：

気候変動問題の現状を理解し、適切な対策について考える。

#### 評価方法：

期末試験および授業への取り組み

#### 教科書：

西岡秀三編『日本低炭素社会のシナリオ』 日刊工業新聞社 。2,520 円

#### 参考文献：

気候ネットワーク編『よくわかる地球温暖化問題』中央法規、2009年。 など  
その他適宜紹介する

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A09801	環境化学実験 I	3・4	2	長井・林

期間	曜日	時限	備考：2時限連続 履修抽選対象科目
前期	月	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
化学実験 水質測定 野外観測 レポート作成	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

実験計画を立て、これに基づき、器具の準備、試薬調製、試料水の採取、そして成分分析の一連の操作が行える力を養成する。

本演習では水質汚濁指標の生物化学的酸素要求量の測定を行う。この成分の測定は基礎化学実験で修得した技術を応用して行うことができる。

**授業の概要：**

大学近隣の河川で水を採取し、BODの測定を行う。

**授業の計画：**

1. ガイダンス
2. 生物化学的酸素要求量（BOD）について
3. 試薬の調製
4. チオ硫酸ナトリウム溶液の標定
5. BOD0の測定
6. BOD7の測定
7. レポート指導

**授業方法：**

教科書と配布プリントに従って行う。毎回の予習とレポートの提出が必須である。

**達成目標：**

実験書を参考にして、実験を行うことができる。

**評価方法：**

出席、実験に対する取り組み方とレポートにより評価する。

**教科書：**

実験書（基礎化学実験と同じもの）を使用する。

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

30,000円（実験試薬及び消耗品）

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
A09901	環境化学実験Ⅱ	3・4	2	長井・林
<b>期間</b>	<b>曜日</b>	<b>時限</b>	<b>備考：2時限連続 履修抽選対象科目</b>	
後期	月	3・4		
<b>授業のキーワード</b>		<b>人間環境大学が育む八つの能力</b>		
機器分析 水質調査 データ処理 レポート作成		コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）		

**授業のテーマ：**

機器分析に必要な基礎的な知識と技術を修得する。

測定の対象物質であるリン酸は、演習及び実験Ⅰで扱った生物化学的酸素要求量と同様、水質汚濁の指標の一つである。この物質を、分光光度計を用いて、モリブデン青法により分析する

**授業の概要：**

分光光度計を使用して、環境水中のリン酸濃度を測定する。

**授業の計画：**

1. ガイダンス
2. 生体中のリンの存在形態について
3. 試薬の調製
4. モリブデン青の吸収スペクトルの測定
5. モリブデン青の吸光度の時間変化
6. 検量線の作成
7. 環境水中のリン酸態リンの定量
8. レポート指導

**授業方法：**

教科書と配布プリントに従って行う。毎回の予習とレポートの提出が必須である。

**達成目標：**

分析機器の基本的な扱いについて習得する。

**評価方法：**

出席、実験に対する取り組み方とレポートにより評価する。

**教科書：**

実験書（基礎化学実験と同じもの）を使用する。

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

30,000 円（実験試薬及び消耗品）

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
A09701	植物学実習	2・3・4	2	藤井伸二

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	木	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
植物、解剖、同定、植生調査	分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

種子植物の花構造と同定。

**授業の概要：**

植物の繁殖器官を材料に、双眼実体顕微鏡を用いた解剖実習を行う。各器官の観察とスケッチを行い、植物図鑑の具体的な活用方法を訓練する。さらに、植物標本の作製実習、野外での植生調査の実習を行う。

**授業の計画：**

- 1～2回：両性花の解剖
- 3回：キク科の花解剖
- 4回：単性花の解剖
- 5回：イネ科の花解剖
- 6～7回：同定実習
- 7～8回：標本作製
- 9回：標本同定
- 10～11回：落葉性二次林植生調査
- 12回：データ解析
- 13～14回：常緑性二次林植生調査
- 15回：標本作製実習、植生調査実習

**授業方法：**

実験室での実習と野外での実習の両方を行う。

**達成目標：**

植物図鑑を使った植物種の同定技能を身につけるとともに、植生調査の方法を習得する。

**評価方法：**

レポート提出による。15分以上の遅刻は欠席とみなす。4回以上欠席の場合は単位を認めない。

**教科書：**

岩瀬徹・大野啓一、「写真で見る植物用語」、全国農村教育協会、2,200円（税別、各自で購入のこと）。

**参考文献：**

- 1) 佐竹義輔他、「フィールド版日本の野生植物－草本」、平凡社、7,800円（税別）。
- 2) 佐竹義輔他、「フィールド版日本の野生植物－木本」、平凡社、6,602円（税別）。
- 3) 谷城勝弘、「カヤツリグサ科入門図鑑」、全国農村教育協会、2,800円（税別）。

**実験・実習・教材費：**

受講にあたっては、上記教科書の他に実習費（顕微鏡観察消耗品費、標本作製消耗品費）7,000円が必要。

**その他：**

環境保全論を主専攻学科目に選択する学生は必ず受講すること。受講にあたっては、「基礎生物学」と「環境保全論講義」が履修済みであることが望まれる。「生物分類技能検定」資格の取得を目指す人に受講を薦める。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44101	環境経済学講義A	1・2・3	2	山根卓二
B40101	環境経済学原論講義A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
経済活動と豊かさとの関係、経済政策	グローバルな視野、価値判断力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

「お金が儲かることが幸福である」「景気が良くなれば幸福である」という考え方を当然のこととして受け入れず、その考え方の有効性と限界について論じる。このことを抜きにして環境問題を論じることができないからである。

#### 授業の概要：

「国内総生産（GDP）」の概念について解説した後、①現代経済のしくみはどうなっているのか、②なぜ生産や所得を増大させることがよいと言われているのか、③生産や所得はどのように生み出されるのか、④それらを増やすためにはどのような政策が必要か、さらには、⑤生産や所得が増えればそれで「豊かである」と本当に言えるのか、などについて検討する。また、財政や金融と環境問題との関わりについても取り上げる。

#### 授業の計画：

- (1) 経済の意味、「豊かさ」とお金
- (2) 経済循環①
- (3) 経済循環②
- (4) 国内総生産（GDP）①
- (5) 国内総生産（GDP）②
- (6) 国内総生産（GDP）③
- (7) 財政政策
- (8) 財政政策と公共事業
- (9) 財政赤字
- (10) 金融政策
- (11) 環境問題と金融活動
- (12) バブルの形成と崩壊
- (13) 日本におけるバブル崩壊
- (14) サブプライムローン問題、金融恐慌
- (15) まとめ

#### 授業方法：

基本的に講義形式で進める。必要に応じて資料を用いる。

#### 達成目標：

経済ニュースの内容が理解できるほどの経済学の知識を身につける。

#### 評価方法：

期末試験 60%、授業への取り組み 10% 小テスト 30%。

- 経済学の有効性と限界をよく理解している…S  
 経済学を知っている……………A  
 経済学を知っているがあまり説明力がない…B  
 ところどころ間違っ理解している……………C  
 上記のレベルに達していない……………D

#### 教科書：

特に指定しない。

#### 参考文献：

次を挙げておくが、その他はそのつど紹介していく。  
 L. サロー、R. ハイムブローナー、J. ガルブレイス [1990] 『現代経済学（上・下）』 中村達也訳、TBSブリタニカ。

#### 実験・実習・教材費：



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44201	環境経済学講義B	1・2・3	2	山根卓二
B40201	環境経済学原論講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境税、排出権取引、人間の欲望、自然の商品化	グローバルな視野、価値判断力、分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

環境経済学の理論と応用（環境税、排出権取引、環境評価）について学ぶ。また、現状の環境経済学の有効性を認めつつも、この学問が対処できない問題領域（人間の無制限の欲望、自然の商品化など）についても検討する。

**授業の概要：**

環境経済学の理論を学んだ後で、その応用である環境税や排出権取引、環境評価などについて説明する。また、それらが政策として国内外でどのように実施されているかも紹介する。後半では、環境経済学の前提について批判を加え、この学問をどう改革していくべきかについても検討する。

**授業の計画：**

- (1) 市場と環境①
- (2) 市場と環境②
- (3) 環境経済学の基礎理論
- (4) 環境税の理論
- (5) 環境税の実際
- (6) 排出権取引の理論
- (7) 排出権取引の実際
- (8) 環境評価理論
- (9) 資源物理学者から見た経済学の欠点
- (10) 開発（development）の本当の意味＝人間開発
- (11) お金の価値と環境の価値
- (12) 見栄、嫉妬、無制限の欲望
- (13) 自然の商品化
- (14) 農業と市場原理
- (15) まとめ

**授業方法：**

基本的に講義形式で進める。必要に応じて資料を用いる。

**達成目標：**

環境経済学の知識を身につける。また、それを批判的に検討する能力を身につける。

**評価方法：**

期末試験 60%、授業への取り組み 10% 小テスト 30%。  
 環境経済学の有効性と限界をよく理解している…S  
 環境経済学を知っている……………A  
 環境経済学を知っているがあまり説明力がない…B  
 ところどころ間違っ理解している……………C  
 上記のレベルに達していない……………D

**教科書：**

特に指定しない。

**参考文献：**

次を挙げておくが、その他はそのつど紹介していく。  
 植田和弘 [1996] 『環境経済学』 岩波書店。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44301	環境経済学特殊講義 I A (環境経済学史)	2・3	2	山根卓二
B40301	環境経済学原論特殊講義 I A (環境経済学史)	4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
科学の統合 人間と環境とのつながり 経済学史 (経済思想の歴史)	グローバルな視野、価値判断力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ:

経済学を他の学問領域と統合することを目指した環境経済学者 K.W. カップの業績を紹介しながら、経済と環境とのつながりや環境問題の原因などについて考える。

#### 授業の概要:

現代の経済学の教科書に登場する人間は、ひたすら利潤や満足の大きさを計算する（そして環境の価値さえも金銭的に評価する）ロボットのような存在である。また、その人間は自然や社会から切り離されているし、それ自身、身体や社会性を持たない薄っぺらな存在である。K.W. カップは、このような事態を打開すべく、人間を物質であり、生物であり、個人であり、かつ社会の一員でもあるような多層構造を持った存在であるにとらえた。本講義では、教科書的な環境経済学とカップのそれとを比較しながら、環境問題の原因のとらえ方とその解決法について考えていく。

#### 授業の計画:

- (1) A.C. ピグーの経済学 (教科書に載っている環境経済学の基本的な考え方)
- (2) K.W. カップの経歴と初期の思想
- (3) 『社会に生きる人間の科学へ向けて』 (科学統合の基本思想が描かれた著作) ①
- (4) 『社会に生きる人間の科学へ向けて』 ② 生物としての人間
- (5) 『社会に生きる人間の科学へ向けて』 ③ 社会に生きる人間
- (6) 『私的企業の社会的費用』 (環境問題が生じるメカニズムを分析した著作) ①
- (7) 『私的企業の社会的費用』 ② 金銭では測れない人間と環境
- (8) 『私的企業の社会的費用』 ③ 人間の心理と環境破壊
- (9) カップの教育思想 経済学教育における経済学史の重要性
- (10) アダム＝スミス『国富論』① 市場経済の勃興
- (11) アダム＝スミス『国富論』②
- (12) アダム＝スミス『道徳感情論』 経済と倫理
- (13) J.S. ミル『自由論』 教育の重要性
- (14) J.S. ミル『経済学原理』 市場経済の弊害
- (15) まとめ

#### 授業方法:

基本的に講義形式で進める。必要に応じて資料を用いる。

#### 達成目標:

科学の統合や経済学の歴史の重要性について理解する。

#### 評価方法:

期末試験 80%、小テスト 20%。

環境経済学の有効性と限界をよく理解している……………S  
 環境経済学について知っている……………A  
 環境経済学について知っているがあまり説明力がない…B  
 ところどころ間違っ理解している……………C  
 上記のレベルに達していない……………D

#### 教科書:

特に指定しない。

#### 参考文献:

K.W. カップ『私的企業と社会的費用』岩波書店  
 その他、適宜授業中に紹介していく。

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44401	環境経済学特殊講義 I B (環境経済学史)	2・3	2	山根卓二
B40401	環境経済学原論特殊講義 I B (環境経済学史)	4		

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
所得水準と幸福 経済体制と環境 経済学史 (経済思想の歴史)	グローバルな視野、価値判断力、分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ:**

「公害」(kogai) という言葉を世界で最初に用いた経済学者都留重人の環境経済思想について取り上げる。また、彼が批判的に継承したケインズやマルクスの思想についても解説する。

**授業の概要:**

日本の環境経済学に多大な影響を与えた経済学者都留重人の業績を振り返り、その現代と将来における意義と残された課題について論じる。

**授業の計画:**

- (1) イントロダクション
- (2) 都留重人の経歴と基本思想
- (3) 『所得と福祉』① 所得水準と実質的な生活水準について
- (4) 『所得と福祉』② ムダの制度化
- (5) 『公害の政治経済学』① 素材面と体制面の区別と統合
- (6) 『公害の政治経済学』② GDP 指標と公害問題
- (7) 『公害の政治経済学』③ ニューディール政策の有効性と限界
- (8) 『公害の政治経済学』④ 現代資本主義論
- (9) 都留重人が批判的に継承したマルクスの思想
- (10) 『資本論』①
- (11) 『資本論』②
- (12) 都留重人が批判的に継承したケインズの思想
- (13) ケインズ『一般理論』①
- (14) ケインズ『一般理論』②
- (15) まとめ

**授業方法:**

基本的に講義形式で進める。必要に応じて資料を用いる。

**達成目標:**

現代経済のしくみとそれが引き起こす環境問題について理解する。経済学史の重要性を理解する。

**評価方法:**

期末試験 80%、小テスト 20%。  
 環境経済学の有効性と限界をよく理解している……………S  
 環境経済学について知っている……………A  
 環境経済学について知っているがあまり説明力がない…B  
 ところどころ間違っ理解している……………C  
 上記のレベルに達していない……………D

**教科書:**

特に指定しない。

**参考文献:**

都留重人『都留重人著作集 全 13 巻』講談社。  
 尾高煌之助・西沢保編『回想の都留重人—資本主義、社会主義、そして環境』勁草書房。  
 その他適宜授業中に紹介していく。

**実験・実習・教材費:**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44701	環境経済学プロゼミナール	2・3	2	山根卓二
B40701	環境経済学原論プロゼミナール	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境経済学の多様なアプローチ	グローバルな視野、価値判断力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

多様な環境経済学のアプローチ法を学び、それぞれの方法の有効性と限界を理解する。

#### 授業の概要：

前期では、環境経済学の多様なアプローチを一通り習得する。

後期では、前期で取り上げた内容の中で興味を持ったものについて、各自が調査し報告する。例えば、

- ・ 代表的な公害事件について、その歴史と現状を調べる
- ・ 地球温暖化問題や生物多様性問題の現状について調べる
- ・ 都市と農村の間の関係が歴史的にどう変遷したか調べる
- ・ 豊かさを測る指標としてGDP以外にどのようなものが提案されているか調べる
- ・ 「グリーン・ニューディール」政策の可能性について調べる
- ・ 経済のグローバル化が環境に及ぼす影響について調べる
- ・ 環境保全の思想について調べる

など。

#### 授業の計画：

(前期)

- |                                     |                                |
|-------------------------------------|--------------------------------|
| (1) イントロダクション                       | (9) 環境税制改革 環境政策と費用負担           |
| (2) 環境問題と経済学 持続可能な発展論               | (10) 環境資源の最適管理                 |
| (3) 環境破壊の原因 公共的意志決定                 | (11) グローバルな環境問題と経済 地球温暖化 生物多様性 |
| (4) GDP (国内総生産) という指標の問題点 環境・経済統合勘定 | (12) 所得格差と人口・食糧・環境問題           |
| (5) 環境と開発の経済学 環境保全と世代間公平            | (13) 環境保全をめぐる法と経済              |
| (6) 環境の価値と意志決定ルール                   | (14) 社会経済構造の変化と環境問題            |
| (7) 環境政策の目標・手段・主体                   | (15) 環境経済論の系譜 (環境経済学史) と課題     |
| (8) 環境政策の設計 環境税 排出権取引               |                                |

(後期) 前期で取り上げた内容の中で興味を持ったものについて、各自が調査し報告する。

#### 授業方法：

(前期) 報告者が教科書の内容について報告する→最新情報を調べて補う→質疑応答

(後期) 興味の湧いたテーマについてより深く調べたり原典を読んだりする→調べたものを報告する→質疑応答

#### 達成目標：

環境問題には様々なタイプがあり、それに応じて様々なアプローチがあることを理解する。

#### 評価方法：

授業への取り組み (発言、報告内容) で評価する

- 環境経済学についてよく理解している……………S  
 環境経済学について知っている……………A  
 環境経済学について知っているがあまり説明力がない…B  
 ところどころ間違っ理解している……………C  
 上記のレベルに達していない……………D

#### 教科書：

植田和弘 [1996] 『環境経済学』 岩波書店。

#### 参考文献：

適宜授業中に紹介していく。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B44801	環境経済学演習	3	4	山根卓二
B40801	環境経済学原論演習	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
経済成長と環境問題 貧困 経済格差	グローバルな視野、価値判断力、分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

環境経済学の分析手法を習得しながら、その有効性と限界について理解する。

**授業の概要：**

- ①卒論やその他各自が興味を持ったテーマについて調査し、報告する。
- ②卒論に関する文献、その他各自が興味を持ったテーマに沿った文献を輪読する。

**授業の計画：**

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(前期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) イントロダクション</li> <li>(2) 成長か開発か</li> <li>(3) 経済開発に伴う問題</li> <li>(4) 貧困と経済格差</li> <li>(5) クズネッツ曲線</li> <li>(6) 南北格差</li> <li>(7) 格差の是正</li> <li>(8) 人口・食糧・エネルギー問題①</li> <li>(9) 人口・食糧・エネルギー問題②</li> <li>(10) 持続可能な経済成長</li> <li>(11) 環境クズネッツ曲線</li> <li>(12) 世代間公平</li> <li>(13) ~ (15) 中間報告</li> </ul> | <p>(後期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 発展途上国の環境問題</li> <li>(2) 自由貿易と環境</li> <li>(3) 後発の利益</li> <li>(4) 「市場の失敗」と「政府の失敗」</li> <li>(5) 環境税</li> <li>(6) 排出権取引</li> <li>(7) 環境価値の評価</li> <li>(8) 市場メカニズムによる解決の限界</li> <li>(9) 地球環境問題</li> <li>(10) 地球温暖化①</li> <li>(11) 地球温暖化②</li> <li>(12) 全地球的な倫理</li> <li>(13) ~ (15) 最終報告</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

その他適宜卒論の書き方について解説する。

**授業方法：**

基本的に受講者の問題関心に沿って進める。卒論を控えている人のために、そのテーマに沿った文献を輪読する。また、各自で選択したテーマについて調べ、報告する。

**達成目標：**

各自で選択したテーマについて詳細に調べ、理解し、報告する。

**評価方法：**

- 授業への取り組み（発言、報告内容）で評価する。
- 各自のテーマについてよく調べ、よく理解し、報告できる…S
  - 各自のテーマについてよく調べ、よく理解している……………A
  - 各自のテーマについてよく調べている……………B
  - 各自のテーマについてあまり調べていない……………C
  - 全くやる気がない……………D

**教科書：**

受講者と話し合っ決めて、さしあたり以下の文献を考えている。  
石見徹 [2004] 『開発と環境の政治経済学』東京大学出版会。

**参考文献：**

戸田山和久 [2002] 『論文の教室』NHK ブックス。  
適宜授業中に紹介していく。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
B46301	環境法制・政策論特殊講義 I A	2・3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境経済・環境政策・環境法制の政策統合（ポリシー・ミックス）、環境保全と公共政策、サステイナブルシティ・サステイナブルコミュニティ、逆都市化時代のまちづくり（シュリンキング・ニッポン）	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

先進国では、都市における資源・エネルギーの浪費と、地方都市の全般的な衰退傾向が、環境問題と職場・雇用の確保の面から社会の持続可能性を脅かしている。都市と都市的なライフスタイルを環境と福祉にやさしいものにつくりかえ、さらに環境保全や環境ビジネスによって経済を活性化していくことが求められている。こうした観点から、都市問題を、環境経済、地域経済、環境政策、産業政策、環境法制、都市法制の政策統合によって解決する展望を探る。

#### 授業の概要：

A Bあわせて履修することが望ましい。

- ①「開発と保全」、「規制と誘導」、「市場と共同体」、「PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）」など、都市をめぐる経済、政策、法学の基本的な概念と理論を紹介する。
- ②図式的、通説的なとらえ方ではなく、様々な立場にはそれぞれの主張があることを知る。
- ③「理論と現実」にはギャップがあること、どちらかを絶対視するのではなくギャップに至るプロセスを観察することを重視する。

#### 授業の計画：

1. 都市が注目される訳① 世界人口の7割？が都市に住む時代  
～（1）新興国での激的な都市化現象 （2）現代人のライフスタイルの普遍化としての都市生活
2. 都市が注目される訳② エコロジー  
急速に悪化する都市環境問題～生態系、メタボリズム（物質代謝・物質循環・環境容量）、都市災害（都市水害、ヒートアイランド）、アメニティ、地球環境問題との関係
3. 都市が注目される訳③ エコノミー  
日本企業の復活の救世主になるか？都市環境ビジネス ～太陽光発電、水道インフラ、スマートシティ（エコオフィス・エコ住宅、スマートグリッド）、L R T・新幹線、電気自動車、
4. 5. 6. 7. 8. 交通需要マネジメントとまちづくり～ 四条河原町の自動車規制を素材として  
・道路建設から交通需要マネジメントへ～供給促進から需要管理・制御（TDM）へ  
・TDM手法とコンパクトシティ～コンパクトシティの意義と限界（「陸の孤島」化する郊外、都市内「限界集落」、都市内格差の拡大（棲み分け、インナーシティ問題）  
・都市と自動車～電気自動車、自動車の社会的費用論、自動車産業論、カーシェアリング  
・都市と公共交通～ 環境にやさしい公共交通がなぜに縮小・撤退しなければならないか？  
・都市と自転車～ ソフトエネルギー・バスという考え方
9. 10. 11. 12. 13. 都市の廃棄物処理～行政にとって、ビジネスにとって  
・家庭ごみ ～リサイクルの現状と処理場問題、NIMBY 症候群  
・産業廃棄物 ～不法投棄と処理場問題、廃棄物処理法、産廃Gメン  
・公害問題 ～足尾銅山、豊島  
・リサイクルの事業採算性～「リサイクル貧乏」、民間委託、都市鉱山、廃棄物の国際移動  
・費用負担の理論と実際  
・リサイクル政策の国際比較
14. 15. 都市環境の包括的マネジメント  
・環境マネジメントとコミュニティマネジメント  
・コモンズとしての都市～所有から利用へ（占有から共有へ）、分かち合いによる絆づくりへ

#### 授業方法：

毎回、新聞記事を編集したプリントを配布する。テーマに即しつつ、日本経済の現状に関連した産業関係のDVD（ビデオ）を活用するので、上手に就職活動にも役立ててほしい。

#### 達成目標：

わが街に関心をむけ、まちに関する諸事象を見て、「見えないものを見る」感覚を養う。断片的な現象をつないで都市の全体像を創造する訓練をする。政策や法制度が依拠する理論を理解し、まちづくりに参加できる科学的なりテラシーを養う。

#### 評価方法：

試験（レポートを含む）60%、積極的・主体的な授業参加態度40%

#### 教科書：

未定

#### 参考文献：

「都市環境論」（花木啓祐、学芸出版社、2006年）2600円（税別）  
その他、授業のなかで紹介する

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B46401	環境法制・政策論特殊講義 I B	2・3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境経済・環境政策・環境法制の政策統合（ポリシー・ミックス）、環境保全と公共政策、環境マネジメントとコミュニティマネジメント、逆都市化時代のまちづくり（シュリンキング・ニッポン）	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

先進国では、都市における資源・エネルギーの浪費と、地方都市の全般的な衰退傾向が、環境問題と職場・雇用の確保の面から社会の持続可能性を脅かしている。都市と都市的なライフスタイルを環境と福祉にやさしいものにつくりかえ、さらに環境保全や環境ビジネスによって経済を活性化していくことが求められている。こうした観点から、都市政策・都市法制を環境政策と環境法制の側面からとらえなおしてみる。

#### 授業の概要：

A Bあわせて履修することが望ましい。

- ①「開発と保全」、「規制と誘導」、「市場と共同体」、「PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）」など、都市をめぐる経済、政策、法学の基本的な問題構制と理論を学ぶ。
- ②図式的、通説的なとらえ方ではなく、様々な立場にはそれぞれの主張があることを知る。
- ③「理論と現実」にはギャップがあること、どちらかを絶対視するのではなくギャップに至るプロセスを観察することを重視する。

#### 授業の計画：

1. まちづくりが注目される訳① 都市の形成史と構造（例えば、欧・米・アジアの都市）
2. まちづくりが注目される訳② EUの都市再生戦略
3. まちづくりが注目される訳③ アメリカの都市の成長管理政策
4. まちづくりが注目される訳④ 逆都市化時代の建築・住まい方
5. 6. 7. 景観政策の理論と実際
  - ～京都市の景観条例（都市と景観）と真鶴市の美の条例（都市美）を素材として
  - ・「よい景観、悪い景観」～「都市の美」は誰が決める？その基準は？
  - ・法律と条例～役割、齟齬、意義と限界、
  - ・都市政策とまちづくりの違い
  - ・修復（保全）型開発という考え方、公共財としての景観という考え方
  - ・都市景観問題の本質
8. 9. 10. 都市計画的規制の理論と実際
  - ～中心市街地活性化問題（シャッター通りとまちづくり三法）を素材として
  - ・都市の賑わい・活力はどこから来るのか？～地域経済との関連
  - ・人口移動、都市型ライフスタイル、人口構成、世帯構成、家族の変化
  - ・大型店・コンビニ・商店街の共存は可能か？法律で調整できるのか？
  - ・消費者としての市民とまちづくりの担い手としての市民のはざま
11. 応用問題：環境問題なのか、小売店舗規制問題なのか？
  - ～京都市コンビニ深夜規制を素材として
12. 13. 環境権が挑む都市計画法制度
  - ～岡崎市の建築紛争の事例から
  - ・都市計画・建築基準法・地区協定における環境の扱い
  - ・都市計画の考え方（ハーワードの「明日の都市」、ジェイコブズの4つの原則とシティネス）
14. 15. 都市問題と環境問題から考える経済・政策・法制分野の政策統合

#### 授業方法：

毎回、新聞記事を編集したプリントを配布する。テーマに即しつつ、日本経済の現状に関連した産業関係のDVD（ビデオ）を活用するので、上手に就職活動にも役立ててほしい。

#### 達成目標：

わがまちに関心をむけ、まちを歩いているとき、見えないものを見る（発見）感覚、断片的な現象をつないで都市の全体像を創造する訓練をする。政策や法制度が依拠する理論を理解し、まちづくりに参加できる科学的なりテラシーを養う。

#### 評価方法：

試験（レポートを含む）60%、積極的・主体的な授業参加態度40%

#### 教科書：

未定

#### 参考文献：

- 『コミュニティを問い直す』（広井良典、筑摩書房、2009年）903円（税込み）  
『都市（まち）なぜなぜ、おもしろ読本』（山田雅夫、山海堂、）  
\* その他、授業の中で紹介する

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B46801	環境法制・政策論演習	3・4	4	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境ガバナンス、経済・政策・法制の政策統合、環境保全と公共政策、理論と実際	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、コミュニケーション力

#### 授業のテーマ：

環境経済、環境政策、環境法制各々の意義と限界を検討し政策統合の必要性を解説する。そのうえで環境問題の解決となっている事項は何か、理論と実際のギャップはどこからくるのか、どのようなメカニズム・プロセスで発現するのかを各自のテーマに即して考える。

#### 授業の概要：

テキストの輪読と検討。卒業論文の進捗にあわせた発表と相互の検討。  
卒業論文作成（資料分析、論文作成の技法の指導を含む）。プレゼンテーションの練習。

#### 授業の計画：

前期 抽象的な理論を現実的に課題や現象にひきつけて理解する。

- ① テキストを通読、精読、熟読する。
- ② 専門書の書評をする
- ③ 自分の研究したいテーマ、卒論テーマを決定する。
- ④ 卒論作成のための文献紹介をゼミ学習の一つのテーマとする。
- ⑤ 就職活動にあわせて、キャリア形成教育。企業研究に取り組む。

後期 卒論の中間発表と相互検討

- ① 4年生は、卒論の進捗状況と達成分を発表する。
- ② 3年生は、関心をもったテーマで自由発表する、あるいは書評をする。
- ③ テキストの検討と解説
- ④ 個別の卒論指導

#### 授業方法：

ゼミ生による自主的なゼミ運営を軸にして進める。（テキストを輪読する際のレジュメ、報告、コメント、司会を分担する。学生は論理的に自分の意見を述べ、相互に批評する。教員はコメントする。）卒論の中間発表、テキスト、自由発表を交互に繰り返す。

#### 達成目標：

- ① 主要な環境問題とその基礎理論をサーベイし、基本的な知識・概念を理解する。
- ② 卒論を完成することを通して各自なりの自学自習のノウハウを身に付ける。

#### 評価方法：

積極的・主体的な授業参加態度70%、発表の独創性20%、演習への貢献10%

#### 教科書：

未定（ゼミ生の関心を交流したうえで後日、指定する。）

#### 参考文献：

「エコロジストのための経済学」（小島寛之、東洋経済新報社、2006年）1700円  
「環境保全と公共政策」（講座環境経済・政策学第4巻、岩波書店、2002年）3200円  
他、適宜、紹介する。

#### 実験・実習・教材費：



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B42101	資源循環型経済社会論講義A	1・2・3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
循環型社会、廃棄物、再生資源（循環資源）、一般廃棄物、産業廃棄物	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

わが国は2000年に循環型社会形成推進基本法を制定し、20世紀の大量生産・大量消費・大量廃棄の一方通行型経済社会から循環型経済社会へ向かって大きく舵を切りました。本講義では循環型経済社会の理解にとって最も基礎的な廃棄物と再生資源（循環資源）の諸過程の実態について理解します。

#### 授業の概要：

廃棄物は資源であるという立場から、廃棄物と循環資源などの静脈過程の基本的カテゴリーの理解、廃棄物処理過程や再資源化過程の実際、統計的な全体像、及びその歴史的過程等について学び、循環型社会形成のための諸課題を考察します。

#### 授業の計画：

1. 授業の概要
2. 廃棄物と循環資源 (1) 廃棄物の定義と分類
3. 廃棄物と循環資源 (2) 廃棄物の処理主体
4. 廃棄物と循環資源 (3) 循環資源（再生資源）の定義
5. 廃棄物と再生資源 (4) 廃棄物と循環資源の区別と比較
6. 廃棄物処理過程の実際 (1) 収集運搬過程
7. 廃棄物処理過程の実際 (2) 中間処理・再生処理過程
8. 廃棄物処理過程の実際 (3) 最終処分過程
9. 廃棄物処理と再資源化の統計 (1) 一般廃棄物
10. 廃棄物処理と再資源化の統計 (2) 産業廃棄物
11. 静脈過程と静脈産業 (1)
12. 静脈過程と静脈産業 (2)
13. 廃棄物処理の歴史 (1) 江戸時代まで
14. 廃棄物処理の歴史 (2) 明治から第二次大戦まで
15. 廃棄物処理の歴史 (3) 第二次大戦以後

#### 授業方法：

講義形式で進めますが、必要に応じてビデオ・スライド・プリント等の資料を用いて解説します。

#### 達成目標：

循環型社会に関する基礎的知識を修得するだけでなく、私たちの生活過程と結びつけて問題意識を掘り起こす能力を身につけます。

#### 評価方法：

授業の取り組み 40%、テスト 60%として評価します。

#### 教科書：

吉野敏行著『資源循環型社会の経済理論』（東海大学出版会／3,045円）

#### 参考文献：

寄本勝美『リサイクル社会への道』（岩波新書）

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B42201	資源循環型経済社会論講義B	1・2・3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
最終処分場、不法投棄、容器包装リサイクル、家電リサイクル	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

20世紀の高度な経済成長は、資源の無尽蔵な存在と環境の無限な浄化・同化能力を前提とした大量生産・大量消費・大量廃棄の一方通行型経済社会システムによって実現されました。しかし、各種の環境汚染や地球環境問題等に直面し、この経済社会システムは限界に達しています。本講義は循環型社会形成の背景と現状、今後の展望について明らかにします。

#### 授業の概要：

循環型社会の形成促進という立場から、今日の廃棄物問題の特性やその社会経済的背景、住民・業界の減量・リサイクル活動の現況、循環型社会の概念、行政の政策手法やリサイクル諸制度などについて概説します。

#### 授業の計画：

1. 授業の概要
2. 現代の廃棄物問題 (1) 廃棄物処理施設の逼迫
3. 現代の廃棄物問題 (2) 市町村のごみ処理費用の増大、
4. 現代の廃棄物問題 (3) 不法投棄・不適正処理
5. 現代の廃棄物問題 (4) 廃棄物による環境汚染
6. 現代の廃棄物問題 (5) 資源の枯渇問題・その他の諸問題
7. 循環型社会の概念と原則 (1)
8. 循環型社会の概念と原則 (2)
9. 循環型社会構築の政策手法 (1) 政策手法の概要・直接規制
10. 循環型社会構築の政策手法 (2) 経済的手法
11. 循環型社会構築の諸制度 (1) デポジット制度
12. 循環型社会構築の諸制度 (2) 欧州の容器包装リサイクル制度
13. 循環型社会構築の諸制度 (3) 日本の容器包装リサイクル制度
14. 循環型社会構築の諸制度 (4) 家電リサイクル制度
15. 循環型社会構築の諸制度 (5) その他の諸制度・拡大生産者責任制度

#### 授業方法：

講義形式で進めますが、必要に応じてビデオ・スライド・プリント等の資料を用いて解説します。

#### 達成目標：

循環型社会形成の背景となる廃棄物問題や対策、諸制度等の知識を修得するだけでなく、それを通じて問題の解決方法を発見する能力を身につけます。

#### 評価方法：

授業の取り組み 40%、テスト 60%として評価します。

#### 教科書：

吉野敏行著『資源循環型社会の経済理論』（東海大学出版会／3,045円）

#### 参考文献：

吉田文和『循環型社会』（中公新書／860円）

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B42301	資源循環型経済社会論特殊講義 I A (循環型社会の経済理論)	2・3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
経済システム、人口圧力、物質代謝、エネルギー代謝、人間圏	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

われわれは、20世紀の大規模な環境破壊を通じて環境のもつ意味と重要性を発見し、人間活動との係わりとその構造についての新たな諸科学を発展させてきた。本講義では、文明とは人間と自然との間の物質・エネルギー代謝の様態であるという視点から持続可能な循環型文明のあり方を展望する。

**授業の概要：**

環境経済学を基礎に、環境と人口、環境と経済システム、文明と物質・エネルギー代謝の様態を歴史的に考察する。

**授業の計画：**

1. ガイダンス
2. 環境経済学の対象としての環境 (1)
3. 環境経済学の対象としての環境 (2)
4. 環境と人口圧力 (1)
5. 環境と人口圧力 (2)
6. 環境と人口圧力 (3)
7. 環境と経済システム (1)
8. 環境と経済システム (2)
9. 環境と経済システム (3)
10. 人間圏の物質・エネルギー代謝 (1)
11. 人間圏の物質・エネルギー代謝 (2)
12. 文明と物質・エネルギー代謝 (1)
13. 文明と物質・エネルギー代謝 (2)
14. 日本の物質・エネルギー代謝
15. まとめ

**授業方法：**

基本的に講義形式で進めるが、必要に応じてビデオやプリント等の資料を用いて解説する。

**達成目標：**

人間と環境との係わりを立体的、構造的、歴史的にとらえる方法論を習得する。

**評価方法：**

授業の取り組み 30%、テスト 70%として評価する。

**教科書：**

指定なし

**参考文献：**

植田和弘『環境経済学』（岩波書店）  
松井孝典ほか『社会地球科学』（岩波書店）

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B42401	資源循環型経済社会論特殊講義 I B (循環型社会の経済理論)	2・3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
廃棄物、外部費用、経済的厚生分析、環境税、デポジット	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、グローバルな視野

**授業テーマ:**

20 世紀の物質文明を支えてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済原則を明らかにし、資源循環型社会を実現するための新たな経済原則を展望する。

**授業の概要:**

環境経済学を基礎に、20 世紀の物質文明を支えてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会システムの仕組みと経済原則を概説するとともに、資源循環型社会を実現するための経済システムのあり方とそれを支える新たな経済原則について、現実に形成されつつある循環市場の動向を踏まえながら明らかにする。

**授業の計画:**

1. ガイダンス
2. 市場メカニズムと廃棄物の価格 (1)
3. 市場メカニズムと廃棄物の価格 (2)
4. 市場メカニズムと外部費用 (1)
5. 市場メカニズムと外部費用 (2)
6. 外部費用の発生要因 (1)
7. 外部費用の発生要因 (2)
8. 循環型経済構築の政策的着眼点 (1)
9. 循環型経済構築の政策的着眼点 (2)
10. 循環型経済を構築するための政策体系
11. 環境税の経済分析 (1)
12. 環境税の経済分析 (2)
13. デポジット制度の経済分析
14. 拡大生産者責任の経済分析
15. まとめ

**授業方法:**

基本的に講義形式で進めるが、必要に応じてビデオやプリント等の資料を用いて解説する。

**達成目標:**

環境経済学の外部費用論、経済的厚生分析の手法を理解する。

**評価方法:**

授業の取り組み 30%、テスト 70%として評価する。

**教科書:**

指定なし

**参考文献:**

植田和弘『環境経済学』(岩波書店)  
吉野敏行『資源循環型社会の経済理論』(東海大学出版会)

**実験・実習・教材費:**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B42701	資源循環型経済社会論プロゼミナール	2・3・4	2	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基本的文献、レポート報告、自主調査	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、コミュニケーション力

**授業のテーマ：**

資源循環型経済社会のあり方を考えていくための予備的学習として、基本的文献の理解と自主調査を通じて参加者の問題意識を掘り起こす。

**授業の概要：**

基本的文献を輪読して学問的な理解と読解力を高めるとともに、参加者の問題意識に基づく自主調査の発表と活発な討議によって広く問題意識と基礎知識を共有する。

**授業の計画：**

＜前期＞

1. ガイダンス
2. テキストのレポート報告と討議
3. テキストのレポート報告と討議
4. テキストのレポート報告と討議
5. テキストのレポート報告と討議
6. テキストのレポート報告と討議
7. テキストのレポート報告と討議
8. テキストのレポート報告と討議
9. テキストのレポート報告と討議
10. テキストのレポート報告と討議
11. テキストのレポート報告と討議
12. 自主調査テーマの設定と計画
13. 自主調査テーマの設定と計画
14. 自主調査テーマの設定と計画
15. 自主調査テーマの設定と計画

＜後期＞

1. ガイダンス
2. 自主調査の中間発表と討議
3. 自主調査の中間発表と討議
4. 自主調査の中間発表と討議
5. 自主調査の中間発表と討議
6. 自主調査の中間発表と討議
7. 自主調査の中間発表と討議
8. 自主調査の中間発表と討議
9. 自主調査の最終報告と討議
10. 自主調査の最終報告と討議
11. 自主調査の最終報告と討議
12. 自主調査の最終報告と討議
13. 自主調査の最終報告と討議
14. 自主調査の最終報告と討議
15. まとめ

**授業方法：**

1. テキストの読解については、担当した章のレポート作成と発表を行い、活発な討議を行いながらテキスト内容の理解を深め、読解力、レポート作成力、プレゼンテーション能力を高める。
2. 自主調査レポートの発表については、事前に自分の問題意識に基づく課題を設定し、資料収集と調査、分析、レポート作成等を通じて、調査研究の基本的手法を修得する。
3. 参加者は、順番を決めてテキストのレポート報告と自主調査の発表を行う。

**達成目標：**

自分の問題意識を掘り起こし、調査研究のスキルを身につけて演習参加の準備を整える。

**評価方法：**

テキストレポート報告 40%、自主調査レポート発表 40%、討議参加 20%で評価する。

**教科書：**

吉田文和『循環型社会』（中公新書／860円）

**参考文献：**

山谷修作編著『循環型社会の公共政策』（中央経済社）

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B42801	資源循環型経済社会論演習	3・4	4	吉野敏行

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
調査研究テーマ、研究計画書、政策形成能力、プレゼンテーション能力	分析・総合の思考力と判断力、問題解決能力、コミュニケーション力

#### 授業のテーマ：

本演習の目標は、環境分野における政策形成能力とプレゼンテーション能力の向上にある。活発な討議を通じて問題意識の共有化と知識の深化を図っていく。

#### 授業の概要：

参加者へは問題意識の形成、調査研究のテーマ設定、研究計画書の作成、フィールドワークの実施、中間報告、最終報告と段階的な作業を課し、課題抽出や解決策の提案などの訓練を通じて、分析手法や応用理論を身につける。

#### 授業の計画：

##### <前期>

1. ガイダンス
2. 調査研究テーマの設定
3. 調査研究テーマの設定
4. 調査研究テーマの設定
5. 調査研究テーマの設定
6. 研究計画書の作成
7. 研究計画書の作成
8. 研究計画書の作成
9. 研究計画書の作成
10. 中間報告(1)
11. 中間報告(1)
12. 中間報告(1)
13. 中間報告(1)
14. 中間報告(1)
15. 中間報告(1)

##### <後期>

1. ガイダンス
2. 中間報告(2)
3. 中間報告(2)
4. 中間報告(2)
5. 中間報告(2)
6. 中間報告(2)
7. 中間報告(2)
8. 最終報告
9. 最終報告
10. 最終報告
11. 最終報告
12. 最終報告
13. 最終報告
14. 最終報告
15. まとめと反省

#### 授業方法：

1. 参加者は事前に割り振った順番で、①研究テーマの設定、②研究計画書の作成、③中間報告(1)、④中間報告(2) ⑤最終報告を発表する。
2. 発表に当たっては、パワーポイントで作成したスライド発表とする。

#### 達成目標：

自分の問題意識から学術的研究テーマを設定し、研究スキルを用いて分析と課題の解決策を提案し、効果的なプレゼンテーションができるようになる。

#### 評価方法：

調査研究の発表 60%、討議参加 40%で評価する。

#### 教科書：

特に指定なし。

#### 参考文献：

- 吉田文和『循環型社会』（中公新書）  
 山谷修作編著『循環型社会の公共政策』（中央経済社）

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22101	地域経済論講義A	1・2・3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
持続可能な地球、成長・豊かさ、グローバル／ナショナル／リージョナル・ローカル	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

「経済と環境」。～両者の間には、単純に「対立」でも「両立」でもない様々な局面があることを、具体的に様々な局面、テーマを通して解説する。例えば、貿易ルールや都市システムや、国内の民主主義の成熟度や国際関係における先進国と途上国の力関係など、国内外の政治社会のあり方によって大きな影響が作用していることを念頭において解説していきたい。

#### 授業の概要：

A Bあわせて履修することが望ましい。

- ①「市場」「規制」「費用負担」など、経済学の入門的知識を考え方を学ぶ。
- ② 図式的、通説的などらえ方ではなく、様々な立場にはそれぞれの主張があることを知る。
- ③ 「理論と現実」にはギャップがある。どちらかを絶対視するのではなくギャップに至るプロセスを観察することを重視する。

#### 授業の計画：

1. オリエンテーション 「経済」「経済学」「経済学的思考」／エコロジーとエコノミー
2. 3. 食糧・食品問題①  
食卓から考える「経済と環境」～フードマイレージ、地産地消・スローフード運動、トレイサビリティ、バーチャル・ウォーター、食糧自給率・食糧安全保障
4. 5. 食糧・食品問題②  
コメから考える「経済と環境」～TPPと農業政策、農業・農地の公共的役割
6. 7. 食糧・食品問題③  
遺伝子組み換え動植物から考える「経済と環境」～バイオエタノール、農業の工業化、クローン動物、昆虫パワー
8. 9. 食糧・食品問題④  
コーヒー豆から考える「経済と環境」～アグリビジネス、フェアトレード、生態系、
10. 11. 先端技術①携帯電話から考える「経済と環境」～レアメタル、都市鉱山、BRICS、資源外交
12. 13. 先端技術②電気自動車から考える「経済と環境」～自動車の歴史的転換、新興国パワー、日本の技術・産業構造の今後
14. 15. 豊かさとは何か、成長とは何かについて、「経済と環境」にかかわらず、目下の社会問題をとりあげて考えてみたい。

#### 授業方法：

毎回、新聞記事を編集したプリントを配布する。テーマに即しつつ、日本経済の現状に関連した産業関係のDVD（ビデオ）を活用するので、上手に就職活動にも役立ててほしい。

#### 達成目標：

商品・サービスの裏面にある＜生産－流通－消費－廃棄＞過程とその担い手について関心をもつ。そして、環境に配慮する消費者・生活者として主体者意識を育てる。

#### 評価方法：

試験（レポートを含む）60%、積極的・主体的な授業参加態度40%

#### 教科書：

未定

#### 参考文献：

授業の中で、テーマごとに紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22201	地域経済論講義B	1・2・3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
持続可能な地球、成長・豊かさ、グローバル／ナショナル／リージョナル・ローカル	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

「経済と環境」～両者の間には、単に「対立」でも「両立」でもない様々な局面があることを、具体的に様々な局面、テーマを通して解説する。例えば、貿易ルールや都市システムや、国内の民主主義の成熟度や国際関係における先進国と途上国の力関係など、国内外の政治社会のあり方によって大きな影響が作用していることを念頭において解説していきたい。

#### 授業の概要：

A Bあわせて履修することが望ましい。

- ① 「市場」、「規制」、「費用負担」など、経済学の入門的知識を考え方を学ぶ。
- ② 図式的、通説的なとらえ方ではなく、様々な立場にはそれぞれの主張があることを知る。
- ③ 「理論と現実」にはギャップがあること、どちらかを絶対視するのではなくギャップに至るプロセスを観察することを重視する。

#### 授業の計画：

1. オリエンテーション～激変する日本の産業構造、少子高齢化社会のインパクト
2. 3. グリーンイノベーション～新興国パワーと新興国マーケット、都市インフラ整備ビジネスのld南北問題とnew南北問題
4. 5. 水問題から考える「経済と環境」～水メジャー、水道インフラビジネス
6. 7. 都市環境問題①京都市景観条例から考える「経済と環境」～「景観」と生活環境、修復（保全）型開発という考え方、「良い景観、良いデザイン」とは誰が決めるの？
8. 9. 都市環境問題②四条河原町の自動車規制から考える「経済と環境」～総合交通体系、モータリシフトの手法（パーク&ライド、LRT、ロードプライシング、カーシェアリング、TDM等）
10. 11. 都市環境問題③京都市コンビニ深夜規制から考える「経済と環境」～都市的ライフスタイル、環境規制なの？店舗規制なの？ 便利さの影で～、
12. 13. 都市環境問題④EUの都市再生・経済成長戦略に学ぶ「経済と環境」～環境・歴史・文化・経済の「四兎を追う」EUの戦略を通して、環境政策・環境法制・経済成長（環境ビジネス・環境経営）の複合戦略を学ぶ。
14. 環境ガバナンス①COP15・16から考える「経済と環境」～地球温暖化問題、京都議定書、排出権取引・環境税、グリーンメカニズムなど。
15. 環境ガバナンス②COP10から考える「経済と環境」～生物多様性問題（遺伝子・種・生態系の多様性、特許、誰にとっての希少性？ 個体管理の困難さ）、環境外交・政治の駆け引き

#### 授業方法：

毎回、新聞記事を編集したプリントを配布する。テーマに即しつつ、日本経済の現状に関連した産業関係のDVD（ビデオ）を活用するので、上手に就職活動にも役立ててほしい。

#### 達成目標：

商品・サービスの裏面にある＜生産－流通－消費－廃棄＞過程とその担い手について関心をもつ。そして、環境に配慮する消費者・生活者として主体者意識を育てる。

#### 評価方法：

試験（レポートを含む）60%、 積極的・主体的な授業参加態度40%

#### 教科書：

未定

#### 参考文献：

授業の中で、テーマごとに紹介する。

#### 実験・実習・教材費：



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22301	地域経済論特殊講義 I A (地域資源管理論)	2・3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境経済・環境政策・環境法制の政策統合(ポリシー・ミックス)、環境保全と公共政策、サステイナブルシティ・サステイナブルコミュニティ、逆都市化時代のまちづくり(シュリンキング・ニッポン)	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ:

先進国では、都市における資源・エネルギーの浪費と、地方都市の全般的な衰退傾向が、環境問題と職場・雇用の確保の面から社会の持続可能性を脅かしている。都市と都市的なライフスタイルを環境と福祉にやさしいものにつくりかえ、さらに環境保全や環境ビジネスによって経済を活性化していくことが求められている。こうした観点から、都市問題を、環境経済、地域経済、環境政策、産業政策、環境法制、都市法制の政策統合によって解決する展望を探る。

#### 授業の概要:

A Bあわせて履修することが望ましい。

- ①「開発と保全」、「規制と誘導」、「市場と共同体」、「PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)」など、都市をめぐる経済、政策、法制学の基本的な概念と理論を紹介する。
- ② 図式的、通説的なとらえ方ではなく、様々な立場にはそれぞれの主張があることを知る。
- ③ 「理論と現実」にはギャップがあること、どちらかを絶対視するのではなくギャップに至るプロセスを観察することを重視する。

#### 授業の計画:

1. 都市が目目される訳① 世界人口の7割?が都市に住む時代  
～(1)新興国での激的な都市化現象 (2)現代人のライフスタイルの普遍化としての都市生活
2. 都市が目目される訳② エコロジー  
急速に悪化する都市環境問題～生態系、メタボリズム(物質代謝・物質循環・環境容量)、都市災害(都市水害、ヒートアイランド)、アメニティ、地球環境問題との関係
3. 都市が目目される訳③ エコノミー  
日本企業の復活の救世主になるか?都市環境ビジネス～太陽光発電、水道インフラ、スマートシティ(エコオフィス・エコ住宅、スマートグリッド)、LRT・新幹線、電気自動車、
4. 5. 6. 7. 8. 交通需要マネジメントとまちづくり～四条河原町の自動車規制を素材として  
・道路建設から交通需要マネジメントへ～供給促進から需要管理・制御(TDM)へ  
・TDM手法とコンパクトシティ～コンパクトシティの意義と限界(「陸の孤島」化する郊外、都市内「限界集落」、都市内格差の拡大(棲み分け、インナーシティ問題)  
・都市と自動車～電気自動車、自動車の社会的費用論、自動車産業論、カーシェアリング  
・都市と公共交通～環境にやさしい公共交通がなぜに縮小・撤退しなければならないか?  
・都市と自転車～ソフトエネルギー・パスという考え方
9. 10. 11. 12. 13. 都市の廃棄物処理～行政にとって、ビジネスにとって  
・家庭ごみ～リサイクルの現状と処理場問題、NIMBY症候群  
・産業廃棄物～不法投棄と処理場問題、廃棄物処理法、産廃Gメン  
・公害問題～足尾銅山、豊島  
・リサイクルの事業採算性～「リサイクル貧乏」、民間委託、都市鉱山、廃棄物の国際移動  
・費用負担の理論と実際  
・リサイクル政策の国際比較
14. 15. 都市環境の包括的マネジメント  
・環境マネジメントとコミュニティマネジメント  
・コモンズとしての都市～所有から利用へ(占有から共有へ)、分かち合いによる絆づくりへ

#### 授業方法:

毎回、新聞記事を編集したプリントを配布する。テーマに即しつつ、日本経済の現状に関連した産業関係のDVD(ビデオ)を活用するので、上手に就職活動にも役立ててほしい。

#### 達成目標:

わが街に関心をむけ、まちに関する諸事象を見て、「見えないものを見る」感覚を養う。断片的な現象をつないで都市の全体像を創造する訓練をする。政策や法制度が依拠する理論を理解し、まちづくりに参加できる科学的なりテラシーを養う。

#### 評価方法:

試験(レポートを含む)60%、積極的・主体的な授業参加態度40%

#### 教科書:

未定

#### 参考文献:

「都市環境論」(花木啓祐、学芸出版社、2006年)2600円(税別)  
その他、授業のなかで紹介する

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22401	地域経済論特殊講義 I B (地域資源管理論)	2・3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
環境経済・環境政策・環境法制の政策統合(ポリシー・ミックス)、環境保全と公共政策、環境マネジメントとコミュニティマネジメント、逆都市化時代のまちづくり(シュリンキング・ニッポン)	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ:

先進国では、都市における資源・エネルギーの浪費と、地方都市の全般的な衰退傾向が、環境問題と職場・雇用の確保の面から社会の持続可能性を脅かしている。都市と都市的なライフスタイルを環境と福祉にやさしいものにつくりかえ、さらに環境保全や環境ビジネスによって経済を活性化していくことが求められている。こうした観点から、都市政策・都市法制を環境政策と環境法制の側面からとらえなおしてみる。

#### 授業の概要:

A Bあわせて履修することが望ましい。

- ①「開発と保全」、「規制と誘導」、「市場と共同体」、「PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)」など、都市をめぐる経済、政策、法制学の基本的な問題構制と理論を学ぶ。
- ②図式的、通説的なとらえ方ではなく、様々な立場にはそれぞれの主張があることを知る。
- ③「理論と現実」にはギャップがあること、どちらかを絶対視するのではなくギャップに至るプロセスを観察することを重視する。

#### 授業の計画:

1. まちづくりが注目される訳① 都市の形成史と構造(例えば、欧・米・アジアの都市)
2. まちづくりが注目される訳② EUの都市再生戦略
3. まちづくりが注目される訳③ アメリカの都市の成長管理政策
4. まちづくりが注目される訳④ 逆都市化時代の建築・住まい方
5. 6. 7. 景観政策の理論と実際  
  - ～京都市の景観条例(都市と景観)と真鶴市の美の条例(都市美)を素材として
  - ・「よい景観、悪い景観」～「都市の美」は誰が決める?その基準は?
  - ・法律と条例～役割、齟齬、意義と限界、
  - ・都市政策とまちづくりの違い
  - ・修復(保全)型開発という考え方、公共財としての景観という考え方
  - ・都市景観問題の本質
8. 9. 10. 都市計画的規制の理論と実際  
  - ～中心市街地活性化問題(シャッター通りとまちづくり三法)を素材として
  - ・都市の賑わい・活力はどこから来るのか?～地域経済との関連
  - ・人口移動、都市型ライフスタイル、人口構成、世帯構成、家族の変化
  - ・大型店・コンビニ・商店街の共存は可能か?法律で調整できるのか?
  - ・消費者としての市民とまちづくりの担い手としての市民のはざま
11. 1. 応用問題 : 環境問題なのか、小売店舗規制問題なのか?  
  - ～京都市コンビニ深夜規制を素材として
12. 13. 環境権が挑む都市計画法制度  
  - ～岡崎市の建築紛争の事例から
  - ・都市計画・建築基準法・地区協定における環境の扱い
  - ・都市計画の考え方(ハウードの「明日の都市」、ジェイコブズの4つの原則とシティネス)
14. 15. 都市問題と環境問題から考える経済・政策・法制分野の政策統合

#### 授業方法:

毎回、新聞記事を編集したプリントを配布する。テーマに即しつつ、日本経済の現状に関連した産業関係のDVD(ビデオ)を活用するので、上手に就職活動にも役立ててほしい。

#### 達成目標:

わがまちに関心をむけ、まちを歩いているとき、見えないものを見る(発見)感覚、断片的な現象をつないで都市の全体像を創造する訓練をする。政策や法制度が依拠する理論を理解し、まちづくりに参加できる科学的なりテラシーを養う。

#### 評価方法:

試験(レポートを含む)60%、積極的・主体的な授業参加態度40%

#### 教科書:

未定

#### 参考文献:

- 『コミュニティを問い直す』(広井良典、筑摩書房、2009年)903円(税込み)  
『都市(まち)なぜなぜ、おもしろ読本』(山田雅夫、山海堂、)  
\*その他、授業の中で紹介する

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22701	地域経済論プロゼミナール	2・3・4	2	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自己啓発、生涯学習、ソリューション型・コンサルテーション型営業、編集能力	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

①環境政策・法制・環境ビジネスに関連するトピックスと、②自分が関心を抱いたテーマに関する記事や情報を集める。それをゼミで問題提起し、全員で分担してより掘り下げることで、レバレッジをかけて楽しく効率的に学ぶ集団学習の利点を体験する。

#### 授業の概要：

①新聞・TVの報道記事からテーマを決めて継続的に読み続ける。そこからえた知識と私見を総合して、一つのテーマを他人に筋道だてて説明する。  
②下記の選んだ項目から関心あるものを選び、レポートを書いて発表する。次回はそれを問題提起として、各自がさらに検討した意見を交換する。

#### 授業の計画：

1. 成長の限界とエコロジカルフットプリント
2. 地球温暖化～京都議定書とCOP15・16
3. 生物多様性～愛知議定書コンセンサス?とCOP10
4. オゾン層破壊とモントリオール議定書
5. ラムサール条約、鳥インフルエンザ、藤前干潟
6. 遺伝子組み換え作物、遺伝子組み換え動物
7. 捕鯨、害獣、希少動植物
8. 日本の環境法制の考え方・原則
9. 化学物質管理政策～リスクコミュニケーションと環境リスク
10. 公害問題と環境問題
11. 廃棄物の処理～リサイクル、不法投棄、廃棄物の海外輸出
12. 国際協調のあり方～COP方式と政治的駆け引き
13. 14. 15. 環境ビジネス

#### 授業方法：

- ① 新聞記事、および報道番組を編集したDVDを活用し、受講生の生活実感に結び付けて解説する。
- ② 専門書や専門家のコメントと合わせて自分の意見をまとめる。

#### 達成目標：

授業内容に関連するTVの解説・討論番組(30分～1時間程度)を視聴して、その内容をA4用紙2枚程度にまとめることができるようになること。

#### 評価方法：

積極的・主体的な授業参加態度100%

#### 教科書：

未定

#### 参考文献：

「日経業界地図 2010年版」日本経済新聞社 1050円(税込み)  
授業の中で、テーマごとに紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B22801	地域経済論演習	3・4	4	藪谷あや子

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ジャパンシンドローム、西三河自動車産業集積地、ニッポンのものづくり、産業政策	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、コミュニケーション力

#### 授業のテーマ：

日本経済あるいは日本社会の課題を、東海経済圏を中心に、リージョナルな地域単位で分析する。関連するテキストを輪読しつつ、グローバルな視野で地域発展の条件を探る。これをベースにしながら、各自の卒業論文を作成する。

#### 授業の概要：

テキストの輪読と検討。卒業論文の進捗にあわせた発表と相互の検討。  
卒業論文作成（資料分析、論文作成の技法の指導を含む）。プレゼンテーションの練習。

#### 授業の計画：

前期 抽象的な理論を現実的に課題や現象にひきつけて理解する。

- ① テキストを通読、精読、熟読する。
- ② 専門書の書評をする
- ③ 自分の研究したいテーマ、卒論テーマを決定する。
- ④ 卒論作成のための文献紹介をゼミ学習の一つのテーマとする。
- ⑤ 就職活動にあわせて、キャリア形成教育。企業研究に取り組む。

後期 卒論の中間発表と相互検討

- ① 卒論の進捗状況と達成分を発表する。
- ③ テキストの検討と解説
- ④ 個別の卒論指導

#### 授業方法：

ゼミ生による自主的なゼミ運営を軸にして進める。（テキストを輪読する際のレジュメ、報告、コメント、司会を分担する。学生は論理的に自分の意見を述べ、相互に批評する。教員はコメントする。）卒論の中間発表、テキストの検討を交互に繰り返す。

#### 達成目標：

- ① 国勢調査をはじめ各種統計調査の概要を知る。②を分析する。③②のためには、その前提や背景に関する知識や情報が必須であることを知る。卒論を完成する。
- ② 卒論を完成することを通して各自なりの自学自習のノウハウを身に付ける。

#### 評価方法：

積極的・主体的な授業参加態度70%、発表の独創性20%、演習への貢献10%

#### 教科書：

『実測－ニッポンの地域力』（藻谷浩介、日本経済新聞社、2007年）1800円＋税  
『コミュニティを問い直す』（広井良典、筑摩書房、2009年）

#### 参考文献：

『ガラパゴス化する日本の製造業』（宮崎智彦、東洋経済新報社、2009年）  
他、適宜、紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45101	企業会計論講義A	1・2・3	2	磯貝 明
B25101	財務会計論講義A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格、日商簿記検定3級、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。**将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。**とりわけ簿記は会計学を学習するうえでの基本となるものである。本講義では、簿記を始めて学ぶ学生が日商簿記検定3級の合格水準に達することを目的としている。

#### 授業の概要：

日商簿記検定3級合格を目指した講義を行う。簿記をはじめて学ぶ学生にもわかりやすいよう、初歩的な内容から解説を始めていく。日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。また、必要に応じて最近の経済・経営関連の話題や実例を提供し、企業会計をより身近な学問として捉えられるよう講義していく。

#### 授業の計画：

1. 会計の機能と分類
2. 企業会計システムと利害関係者
3. 取引
4. 簿記の基本（勘定・用語説明）
5. 資産・負債・純資産・費用・収益
6. 財政状態と経営成績
7. 仕訳（解説）
8. 仕訳（演習問題）
9. 元帳
10. 試算表
11. 精算表
12. 貸借対照表と損益計算書
13. 商品売買に関する3つの方法
14. 現金・預金(1)
15. 現金・預金(2)

#### 授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、理解を深めるために、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

#### 達成目標：

日商簿記検定3級取得

#### 評価方法：

定期試験70%、授業への取り組み30%

#### 教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 平成23年度版 3級商業簿記』  
中央経済社\735  
渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記（第7版）』  
中央経済社\735

#### 参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45201	企業会計論講義B	1・2・3	2	磯貝 明
B25201	財務会計論講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格、日商簿記検定3級、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。**将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。**とりわけ簿記は会計学を学習するうえでの基本となるものである。本講義は、前期において「企業会計論講義A」を履修した学生を対象にしており、簿記を始めて学ぶ学生が日商簿記検定3級の合格水準に達することを目的としている。

#### 授業の概要：

日商簿記検定3級合格を目指した講義を行う。簿記をはじめて学ぶ学生にもわかりやすいよう、初歩的な内容から解説を始めていく。日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。また、必要に応じて最近の経済・経営関連の話題や実例を提供し、企業会計をより身近な学問として捉えられるよう講義していく。また、2月には簿記検定受験者を対象とした「日商簿記検定対策講座」を予定している。

#### 授業の計画：

1. 前期の復習・小切手の処理
2. 当座借越・現金過不足・小口現金
3. 伝票
4. 資本金と引出金
5. 手形（約束手形・為替手形）
6. 手形（裏書手形・割引手形）
7. その他の債権・債務
8. 商品有高帳の管理
9. 有形固定資産と減価償却
10. 有価証券
11. 貸倒の処理
12. 費用・収益の見越し・繰延べ（1）
13. 決算整理・精算表（1）
14. 決算整理・精算表（2）
15. 日商簿記検定の出題傾向分析と問題の解法

#### 授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、理解を深めるために、テキストの演習問題・ワークブックを使って実際に問題を解いていく。

#### 達成目標：

日商簿記検定3級取得

#### 評価方法：

定期試験70%、授業への取り組み30%

#### 教科書：

渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記講義 平成23年度版 3級商業簿記』中央経済社\735  
 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記（第7版）』中央経済社\735

#### 参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45301	企業会計論特殊講義 I A (経営財務分析論)	2・3	2	磯貝 明
B25301	財務会計論特殊講義 I A (経営財務分析論)	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、ビジネススキル	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。**将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。**とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「企業会計論講義」を履修した学生を対象として、経営分析の基礎となる高度な簿記技術を習得することを目的としており、日商簿記検定2級合格を目指していく。

#### 授業の概要：

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は工業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。必要に応じて最近の経済・経営関連の話題や事例を提供していく。

#### 授業の計画：

1. オリエンテーション、受講上の注意点
2. 工業簿記の基本
3. 工業簿記上の費用
4. 原価計算
5. 工業簿記の構造
6. 費目別計算 (材料費)
7. 費目別計算 (労務費)
8. 費目別計算 (経費)
9. 財務諸表と製造原価報告書 (1)
10. 財務諸表と製造原価報告書 (2)
11. 単純個別原価計算 (1. 実際配賦)
12. 単純個別原価計算 (2. 予定配賦)
13. 単純個別原価計算 (3. その他)
14. 部門別個別原価計算 (1)
15. 部門別個別原価計算 (2)

#### 授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、受講者の理解を深めるために、テキストの練習問題を使って実際に問題を解いていく。また適宜、プリントを配布して解説する。

#### 達成目標：

日商簿記検定2級取得

#### 評価方法：

定期試験または小テスト 70%、授業への取り組み 30%

#### 教科書：

榊原正幸・瀧博『工業簿記入門』税務経理協会、\2,940  
岡本清・廣本敏郎編著『新検定簿記ワークブック 2級工業簿記 (第6版)』  
中央経済社 \735

#### 参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45401	企業会計論特殊講義 I B (経営財務分析論)	2・3	2	磯貝 明
B25401	財務会計論特殊講義 I B (経営財務分析論)	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
資格取得、日商簿記検定2級、情報処理能力、ビジネススキル	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。**将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。**とりわけ簿記は、会計学の学習において基本となるものであり、企業情報を分析するうえでも重要となる。本講義は「財務会計論講義」および「財務会計論特殊講義 I A」を履修した学生を対象として、経営分析の基礎となる高度な簿記技術を習得することを目的とするものであり、日商簿記検定2級合格を目指していく。

#### 授業の概要：

日商簿記検定2級合格を目指した講義を行う。今年度は工業簿記について解説し、日商簿記検定2級受験対策テキストを用いて、基本事項の解説と演習問題も含めた実践的な講義を行ない、問題の解法について解説する。必要に応じて最近の経済・経営関連の話題や事例を提供していく。

#### 授業の計画：

1. 単純総合原価計算 (1)
2. 単純総合原価計算 (2)
3. 等級別総合原価計算
4. 組別総合原価計算
5. 仕損・減損の処理 (1)
6. 仕損・減損の処理 (2)
7. 工程別総合原価計算 (1)
8. 工程別総合原価計算 (2)
9. 標準原価計算 (1)
10. 標準原価計算 (2)
11. 直接原価計算
12. 原価・営業量・利益関係の分析 (1)
13. 原価・営業量・利益関係の分析 (2)
14. 原価予測
15. 工場会計の独立

#### 授業方法：

テキストにしたがい、各項目の内容を詳細に解説し、例題を用いて問題の解法を説明する。また、受講者の理解を深めるために、テキストの練習問題を使って実際に問題を解いていく。また適宜、プリントを配布して解説する。

#### 達成目標：

日商簿記検定2級取得

#### 評価方法：

定期試験または小テスト 70%、授業への取り組み 30%

#### 教科書：

榊原正幸・瀧博『工業簿記入門』税務経理協会、\2,940  
岡本清・廣本敏郎編著『新検定簿記ワークブック 2級工業簿記 (第6版)』  
中央経済社 \735

#### 参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45701	企業会計論プロゼミナール	2・3	2	磯貝 明
B25701	財務会計論プロゼミナール	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
企業研究、情報処理能力、ビジネススキル、経済知識	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

企業には必ず会計が存在しており、将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。とりわけ「企業を見る目」は、消費者としても必要とされるものであり、さらには、就職活動においても大変強力なツールとなることであろう。このプロゼミでは、現実の企業のデータによって財務内容を中心にした分析・報告を行い、企業情報を分析する能力を習得し、「企業を見る目」を養うことを目的とする。企業分析の知識は就職活動において、企業の選択や面接時に大いに役立つと思われる。

#### 授業の概要：

企業の経営分析の方法を解説し、実際に各自が分析を行う。分析対象とする企業を選択する際には、就職を希望する業種などを選択し、選択した企業や業種についての詳細な知識を習得する。また、受講生の経済への興味・関心を喚起するため、必要に応じて最近の経済・経営関連の話題や実例を提供していく。

#### 授業の計画：

1. 企業情報の収集
2. 有価証券報告書についての解説
3. 企業分析の方法・財務諸表分析
4. 企業分析結果の発表報告とディスカッション
5. 経済関連記事についての解説
6. 施設・工場見学

#### 授業方法：

企業の経営分析に関する技法の解説を行った後、各自が選択した企業のデータを用いて、実際に分析を行っていく。その後、分析結果を発表し、相互の分析結果を比較しつつディスカッションを行う。

#### 達成目標：

企業分析・財務諸表分析手法の習得、プレゼンテーション能力の習得、就職希望企業・業種の情報収集、経済知識の習得

#### 評価方法：

レポート 50%，授業への取り組み 50%

#### 教科書：

政岡光宏編著 『初めて学ぶ財務諸表分析』 同文館出版、\1,890  
 受講生が選択した企業の有価証券報告書（EDINET より無料でダウンロード・印刷）  
 配布プリント

#### 参考文献：

開講時および必要に応じて適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B45801	企業会計論演習	3	4	磯貝 明
B25801	財務会計論演習	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
企業研究、情報処理能力、ビジネススキル、意思決定力	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、社交性（社会的相互関係力）

#### 授業のテーマ：

企業が営利を追求していく組織である以上、そこには必ず会計が存在している。将来、企業に就職しようと考えている学生にとって会計の知識は必要不可欠である。わが国の会計制度は、会計ビッグバンという会計制度の変革に始まり、会社法の制定や国際的な会計基準への統一化（コンバージェンス）など、会計をとりまく環境の変化によって、その姿は大きく変貌してきている。本演習は、こうした会計制度の変革についてその内容を深く考察しようとするものである。また、財務会計の知識を用いた企業研究能力を養い、就職活動に活用していくことも目的としている。

#### 授業の概要：

4年生については卒論発表、3年生は各自の設定したテーマ発表を行なう。発表スケジュールについては開講時に受講生と相談の上、決定する。必要に応じて企業や施設の見学を行う予定である。なお、簿記検定前には問題の解法についての指導を行う。

#### 授業の計画：

1. 会計制度変革に関する文献・論文の輪読および発表
2. 財務会計論に関する専門書の輪読
3. 就職希望企業・業種の企業研究
4. 企業・施設見学
5. 日商簿記検定の対策指導
6. 卒論・テーマ発表および指導

#### 授業方法：

配布プリントや受講生が各自で選択したテーマについて発表を行い、その後活発な討議を行いながら理解を深めていく。また、卒論指導や簿記検定対策指導では、進捗状況や習得状況に応じた指導を行うほか、受講生間で互いに助言・意見交換を行い、効果的な論文作成・資格取得対策を行っていく。

#### 達成目標：

基本的な財務会計に関する知識の習得、積極的な意見発表、正確なレジュメ・資料作成、日商簿記検定2級取得、企業研究能力の習得

#### 評価方法：

発表50%、授業への取り組み50%。  
なお、演習時において出席に関して注意すべき点を詳細に指示する。

#### 教科書：

輪読文献については開講時に受講生と相談の上、決定する。  
配布プリント（財務会計論に関する外国文献および基準・指針・レポート等）

#### 参考文献：

必要に応じて参考書を適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51001	ミクロ経済学	1・2・3・4	2	山根卓二

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
市場メカニズム、効率性、市場への政府介入	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

政策担当者が頭に描いている経済理論が（良いものであるにせよ悪いものであるにせよ）どんなものであるかを知る。

**授業の概要：**

市場理論を学び、市場で価格や取引数量がどのように決定されるかを見る。また、市場メカニズムの限界を指摘し、なぜ政府が経済に介入しなければならないかを理解する。

**授業の計画：**

- (1) ミクロ経済学とは
- (2) 資源配分と市場メカニズム
- (3) 需要と供給
- (4) 限界分析
- (5) 需要曲線
- (6) 供給曲線
- (7) 市場均衡
- (8) 厚生経済学と政府介入の効果
- (9) 市場の失敗
- (10) 不完全競争の分析
- (11) 不確実性の経済学
- (12) ゲームの理論①
- (13) ゲームの理論②
- (14) ゲームの理論③
- (15) まとめ

**授業方法：**

教科書の流れに従って講義形式で進める。各章が終わったら演習問題を行う。

**達成目標：**

ミクロ経済学の演習問題を解くことができる。経済現象や経済政策の意味を理解できる。

**評価方法：**

期末試験 80%、小テスト 20%。

- 教科書の内容をほぼ完璧に理解している……………S
- 教科書の内容を理解している……………A
- 教科書の内容を理解しているが問題を解けない…B
- ところどころ間違っ理解している……………C
- 上記のレベルに達していない……………D

**教科書：**

賀川昭夫・戸田学・浜野忠司 [1998] 『First Step ミクロ経済学』有斐閣ブックス、2,200 円

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B51101	マクロ経済学	1・2・3・4	2	奥田 栄

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
経済学的思考、GDP、IS-LMモデル	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

マクロ経済学は、一国の経済全体を扱う経済学である。一国の経済を理解するために必要な国内総生産、消費、投資などの経済変数について学び、その変数がどのように決まるのか、どのように変動するのか、どうすれば思うように変動させることができるのかなどについて学ぶ。

#### 授業の概要：

マクロ経済学はどのような学問であるかから始まって、IS-LMモデルの理解にまで到達することを目指す。

#### 授業の計画：

1. ガイダンス
2. マクロ経済学とはどのような学問か
3. 国内総生産（GDP）とは何か
4. 消費と貯蓄
5. 企業の投資
6. 政府の支出
7. 総需要の経済学（1）
8. 総需要の経済学（2）
9. 金融市場の分析（1）
10. 金融市場の分析（2）
11. IS-LMモデル（1）
12. IS-LMモデル（2）
13. IS-LMモデルを使った分析
14. 日本のIS-LM曲線
15. まとめ

#### 授業方法：

教科書を中心とした講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

#### 達成目標：

日常の経済記事や、テレビの経済番組を見ることが楽しみになるような、マクロ経済の基礎を身につけることが目標である。

#### 評価方法：

授業への取組（40%）に定期試験の結果（60%）を加味して判定する。

#### 教科書：

家森信善『基礎から分かるマクロ経済学』（中央経済）2000円。

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B50701	環境会計	2・3・4	2	磯貝 明

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
批判的思考、問題の発見・原因の解明、グローバルな視野	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

地球環境問題の深刻化は、経済発展志向の社会経済システムと大きく関連している。そのため、企業は自らの環境に関する活動や影響を認識し、それらを環境情報として外部利害関係者に開示することが求められている。本講義では、こうした企業の環境活動や環境情報開示制度について学び、環境情報開示の実態と問題点についての理解を深めることを目的とする。

#### 授業の概要：

各回のテーマに沿って、理論・特徴・歴史・背景など様々な視点から、企業の環境活動や環境情報開示制度について解説し、その実態と問題点について論述する。

#### 授業の計画：

1. オリエンテーション・受講上の注意点
2. 企業と環境活動
3. 会計とは、会計と利害関係者、財務会計と管理会計
4. 環境会計の位置づけ、企業会計との違い
5. 環境報告書の理論的特性
6. 環境報告書のガイドライン 国際的（1）
7. 環境報告書のガイドライン 国際的（2）
8. 環境報告書のガイドライン（国内）
9. 環境会計ガイドライン（国内）
10. 「環境にやさしい企業行動調査」にみる環境報告・環境会計の実態
11. 「環境にやさしいライフスタイル実態調査」にみる情報利用者の実態
12. 環境報告書・環境会計の事例紹介（1）企業による環境会計
13. 環境報告書・環境会計の事例紹介（2）自治体・家計の環境会計
14. 内部環境会計・マテリアルフローコスト会計
15. 環境情報開示の現状と課題

#### 授業方法：

配布プリントによって、資料やデータなどを用いて各回のテーマについて詳細に解説する。また、実際の環境報告書やCSR報告書など参照し、具体的事例を紹介することによって、受講生が実態を把握し、そこから問題点が理解できるよう講義を行なう。

#### 達成目標：

企業の環境活動や環境情報開示制度について学び、企業意識の変化や提供される環境情報の特性について理解する。また、実態や問題点及び今後の課題について理解する。

#### 評価方法：

レポート点70%、授業への取り組み30%。

#### 教科書：

配布プリント

#### 参考文献：

開講時または必要に応じて適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B50801	環境経営	2・3・4	2	奥田 栄

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
C S R、環境マネジメント、L C A、環境効率	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、問題解決力

#### 授業のテーマ：

いまや狭い意味での環境経営は時代遅れになりつつある。企業経営の中心に位置づけられるものは、企業の果たすべき社会的責任である。講義では、企業の社会的責任とは何か、社会的責任経営とはどのようなものか、その中で環境経営を位置づける。

#### 授業の概要：

企業を取り巻く地球環境について理解した上で、企業の社会的責任という概念を理解し、その一部として環境経営を位置づける。ついで、環境経営の細かなテーマごとの解説をおこなう。

#### 授業の計画：

1. ガイダンス
2. 社会的責任経営の系譜
3. ステークホルダーモデル
4. 企業の社会的責任とは
5. CSR 報告書の事例分析（1）
6. CSR 報告書の事例分析（2）
7. CSR 報告書の事例分析（3）
8. L C Aとはなにか
9. L C Aの実際
10. P D C Aサイクルと環境経営
11. 経営と著しい環境側面
12. 環境効率
13. 二酸化炭素排出削減と排出権取引（1）
14. 二酸化炭素排出削減と排出権取引（2）
15. まとめ

#### 授業方法：

教科書を中心とした講義形式による。毎回講義の最初の20分くらいを費やして、前回の講義のまとめを兼ねて問題を配布し、指名してそれに答えさせることによって理解の度合いを測る。

#### 達成目標：

企業の社会的責任という考え方を理解し、各ステークホルダーに対してどのような経営責任を企業が負っているかを理解すること。

#### 評価方法：

授業への取組（40％）に試験の結果（60％）を加味して判定する。

#### 教科書：

とくになし

#### 参考書：

その都度参考文献を指示し、プリントを配布する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B50901	生産システム論	2・3・4	2	成沢俊子

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	A	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生産システム, トヨタ生産方式, 改善, リーン生産方式	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

- ① 製造業を中心に、よい経営とは何かについて考える
- ② 製造業におけるムダ発見とムダ廃除の基本的な考え方を学ぶ
- ③ バリューストリー全体を見てムダを廃除する「ムダとりのマネジメント」の手法を学ぶ

#### 授業の概要：

対話型の授業を通して、トヨタ生産方式の産業史の中での意義と考え方を学び、産業社会における生産性改善の歴史と事例を知って、受講者の今後の様々な分野における学びに活かす。

#### 授業の計画：

- |                                                                                                                                               |                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 1日目<br>1. 経営分析の基礎<br>2. トヨタ生産方式とは — 歴史と今日の課題<br>3. 徹底したムダ廃除で原価低減<br>4. つくりすぎ！それが最もいけないムダ (含 演習)<br>5. トヨタ生産方式の2本柱<br>6. ムダ廃除の実際 (含 ビデオ視聴) | (2) 2日目<br>7. ムダ発見とムダ廃除の着眼点 (含 ビデオ視聴)<br>8. モノと情報の流れ (演習)<br>9. 改善とリーダーシップ<br>(3) 3日目<br>10. 筆記試験 (60分)<br>11. 産業技術記念館見学、レポート作成 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### 授業方法：

上記1～9：対話型講義＋グループ討議＋演習  
 上記12：筆記試験の後、産業技術記念館へ移動し、見学、レポート作成、現地解散  
 (産業技術記念館：名古屋市西区則武新町 4-1-35, 最寄駅：名鉄栄生駅)

#### 達成目標：

- ① 経営分析の基礎に触れ、よい経営とは何かについての評価軸の基盤をつくる
- ② ムダを理解し、発見し、廃除するための基本的な考え方と技法を身に付ける
- ③ 価値の流れ全体を見るときの着眼点を身に付ける

#### 評価方法：

授業への取り組み (60%)、筆記試験 (20%)、見学レポート (20%) により評価  
 S：考え方と技法を理解し、リーダーシップを発揮して合理的かつ多面的な提案ができる  
 A：考え方と技法を理解し、合理的な提案ができる  
 B：考え方と技法を理解し、自身の考えを他者に示すことができる  
 C：考え方と技法の基本的必須事項を理解し、他者に説明することができる  
 D：Cのレベルに達していない

#### 教科書：

1. 大野耐一著「トヨタ生産方式—脱規模の経営をめざして—」(ダイヤモンド社) 1,470円
2. ローザー／シュック著 (成沢俊子訳)「トヨタ生産方式にもとづく『モノ』と『情報』の流れ図で現場の見方を変えよう!!」(日刊工業新聞社) 1,785円

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

1. 産業技術記念館入場料 250円/人 (学校行事割引料金) 当日現地にて徴収
2. 同上見学のための交通費 (名鉄栄生までの往復) 各自負担

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60401	基礎心理学A	1	2	芳賀康朗
C00101	基礎心理学講義A	2・3・4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
実験, 感覚, 知覚, 学習	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

心理学はココロという身近な現象を扱う学問である。それゆえに誤解を招きやすく、“心理学を学べば悩みが解決する”と勘違いをしている初学者が多い。この講義では、「心理学は心と行動を研究する科学である」という立場から、ヒトの心的過程の特徴を理解するとともに、心理学の基礎的な知識を身につけることを目的とする。基礎心理学講義Bと併せて受講してほしい。

#### 授業の概要：

最初に心理学成立の歴史と研究方法について概説し、その後、環境世界を認識する感覚・知覚のはたらき、経験によって知識や技能を獲得していく学習のはたらきについて解説していく。

#### 授業の計画：

- 1) ガイダンス
- 2) 心理学の研究対象
- 3) 心理学の歴史
- 4) 心理学の研究方法
- 5) 感覚のメカニズム
- 6) 刺激量と感覚量の関係
- 7) 知覚のまとめ
- 8) 空間知覚と運動知覚
- 9) 知覚の恒常性
- 10) 生得的行動と獲得的行動
- 11) 馴化と鋭敏化, 古典的条件づけの形成
- 12) 古典的条件づけの消去と般化
- 13) 道具的条件づけの形成
- 14) 道具的条件づけにおける強化スケジュール
- 15) 社会的学習と技能学習

#### 授業方法：

プリントや映像資料を使いながら教科書に沿って進めていく。授業内容と関連した課題の提出を求めることもある。授業の進行を妨げるような行為、および授業開始20分以降の遅刻は厳禁とする。

#### 達成目標：

1) 心理学史, 2) 心理学研究法, 3) 感覚・知覚, 4) 学習の4つのテーマに関する基礎知識を身につけ、科学的視点から心理現象を考察できるようになることを目標とする。

#### 評価方法：

出席回数基準をクリアしていることを前提とし、提出課題(約20%)と定期試験の結果(約80%)によって評価する。遅刻や私語などの授業態度も評価の対象とする。

#### 教科書：

梅本ら共著 『コンパクト新心理学ライブラリ1 心理学』 サイエンス社 1,418円

#### 参考文献：

授業中に適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60501	基礎心理学B	1	2	芳賀康朗
C00201	基礎心理学講義B	2・3・4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
記憶, 意識, 動機づけ, 情動, 対人関係	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力

#### 授業のテーマ：

科学としての心理学が取り組む課題には、役に立つ（ように見える）解決策を提供することだけでなく、複雑な心的過程を客観的に理解することも含まれる。この講義では、「心理学は心と行動を研究する科学である」という立場から、ヒトの心的過程の特徴を理解するとともに、心理学の基礎的な知識を身につけることを目的とする。基礎心理学講義Aと併せて受講してほしい。

#### 授業の概要：

ヒトの内的状態が行動に及ぼす影響（意識・動機づけ・情動）、身体の成熟にともなう心の変化（発達）、生活場面における他者との関わり（対人関係）などのテーマについて解説していく。

#### 授業の計画：

- 1) ガイダンス
- 2) 覚醒と睡眠
- 3) REM 睡眠と NREM 睡眠
- 4) 問題解決と思考
- 5) 動機づけの分類 ホメオスタシス
- 6) 動機の階層 感覚遮断
- 7) 情動の分類
- 8) 情動と身体反応
- 9) 刻印づけ 発達の臨界期
- 10) マザリング 母性剥奪
- 11) 遺伝と環境 家系研究法と双生児研究法
- 12) 乳幼児期の認知発達
- 13) 対人魅力
- 14) リーダーシップ 説得のテクニック
- 15) 社会的促進と社会的手抜き

#### 授業方法：

プリントや映像資料を使いながら教科書に沿って進めていく。授業内容と関連づけた課題の提出を求めることもある。授業の進行を妨げるような行為、および授業開始 20 分以降の遅刻は厳禁とする。

#### 達成目標：

1) 意識, 2) 動機づけと情動, 3) 発達, 4) 対人関係の4つのテーマに関する基礎知識を身につけ、科学的視点から心理現象を考察できるようになることを目標とする。

#### 評価方法：

出席回数基準をクリアしていることを前提とし、提出課題（約 20%）と定期試験の結果（約 80%）によって評価する。遅刻や私語などの授業態度も評価の対象とする。

#### 教科書：

梅本ら共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 1 心理学』 サイエンス社 1,418 円

#### 参考文献：

授業中に適宜紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C00301	基礎心理学特殊講義 I A (空間認知の比較心理学)	2・3・4	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間認知, 知覚世界の種差, 適応	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ:

“動物”の最も一般的な特徴とは、運動能力と感覚・認知能力をもつことである。このふたつの能力によって、動物は空間内を移動し環境に適応することが可能となる。この講義では、空間認知過程に焦点をあて、その生理学的メカニズムと知覚世界における種差について考えていく。

#### 授業の概要:

比較心理学や認知心理学のみでなく、生物学や神経科学における研究所見を総合的に紹介しながら、動物の空間認知の特徴について解説していく。映像資料や補助プリントも配布しながら解説するが、毎時間欠かさずに板書をまとめてノートを作成してほしい。

#### 授業の計画:

- 1) ガイダンス
- 2) 空間認知とはなにか?
- 3) 動物にとっての「空間」とは?
- 4) 物理的空間と心理的空間
- 5) Neisser (1976) の「知覚循環モデル」
- 6) ヒトと動物の「こころ」の研究史 I
- 7) ヒトと動物の「こころ」の研究史 II
- 8) 行動研究の基本的立場と研究方法
- 9) ヒトと動物の知覚世界
- 10) 動物の視覚メカニズムにおける種差 I
- 11) 動物の視覚メカニズムにおける種差 II
- 12) 視覚世界における種差
- 13) 動物の聴覚メカニズムにおける種差
- 14) 聴覚世界における種差
- 15) まとめ

#### 授業方法:

プリントや映像資料を使いながら教科書に沿って進めていく。授業内容と関連づけた課題の提出を求めることもある。授業の進行を妨げるような行為、および授業開始 20 分以降の遅刻は厳禁とする。

#### 達成目標:

知覚メカニズムの種間比較を行うことによって、「ヒト」という動物の心的過程の特徴を相対的に理解できるようになることを目標とする。

#### 評価方法:

出席回数の基準をクリアしていることを前提とし、提出課題と小テスト (約 20%) と定期試験の結果 (約 80%) によって評価する。遅刻や私語などの授業態度も評価の対象とする。

#### 教科書:

なし

#### 参考文献:

藤田和生著 『比較認知科学への招待—「こころ」の進化学』 ナカニシヤ出版 2,625 円  
空間認知の発達研究会 (編) 『空間に生きる—空間認知の発達の研究』 北大路書房 3,360 円

#### 実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C00401	基礎心理学特殊講義 I B (空間認知の比較心理学)	2・3・4	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間認知の発達, 認知地図, 適応	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ:**

認知心理学や発達心理学の分野で研究されてきたヒトの空間認知の特徴について、代表的な理論を挙げて解説する。また、比較認知科学や動物行動学の分野で得られた動物の空間記憶や認知地図機能に関する研究所見を紹介し、動物とヒトの相違点と類似点、および行動の進化と適応の問題について考えていく。

**授業の概要:**

認知心理学や動物心理学のみでなく、環境心理学や発達心理学(赤ちゃん研究)における研究所見を総合的に紹介することを中心に講義を進めていく。映像資料や補助プリントも配布しながら解説するが、毎時間欠かさずに板書をまとめてノートを作成してほしい。

**授業の計画:**

- 1) イントロダクション
- 2) 乳幼児における空間認知の発達 I
- 3) 乳幼児における空間認知の発達 II
- 4) 乳幼児における空間認知の発達 III
- 5) ヒトの空間認知研究 I
- 6) ヒトの空間認知研究 II
- 7) ヒトの空間認知研究 III
- 8) ヒトの空間認知研究 IV
- 9) ヒトの空間認知研究 V
- 10) 動物の空間認知研究 I
- 11) 動物の空間認知研究 II
- 12) 動物の空間認知研究 III
- 13) 空間認知における適応と進化 I
- 14) 空間認知における適応と進化 II
- 15) まとめ

**授業方法:**

プリントや映像資料を使いながら教科書に沿って進めていく。授業内容と関連づけた課題の提出を求めることもある。授業の進行を妨げるような行為、および授業開始 20 分以降の遅刻は厳禁とする。

**達成目標:**

個体発生的観点(発達・学習)と系統発生的観点(進化)から行動のメカニズム、機能、適応的意義を理解できるようになることを目標とする。

**評価方法:**

出席回数の基準をクリアしていることを前提とし、提出課題と小テスト(約 20%)と定期試験の結果(約 80%)によって評価する。遅刻や私語などの授業態度も評価の対象とする。

**教科書:**

なし

**参考文献:**

藤田和生著 『比較認知科学への招待—「こころ」の進化学』 ナカニシヤ出版 2,625 円  
 空間認知の発達研究会(編) 『空間に生きる—空間認知の発達の研究』 北大路書房 3,360 円

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C00701	基礎心理学プロゼミナール	2・3・4	2	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎心理学 実験心理学 研究リテラシー	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

基礎心理学や実験心理学に関する知識を深めるとともに、実験計画の立案、実験の実施、データの収集と分析などの作業に関わるスキルを身につけることを目的とする。基礎心理学講義 A・B および心理学基礎実習を受講していることを前提として授業を行う。

#### 授業の概要：

前期は、基礎心理学の英文教科書の和訳読解を中心に進める。予め和訳担当部分を割り当てることはせずに毎時間発表をしてもらい、受講者全員でディスカッションをおこなう。後期は心理学基礎実習では取り上げない心理学実験を少人数グループで実施する。

#### 授業の計画

##### 前期

- 1) ガイダンス
- 2) ～ 13) テキストの和訳発表
  - ・ Biological Bases of Behaviour
  - ・ Motivation and Homeostasis
  - ・ Emotion, Stress, and Coping
  - ・ Visual Perception
  - ・ Conditioning and Learning
  - ・ Human Memory
  - ・ Thinking and Language
- 14) ～ 15) 心理統計の基礎

##### 後期

- 1) ガイダンス
- 2) 資料検索と収集の方法について
- 3) ～ 4) 研究テーマの検討・選定
- 5) ～ 7) 実験計画の立案
- 8) 中間発表
- 9) ～ 12) 実験の実施
- 13) 中間発表
- 14) 作業のまとめ
- 15) 最終発表

#### 授業方法：

前期は受講者各自の和訳発表に重点を置いて進めていく。後期は希望テーマごとに受講者を小グループに分割して作業を進める。共同作業が中心となるので、積極的かつ協調的に作業に参加することを求める。

#### 達成目標：

3年次以降の専門的な心理学研究を行うために必要な研究リテラシーを身につける。

#### 評価方法：

前期 40%、後期 60%の割合で評価する。予習の不備や作業への非協力は減点対象とする。

#### 教科書：

Eysenck, M. W. (2004). Psychology: An International Perspective. Psychology Press Ltd.

#### 参考文献：

大山正編著 『コンパクト新心理学ライブラリ 16 実験心理学』 サイエンス社 1,943 円  
小川嗣夫著 『卒論・修論のための心理学実験』 ブレーン出版 1,680 円

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C00801	基礎心理学演習及び実習	3・4	4	芳賀康朗

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎心理学, 心理学実験, 実験計画法, データ解析, 卒業研究	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

卒業研究を最終目的として、1) 研究テーマの選定、2) 研究計画の立案、3) 実験の実施、4) データ解析、5) 報告書作成の一連の作業をすすめる。実験計画法や統計分析法についての解説も行い、コンピュータを用いて実験やデータ解析を行うための技能を身につける。受講に際しては、基礎心理学講義、基礎心理学プロゼミナール、心理学基礎実習を受講していることを前提とする。

#### 授業の概要：

各自の関心に基づき、基礎心理学や実験心理学の教科書や雑誌論文を紹介しながらディスカッションを行い、具体的な実験・調査計画を立案していく。後期には、その計画に基づいて実験を行ない、研究発表および報告書の提出を求める。

#### 授業の計画：

##### 前期

- 1) ガイダンス
- 2) ～5) 前年度の研究の発表
- 6) ～10) 今年度の研究テーマの検討
- 11) ～14) 関連文献の紹介
- 15) 研究テーマの確定

##### 後期

- 1) ガイダンス
- 2) ～4) 第1回研究計画発表
- 5) ～7) 第2回研究計画発表
- 8) ～10) 研究準備作業・実験の実施
- 11) 中間報告
- 12) ～14) 実験の実施
- 15) 研究発表・報告書作成について

#### 授業方法：

1回の演習につき2名の発表を基本にして進めていく。発表の準備を十分にした上で、積極的な態度で臨んでほしい。

#### 達成目標：

研究を独力で行うことができる基礎技能を身につけ、卒業研究に必要な準備を進めていく。

#### 評価方法：

発表内容（30%）と研究の進捗状況（70%）に基づいて総合的に評価する。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

- 大山ら共著 『コンパクト新心理学ライブラリ 12 心理学研究法』サイエンス社 2,310円  
 大山正編著 『コンパクト新心理学ライブラリ 16 実験心理学』サイエンス社 1,943円  
 小川嗣夫著 『卒論・修論のための心理学実験』ブレン出版 1,680円

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60101	臨床心理学A	1	2	高橋 昇
C01101	臨床心理学講義A	2・3・4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心の構造、パーソナリティー、発達段階	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

臨床心理学は人の心を扱う学問であり、人の心のありさまや、人と人が出会い、かかわり、何かを生み出していくことに注意を向けています。その応用としての技法はカウンセリングや心理療法などとして生かされていますが、その基礎は誰でもが持っている「心」を理解するところから始まるでしょう。そしてその「心」は、心病んだクライアントを知ることにつながっていて、幅広い人の心に対する、より広くて深い理解を得ることを目的とします。

#### 授業の概要：

この授業では、まず臨床心理学とは何かについて学び、心の構造について無意識を含んだ考え方について概説します。そこからパーソナリティーや心の発達など、様々な側面に光を当てて基礎的な知識や理解を促し、臨床心理学的な見方について学んでいきます。

#### 授業の計画：

1. オリエンテーション
- 2～3. 臨床心理学とは何か
- 4～5. 臨床心理学を作った人々
6. 人の心を感じる
- 7～9. 心の構造
- 10～11. パーソナリティー
- 12～14. 心の発達段階
15. まとめ

#### 授業方法：

テキストに基づいて、講読しながらそれに沿って進めていく。資料を配付したり、DVDを見ていただき、感想を書いてもらうこともあります。そしてその時々々のテーマについて、身近な例を考えながら体得できるように考えていきます。

#### 達成目標：

臨床心理学の基本的な概念と用語を学び、その概略をつかむこと。

#### 評価方法：

出席状況および受講態度（30%）とテスト（70%）によって総合的に評価します。

#### 教科書：

「はじめての臨床心理学」 森谷寛之・竹松志乃編著 北樹出版 2,500円＋税

#### 参考文献：

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60201	臨床心理学B	1	2	高橋 昇
C01201	臨床心理学講義B	2・3・4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理アセスメント、心理療法、社会とのかかわり	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

前期から引き続き、臨床心理学の概論を学んでいきます。今期は人の心に対する接近法として、心理アセスメントと心理療法を扱っていきます。健常人の心のあり方を土台として、心病人に対するかかわりは精神病理や心理的防衛機制に対する専門的な知識や技法が必要であり、その初歩段階としての多種多様な技法の概略を学んでいくことを目的とします。

#### 授業の概要：

この授業では、まず前期に続いて発達段階のまとめから、臨床アセスメントとは何かについて学び、心理検査の概説を行っていきます。そして次に「カウンセリングや心理療法についての理解をテキストに沿って概説します。そこからパーソナリティーや心のあり方についての接近法を学び、基礎的な知識や理解を促し、臨床心理学的な見方を考えていきます。

#### 授業の計画：

1. オリエンテーション
2. 発達段階のまとめ
3. 心理アセスメントとは何か
- 4～6 心理テストとは何か
7. 具体的な心理検査とその「実施」について
8. 心理療法とは何か
- 9～12. 心理療法の種類と実際
- 13～14. 臨床心理学と社会
15. まとめ

#### 授業方法：

テキストに基づいて、購読しながらそれに沿って進めていきます。資料を配付したり、DVDを見ていただいて、感想を書いてもらうこともあります。そしてその時々テーマについて、身近な例を考えながら体得できるように考えていきます。

#### 達成目標：

心理アセスメントと心理療法についての基本的な概念と用語を学び、その概略をつかむこと。

#### 評価方法：

出席状況および受講態度（30%）とテスト（70%）によって総合的に評価します。

#### 教科書：

「はじめての臨床心理学」 森谷寛之・竹松志乃編著 北樹出版 2,500円＋税

#### 参考文献：

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C01301	臨床心理学特殊講義 I A (心理療法)	2・3・4	2	高橋 昇

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理療法、カウンセリング技法、臨床場面	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

近年、巷にカウンセリングという文字が乱舞するようになり、誰でも簡単に理解し、実施できるような誤解も多々生じていると思われる。しかし、人が人を理解することが心の闇を抱えたり病いを持っている人に役に立つのか、問題は多く課題は重い。

この授業では、心理療法一般からカウンセリングの基礎を学び、人が人を理解することはどのような意味があるのか、なぜそれが有効なのかを考え、臨床的なカウンセリングについて検討していく

#### 授業の概要：

この授業では、まず心理療法とは何かを学び、言語を中心としたカウンセリング技法について治療構造の側面、様々な臨床場面での相違や特徴など、具体的で実践的な理解と学習を進めていく。

#### 授業の計画：

- 1 オリエンテーション
- 2～3. 心理療法は何か、その広がり
- 4～5. カウンセリングのねらい
6. インテイク面接
- 7～8. 方法論
- 9～10. プレイセラピー
- 12～13. 母親面接
14. 内観療法
15. まとめ

#### 授業方法：

テキストに基づいて、講読しながらそれに沿って進めていく。そしてその時々テーマについて、具体的な事例を考えながら理解できるようにしていく。

#### 達成目標：

心理療法とカウンセリングの基本的な概念と用語を学び、臨床実践に対する理解を深めること。

#### 評価方法：

出席状況および受講態度 (30%) とテスト (70%) によって総合的に評価します。

#### 教科書：

「カウンセリング入門」 前田重治編著 有斐閣選書 2,200 円 + 税

#### 参考文献：

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C01401	臨床心理学特殊講義 I B (心理療法)	2・3・4	2	高橋 昇

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理療法、カウンセリング技法、臨床場面	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ:**

前期からの継続で心理療法とカウンセリングについて理解を深めていく。ここでは対象者の問題、技法による相違など具体的な問題について比較検討しながら進めていく。

**授業の概要:**

この授業では、まず心理療法とは何かを学び、言語を中心としたカウンセリング技法について治療構造の側面、様々な臨床場面での相違や特徴など、具体的で実践的な理解と学習を進めていく。

**授業の計画:**

1. オリエンテーション
- 2～3. 臨床現場の心理検査
- 4～5. 青年期と不登校
- 6～7. 認知療法と精神分析
- 8～9. 事例について
- 10～11. イメージを包み込むこと
12. 事例について
13. 障害児について
14. カウンセラーの訓練
15. まとめ

**授業方法:**

テキストに基づいて、講読しながらそれに沿って進めていく。そしてその時々テーマについて、具体的な事例を考えながら理解できるようにしていく。

**達成目標:**

心理療法とカウンセリングの基本的な概念と用語を学び、臨床実践に対する理解を深めること。

**評価方法:**

出席状況および受講態度 (30%) とテスト (70%) によって総合的に評価します。

**教科書:**

「カウンセリング入門」 前田重治編著 有斐閣選書 2,200円+税

**参考文献:**

授業中に紹介します。

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C01701	臨床心理学プロゼミナール	2・3・4	2	高橋 昇

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
臨床心理的視点、表現病理、日常性、人間理解	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

臨床心理学や精神病理学は、どこか遠く離れた自分とは関係のないところにあるわけではありません。どのような問題も自分と関連し、あるいはどこかで見聞きした人や状況と重なっている部分があります。そのことがクライアントと繋がる、あるいは共感できる素地となるでしょう。そのような観点を出発点として日常生活から周りの世界、メディア、芸術の世界に目を向けてみます。

#### 授業の概要：

今日、社会現象として起きている様々な事柄を臨床心理学、精神病理学の視点から見ていきます。基本的な臨床心理学の知識を元に、社会で見られる人が起こした事件や現象、人となりを考えていきます。また人の表現もその人らしさを表すものであり、臨床心理学的、病跡学的なとらえ方の学習をしていきます。それらは最終的には臨床事例へと収斂していき、より深い臨床観察と人間理解を目指していくことがこの授業の目標となります。後期では、各自、興味を持った分野についてまとめたものを発表してもらい、その分野について討論していきます。

#### 授業の計画：

<前期>		<後期>	
1	オリエンテーション	1.	はじめに
2～3.	ファッションと自己愛	2.	臨床心理学的なものの見方
4～7.	漫画に表現されたコンプレックス	3～13.	プレゼンされた課題について
5～8.	絵画に見られる無意識	14.	「臨床」ということについて
9～11.	社会の中の臨床心理学	15.	まとめ
12～14.	臨床事例に見られる内的な問題	16.	テスト
15.	まとめ		
16.	テスト		

#### 授業方法：

前期は講義形式で行うことが多くなりますが、分析や解釈あるいは課題をめぐって討論することもあります。後期は自ら問題意識を持って課題を選択し、発表していただいて討論を進めることが中心となります。

#### 達成目標：

臨床心理学が机上の空論ではなく、生きた学問として感じられることが目標になります。

#### 評価方法：

授業態度とテストによって総合的に判断します。前期は授業態度 30%、テスト 70%、後期は授業態度と発表が 70%、テストが 30%になります。

#### 教科書：

特にありません。

#### 参考文献：

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C01801	臨床心理学演習及び実習	3	4	高橋 昇

期間	曜日	時限	備考：3年次生用
通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理臨床学、心理アセスメント、表現療法、夢分析	問題解決力、コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

臨床の現場は近年大きく広がっており、医療、教育、産業、司法、開業分野でもさらに細分化して発展してきています。しかし、根本的な心理臨床に対する「構え」は共通するものがあり、個々の技法を越える人とのかかわり方は、非常に重要なものであるといえましょう。それらをもとに、心理アセスメントとそれに繋がる技法として表現療法と夢の分析に歩を進めていきましょう。そして後期には、自分で考えてまとめる力を身につけるために問題意識を持ち、関心のある臨床心理学のテーマに臨んでいただこうと考えています。

#### 授業の概要：

前期は人が生きることから始め、病を抱えている者にどのようにかかわることができるのか考えていきます。そのような人を理解する手段として心理アセスメントの概説と体験をし、かかわるための技法として表現療法を紹介していきます。後期にはテーマを各自考えてもらい、討論しながら卒業論文に繋がるようなレポートにまとめることを目標にします。

#### 授業の計画：

<前期>	<後期>
1. オリエンテーション	1. オリエンテーション
2～3. 「病」を抱えた人について	2. テーマの決定と方向性
4. かかわる構えについて	3～6. レポートによる経過報告
5～8. 心理アセスメントについて	7. 報告書作成について
9～11. 表現療法について	8～11. プレゼンテーション
12～14. 夢分析について	12～14. 卒論に向けてのテーマ選択
15. まとめ	15. まとめ

#### 授業方法：

前期は講義形式から始め、その時々のテーマについて討論していきます。資料はその都度担当教員が用意します。アセスメントについては実習形式になるでしょう。後期は研究テーマを考え、文献探索や調査をしたり、グループ討議をすることが中心になります。

#### 達成目標：

心理的な課題を抱えた人に対する態度から技法を学び、卒業論文に向けて問題意識絵を持つこと、思考力を身につけて言語表現することを学び、創造性を養うことを目標とします。

#### 評価方法：

出席状況（50%）および受講態度（30%）とレポート（20%）によって総合的に評価します。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

1,000円（コピー、配布資料代）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C01802	臨床心理学演習及び実習	4	4	高橋 昇

期間	曜日	時限	備考：卒業年次生用
通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理臨床学、心理アセスメント、入力と出力	問題解決力、コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

頭の中に入力することと出力することが、思考能力や分析力、判断力を高めます。自分で考えてまとめる力を身につけるために問題意識を持ち、関心のある臨床心理学のテーマに臨んでいただこうと考えています。そして自分の出力したものを鍛えることで、より一層人に伝わる思考が形作られます。それを最終的に卒業論文という形にまとめることが目標となります。

#### 授業の概要：

前年までに自分の研究テーマを絞り込むように進めてきているので、前進させるために研究計画を練っていきます。それぞれのテーマは違いますが、一緒に考えることで、思考の幅が広がられます。また、話す力を伸ばすために、与えられたテーマについて議論し、ディベートしていく場も設けます。

#### 授業の計画：

<前期>		<後期>	
1.	オリエンテーション	1.	オリエンテーション
2～3.	計画、思考をまとめること	2～14.	卒業論文の経過発表
4～14.	研究計画についてのプレゼンテーション (いくつかのテーマについての討論)		(いくつかのテーマについての討論)
15.	まとめ	15.	まとめ

#### 授業方法：

卒業論文のテーマについて、入力を各自で行い、出力として授業でプレゼンテーションしていただきます。出力は書くことと、話すことであり、討論しながらさらに深めていきます。

#### 達成目標：

卒業論文に向けて問題意識を持つこと、思考力を身につけて言語表現することを学び、臨床心理学についての理解を深めながら、創造性を養うことを目標とし、論文の完成を目指します。

#### 評価方法：

出席状況（50%）および受講態度（30%）とレポート（20%）によって総合的に評価します。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60601	教育心理学A	1	2	坪井裕子
C02101	教育心理学講義A	2・3・4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 学習 発達	分析・総合の思考力、問題解決力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

教育の営みに含まれる要因は、対象としての幼児・児童・生徒、働きかけるものとしての教師、両者の関係を通して起こってくる成長、学習、教授等の事象です。これらを理解するための教育心理学の基礎的な事柄について学びます。

#### 授業の概要：

教育心理学における学習や発達など基礎的な事柄について学びます。

#### 授業の計画：

1. オリエンテーション・教育心理学の概要
2. 教育心理学の定義と歴史
3. 学習 (1)
4. 学習 (2)
5. 学習 (3)
6. 記憶
7. 知能
8. 動機づけ (1)
9. 動機づけ (2)
10. 教授方法
11. 発達 (1) 乳幼児期
12. 発達 (2) 児童期
13. 発達 (3) 青年期
14. 発達 (4) まとめ
15. 前期のまとめ

#### 授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。教育に関するトピックスがあれば、発表することが求められる場合もあります。

#### 達成目標：

教育現場で起こるさまざまな問題を検討することによって、教育についての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

#### 評価方法：

期末試験 (90%) と授業へのとりくみ (10%) によって総合的に評価します。なお、5回以上欠席した場合は、受講放棄とみなし、期末試験の受験資格を失いますので注意してください。

#### 教科書：

西村純一・井森澄江編「教育心理学エッセンシャルズ」第2版  
(ナカニシヤ出版 / 2200円 + 税)

#### 参考文献：

授業の中で提示します。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C60701	教育心理学B	1	2	坪井裕子
C02201	教育心理学講義B	2・3・4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 学習 発達	分析・総合の思考力、問題解決力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

教育の営みに含まれる要因は、対象としての幼児・児童・生徒、働きかけるものとしての教師、両者の関係を通して起こってくる成長、学習、教授等の事象です。これらを理解するための教育心理学の基礎的な事柄について学びます。

#### 授業の概要：

学校における適応の問題や発達障害などの基礎的な事柄について学びます。

#### 授業の計画：

1. 学校適応（1）
2. 学校適応（2）
3. 学級集団
4. 教師と生徒
5. 生徒指導
6. 発達障害（1）概要
7. 発達障害（2）知的障害
8. 発達障害（3）広汎性発達障害
9. 発達障害（4）学習障害・AD/HD
10. 教育評価（1）学力の測定
11. 教育評価（2）知能の測定
12. 教育評価（3）パーソナリティの測定
13. 教育統計（1）
14. 教育統計（2）
15. 後期のまとめ

#### 授業方法：

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。教育に関するトピックスがあれば、発表することが求められる場合もあります。

#### 達成目標：

教育現場で起こるさまざまな問題を検討することによって、教育についての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

#### 評価方法：

期末試験（90%）と授業へのとりくみ（10%）によって総合的に評価します。なお、5回以上欠席した場合は、受講放棄とみなし、期末試験の受験資格を失いますので注意してください。

#### 教科書：

西村純一・井森澄江編「教育心理学エッセンシャルズ」第2版  
（ナカニシヤ出版／2200円＋税）

#### 参考文献：

授業の中で提示します。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C02301	教育心理学特殊講義 I A (カウンセリング)	2・3・4	2	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 カウンセリング	分析・総合の思考力、問題解決力、価値判断力

**授業のテーマ：**

教育現場において、不登校やいじめなど、心に関する問題が噴出してきており、それに対応するため、カウンセリングへの要望は高まっています。本講義では、カウンセリングの諸理論の基本的な考え方や特徴について理解することを目的とします。

**授業の概要：**

カウンセリングの基礎的なことからについて理解できるようにします。

**授業の計画：**

- 1 オリエンテーション；カウンセリングとは
- 2・3 カウンセリングの意義・歴史の概観
- 4～6 カウンセリングの行われる領域
- 7～9 カウンセラーの養成
- 10～14 カウンセリングの基本的理論
- 15 まとめ

**授業方法：**

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。

**達成目標：**

カウンセリングについての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

**評価方法：**

期末試験(90%)と授業への取り組み状況(10%)などを加味して総合的に評価します。

**教科書：**

使用しません。必要に応じてプリント等を配布します。

**参考文献：**

授業の中で提示します。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C02401	教育心理学特殊講義 I B (カウンセリング)	2・3・4	2	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 学校 カウンセリング	分析・総合の思考力、問題解決力、価値判断力

**授業のテーマ：**

教育現場において、不登校やいじめなど、心に関する問題が噴出してきており、それに対応するため、カウンセリングへの要望は高まっています。本講義では、カウンセリングの諸理論の基本的な考え方や特徴について理解することを目的とします。

**授業の概要：**

カウンセリングの基礎を理解したうえで、実践事例を通して、援助的人間関係により、人がいかに成長への契機をつかみ得るかを感じ取れるようにします。

**授業の計画：**

- 1 カウンセリングの実際
- 2・3 カウンセリングの経過
- 4～6 乳幼児期・学童期のカウンセリング・遊戯療法
- 7・8 思春期のカウンセリング
- 9・10 青年期のカウンセリング
- 11～14 教育とカウンセリング
- 15 まとめ

**授業方法：**

基本的には講義を中心に行います。必要に応じて、視聴覚教材を用います。

**達成目標：**

カウンセリングについての考えを深め、基本的な知識を習得することを目標とします。

**評価方法：**

期末試験（90%）と授業への取り組み（10%）などを加味して総合的に評価します。

**教科書：**

使用しません。必要に応じてプリント等を配布します。

**参考文献：**

授業の中で提示します。

**実験・実習・教材費：**



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C02701	教育心理学プロゼミナール	2・3・4	2	三後／坪井

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理、アイデンティティ、関係性	分析・総合の思考力、問題解決力、社交性

**授業のテーマ：**

様々な場面における人間関係とその問題を取り上げ、基本的な文献などを購読することにより、心理学の知識を持ってそれらの問題について考えを深めることができますようにします。

**授業の概要：**

前期ではアイデンティティの問題について取り上げ、後期では関係性の問題について考えます。

**授業の計画：**

<前期>

- 1 オリエンテーション
- 2 グループワーク
- 3 アイデンティティの定義
- 4～6 アイデンティのレベル
- 7～11 病理的なアイデンティティの諸相
- 12～14 病理的なアイデンティティへの対応
- 15 まとめ

<後期>

- 1～2 オリエンテーション・グループワーク
- 3～5 関係性の定義と関係性の病理形成のメカニズム
- 6～8 乳幼児期の関係性の問題（母子関係・虐待）
- 9～10 学童期の関係性の問題（不登校・いじめ）
- 11～14 思春期・青年期の関係性の問題（親子関係・友人関係・非行など）
- 15 まとめ

**授業方法：**

講義と演習方式で行います。グループごとに興味のあるテーマを担当し、文献検索・論文講読・レジュメ作成を行い、順番に発表・討議します。

**達成目標：**

担当部分を発表し、討議することによって、文章にまとめて言語で伝達すること、他者の考えを的確に理解することなどの専門的学習を行う素養を身につけるとともに、心理学の研究方法の基礎を学ぶことを目標とします。

**評価方法：**

プレゼンテーションおよび取り組み（50%）と最終レポート（50%）を加味して総合的に評価します。

**教科書：**

- 前期：谷冬彦・宮下一博編著「アイデンティティの病理」さまよえる青少年の心  
北大路書房（1800円＋税）
- 後期：伊藤美奈子・宮下一博編著「関係性の病理」傷つけ傷つく青少年の心  
北大路書房（1800円＋税）

**参考文献：**

授業の中で提示します。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C02801	教育心理学演習及び実習	3	4	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：3年次生用
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 心理 質問紙 箱庭	分析・総合の思考力、問題解決力、社交性

#### 授業のテーマ：

教育や子どもの問題に関する興味のあるテーマを選択し、論文検索と講読、簡単な質問紙調査を行うことにより、学習を深めるとともに、研究方法を体得することを目的とします。また順次、発表と討議を行い、自分の考えを言語化して伝え、他者の考えを理解する力を養うことをねらいとします。

#### 授業の概要：

前半は興味のあるテーマを選択して、質問紙調査の実際を学びます。質問紙実習終了後は、箱庭実習と各自の卒業論文に向けた準備を始めます。

#### 授業の計画：

##### <前期>

- 1 オリエンテーション・演習計画とグループ分け
- 2～5 調査テーマの決定・文献の収集・講読
- 6～8 調査目的の明確化・研究仮説の設定
- 9 調査目的についてグループごとの発表と検討
- 10～13 質問紙の作成（調査項目・尺度の作成）
- 14～15 調査の実施

##### <後期>

- 1～2 データの整理と分析
  - (a) データのコーディングと入力
  - (b) データの集計と分析
  - (c) 分析結果の整理・考察
- 3～4 調査報告書の作成（研究のまとめ方・報告書作成の仕方）
- 5 研究成果のプレゼンテーション（グループごとの発表・討論）
- 6～8 箱庭実習
- 9～15 卒論に向けて（各自が興味のあるテーマをとりあげ、文献検索・論文講読・レジュメ作成を行い、順番に発表・討議します）

#### 授業方法：

演習および実習方式で行います。質問紙調査はグループで行います。なお、授業内容によっては、日程を変更する場合があります。

#### 達成目標：

教育や子どもに関する問題を心理学の研究方法により理解し、文章化していく作業を体験的に学ぶことを目標とします。

#### 評価方法：

受講態度（50％）にレポート（50％）を加味して総合的に判断します。

#### 教科書：

小塩真司・西口利文編「質問紙調査の手順」 ナカニシヤ出版（2200円＋税）

#### 参考文献：

授業の中で提示します。

#### 実験・実習・教材費：

1000円 資料代およびコピー代

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C02802	教育心理学演習及び実習	4	4	坪井裕子

期間	曜日	時限	備考：卒業年次生用
通年	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育 心理 発達 アイデンティティ 関係性	分析・総合の思考力、問題解決力、価値判断力

**授業のテーマ：**

3年次ゼミにおける学習を基礎にして、各自が持っている問題意識を明確にし、卒業論文の執筆を行います。また逐次、発表と討議を行うことで、自分の考えを言語化して伝え、他者の考えを理解する力を養うことをねらいとします。

**授業の概要：**

前期は各自の課題を明確化し、論文を具体化するための作業を行います。後期は、各自の課題を論文の形に纏め上げる作業を中心に行います。

**授業の計画：**

<前期>

- 1 オリエンテーション
- 2～5 卒論テーマについての発表（問題と目的の明確化）
- 6～10 卒論に関する文献講読と発表（方法の検討）
- 11～15 卒論中間発表

<後期>

- 1～2 卒論についての経過発表（結果の整理）
- 3～10 卒論についての経過発表（考察・まとめ）
- 11～15 卒論完成にむけての作業

**授業方法：**

各自がレジюмеを作成し、発表・討議する演習方式で行います。

**達成目標：**

教育や子どもに関する問題を心理学の研究方法により理解し、文章化していく作業を体験的に学ぶことを目標とします。

**評価方法：**

受講態度（50%）にレポート（50%）を加味して総合的に判断します。

**教科書：**

使用しません。

**参考文献：**

授業の中で提示します。

**実験・実習・教材費：**

1000円 資料代およびコピー代

授業コード	授業科目名		対象学年	単位数	担当教員名
C04801	精神病理学演習及び実習		3・4	4	三後美紀
期間	曜日	時限	備考：		
通年	水	2			
授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力		
心理 精神病理 研究法			コミュニケーション力 分析・総合の思考力と判断力 社交性 (社会的相互関係力)		

#### 授業のテーマ：

個人を取り巻く社会の変化により、人は成長することもありますし、心身に不調をきたすこともあります。このような社会と個人の相互作用から生じているさまざまな心の現象に着目しながら、各自の学問的関心をより明確にしていき、心理学研究に高めます。

#### 授業の概要：

前期は心理学的研究法について理解を深め、同時に文献講読やディスカッションを通して各自の研究テーマを明確にしていきます。後期は各自の研究計画に従って研究を進め、論文にまとめます。

#### 授業の計画：

<前期>

第1回 オリエンテーション (精神病理学と臨床心理学)

第2回～第5回 心理学の研究手法 (質問紙法、面接法を中心に)

第6回～第10回 文献講読とディスカッション

第12回～第15回 研究計画のプレゼンテーション

<後期>

第16回 オリエンテーション (心理学的研究の実際)

第17回～第20回 研究経過報告 (結果を中心に)

第21回～第25回 研究経過報告 (考察を中心に)

第26回～第30回 最終報告

#### 授業方法：

人の心の状態について、各自が関心を持っている事象をとりあげて発表し、受講生との議論を通して幅広い観点から心理学研究に高めるための検討を行います。

#### 達成目標

各自の問題意識を心理学的な視点から捉え直し、その問題を追求するための具体的な研究法を身につけて、卒業論文を作成していきます。

#### 評価方法：

授業への取り組み (およそ70%) と発表内容 (およそ30%) により総合的に評価します。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

1000円 (資料代および配布資料複写代)

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C61001	人間関係論	1	2	三後美紀
C08101	人間関係論講義A	2		

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心のなりたち、対人認知、動機づけ、態度変容、対人魅力	分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

われわれ人間は、人や社会との関係を持ちながら生きている社会的存在であり、他者や社会から影響を受けながら、また一方では他者や社会に影響を与えながら行動しています。このような互いに影響を及ぼしている日常的な対人関係について心理学的な視点から再考し、周辺にある事象や自分の行動に対してさまざまな視点で捉えようとする思考力を身につけることを目的とします。

**授業の概要：**

はじめに社会の中で自己がどのように形成されてきているのかについて概観します。次に、対人関係における人間の行動や心の動きについて心理学の基礎知識を身につけながら、個人の行動に他者がどのようにかかわっているのかを検討していきます。

**授業の計画：**

- 第1回                    イントロダクション
- 第2回～第4回        心のなりたちと社会の中の自己
- 第5回～第7回        対人認知と原因帰属
- 第8回～第9回        社会的欲求と動機づけ
- 第10回～第11回     態度の変容
- 第12回～第14回    対人魅力と対人コミュニケーション
- 第15回                まとめ

**授業方法：**

基本的には講義形式で行いますが、必要に応じて配布資料や映像資料などを用いて理解を深めます。

**達成目標：**

対人関係を含む、われわれの身近にある事象を心理学的に捉えた知見を学ぶことで、分析・総合の思考力と判断力の基礎を学生自身が身につけます。

**評価方法：**

- 期末試験（およそ70%）と授業への取り組み（およそ30%）により総合的に評価します。
- 心理学的な視点から身近な事象の説明ができ、かつその問題点を論ずることができる…S
  - 心理学的な視点から身近な事象の説明ができる……………A
  - 心理学的な基礎知識を身につけており、身近な事象との関連性が理解できる……………B
  - 心理学的な基礎知識が身につけている……………C
  - Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

なし

**参考文献：**

授業中に紹介します。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C08201	人間関係論講義B	2	2	三後美紀

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
集団の影響、産業・組織心理学、社会的スキル、ストレス・マネジメント	分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

われわれ人間は、人や社会との関係を持ちながら生きている社会的存在であり、他者や社会から影響を受けながら、また一方では他者や社会に影響を与えながら行動しています。このような互いに影響を及ぼしている日常的な対人関係について心理学的な視点から再考し、周辺にある事象や自分の行動に対してさまざまな視点で捉えようとする思考力を身につけることを目的とします。

#### 授業の概要：

後期は社会集団での人間のさまざまな行動を理解するために、まず集団からの影響力を概観し、次に企業や学校、家庭などの集団における人間の行動や心の動きについて学びます。特に産業・組織心理学の知見から、集団における個人の行動を「個人の集団内での発達」という視点も加えながら理解していきます。

#### 授業の計画：

第1回	イントロダクション
第2回～第4回	集団の影響
第5回～第9回	組織の中での人間理解
第10回～第11回	人とのかかわり方（社会的スキル）
第12回～第14回	ストレスとストレス・マネジメント
第15回	まとめ

#### 授業方法：

基本的には講義形式で行いますが、必要に応じて配布資料や映像資料などを用いて理解を深めます。

#### 達成目標：

対人関係を含む、われわれの身近にある事象を心理学的に捉えた知見を学ぶことで、分析・総合の思考力と判断力の基礎を学生自身が身につけます。

#### 評価方法：

期末試験（およそ70%）と授業への取り組み（およそ30%）により総合的に評価します。

心理学的な視点から身近な事象の説明ができ、かつその問題点を論ずることができる…S  
 心理学的な視点から身近な事象の説明ができる……………A  
 心理学的な基礎知識を身につけており、身近な事象との関連性が理解できる……………B  
 心理学的な基礎知識が身につけている……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C08301	人間関係論特殊講義 I A (タテ社会の人間関係)	2	2	三後美紀

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア発達、ライフサイクル、パーソナリティ、職業選択、ストレス	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ:

近年、わが国における従来の雇用システムが見直され、個人の働き方が問い直されています。そもそも私たちはなぜ働くのでしょうか。また、児童期や青年期にはどのように職業観が形成され、組織参入時にはどのような課題があるのでしょうか。前期は人のライフサイクルにおける課題を概観しながら、組織の中での個人の成長や発達について、心理学的な視点から再考します。

#### 授業の概要:

心理学の基礎知識を身につけながら社会の中での個人の成長についての理論を学び、同時にその課題や問題点を論じていきます。

#### 授業の計画:

第1回	人はなぜ働くのか
第2回～第4回	キャリアとライフサイクル論
第5回～第7回	キャリア発達課題
第8回～第9回	キャリア・トランジションとアイデンティティ
第10回～第11回	パーソナリティと職業選択
第12回～第14回	キャリア・ストレス
第15回	まとめ

#### 授業方法:

基本的には教科書を読み進めての講義形式で行いますが、教科書の内容をより深く理解するために前もって必要だと思われる心理学的知見を配布資料や映像資料などを用いて紹介します。

#### 達成目標:

組織の中での個人の成長という問題について心理学的に捉えることで、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力を学生自身が身につけます。

#### 評価方法:

期末試験(およそ70%)と授業への取り組み(およそ30%)により総合的に評価します。  
 キャリアの問題について心理学的に説明でき、かつその問題点を論ずることができる・・・S  
 キャリアの問題について心理学的に説明ができる・・・A  
 心理学的な基礎知識を身につけており、キャリアの問題との関連性が理解できる・・・B  
 心理学的な基礎知識が身につけている・・・C Cのレベルに達していない・・・D

#### 教科書:

二村英幸 『個と組織を生かすキャリア発達の心理学』 金子書房 (2400円+税)

#### 参考文献:

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C08401	人間関係論特殊講義 I B (タテ社会の人間関係)	2	2	三後美紀

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
キャリア発達、組織社会化、ワークライフ・バランス、モチベーション、キャリア・カウンセリング	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ:

近年、わが国における従来の雇用システムが見直され、個人の働き方が問い直されています。組織の存在意義や組織のなかでの個人の成長や発達について心理学的な視点から再考し、周辺にある事象や自分の行動に対してさまざまな視点で深く捉えようとする思考力を身につけることを目的とします。

#### 授業の概要:

心理学の基礎知識を身につけながら社会の中での個人の成長についての理論を学び、同時にその課題や問題点を論じていきます。

#### 授業の計画:

第1回	個と組織の関係
第2回～第4回	組織社会化
第5回～第7回	ワークライフ・バランス
第8回～第9回	モチベーションと人間関係
第10回～第11回	さまざまなキャリア発達支援のあり方
第12回～第14回	キャリア・カウンセリング
第15回	まとめ

#### 授業方法:

基本的には教科書を読み進めての講義形式で行いますが、教科書の内容をより深く理解するために前もって必要だと思われる心理学的知見を配布資料や映像資料などを用いて紹介します。

#### 達成目標:

組織の中での個人の成長という問題について心理学的に捉えることで、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力を学生自身が身につけます。

#### 評価方法:

期末試験(およそ70%)と授業への取り組み(およそ30%)により総合的に評価します。  
 キャリアの問題について心理学的に説明でき、かつその問題点を論ずることができる・・・S  
 キャリアの問題について心理学的に説明ができる・・・A  
 心理学的な基礎知識を身につけており、キャリアの問題との関連性が理解できる・・・B  
 心理学的な基礎知識が身につけている・・・C Cのレベルに達していない・・・D

#### 教科書:

二村英幸 『個と組織を生かすキャリア発達の心理学』 金子書房 (2400円+税)

#### 参考文献:

授業中に紹介します。

#### 実験・実習・教材費:

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C08701	人間関係論プロゼミナール	2	2	三後／坪井

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
心理、アイデンティティ、関係性	分析・総合の思考力、問題解決力、社交性

**授業のテーマ：**

様々な場面における人間関係とその問題を取り上げ、基本的な文献などを購読することにより、心理学の知識を持ってそれらの問題について考えを深めることができますようにします。

**授業の概要：**

前期ではアイデンティティの問題について取り上げ、後期では関係性の問題について考えます。

**授業の計画：**

<前期>

- 1 オリエンテーション
- 2 グループワーク
- 3 アイデンティティの定義
- 4～6 アイデンティのレベル
- 7～11 病理的なアイデンティティの諸相
- 12～14 病理的なアイデンティティへの対応
- 15 まとめ

<後期>

- 1～2 オリエンテーション・グループワーク
- 3～5 関係性の定義と関係性の病理形成のメカニズム
- 6～8 乳幼児期の関係性の問題（母子関係・虐待）
- 9～10 学童期の関係性の問題（不登校・いじめ）
- 11～14 思春期・青年期の関係性の問題（親子関係・友人関係・非行など）
- 15 まとめ

**授業方法：**

講義と演習方式で行います。グループごとに興味のあるテーマを担当し、文献検索・論文講読・レジュメ作成を行い、順番に発表・討議します。

**達成目標：**

担当部分を発表し、討議することによって、文章にまとめて言語で伝達すること、他者の考えを的確に理解することなどの専門的学習を行う素養を身につけるとともに、心理学の研究方法の基礎を学ぶことを目標とします。

**評価方法：**

プレゼンテーションおよび取り組み（50%）と最終レポート（50%）を加味して総合的に評価します。

**教科書：**

- 前期：谷冬彦・宮下一博編著「アイデンティティの病理」さまよえる青少年の心  
北大路書房（1800円＋税）
- 後期：伊藤美奈子・宮下一博編著「関係性の病理」傷つけ傷つく青少年の心  
北大路書房（1800円＋税）

**参考文献：**

授業の中で提示します。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C41301	スポーツ環境論特殊講義 I A	2・3・4	2	白井克佳

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツ情報、パフォーマンス分析	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

**授業のテーマ：**

スポーツ環境について様々な技法を用いながらこれを分析し、現状と課題について学ぶ。

**授業の概要：**

文部科学省は2000年にスポーツ振興基本計画、2010年に文部科学省はスポーツ立国戦略を打ち出した。そして、今後スポーツ基本法やスポーツ庁の設置が検討されているが、その背景にあるスポーツ界が内包する課題について様々な情報の収集・分析を通して学ぶ。

**授業の計画：**

1. 我が国のスポーツ政策（スポーツ振興基本計画、スポーツ立国戦略）
2. 世界のスポーツ政策
3. 各種情報の検索と収集。定量分析を通じた課題の抽出と目標設定の妥当性に関する検証。

**授業方法：**

スポーツ環境に関する各種情報の提供および収集方法に関する知見の提供。グループもしくは個人での分析と考察を通して我が国および世界のスポーツ環境について学ぶ。

**達成目標：**

我が国および世界各国におけるスポーツ環境、スポーツ政策について理解する。  
さまざまな分析手法を学び、状況に応じてその手法を駆使できるようになる。

**評価方法：**

出席50%、レポート50%により評価する。出席が2/3に満たないものは自動的に履修放棄となるので注意すること。

**教科書：**

特に無し

**参考文献：**

特に無し

**実験・実習・教材費：**

特に無し

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C41401	スポーツ環境論特殊講義 I B	2・3・4	2	白井克佳

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツ情報、パフォーマンス分析	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

**授業のテーマ：**

スポーツパフォーマンスについて様々な技法を用いながらこれを分析することを学ぶ

**授業の概要：**

専門領域としてのスポーツとの関わり方についてパフォーマンス分析を通して学ぶ。パフォーマンス分析は競技力の評価、課題抽出のためには必要不可欠である。オリンピックやアジア大会などの総合型国際競技大会や世界選手権、ワールドカップなどの単一競技の国際大会を題材にさまざまな手法によるパフォーマンス分析を試みる。

**授業の計画：**

1. 日本選手の実力把握
2. メダル獲得数の予想と評価
3. 映像を用いた競技パフォーマンスの評価
4. スポーツの定量分析

**授業方法：**

実際に開催されている大会を題材にパフォーマンス分析を実施、パフォーマンスを評価するとともに分析方法自体の評価も実施する。

**達成目標：**

さまざまな分析手法を学び、状況に応じてその手法を駆使できるようになる。

**評価方法：**

出席 50%、レポート 50%により評価する。出席が 2 / 3 に満たないものは自動的に履修放棄となるので注意すること。

**教科書：**

特に無し

**参考文献：**

特に無し

**実験・実習・教材費：**

特に無し

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C41801	スポーツ環境論演習及び実習	3・4	4	白井克佳

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スポーツ振興、スポーツ環境、スポーツ科学、スポーツ情報	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

**授業のテーマ：**

スポーツを“する”だけではなく、その現状を客観視し、スポーツの持つ意義、スポーツとの関わり方について考える。

**授業の概要：**

スポーツ界が抱える様々な問題について、環境、振興、強化といった面から考察する。様々な情報の収集・分析の手法を用いることによる分析力と分析した結果をもとに考察を深める力の獲得を目指す。

**授業の計画：**

1. スポーツを取り巻く環境について
2. スポーツ振興
3. 生涯スポーツを取り巻く環境
4. 競技スポーツを取り巻く環境
5. スポーツを分析する
6. パフォーマンス分析
7. スポーツ研究方法

**授業方法：**

各テーマについての情報提供及びディスカッション。また、パフォーマンス分析では実際にスポーツを分析、考察する。

**達成目標：**

スポーツ振興・環境・科学についての理解を深める。スポーツを通して客観的に分析する能力、それを元に考察能力を身につける。

**評価方法：**

出席50%、レポート50%により評価する。出席が2/3に満たないものは自動的に履修放棄となるので注意すること。

**教科書：**

特に無し

**参考文献：**

特に無し

**実験・実習・教材費：**

特に無し

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C11201	社会心理学	2・3	2	中島 誠
C10101	社会心理学A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	B	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
社会心理学、対人葛藤、コミュニケーション	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

人の幸福を最も強く規定するのは人間関係だといわれている。心理学と聞いて多くの人イメージする臨床心理学も、信頼できる人間関係を基礎にするものである。講義では社会的影響過程やコミュニケーション、対人葛藤について学習する。それにより、他者との接し方について理解を深めることを目指す。

#### 授業の概要：

講義では科学的な視点から、社会的動物としての人間の心理について、対人関係、集団を中心とした応用的知識を概説する。ただし、理論の紹介にとどまらず、ディスカッション等の演習が行われる。他者との関わりを通じ、より具体的な体験から理論を理解していく。

#### 授業の計画：

- 1 インTRODクシヨン1 心理学の理解
- 2 インTRODクシヨン2 社会的動物としての人間
- 3 社会的認知 印象形成・原因帰属
- 4 対人関係 コミュニケーション
- 5 社会的影響1 説得ゲーム
- 6 社会的影響2 説得の理論と技法
- 7 社会的影響3 他者の存在と援助行動
- 8 社会的影響4 メディアと攻撃
- 9 対人葛藤1 交渉ゲーム
- 10 対人葛藤2 葛藤の理解
- 11 対人葛藤3 組織と葛藤
- 12 対人葛藤4 アサーションの理解
- 13 対人葛藤5 社会的ジレンマの理解
- 14 まとめと振り返り
- 15 試験

#### 授業方法：

講義に加え、演習や映像資料の視聴を行う

#### 達成目標：

対人認知や社会的影響、葛藤への知識を深め、他者と良好な関係を形成するスキルを獲得する。

#### 評価方法：

出席 10%、受講態度、課題への取り組み 30%、筆記試験 60%

#### 教科書：

特になし・適宜授業内で紹介する。

#### 参考文献：

特になし

#### 実験・実習・教材費：

特になし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C10201	社会心理学B	4	2	中島 誠

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	D	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
社会心理学、集団、社会的公正	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

人の幸福を最も強く規定するのは人間関係だといわれている。心理学と聞いて多くの人イメージする臨床心理学も、信頼できる人間関係を基礎にするものである。講義では集団の心理というテーマのもと、リーダーシップ等の理論について学習する。それにより、他者との接し方について理解を深めることを目指す。

#### 授業の概要：

講義では科学的な視点から、社会的動物としての人間の心理について、対人関係、集団を中心とした応用的知識を概説する。ただし、理論の紹介にとどまらず、ディスカッション等の実習が行われる。他者との関わりを通じ、より具体的な体験から理論を理解していく。

#### 授業の計画：

- 1 集団の心理 1 集団とは
- 2 集団の心理 2 同調の理解
- 3 集団の心理 3 服従の理解
- 4 集団の心理 4 リーダーシップ
- 5 集団の心理 5 集団討議の体験 (1)
- 6 集団の心理 6 集団討議の体験 (2)
- 7 集団の心理 7 集団討議の利点と欠点
- 8 集団の心理 8 集団とステレオタイプ
- 9 葛藤解決 1 自己開示
- 10 葛藤解決 2 ステイグマ
- 11 葛藤解決 3 交換ゲーム
- 12 葛藤解決 4 互恵性・分配的公正
- 13 葛藤解決 5 手続き的公正
- 14 まとめと振り返り
- 15 試験

#### 授業方法

講義に加え、演習や映像資料の視聴を行う

#### 達成目標

集団内の人間関係や葛藤に対する理解を深め、良好な集団を形成するスキルを獲得する。

#### 評価方法

出席 10%、受講態度、課題への取り組み 30%、筆記試験 60%

#### 教科書：

特になし・適宜授業内で紹介する。

#### 参考文献：

特になし

#### 実験・実習・教材費：

特になし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C10301	認知心理学	2・3・4	2	増井 透

期間	曜日	時限	備考：
後期	集中	F	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人間の情報処理 潜在的認知 記憶 色彩 心理 意識と無意識	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

世界を理解し適応するためには、まず世界や人間関係を認知するというプロセスが必要になる。何でもない日常行動の背景にはじつは複雑な認知の働きが存在する。認知のプロセス、すなわち、知覚、記憶、理解、判断といった心的活動を、情報処理の観点から考察する。

#### 授業の概要：

情報がどのように内的に変換され表象され処理されるか、感覚情報の処理から記憶、思考に至る心的過程のプロセスをたどり、とくにそうした過程の大半が自覚できない潜在的プロセスであることを、実験データとそれにもとづくモデル構成によって考察する。

#### 授業の計画：

- 1回 認知心理学とは何か：世界を表象する
- 2回、3回 知覚から認知へ：モノが見えるしくみ
- 4回、6回 色彩の心理：色には意味がある
- 7回、8回 記憶の世界：注意とイメージ
- 9回、10回 記憶の世界：記憶は嘘をつく
- 11回、12回 無意識の認知：サブリミナル認知
- 13回 認知神経心理学：認知が崩壊するとき
- 14回 思考の歪み：行動経済学
- 15回 まとめと試験

#### 授業方法：

スライドを使った講義が中心で、ビデオなどのAV教材を用いる。必要に応じて関連資料を配布する。随時、簡単な実験などを行って、体験的な理解を図る。

#### 達成目標：

人間の認知過程を情報処理の観点から理解し、実験的アプローチによる検討を通して理解し、人間について考察する視点を得ることをめざす。

#### 評価方法：

毎回の出席（25%）、随時の実験や小レポートへの参加状況（25%）を含めて、最終回に試験（50%）を行い、総合的に評価する。

#### 教科書：

授業内で指示する。

#### 参考文献：

授業内で指示する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C10501	学校心理学	2・3・4	2	花井正樹

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	C	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スクールカウンセリング、発達課題、アセスメント	コミュニケーション力、問題解決力、社交性（社会的相互関係力）

#### 授業のテーマ：

現在、学校教育は重大な岐路にさしかかっています。子どもたちに対する理解の不足から適切な対応がなされていないために、さまざまな問題が生じています。社会の変化と照らし合わせながら、これからの学校教育のあり方を、心理学的な観点から皆さんと一緒に再検討していきましょう。

#### 授業の概要：

学校を取り巻く社会の変化と子どもの発達段階を念頭に置きながら、子どもたちの心の理解とそれに基づく具体的な援助のあり方についての理解を深めてもらう。

#### 授業の計画：

1. 社会の変化の中で学校はどう変わったか
  - 1回 戦前の状況
  - 2回 戦後の状況
  - 3回 学校は必要か
  - 4回 学校文化
  - 5回 スクールカウンセラーの役割
2. 演習
  - 6回 グループエンカウンターⅠ
  - 7回 グループエンカウンターⅡ
3. 発達段階に応じた教育
  - 8回 乳幼児期
  - 9回 児童期
  - 10回 思春期
4. スクールカウンセリングの実際
  - 11回 不登校
  - 12回 いじめ
  - 13回 非行
  - 14回 摂食障害
  - 15回 学校教育相談のあり方について

#### 授業方法：

主として講義形式で行いますが、その間に、グループエンカウンター等の実習も行います。そして講義および実習後に毎回簡単なレポートを書いていただきますので、受身的ではなく自主的、積極的な態度で参加してください。

#### 達成目標：

現代社会における学校の置かれている厳しい状況を理解すると同時に、これを乗り越えていくための臨床心理学的な対応についての理解を深める。

#### 評価方法：

講義および実習後のレポート(50%)と最終日のテスト(50%)をもとに総合的に評価します。したがって3日間の集中講義を毎時間欠かさず出席してください。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

定森恭司編著「教師とカウンセラーのための学校心理臨床」 昭和堂 (2,300円)  
高橋史朗編著「ホリスティックな学校教育相談」 学事出版 (2,200円)

#### 実験・実習・教材費：

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30101	言語心理学	2・3・4	2	小山 正

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	C	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語, 象徴機能, 認知, 発達	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

子どもの言語獲得過程に関する最近の研究を紹介しながら、子どもの心理的発達がことばの獲得にどのように影響しているかを明らかにしていくとともに、言語発達学、言語心理学に関する基本的事項を習得することを本講義での到達目標とする。また、人間発達における言語の問題についても考える。

本講義では、自閉症やダウン症等の障害のある子どもの言語・コミュニケーションの問題についても取り上げ、障害のある子どもの言語獲得過程について知り、言語発達支援の基本についても考える。

#### 授業の概要：

象徴機能の発達という観点から言語発達について述べる。その後の言語発達の基礎となる前言語期からの諸発達を述べ、特に他者認識の発達と言語獲得の問題に関して考察していく。

#### 授業の計画：

1. 言語とは
2. 象徴機能, 象徴化能力とは
3. 前言語期における諸発達
4. 象徴化の発達と言語獲得
5. 初期言語獲得期の諸相 - 語獲得の認知的基盤
6. 文法・統語の発生 - 動詞の獲得
7. 共同注意の発達と言語の獲得
8. 遊びのなかでの心の理解とことばの発達
9. 心的状態語の発達
10. 文字言語の獲得
11. 自閉症・ダウン症の子どもへの言語発達支援をめぐって
12. 音韻の発達
13. 親子関係とことばの発達
14. 人間発達と言語
15. まとめ

#### 授業方法：

教科書にそって、講義形式で進めます。必要に応じて、資料やビデオを用います。

#### 到達目標：

①言語獲得の基礎について知る ②言語と認知発達との関連性について知る。③障害のある子どもの言語獲得過程について知る。

#### 評価方法：

3分の2以上の出席。小レポートと学期末レポートによって評価する。出席・小レポート(50%), 学期末レポート(50%)。

#### 教科書：

小山 正編著 『言語獲得期の発達』 ナカニシヤ出版 \2800

#### 参考文献：

小山 正・神土陽子編著 『自閉症スペクトラムの子どもの言語・象徴機能の発達』 ナカニシヤ出版 \2600

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C10601~06	心理学基礎実習	2・3・4	4	芳賀・廣藤・齋藤・栗野・高橋・渡邊
<b>期間</b>	<b>曜日</b>	<b>時限</b>	<b>備考</b> ：2 時限連続 履修抽選対象科目	
通年	金	3・4	※どの授業コードで登録するかは初回授業時に決定	
<b>授業のキーワード</b>		<b>人間環境大学が育む八つの能力</b>		
心理実験, 心理検査, レポート作成		分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、効果的な社会参加		

#### 授業のテーマ：

心理学実験と心理検査の実施技法，データ分析方法，レポート作成方法を身につけることを目的とする。受講にあたっては，基礎心理学講義，教育心理学講義，臨床心理学講義を受講していることが望ましい。臨床心理コースを主専攻とする者は必ず2年次に受講しておいてほしい。

#### 授業の概要：

基礎心理学，教育心理学，臨床心理学などの分野で代表的な12テーマを取り上げる。実験や検査等の方法について，実験者（検査者）および研究対象者（実験参加者・被検査者）として参加体験する。そして，得られたデータに基づいてレポートを作成する。

#### 授業の計画：

##### 前期

- 1) ～ 2) ガイダンス・グループ分け
- 3) ～ 15) 実習およびレポート講評
  - ・ ミューラー・リヤー錯視
  - ・ エピソード記憶
  - ・ 対比較による尺度構成法
  - ・ 投映法1 (SCT, TAT)
  - ・ 知能検査1 (京大NX)
  - ・ 性格検査 (性格検査, エゴグラム)

##### 後期

- 1) ガイダンス
- 2) ～ 15) 実習およびレポート講評
  - ・ 知覚-運動協応学習 (鏡映描写)
  - ・ 認知的葛藤 (ストループ効果)
  - ・ パーソナル・スペース
  - ・ 投映法2 (ロールシャッハ)
  - ・ 知能検査2 (WAIS-R)
  - ・ 描画法 (バウムテスト, 風景構成法)

#### 授業方法：

参加者を小グループに分割し，2週間で1テーマのペースで実習を行い，レポート提出を求める。年度途中での授業放棄は他の受講生の迷惑となるので避けてほしい。

#### 達成目標：

3年次以降の専門的な心理学研究に必要な基礎知識と実験と検査の実施技能を身につける。

#### 評価方法：

出席とレポート提出の基準をクリアしていることを前提とし，レポートの評点によって評価する。レポートは科学論文の要件を満たすことが求められる。遅刻，無断欠席，レポート提出の遅れは認めない。

#### 教科書：

『心理学基礎実習テキスト』 初回授業時に配布

#### 参考文献：

授業中に適宜指示する

#### 実験・実習・教材費：

実習費として30,000円徴収する（テキスト，テスト用紙，実験用具，消耗品費として）  
準備品：必ず関数電卓（カシオ製が望ましい）を準備し，毎時間持参すること。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C11401	食の安全	2・3	2	平石 明

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
食中毒、衛生管理、食品表示、食環境、リスク分析	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

食品微生物学、食環境、リスク分析などの観点から食の安全・安心を得られるシステムについて考える。

**授業の概要：**

食に関する危害やそれを防ぐ仕組みについて専門用語や法令を交えながら解説し、併せて関連する時事問題や環境問題も紹介する。

**授業の計画：**

- 第1回 食の安全—概要
- 第2回 食の安全—歴史と事例
- 第3回 食中毒の定義と現状
- 第4回 食品微生物学の基礎-1
- 第5回 食品微生物学の基礎-2
- 第6回 細菌性食中毒各論1
- 第7回 細菌性食中毒各論2
- 第8回 微生物検査技術
- 第9回 食品の保存・衛生管理
- 第10回 食品表示の見方
- 第11回 食品の規格基準と監視
- 第12回 HACCP、GAPシステム
- 第13回 食環境と食の安全
- 第14回 食の安全へ向けて
- 第15回 総括・演習

**授業方法：**

スライドショーおよび配布資料を用いながら解説し、加えて板書により内容を補う。適宜10分程度の演習を行い、最後の授業でその総括を行う。

**達成目標：**

食に関する危害の知識を深め、安全と安心を得られるシステムについて説明できる。

**評価方法：**

演習を20%、中間レポートを30%、期末レポートを50%として最終評価（S～D評価）する。

- S：目標をほぼ完全に達成している
- A：目標を相応に達成している。
- B：目標に不十分な点もあるが相応に達成している
- C：目標の最低限は満たしている。
- D：目標の最低限を満たしていない。

**教科書：**

なし。適宜資料を配布する。参考図書として「食中毒のリスクと人間社会」(清水潮著、幸書房、2008年)を薦める。

**参考文献：**

食の安全 - Wikipedia (<http://ja.wikipedia.org/wiki/食の安全>) を薦める。

**実験・実習・教材費：**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C11501	身体と運動とスポーツの心理学A	2・3	2	竹之内隆志
C07301	身体環境論特殊講義I A (身体と運動とスポーツの心理学)	4	2	

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	A	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
身体運動、スポーツ、心	分析・統合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

身体運動やスポーツは身体を動かすことによって行われるが、身体的側面以外にもさまざまな心理的側面が関わっている。そこで、そうした心理的側面を探求していくことで人間の総体としての心や身体を考えていく。

#### 授業の概要：

運動技能の効果的な学習方法や運動・スポーツ実施の際に考慮すべき心理的問題について心理学の立場から理解していく。

#### 授業の計画：

1. ガイダンス：本講義の概要説明
- 2-6. 運動学習  
運動技能の学習理論  
練習方法の比較実験（練習順序の違い）  
あがりによるパフォーマンスの低下
- 7-12. 運動・スポーツにおける心理的問題  
スポーツの楽しさ  
スポーツにおける動機づけ  
スポーツにおける目標設定  
スポーツ参加・継続・離脱
- 13-14. メンタルトレーニング  
メンタルトレーニングの技法  
メンタルトレーニングの事例
15. まとめ：講義で得た知識の整理

#### 授業方法：

教科書を読み進めながら講義を行い、必要に応じて資料を配付したりスポーツのビデオを視聴したりする。運動学習の講義では、実験として簡単な運動の練習を体育館で行うので、普段着で構わないが動きやすい服装で参加し、できれば体育館シューズを着用すること。なお、練習は集中講義期間中に数回に分けて行う。

#### 達成目標：

身体運動やスポーツの心理的側面について包括的に理解を深める。

#### 評価方法：

授業への関与度（50%）、試験または最終レポート（50%）。  
なお、欠席時数が授業時数の3分の1を超えた場合には評価の対象外とする。

#### 教科書：

杉原隆ほか（編著）『スポーツ心理学の世界』福村出版（税込 2,730 円）

#### 参考文献：

なし。

#### 実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C11601	身体と運動とスポーツの心理学B	2・3	2	竹之内隆志
C07401	身体環境論特殊講義I B (身体と運動とスポーツの心理学)	4	2	

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	D	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
身体運動、スポーツ、心	分析・統合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

身体運動やスポーツは身体を動かすことによって行われるが、身体的側面以外にもさまざまな心理的側面が関わっている。そこで、そうした心理的側面を探求していくことで人間の総体としての心や身体を考えていく。

#### 授業の概要：

運動技能の効果的な学習方法や運動・スポーツ実施の際に考慮すべき心理的問題について心理学の立場から理解していく。

#### 授業の計画：

1. ガイダンス：本講義の概要説明
- 2-5. 運動技能の学習  
運動技能の学習理論  
練習方法の比較実験（教示量の違い）  
状況判断能力
- 6-10. 運動・スポーツにおける心理的問題  
スポーツとパーソナリティ  
スポーツと攻撃性  
スポーツとジェンダー  
スポーツと集団力学
- 11-14. 一流スポーツ選手の心理的問題  
プレッシャーとの戦い  
バーンアウトや怪我
15. まとめ：講義で得た知識の整理

#### 授業方法：

教科書を読み進めながら講義を行い、必要に応じて資料を配付したり一流スポーツ選手のビデオを視聴したりする。運動学習の講義では、実験として簡単な運動の練習を体育館で行うので、普段着で構わないが動きやすい服装で参加し、できれば体育館シューズを着用すること。なお、練習は集中講義期間中に数回に分けて行う。

#### 達成目標：

身体運動やスポーツの心理的側面について包括的に理解を深める。

#### 評価方法：

授業への関与度（50%）、試験または最終レポート（50%）。  
なお、欠席時数が授業時数の3分の1を超えた場合には評価の対象外とする。

#### 教科書：

杉原隆ほか（編著）『スポーツ心理学の世界』福村出版（税込 2,730 円）

#### 参考文献：

なし。

#### 実験・実習・教材費：

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00101	比較日本文化論講義A	1・2・3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本文化と自然、歴史と伝統、江戸文明、近代化	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

自らがその中で生い育った文化は意識しにくいものであるが、特に日本の場合、日本の特殊事情もあって、日本文化についてよく知らない日本人も多くなっている。他方、現代では、「日本」とか「文化」というもの自体、一種の幻想であるとする議論もある。この講義は、こういう状況の中で、学生が自身で日本文化について新たに考え直す手掛かりとなるであろう。

**授業の概要：**

日本文化や日本人のものの考え方の顕著な特徴と思われる事柄を、世界の他の地域の文化や思想との比較を通して考察する。日本文化や日本の思想に関わるさまざまな通念の再検討も行ない、日本文化の独自性や、現代の世界におけるその意味について論ずる。入門の意味をもつこの「講義」では、基本的な事項を知らしめるという意味で、取り上げる問題点は前年と同じものも多いが、取り上げる事例等については、できるだけ前年と異なったものになるよう心掛けている。

**授業の計画：**

- ①日本文化を考える際、どのような問題が考察されるべきか、またそれは何故かということを中心とする導入講義。大学の講義のノートの取り方等、実際的な問題についてもあらかじめ助言を与えておく。
- ②視覚教材を、日本文化を考える際の一つの手掛かりとする。
- ③日本文化と自然 (1)
- ④日本文化と自然 (2)
- ⑤日本文化と自然 (3)
- ⑥世界の他の地域における自然観と文化 (1)
- ⑦世界の他の地域における自然観と文化 (2)
- ⑧世界の他の地域における自然観と文化 (3)
- ⑨近代化という問題 (1)
- ⑩近代化という問題 (2)
- ⑪江戸文明 (1)
- ⑫江戸文明 (2)
- ⑬江戸文明 (3)
- ⑭日本文化と近代化という問題
- ⑮前期のまとめ

**授業方法：**

講義は基本的に、ドイツ語でいう vorlesen (この意味は、最初の講義時に説明する) の形をとるが、一方通行にならないように、時に履修者に対して質問を投げかけることもある。また、年間を通して資料を度々配布する。それらの資料は、講義の理解に役立つのみならず、履修者が日本文化について自分自身で考える手助けともなるであろう。

**達成目標：**

他文化との比較を通して日本文化について理解を深める。日本文化に関する通念も考え直す。

**評価方法：**

- (a) 授業への取り組み、(b) 学期末試験、(c) レポートを同等の比重で重視する。
- (a) における真摯な態度を前提とした上で、(b) と (c) において、
- 講義の理解度が特に優れ、課題についてよく考えられていると認められた場合…………… S
- 講義の理解度に問題がないと認められた場合…………… A
- 理解度にやや不十分さはあっても、少なくとも要点は理解できていると認められた場合…………… B
- かなりの不十分さはあるにせよ、理解できている問題もいくらかはあると認められた場合…………… C
- Cに達していない場合…………… D

**教科書：**

特になし。

**参考文献：**

参考文献は授業中に適宜紹介する。その中の少なくとも一冊は、レポートの課題図書とする。

**実験・実習・教材費：**

不要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00201	比較日本文化論講義B	1・2・3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
地政学的視点、歴史環境、技術と身体化、美意識、外来性と固有性	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

自らがその中で生い育った文化は意識しにくいものであるが、特に日本の場合、日本の特殊事情もあって、日本文化についてよく知らない日本人も多くなっている。他方現代では、「日本」とか「文化」というものの自体、一種の幻想であるとする議論もある。この講義は、こういう状況の中で、学生が自分で日本文化について新たに考え直す手掛かりとなるであろう。そのためにも通年の受講を勧める。

**授業の概要：**

日本文化や日本人のものの考え方を、歴史環境や東アジアという地政学的観点もふまえ、世界の他の地域の文化や思想との比較を通して考察する。日本文化や日本の思想に関わるさまざまな通念の再検討も行ない、日本文化の独自性や、現代の世界におけるその意味について論ずる。入門の意味をもつこの「講義」では、基本的な事項を知らしめるという意味で、取り上げる問題点については前年と同じものも多いが、取り上げる事例等についてはできるだけ前年と異なったものになるよう心掛けている。

**授業の計画：**

- ① 日本文化を考える際どのような問題が考察されるべきか、前期Aの講義の要点を振り返りつつ、更に問題を展開させていく。
- ② 歴史環境と地政学上の問題 (1)
- ③ 歴史環境と地政学上の問題 (2)
- ④ 歴史環境と地政学上の問題 (3)
- ⑤ 歴史環境と地政学上の問題 (4)
- ⑥ 歴史環境と地政学上の問題 (5)
- ⑦ 身体と技術の問題
- ⑧ 美意識と詩的感受性 (1)
- ⑨ 美意識と詩的感受性 (2)
- ⑩ 残された諸問題 (1)
- ⑪ 残された諸問題 (1)
- ⑫ 日本文化をめぐる通念の検証 (1)
- ⑬ 日本文化をめぐる通念の検証 (2)
- ⑭ まとめ (1)
- ⑮ まとめ (2)

**授業方法：**

講義は基本的に、ドイツ語でいう vorlesen (この意味は、最初の講義時に説明する) の形をとるが、一方通行にならないように、時に履修者に対して質問を投げかけることもある。また、年間を通して資料を度々配布する。それらの資料は、講義の理解に役立つのみならず、履修者が日本文化について自分自身で考える手助けともなるであろう。

**達成目標：**

他文化との比較を通して日本文化について理解を深める。日本文化に関する通念も考え直す。

**評価方法：**

- (a) 授業への取り組み、(b) 学期末試験、(c) レポートを同等の比重で重視する。
- (a) における真摯な態度を前提とした上で、(b) と (c) おいて、
- 講義の理解度が特に優れ、課題についてよく考えられていると認められた場合…………… S
- 講義の理解度に問題がないと認められた場合…………… A
- 理解度にやや不十分さはあっても、少なくとも要点は理解できていると認められた場合…… B
- かなりの不十分さはあるにせよ、理解できている問題もいくつかはあると認められた場合… C
- Cに達していない場合…………… D

**教科書：**

特になし。

**参考文献：**

参考文献は授業中に適宜紹介する。その中の一冊を、レポートの課題図書とすることもある。

**実験・実習・教材費：**

不要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00301	比較日本文化論特殊講義 I A (経験と言葉)	2・3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考:
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
国語をめぐる問題、詩的言語、日常言語、経験	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ:

日本の文化と思想をめぐる諸問題について、特に経験と言葉という視点から、比較文化論的ないし比較思想的考察を行なう。講義は、隔年で継続発展している。

#### 授業の概要:

「経験と言葉」という事柄に拘わる大事件が、日本の古代史に起こったが、それはどのような出来事であったか。そもそも「経験と言葉」という問題は、人間存在にとって如何なる意味をもつか。日本の文化や思想を考える際に、なにゆえこの問題を考える必要があるのか。これらについて、一昨年の講義を更に発展させた形で、考究する。講義の内容は、前期Aと後期Bは連続し、Aの内容を受けてBの講義に進むので、通年でA B両方を受講することをすすめる。また、特殊講義は、講義担当者のその時点での研究成果を最も反映するものなので、下記授業計画に一部変更が生じる場合もある。

#### 授業の計画:

- ①古代日本史上の大事件としての国語の問題 (1)
- ②古代日本史上の大事件としての国語の問題 (2)
- ③言葉と人間の経験という問題 (1)
- ④言葉と人間の経験という問題 (2)
- ⑤詩的言語論 (1)
- ⑥詩的言語論 (2)
- ⑦詩的言語論 (3)
- ⑧詩的言語論 (4)
- ⑨本居宣長の言語論における経験と言葉の問題 (1)
- ⑩本居宣長の言語論における経験と言葉の問題 (2)
- ⑪本居宣長の言語論における経験と言葉の問題 (3)
- ⑫本居宣長の言語論における経験と言葉の問題 (4)
- ⑬本居宣長の言語論における経験と言葉の問題 (5)
- ⑭本居宣長の言語論における経験と言葉の問題 (6)
- ⑮前期まとめ

#### 授業方法:

必要に応じて、参考資料をコピーで配布する。それぞれの思想の言葉に実際に触れることを通して、講義の理解を深めるとともに、その思想の言葉を手掛かりとして、受講者が自分自身で考える姿勢を身につけてほしい。

#### 達成目標:

日本人が経験し考えて来た問題がどういう問題であるのかを知り、それが受講者自身にとって、また現代にとってどういう意味をもつ問題であるか理解する。

#### 評価方法:

- (a) 授業への取り組み、(b) 学期末試験、(c) レポートを同等の比重で重視する。
- (a) における真摯な態度を前提とした上で、(b) と (c) おいて、
- 講義の理解度が特に優れ、課題についてよく考えられていると認められた場合…………… S
- 講義の理解度に問題がないと認められた場合…………… A
- 理解度にやや不十分さはあっても、少なくとも要点は理解できていると認められた場合……… B
- かなりの不十分さはあるにせよ、理解できている問題もいくつかはあると認められた場合… C
- Cに達していない場合…………… D

#### 教科書:

特になし。

#### 参考文献:

参考文献は授業中に適宜紹介する。その中の一冊を、レポートの課題図書とすることもある。

#### 実験・実習・教材費:

不要。



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00401	比較日本文化論特殊講義 I B (経験と言葉)	2・3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考:
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生、経験、詩、神話、宗教、歴史	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ:**

日本の文化と思想をめぐる諸問題について、特に経験と言葉という視点から、比較文化論的ないし比較思想的考察を行なう。講義は、隔年で継続発展している。

**授業の概要:**

前期Aの講義における宣長の言語論は、宣長の歴史観や宗教観とつながっている。現代における言語論と宗教論を概観した上で、そのことを明らかにし、宣長の言語論、宗教観、歴史観は、現代の思想的状況の中でどのような意味をもちうるか考える。  
講義の内容は、前期Aと後期Bは連続し、Aの内容を受けてBの講義に進むので、通年でA B両方を受講することをすすめる。また、特殊講義は、講義担当者のその時点での研究成果を最も反映するものなので、下記授業計画に一部変更が生じる場合もある。

**授業の計画:**

- ①現代の言語論概観 (1)
- ②現代の言語論概観 (2)]
- ③宗教と言葉 (1)
- ④宗教と言葉 (2)
- ⑤宗教と言葉 (3)
- ⑥宗教というものをいかに考えるか (1)
- ⑦宗教というものをいかに考えるか (2)
- ⑧宗教というものをいかに考えるか (3)
- ⑨宗教というものをいかに考えるか (4)
- ⑩宣長の言語論と宗教観 (1)
- ⑪宣長の言語論と宗教観 (2)
- ⑫言葉、歴史、宗教
- ⑬思想の普遍主義と日本的宗教性及び日本文化 (1)
- ⑭思想の普遍主義と日本的宗教性及び日本文化 (2)
- ⑮まとめ

**授業方法:**

必要に応じて、参考資料をコピーで配布する。それぞれの思想の言葉に実際に触れることを通して、講義の理解を深めるとともに、その思想の言葉を手掛かりとして、受講者が自分自身で考える姿勢を身につけてほしい。

**達成目標:**

日本の思想や日本人が考えて来た問題がどういう問題であるのかを知り、それが受講者自身にとって、また現代にとってどういう意味をもつ問題であるか理解する。

**評価方法:**

- (a) 授業への取り組み、(b) 学期末試験、(c) レポートを同等の比重で重視する。
- (a) における真摯な態度を前提とした上で、(b) と (c) おいて、  
 講義の理解度が特に優れ、課題についてよく考えられていると認められた場合…………… S  
 講義の理解度に問題がないと認められた場合…………… A  
 理解度にやや不十分さはあっても、少なくとも要点は理解できていると認められた場合…… B  
 かなりの不十分さはあるにせよ、理解できている問題もいくつかはあると認められた場合… C  
 Cに達していない場合…………… D

**教科書:**

特になし。

**参考文献:**

参考文献は授業中に適宜紹介する。その中の一冊を、レポートの課題図書とすることもある。

**実験・実習・教材費:**

不要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00701	比較日本文化論プロゼミナール	2・3・4	2	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
上質の日本文化論、熟読、自分で考える姿勢、興味から研究への発展	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

いくつかのすぐれた日本文化論、日本思想論に触れることを通して、履修者が日本の文化や思想をめぐるさまざまな問題について、通念に捕われず、自分自身で考える姿勢を身につける。また、日本の文化や思想に関する履修者の興味を、研究にまで発展させる仕方を学ぶ。

**授業の概要：**

比較的短い、上質な日本文化論のテキストのコピーを最初の時間に配布し、学年度初めの5時間程度は、これの味読に当てる。その後、文章を熟読し熟考する姿勢を身につけるという目的と、研究に必要な論理的思考力を養うというそれぞれの目的に適ったテキストを二つ（仮に「テキストa」、「テキストb」としておく）決め、一週間おきに交替で読み進めて行く。この方法によって、履修者の多岐にわたる関心にも応じることができる。  
履修者は、予告された範囲を必ず読んでから、授業に臨む。担当教員による授業中の懇切丁寧な解説を手助けとして、受講者は更に考え、理解をできるだけ深める。その上で、参加者どうし自由な議論を行なう。また、年度の後半に、広く日本の文化や思想に関わる問題について、履修者による研究発表を行なって戴き、それをめぐって議論する。

**授業の計画：**

- 前期
- ① 導入講義。当初4、5回分程度のテキストのコピー配布。その後読むテキストについて、担当教員の考えを説明し、受講者の関心領域と意見もきく。
  - ② 日本文化論、思想論のテキストの熟読、解説、討議 (1)
  - ③ 日本文化論、思想論のテキストの熟読、解説、討議 (2)
  - ④ 日本文化論、思想論のテキストの熟読、解説、討議 (3)
  - ⑤ 日本文化論、思想論のテキストの熟読、解説、討議 (4)
  - ⑥ 日本文化論、思想論のテキストの熟読、解説、討議 (5)
- 新たなテキストについて解説
- ⑥ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (1)
  - ⑦ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (1)
  - ⑧ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (2)
  - ⑨ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (2)
  - ⑩ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (3)
  - ⑪ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (3)
  - ⑫ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (4)
  - ⑬ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (4)
  - ⑭ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (5)
  - ⑮ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (5)
- 後期に行なう 各自の研究発表について、研究テーマの発表
- 後期
- ① 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (6)
  - ② 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (6)
  - ③ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (7)
  - ④ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (7)
  - ⑤ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (8)
  - ⑥ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (8)
  - ⑦ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (9)
  - ⑧ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (9)
  - ⑨ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストaの読解、解説、討議 (10)
  - ⑩ 歴史、伝統、文化を主題とするテキストbの読解、解説、討議 (10)
  - ⑪ 履修者による研究発表
  - ⑫ 履修者による研究発表
  - ⑬ 履修者による研究発表
  - ⑭ 履修者による研究発表
  - ⑮ 履修者による研究発表、総括的討議

**授業方法：**

履修者に、その時間に読むテキストの内容をまとめさせた上で、主要な問題は何か考えさせ、全員で討議する。担当教員は、それに対して質問を投げかけ、懇切丁寧に説明することにより、履修者の読解力を高めていく。諸分野を専攻する履修者を考慮し、時々を使用するテキストを離れて、日本や世界の様々な事象について、文化論的、思想論的な観点から議論する。

**達成目標：**

上質な日本文化論、あるいは含蓄に富んだ思想について、読解力を深めること。

**評価方法：**

出席、発表、議論への参加、研究発表をまとめたレポート提出、これらを総合的に判断して、評価を行なう。これら諸点について、  
卓抜であると認められた場合……………S  
優れていると認められた場合……………A  
やや欠ける部分があっても、良好と認められるところもある場合…B  
欠ける点があっても、ある程度努力した姿勢は認められた場合…C  
Cに達しない場合……………D

**教科書：**

前期初めに当座のテキストはコピーで配布。その後のテキストについては、前期の初めの授業の際に話し合い、通知。

**参考文献：**

授業中に適宜紹介する。

**実験・実習・教材費：**

不要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D00801	比較日本文化論演習	3・4	4	吉田喜久子

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本思想、比較思想的方法、思想の読解	分析・総合の思考力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

主に日本の思想を（必要に応じて外国語で書かれた思想も）原書で読むことを通して、日本文化を生み出して来た日本人のものの考え方や思想の特質を、比較思想的手法も駆使しつつ、熟考する。  
履修者自身が、自分の関心を研究にまで仕上げる手助けをする。

**授業の概要：**

上質な日本思想論をテキストとし、熟読含味する作業を行なう。単に知識として知るだけでなく、担当教員の詳しい説明を手掛かりにして、履修者が自分自身で考える力を養う。履修者による研究発表と、それについての討議と指導。

**授業の計画：**

前期

- ①日本思想論のテキストの解説、卒業論文に関する指導
  - ②日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（1）
  - ③日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（2）
  - ④日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（3）
  - ⑤日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（4）
  - ⑥日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（5）
  - ⑦日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（6）
  - ⑧修了生による研究発表
  - ⑨日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（7）
  - ⑩日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（8）
  - ⑪日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（9）
  - ⑫日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（10）
  - ⑬日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（11）
  - ⑭日本思想論のテキストの読解、詳しい解説、討議（12）
  - ⑮修了生による研究発表
- 3年生に対する研究指導

後期

- ①日本思想論のテキストの読解、解説、討議（13）
- ②日本思想論のテキストの読解、解説、討議（14）
- ③日本思想論のテキストの読解、解説、討議（15）
- ④日本思想論のテキストの読解、解説、討議（16）
- ⑤日本思想論のテキストの読解、解説、討議（17）
- ⑥日本思想論のテキストの読解、解説、討議（18）
- ⑦日本思想論のテキストの読解、解説、討議（19）
- ⑧修了生による研究の最終発表
- ⑨日本思想論のテキストの読解、解説、討議（20）
- ⑩日本思想論のテキストの読解、解説、討議（21）
- ⑪日本思想論のテキストの読解、解説、討議（22）
- ⑫日本思想論のテキストの読解、解説、討議（23）
- ⑬履修者による研究発表
- ⑭履修者による研究発表
- ⑮日本思想論のテキストの読解、解説、討議（24）とまとめ

**授業方法：**

予告された箇所のテキストについて、前以て不明の箇所を調べ熟読した上で、授業に出席することを、履修者に義務づける。担当教員からの履修者に対する問いと、履修者からの応答の後、担当教員が詳しい解説を行なう。また、履修者に対する研究指導も、随時行なう。

**達成目標：**

熟読含味理解という作業をおろそかにしないために、進度は遅々としているが、深く考えられた思想が表現された文章をできるかぎり理解するように努める。日本の文化や思想、歴史等に対する履修者の関心を、研究といえる水準にまで高める能力を養う。

**評価方法：**

下準備した上での出席、発表。討議への積極的な参加。これらを総合的に評価する。

- これらの諸点のいずれかにおいて、
- 特に卓抜であると認められた場合…………… S
  - 優れていると認められた場合…………… A
  - やや欠けるところはあるが、ある程度の努力はしたと認められた場合… B
  - やや欠けるところもあり、努力する姿勢がもっと必要な場合…………… C
  - Cに達しない場合…………… D

**教科書：**

予めこちらで把握できる履修者に関しては、年度初めまでに事前に通知する。新たな参加者に対しては、初回に知らせる。

**参考文献：**

授業時に適宜紹介する。

**実習・実験・教材費：**

不要。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01101	日本の言語と文学講義A	1・2・3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
万葉集、和歌	コミュニケーション力、美的感受性

**授業のテーマ：**

日本の文学伝統の形成過程を知ることが目的とする。

**授業の概要：**

上代から近代にいたるまでの古典作品について、和歌を中心として講義する。具体的には、上代の『万葉集』を中心として講義する。

**授業の計画：**

- 1 はじめに 授業の進め方・参考文献などの説明
- 2 『万葉集』 についての概説 1
- 3 『万葉集』 についての概説 2
- 3 『万葉集』 についての概説 3
- 4 『万葉集』 第一期の歌人と作品 1
- 5 『万葉集』 第一期の歌人と作品 2
- 6 『万葉集』 第一期の歌人と作品 3
- 7 『万葉集』 第一期の歌人と作品 4
- 8 『万葉集』 第二期の歌人と作品 1
- 9 『万葉集』 第二期の歌人と作品 2
- 10 『万葉集』 第二期の歌人と作品 3
- 11 『万葉集』 第二期の歌人と作品 4
- 12 『万葉集』 第三期の歌人と作品 1
- 13 『万葉集』 第三期の歌人と作品 2
- 14 『万葉集』 についてのまとめ 1
- 15 『万葉集』 についてのまとめ 2

※ 授業計画は、受講生の興味等により変更を行う場合がある。

**授業方法：**

講義形式を基本とするが、適宜対話形式を取り入れる。教科書の他プリント資料を配布する。

**達成目標：**

『万葉集』 および古典和歌についての知識を習得する。

**評価方法：**

テスト（50%）＋授業中の課題（30%）＋受講姿勢（20%）により総合的に評価する。レポートなど課題の提出遅延は、減点とする。

**教科書：**

小島憲之 他著『補訂版 万葉集 本文篇』塙書房（税込 2,205円）  
『新総合図説国語』東京書籍（税込 880円）

**参考文献：**

森淳司 編『訳文 万葉集』笠間書院（税込 1,890円）  
その他は、授業時に適宜紹介する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01201	日本の言語と文学講義B	1・2・3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
万葉集、和歌	コミュニケーション力、美的感受性

**授業のテーマ：**

日本の文学伝統の形成過程を知る。

**授業の概要：**

上代から近代にいたるまでの古典作品について、和歌を中心として講義する。

**授業の計画：**

※ 前期からの継続受講を基本とする。

- 1 概説
- 2 『万葉集』 第四期の歌人と作品 1
- 3 『万葉集』 第四期の歌人と作品 2
- 4 『万葉集』 第四期の歌人と作品 3
- 5 『万葉集』 のまとめ
- 6 和歌の修辞
- 7 『古今和歌集』
- 8 『新古今和歌集』
- 9 『伊勢物語』
- 10 『土佐日記』
- 11 『平家物語』
- 12 『徒然草』
- 13 『奥の細道』
- 14 まとめ 1
- 15 まとめ 2

※ 授業計画は、受講生の興味等により変更を行う場合がある。

**授業方法：**

講義形式を基本とするが、適宜対話形式、発表形式を取り入れる。教科書の他プリント資料を配布する。

**達成目標：**

『万葉集』 および授業で取り上げた古典文学作品についての基礎的な知識を習得する。

**評価方法：**

授業内の課題作成 (30%) + 年度末のレポート (30%) + 受講姿勢など (40%) により総合的に評価する。

レポート、課題の提出遅延は減点とする。

**教科書：**

小島憲之 他著『補訂版 萬葉集 本文篇』塙書房 (税込 2,205円)

『新総合図説国語』東京書籍 (税込 880円)

**参考文献：**

森淳司 編『訳文 万葉集』笠間書院 (税込 1,890円)

その他は授業時に適宜紹介する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01301	日本の言語と文学特殊講義 I A (上代文学と日本語の形成)	2・3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考:
前期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語の歴史、日本語の文法	コミュニケーション力

**授業のテーマ:**

漢字使用による文学の形成の意義について考える。

**授業の概要:**

我が国の七、八世紀、いわゆる上代は、人々が口伝による言語生活から脱却し、文字によって言葉を定着させる習慣を持ち始めた時代である。平仮名や片仮名のいまだ成立していないこの時期、中国からもたらされた漢字によってのみ日本語の文をつづり、文学作品をうみだすということは、どのような営みであるのか、そのさまざまなあり方を考える。

**授業の計画:**

- 1 概説 1
- 2 概説 2
- 3 言語学的な準備
- 4 古代の日本語 1
- 5 古代の日本語 2
- 6 古代・中世の文法 1
- 7 古代・中世の文法 2
- 8 古代・中世の文法 3
- 9 中世の話し言葉 1
- 10 中世の話し言葉 2
- 11 中世・近世の話し言葉 1
- 12 中世・近世の話し言葉 2
- 13 近代の話し言葉
- 14 まとめ 1
- 15 まとめ 2

※ 授業計画は、受講生の理解・興味等により変更を行う場合がある。

**授業方法:**

講義形式を基本とするが、適宜対話形式、発表形式を取り入れる。

**達成目標:**

日本語の歴史についての基礎的な知識を習得する。

**評価方法:**

定期試験 (60%) + 受講姿勢 (40%) などにより総合的に評価する。

**教科書:**

野村 剛史『話し言葉の日本史』(歴史文化ライブラリー 311) 吉川弘文館 (1,700円+税)

**参考文献:**

授業時に適宜紹介する。

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01401	日本の言語と文学特殊講義 I B (上代文学と日本語の形成)	2・3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語の歴史、日本語の文法	コミュニケーション力

**授業のテーマ：**

漢字使用による文学の形成の意義について考える。

**授業の概要：**

我が国の七、八世紀、いわゆる上代は、人々が口伝による言語生活から脱却し、文字によって言葉を定着させる習慣を持ち始めた時代である。平仮名や片仮名のいまだ成立していないこの時期、中国からもたらされた漢字によってのみ日本語の文をつづり、文学作品をうみだすということは、どのような営みであるのか、そのさまざまなあり方を『萬葉集』などの文献に基づいて考察する。

**授業の計画：**

※ 前期からの継続受講を基本とする。

- 1 概説
- 2 言語とは？ 文字・発音・意味
- 3 日本語の系統 1
- 4 日本語の系統 2
- 5 上代の漢字用法 1
- 6 上代の漢字用法 2
- 7 上代の子音
- 8 上代特殊仮名遣
- 9 音節結合法則
- 10 活用 1
- 11 活用 2
- 12 活用 3
- 13 係り結び
- 14, 15 1, 2

※ 授業計画は、受講生の理解・興味等により変更を行う場合がある。

**授業方法：**

講義形式を基本とするが、適宜対話形式・発表形式を取り入れる。

**達成目標：**

日本語の歴史および日本語の文法についての基礎的な知識を習得する。

**評価方法：**

定期試験（60%）＋受講姿勢（40%）などにより総合的に評価する。

**教科書：**

渡辺 実『日本語史要説』（岩波テキストブックス）岩波書店（2,000円＋税）

**参考文献：**

授業時に適宜紹介する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01701	日本の言語と文学プロゼミナール	2・3・4	2	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本文学、問題の発見、問題の解決、批判的思考、プレゼンテーション	コミュニケーション力、美的感受性

**授業のテーマ：**

日本の文学作品の読解を通して、日本の言語と文学についての基本的な諸問題に広く触れることを目的とする。

**授業の概要：**

前期は、森鷗外の『山椒大夫』および夏目漱石の『こころ』およびを読むことを中心として、「読書」ではない研究としての読解の方法を会得することをめざす。後期は、前期の読解うえに立って、各個人が選んだ作品の読解について検討する。

**授業の計画：**

前期

- 1 はじめに 授業の進め方など
- 2 レポートの書き方
- 3～10 清水克彦『山椒大夫読例』の読解
- 11～15 石原千秋『『こころ』大人になれなかった先生』の読解

後期

各人の選んだテーマに基づく発表および質疑応答  
発表をもとにレポートを作成

※ どの作品を読むかについては、受講生との話し合いで変更する場合がある。

**授業方法：**

前期：最初の1～2回は講義形式で、以後は演習形式（発表と質疑応答）。  
後期：演習形式（発表と質疑応答）

**達成目標：**

文学作品を正確に読むことができる。そのうえで、その作品に対する研究論文を批判的に読み、問題点を見つける。そして、調査・考察により問題を解決し、その結果を口述・記述する力を身につける。

**評価方法：**

発表（40%）＋聴講姿勢（発表に対する質疑応答）（30%）＋レポート（30%）

**教科書：**

石原千秋『『こころ』大人になれなかった先生』みすず書房 1300円＋税  
清水克彦『山椒大夫読例』世界思想社 2300＋税

**参考文献：**

石原千秋『大学生の論文執筆法』ちくま新書 740円＋税  
その他は、授業中に適宜指示する。

**実験・実習・教材費：**



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D01801	日本の言語と文学演習	3・4	4	花井しおり

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本文学、問題の発見、問題の解決、批判的思考、プレゼンテーション	コミュニケーション力、美的感受性、問題解決力

**授業のテーマ：**

日本の文学作品の読解を通して、日本の言語と文学についての基本的な諸問題に広く触れることを目的とする。

**授業の概要：**

はじめに、講義形式で発表方法・資料の作成の仕方を学ぶ。以後は、各自の選んだテーマについて発表と質疑応答を行う。あわせて、卒業回生の卒業論文のテーマについての発表と質疑応答を行う。前期末・後期末には、発表内容についてのレポートを提出する。

**授業の計画：**

(前期)

- 1 はじめに
- 2 論文の書き方
- 3～14 発表と質疑応答
- 15 まとめ

(後期)

- 1 はじめに
- 2～14 発表と質疑応答
- 15 まとめ

**授業方法：**

最初の1～2回は講義形式で以後は演習形式。

**達成目標：**

文学作品を正確に読むことができる。  
そのうえで、その作品に対する研究論文を批判的に読み、問題点を見つける。そして、調査・考察により問題を解決し、その結果を口述・記述する力を身につける。

**評価方法：**

発表 (30%) + 質疑応答 (30%) + レポート (40%)

**教科書：**

石原千秋『大学生の論文執筆法』ちくま新書 740円+税

**参考文献：**

授業中に適宜指示する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02101	日本教育史講義A	1・2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人づくり、近世、私塾、寺子屋	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、効果的な社会参加

**授業のテーマ：**

江戸時代、我が国の教育レベルは質量共に世界一であった。それは、識字率及び明治初期に本格化した欧米諸制度採用の祭の国民的知的レベルの高さ等にうかがうことができる。つまり、明治日本の驚異的発展の基礎は、すでに江戸時代の教育の内に準備されていたのである。

そこで、本講では特に江戸時代の寺子屋、私塾、藩校などで教育に携わった人物、また、そこで育てられた人物を取り上げ、その具体的な「人づくり」を考察する。

**授業の概要：**

一時間に一人の人物や私塾・寺子屋などを取り上げ、どのような人づくりを行っていたのかを理解させ、人づくりの意味について考えさせる。

**授業の計画：**

- 1 大蔵永常
- 2 会津教育
- 3 山川捨松
- 4 安東省庵
- 5 西郷隆盛
- 6 薩摩藩の教育
- 7 崎門学
- 8 山崎闇斎
- 9 浅見綱斎
- 10 若林強斎
- 11 横井小楠
- 12 肥後藩の教育
- 13 長州藩の教育
- 14 会津藩の教育
- 15 吉田松陰

**授業方法：**

講義形式

**達成目標：**

人が育つというのはどういうことか。また、人を育てるといえるのは何か。これを、近世の人物・教育・寺子屋などを参考に自分で考えられるようにする。

**評価方法：**

授業の取り組み 30%、テスト70%などによって、評価する。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

講義の中で折々に紹介する。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02201	日本教育史講義B	1・2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人づくり、近世、私塾、寺子屋	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業の概要：**

一時間に一人の人物や私塾・寺子屋などを取り上げ、どのような人づくりを行っていたのかを理解させ、人づくりの意味について考えさせる。

**授業の概要：**

江戸時代、我が国の教育レベルは質量共に世界一であった。それは、識字率及び明治初期に本格化した欧米諸制度採用の際の国民的知的レベルの高さ等にうかがうことができる。つまり、明治日本の驚異的発展の基礎は、すでに江戸時代の教育の内に準備されていたのである。

そこで、本講では特に江戸時代の寺子屋、私塾、藩校などで教育に携わった人物、また、そこで育てられた人物を取り上げ、その具体的な「人づくり」を考察する。

**授業の計画：**

- 1 林桜園
- 2 神子高たか
- 3 橋本左内
- 4 契沖
- 5 本居宣長
- 6 前田利長
- 7 加賀藩の教育
- 8 小林虎三郎
- 9 坂本竜馬
- 10 土佐の教育的風土
- 11 横井小楠
- 12 小林虎三郎
- 13 郡上藩の教育—凌霜隊を中心として—①
- 14 郡上藩の教育—凌霜隊を中心として—②
- 15 近世の教育

**授業方法：**

講義形式

**達成目標：**

人が育つというのはどういうことか。また、人を育てるといえるのは何か。これを、近世の人物・教育・寺子屋などを参考に自分で考えられるようにする。

**評価方法：**

授業の取り組み 30%、テスト 70%などによって、評価する。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

講義の中で折々に紹介する。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02301	日本教育史特殊講義 I A (近世・近代社会と学校教育)	2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近世、教育（人づくり）、社会	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意志決定力）

#### 授業のテーマ：

18世紀末からのウエスタン・インパクトと国内支配体制の混乱に対して、我国の武士階級が行った対応は、人材育成という抜本的改革であった。そして、そこで養成された人材は、結果的に「明治日本」発展の中心的役割を果たすこととなった。

そこで、本講義では、近世、とりわけ、幕末という時代を理解させるため、幕末期の天皇と幕府の関係を中心として、その社会を考える。そして、とりわけ、幕末期において、特異な人づくりを行ったと思われる、長州藩及び薩摩藩における学校教育（主に藩校教育）などを考える。

#### 授業の概要：

18世紀終わりから、19世紀初めに在位された光格天皇は、ある意味では、我国の幕末という時代を準備された天皇であった。そこで、まず、天皇と幕府との関係を中心として、幕末という時代を理解させる。そして、その中で諸問題に対し、長州、薩摩藩がどのような人づくりを行ったかを理解させる。

#### 授業の概要と計画：

1. 幕末期の政治と教育 —政治動向①光格天皇の誕生①—
2. 幕末期の政治と教育 —政治動向①光格天皇の誕生②—
3. 幕末期の政治と教育 —政治動向②天明の大飢饉と天皇①—
4. 幕末期の政治と教育 —政治動向②天明の大飢饉と天皇②—
5. 幕末期の政治と教育 —政治動向③光格天皇の君主意識①—
6. 幕末期の政治と教育 —政治動向③光格天皇の君主意識②—
7. 幕末期の政治と教育 —政治動向④対外的危機と朝廷①—
8. 幕末期の政治と教育 —政治動向④対外的危機と朝廷②—
9. 幕末期の政治と教育 —政治動向⑤大政委任論の成立①—
10. 幕末期の政治と教育 —政治動向⑤大政委任論の成立②—
11. 幕末期の政治と教育 —政治動向⑥天皇号の再興①—
12. 幕末期の政治と教育 —政治動向⑥天皇号の再興②—
13. 幕末期の教育現状—長州藩を中心として—
14. 幕末期の教育現状—薩摩藩を中心として—
15. まとめ

#### 授業方法：

講義形式を中心として、適時、史料などを講読する。

#### 達成目標：

幕末という時代を代表する史料を読み取り、また、その時代を理解できる能力を習得する。

#### 評価方法：

出席（20%）、試験（80%）などによって、評価する。

#### 教科書：

なし。史料は適時配布。

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02401	日本教育史特殊講義 I B (近世・近代社会と学校教育)	2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近世、教育（人づくり）、社会	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意志決定力）

#### 授業のテーマ：

18世紀末からのウエスタン・インパクトと国内支配体制の混乱に対して、我国の武士階級が行った対応は、人材育成という抜本的改革であった。そして、そこで養成された人材は、結果的に「明治日本」発展の中心的役割を果たすこととなった。

そこで、本講義では、天保期以降の政治・文化的背景を論じつつ、武士教育に焦点を絞り、藩校などの教育の実態及びその基底にあった精神的風土、教育観などを論じる。また、明治維新以降の学校教育についても考察する。

#### 授業の概要：

寺子屋教育に関しては、できるだけ史料を中心として、具体的な教育実践を考察する。また、我国の近世を代表する私塾である、松下村塾及び咸宜園について、その成立の背景などにもふれる。そして、それが近代教育にどのような影響をもったのか否かを考えさせる。

#### 授業の計画：

1. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育①—
2. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育②—
3. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育③—
4. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育④—
5. 幕末期の教育現状—寺子屋の教育⑤—
6. 幕末期の教育現状—私塾の教育①松下村塾①—
7. 幕末期の教育現状—私塾の教育①松下村塾②—
8. 幕末期の教育現状—私塾の教育①松下村塾③—
9. 幕末期の教育現状—私塾の教育①松下村塾④—
10. 幕末期の教育現状—私塾の教育—咸宜園①—
11. 幕末期の教育現状—私塾の教育—咸宜園②—
12. 幕末期の教育現状—私塾の教育—適塾—
13. 「学制」の制定と近代学校制度の整備①
14. 「学制」の制定と近代学校制度の整備②
15. まとめ

#### 授業方法：

講義形式を中心として、適時、史料などを講読する。

#### 達成目標：

具体的な史料が読み取れ、また、近世、近代の連続性、非連続性などを理解できる能力を習得する。

#### 評価方法：

出席（20%）、試験（80%）などによって、評価する。

#### 教科書：

なし。史料は適時配布。

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02701	日本教育史プロゼミナール	2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本漢文、史料、輪講	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

#### 授業のテーマ：

本ゼミナールは近世史への動機付けを目的とする。そこで、近世日本における何人かの人物、例えば、吉田松陰、徳川光圀、新井白石、前野良沢、坂本龍馬、西郷隆盛などを取り上げ、その人物の残した史料会読などを通して、近世という時代を考察する。

#### 授業の概要：

吉川弘文館の人物叢書から人物を選び、具体的な史料を輪読するとともに、グループ討議を行う。前期は、川口が担当し、日本漢文の読み癖など基本的な事項などを教える。

#### 授業の計画：

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| 1 吉田松陰（『講孟余話』）①  | 16 西郷隆盛①  |
| 2 吉田松陰（『講孟余話』）②  | 17 西郷隆盛②  |
| 3 吉田松陰（『講孟余話』）③  | 18 横井小楠①  |
| 4 吉田松陰（『講孟余話』）④  | 19 横井小楠②  |
| 5 吉田松陰（『講孟余話』）⑤  | 20 佐久間象山① |
| 6 吉田松陰（『講孟余話』）⑥  | 21 佐久間象山② |
| 7 吉田松陰（『講孟余話』）⑦  | 22 橋本左内①  |
| 8 吉田松陰（『講孟余話』）⑧  | 23 橋本左内②  |
| 9 吉田松陰（『講孟余話』）⑨  | 24 勝海舟①   |
| 10 吉田松陰（『講孟余話』）⑩ | 25 勝海舟②   |
| 11 吉田松陰（『講孟余話』）⑪ | 26 会沢正志斎① |
| 12 吉田松陰（『講孟余話』）⑫ | 27 会沢正志斎② |
| 13 吉田松陰（『講孟余話』）⑬ | 28 山田方谷①  |
| 14 吉田松陰（『講孟余話』）⑭ | 29 山田方谷②  |
| 15 吉田松陰（『講孟余話』）⑮ | 30 石田梅岩   |

#### 授業方法：

史料を読み進めながら、読み方、意味などを解説する。後期は、学生の担当として、発表を中心とした形で進める。

#### 達成目標：

学生が活字の史料を読み、意味が取れるまで理解できるようにする。

#### 評価方法：

授業の取り組み 100%によって評価する。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

折々に紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D02801	日本教育史演習	3・4	4	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
古文書、日本漢文、くずし字	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

歴史学研究の基本である日本漢文、古文書解読の基礎的知識を修得し、初歩的な古文書などを読むようにする。

**授業の概要：**

基礎的な史料、古文書を輪番で解読し、日本漢文、古文書解読の基礎的な知識を修得する。また、内容について解説し、グループ討議などを行う。

**授業の計画：**

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1 吉田松陰     | 16 『日本外史』 ①     |
| 2 西郷隆盛     | 17 『日本外史』 ②     |
| 3 坂本龍馬     | 18 『日本外史』 ③     |
| 4 橋本左内     | 19 『日本外史』 ④     |
| 5 石田梅岩     | 20 『日本外史』 ⑤     |
| 6 上杉鷹山     | 21 古文書 仮名読みの基礎① |
| 7 会沢正志齋    | 22 古文書 仮名読みの基礎② |
| 8 『旧幕府』 ①  | 23 古文書 仮名読みの基礎③ |
| 9 『旧幕府』 ②  | 24 古文書 候文の基礎①   |
| 10 『旧幕府』 ③ | 25 古文書 候文の基礎②   |
| 11 『旧幕府』 ④ | 26 古文書 候文の基礎③   |
| 12 『旧幕府』 ⑤ | 27 古文書 基礎史料解読①  |
| 13 『旧幕府』 ⑥ | 28 古文書 基礎史料解読②  |
| 14 『旧幕府』 ⑦ | 29 古文書 基礎史料解読③  |
| 15 『旧幕府』 ⑧ | 30 古文書 基礎史料解読④  |

**授業方法：**

最初は講義形式を中心とする。学生の進捗状況に応じて、輪読形式とする。

**達成目標：**

くずし字辞典を使い、史料が読め、解釈できることを目標とする。

**評価方法：**

授業の取り組み 100%などで評価する。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

折々に紹介する。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D04101	中国社会文化論講義A	1・2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

**授業のテーマ：**

グローバルな視野の育成をテーマとして、中国を取り上げる。その際、近代国家の枠組みにとらわれず、東アジアの伝統的な国際秩序のあり方の独自性に注目し、かつ漢族中心の立場に陥らないことに留意して、前近代中国における文明の流れを見直してみる。

**授業の概要：**

7世紀以前、前近代中国における文明の流れを見直す。

**授業の計画：**

以下の予定だが、進度・内容は変更することがある。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 伝説と歴史の間 (1)  | 2. 伝説と歴史の間 (2)  |
| 3. 伝説と歴史の間 (3)  | 4. 文明のかたち (1)   |
| 5. 文明のかたち (2)   | 6. 偉大な皇帝たち (1)  |
| 7. 偉大な皇帝たち (2)  | 8. 偉大な皇帝たち (3)  |
| 9. 古代から中世へ (1)  | 10. 古代から中世へ (2) |
| 11. 古代から中世へ (3) | 12. 索虜と島夷と (1)  |
| 13. 索虜と島夷と (2)  | 14. 索虜と島夷と (3)  |
| 15. まとめ         |                 |

**授業方法：**

講義形式。教科書を読みながら進め、これに加えて資料を適宜配布し、教科書の内容を補う。ただし授業期間内に教科書を終了しません。

**達成目標：**

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

**評価方法：**

試験 (80%) と授業への取り組み (20%) により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる…S  
 理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる……………A  
 理論を使いながら出来事の分析ができる……………B  
 理論や用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

寺田隆信『物語中国の歴史』(中公新書/840円)

**参考文献：**

なし。

**実験・実習・教材費：**

なし。



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D04201	中国社会文化論講義B	1・2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

**授業のテーマ：**

グローバルな視野の育成をテーマとして、中国を取り上げる。その際、近代国家の枠組みにとらわれず、東アジアの伝統的な国際秩序のあり方の独自性に注目し、かつ漢族中心の立場に陥らないことに留意して、前近代中国における文明の流れを見直してみる。

**授業の概要：**

7世紀以前、前近代中国における文明の流れを見直す。

**授業の計画：**

以下の予定だが、進度・内容は変更することがある。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 長安の春夏秋冬 (1)  | 2. 長安の春夏秋冬 (2)  |
| 3. 長安の春夏秋冬 (3)  | 4. 近世とよぶ時代 (1)  |
| 5. 近世とよぶ時代 (2)  | 6. 近世とよぶ時代 (3)  |
| 7. 草原に吹く嵐 (1)   | 8. 草原に吹く嵐 (2)   |
| 9. 草原に吹く嵐 (3)   | 10. 紫禁城の光と影 (1) |
| 11. 紫禁城の光と影 (2) | 12. 紫禁城の光と影 (3) |
| 13. 王朝体制の終焉 (1) | 14. 王朝体制の終焉 (2) |
| 15. まとめ         |                 |

**授業方法：**

講義形式。教科書を読みながら進め、これに加えて資料を適宜配布し、教科書の内容を補う。ただし授業期間内に教科書を終了しません。

**達成目標：**

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

**評価方法：**

試験 (80%) と授業への取り組み (20%) により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる…S  
 理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる……………A  
 理論を使いながら出来事の分析ができる……………B  
 理論や用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

寺田隆信『物語中国の歴史』(中公新書/840円)

**参考文献：**

なし。

**実験・実習・教材費：**

なし。

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
D04301	中国社会文化論特殊講義 I A (中国の前近代)	2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
前期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

**授業のテーマ：**

グローバルな視野の育成をテーマとして、中国を取り上げる。古代・中世・近世・近代・現代と分ける時代区分は、西欧や日本の歴史においては、ほぼ共通した認識を持つことができる。しかし中国史の場合、そのような具合にはいかない。西欧の物差しを中国に使うことはできないからである。この講義では、中国史の時代区分について述べた後、特定の時代を取り上げて、その特色をつかみ、研究状況にも触れる。

**授業の概要：**

後漢から三国時代を取り上げるが、現代社会とのつながりが無いわけではない。

**授業の計画：**

以下の予定だが、進度・内容は変更することがある。

1. 中国史の時代区分
2. 古代から中世へ
3. 後漢という時代
4. 黄巾の乱
5. 軍閥混戦 (1)
6. 軍閥混戦 (2)
7. 三国の鼎立 (1)
8. 三国の鼎立 (2)
9. 三国の鼎立 (3)
10. 三国時代の国際関係
11. 三国の終焉
12. 歴史と小説 (1)
13. 歴史と小説 (2)
14. 三国時代と現代
15. まとめ

**授業方法：**

講義形式。

**達成目標：**

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

**評価方法：**

試験 (80%) と授業への取り組み (20%) により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる… S
- 理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる…………… A
- 理論を使いながら出来事の分析ができる…………… B
- 理論や用語を説明できる…………… C
- Cのレベルに達していない…………… D

**教科書：**

特に定めない。

**参考文献：**

必要に応じて提示。

**実験・実習・教材費：**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D04401	中国社会文化論特殊講義 I B (中国の前近代)	2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考:
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
理解、尊重、読み書き	グローバルな視野

**授業のテーマ:**

グローバルな視野の育成をテーマとして、中国を取り上げる。古代・中世・近世・近代・現代と分ける時代区分は、西欧や日本の歴史においては、ほぼ共通した認識を持つことができる。しかし中国史の場合、そのような具合にはいかない。西欧の物差しを中国に使うことはできないからである。この講義では、中国史の時代区分について述べた後、特定の時代を取り上げて、その特色をつかみ、研究状況にも触れる。

**授業の概要:**

近世社会を取り上げるが、それは現代社会とも深くつながりがあるからである。

**授業の計画:**

以下の予定だが、進度・内容は変更することがある。

1. 中国近世社会の特色
2. モンゴル帝国の成立
3. 元朝の中国支配
4. フビライの治績
5. モンゴル帝国の内部抗争
6. 漢民族士大夫の生き方
7. 元代の庶民文化
8. 東西の文化交流と科学技術の興隆
9. 紅巾の賊と朱元璋
10. 中国史に与えた元朝の影響
11. 明朝の成立
12. 皇帝独裁体制の確立
13. 永楽帝の即位
14. 鄭和の西洋下り
15. まとめ

**授業方法:**

講義形式。

**達成目標:**

グローバルな視野のうち、特に基礎的知識の理解・尊重の能力を習得する。

**評価方法:**

試験(80%)と授業への取り組み(20%)により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自のグローバルな視野を持つことができる…S  
 理論を部分的に活用してグローバルな視野を持つことができる……………A  
 理論を使いながら出来事の分析ができる……………B  
 理論や用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書:**

特に定めない。

**参考文献:**

必要に応じて提示。

**実験・実習・教材費:**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D04701	中国社会文化論プロゼミナール	2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
発見、解明、読み書き	問題解決力

**授業のテーマ：**

問題解決能力の育成をテーマとして中国の社会・文化に対する受講生各人の問題意識を明確にするとともに、漢文資料の読解力を確認する。

**授業の概要：**

わが国の著名な研究者の基本的文献を取り上げ、研究の緻密さとともに中国社会的特色を知り、特殊講義や演習への導入とする。

**授業の計画：**

受講生の関心に応じて教科書を選定する。前年度は漢文講読テキスト『三国志』を選読し、以下の通りであった。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. はじめに        | 2. 『三国志』の解題    |
| 3. 黄巾の乱 (1)    | 4. 黄巾の乱 (2)    |
| 5. 董卓の専横 (1)   | 6. 董卓の専横 (2)   |
| 7. 曹操の挙兵 (1)   | 8. 曹操の挙兵 (2)   |
| 9. 孫堅の活躍 (1)   | 10. 孫堅の活躍 (2)  |
| 11. 劉備と関・張 (1) | 12. 劉備と関・張 (2) |
| 13. 袁紹の覇権 (1)  | 14. 袁紹の覇権 (2)  |
| 15. まとめ (1)    |                |
| 16. 官渡の戦い (1)  | 17. 官渡の戦い (2)  |
| 18. 江東を託す (1)  | 19. 江東を託す (2)  |
| 20. 三顧の礼 (1)   | 21. 三顧の礼 (2)   |
| 22. 長阪の忠臣 (1)  | 23. 長阪の忠臣 (2)  |
| 24. 赤壁の戦い (1)  | 25. 赤壁の戦い (2)  |
| 26. 劉備の入蜀 (1)  | 27. 劉備の入蜀 (2)  |
| 28. 漢魏革命 (1)   | 29. 漢魏革命 (2)   |
| 30. まとめ (2)    |                |

**授業方法：**

演習形式。毎回担当者が報告し、全員で討議する。必要があれば担当者がレジュメを用意する。

**達成目標：**

問題解決能力のうち、特に問題発見の能力を習得する。

**評価方法：**

発表 (50%) と授業への取り組み (50%) により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自の問題解決能力を持つことができる… S  
 理論を部分的に活用して問題解決能力を持つことができる…………… A  
 理論を使いながら問題の原因を解明できる…………… B  
 理論や用語を説明できる…………… C  
 Cのレベルに達していない…………… D

**教科書：**

文献は『宮崎市定全集』等より選ぶ予定。前年度は漢文講読テキスト『三国志』。

**参考文献：**

必要に応じて提示。

**実験・実習・教材費：**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D04801	中国社会文化論演習	3・4	4	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
統合、決定、批判的思考	分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

分析・総合の思考力と判断力の育成をテーマとして、中国を取り上げる。それぞれの時代の社会・文化の特色を考える上で、政治をはじめとする諸制度の内容を把握することは重要である。しかし社会・文化を形づくってきたのは制度ではなく、その中で生きてきた個々人の活動である。そこで、この授業では正史・文集等に収められた列伝などを読み、個々人の生き方からそれらを考えていく。

**授業の概要：**

正史の列伝を中心に講読を進める予定だが、受講生の関心に応じて関係する文献も取り上げる。

**授業の計画：**

受講生の関心に応じて教科書を選定する。前年度は『三国志演義』を題材とし、以下の通りであった。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. はじめに          | 2. 『三国志演義』の概要(1) |
| 3. 『三国志演義』の概要(2) | 4. 『三国志演義』の概要(3) |
| 5. 『三国志演義』の概要(4) | 6. 歴史と小説(1)      |
| 7. 歴史と小説(2)      | 8. 歴史と小説(3)      |
| 9. 歴史と小説(4)      | 10. 歴史から小説へ(1)   |
| 11. 歴史から小説へ(2)   | 12. 歴史から小説へ(3)   |
| 13. 歴史から小説へ(4)   | 14. 歴史から小説へ(5)   |
| 15. まとめ(1)       |                  |
| 16. 羅貫中の謎(1)     | 17. 羅貫中の謎(2)     |
| 18. 人物像の変遷(1)    | 19. 人物像の変遷(2)    |
| 20. 人物像の変遷(3)    | 21. 人物像の変遷(4)    |
| 22. 三国志外伝(1)     | 23. 三国志外伝(2)     |
| 24. 三国志外伝(3)     | 25. 『三国志』の思想(1)  |
| 26. 『三国志』の思想(2)  | 27. 『三国志』の思想(3)  |
| 28. 『三国志』の思想(4)  | 29. 『三国志』の思想(5)  |
| 30. まとめ(2)       |                  |

**授業方法：**

演習形式。毎回担当者が報告し、全員で討議する。必要があれば担当者がレジュメを用意する。

**達成目標：**

分析・総合の思考力と判断力のうち、特に統合の能力を習得する。

**評価方法：**

発表(50%)と授業への取り組み(50%)により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自の統合の能力を持つことができる…S  
 理論を部分的に活用して統合の能力を持つことができる……………A  
 理論を使いながら批判的に思考することができる……………B  
 理論や用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

未定。

**参考文献：**

必要に応じて提示。

**実験・実習・教材費：**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21101	文学の現在講義A	1・2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
異文化理解、芸術鑑賞、マルチメディア	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性

#### 授業のテーマ：

言語をもちいる芸術としての文学は20世紀に大きな変貌をとげた。「小説とは何か」という問題提起に対し、イギリスではジェームス・ジョイスが『ユリシーズ』を、フランスではマルセル・プルーストが『失われし時を求めて』を書くことによってそれまでの写実的な小説概念を根底からくつがえし、一方、詩の世界では言語の自立性を重視し超現実的文学空間を生み出した。20世紀の新しい文学が誕生するきっかけの一つとなった『源氏物語』をもつ日本の文学は今どうなっているのか、様々なジャンルの作品をとおして「文学の今」を考える。

#### 授業の概要：

「文学とは何か」というテーマをジャンルにわけてアプローチする。ジャンルとしては「小説」、「詩」、「演劇」、「映画」、「アニメ」そしてネットを利用した新しいジャンルにもふれてみる。

#### 授業の計画：

- (1) 文学とは何か
- (2) 小説の世界 (1)
- (3) 小説の世界 (2)
- (4) 詩の世界 (1)
- (5) 詩の世界 (2)
- (6) 演劇の世界 (1)
- (7) 演劇の世界 (2)
- (8) 映画の世界 (1)
- (9) 映画の世界 (2)
- (10) アニメの世界 (1)
- (11) アニメの世界 (2)
- (12) 文学と社会 (1)
- (13) 文学と社会 (2)
- (14) IT文化と文学 (1)
- (15) IT文化と文学 (2)

#### 授業方法：

パワーポイントもしくはビデオなどの視聴覚資料を見ながら講義をすすめる。必要に応じてプリントを配布する。

#### 達成目標：

文学について概観できる知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

#### 評価方法：

- 授業への取り組み(20%程度)とレポートの内容(80%)で評価する。
- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
  - A 上記内容についてプレゼンテーションができる
  - B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
  - C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
  - D Cのレベルに達していない

#### 教科書：

特に使用しない。

#### 参考文献：

授業時に指示する。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21201	文学の現在講義B	1・2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
異文化理解、芸術鑑賞、マルチメディア	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

言語をもちいる芸術としての文学は20世紀に大きな変貌をとげた。「小説とは何か」という問題提起に対し、イギリスではジェームス・ジョイスが『ユリシーズ』を、フランスではマルセル・プルーストが『失われし時を求めて』を書くことによってそれまでの写実的な小説概念を根底からくつがえし、一方、詩の世界では言語の自立性を重視し超現実的文学空間を生み出した。20世紀の新しい文学が誕生するきっかけの一つとなった『源氏物語』をもつ日本の文学は今どうなっているのか、様々なジャンルの作品をとおして「文学の今」を考える。

**授業の概要：**

「文学とは何か」というテーマを歴史的な側面からアプローチする。古代ギリシャ・ローマの時代から騎士道物語、フランスの心理小説、写真や映画の誕生によって文学がどのように変化してきたか、そしてIT文化が現在の文学の中にどのように反映されているのかを考える。

**授業の計画：**

- (1) 歴史の中で見る文学 (1) 古代ギリシアの演劇
- (2) 歴史の中で見る文学 (2) 叙事詩
- (3) 歴史の中で見る文学 (3) 騎士道物語
- (4) 歴史の中で見る文学 (4) 騎士道物語
- (5) 歴史の中で見る文学 (5) ロミオとジュリエット (1)
- (6) 歴史の中で見る文学 (6) ロミオとジュリエット (2)
- (7) 歴史の中で見る文学 (7) 小説の誕生
- (8) 歴史の中で見る文学 (8) 近代社会と文学 (1)
- (9) 歴史の中で見る文学 (9) 近代社会と文学 (2)
- (10) 歴史の中で見る文学 (10) 20世紀の新しい小説
- (11) 歴史の中で見る文学 (11) 『オペラ座の怪人』小説から映画へ
- (12) 歴史の中で見る文学 (12) 『オペラ座の怪人』小説から映画へ
- (13) 歴史の中で見る文学 (12) 『オペラ座の怪人』小説から映画へ
- (14) 文学の現在 (1) アニメと文学
- (15) 文学の現在 (2) IT文化の中の文学

**授業方法：**

パワーポイントもしくはビデオなどの視聴覚資料を見ながら講義をすすめる。必要に応じてプリントを配布する。

**達成目標：**

文学について概観できる知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

**評価方法：**

- 授業への取り組み(20%程度)とレポートの内容(80%)で評価する。
- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
  - A 上記内容についてプレゼンテーションができる
  - B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
  - C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
  - D Cのレベルに達していない

**教科書：**

特に使用しない。

**参考文献：**

授業時に指示する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21301	文学の現在特殊講義 I A (フランス文学と近・現代の日本文学)	2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
異文化理解、芸術鑑賞、マルチメディア	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性

#### 授業のテーマ:

フランス文学の中には日本の文学の影響を受けたものが少なからず存在する。19世紀末には浮世絵や仏像がフランスで高く評価され、『源氏物語』に描き出された世界はフランス近代の小説に大きな影響を与えた。一方、明治以降、日本の文学もイギリスやフランスの文学の影響を受け大きく変化した。日仏の文学がお互いにどのように影響してきたのかについて時代とその背景をさぐる。

#### 授業の概要:

フランスと日本の19世紀に社会がどのように変化し、文学の世界にどのような影響を与えてきたのかについていくつかの作品をとおして検証する。

#### 授業の計画:

- (1) 19世紀の社会と文化 (その1)
- (2) 19世紀の社会と文化 (その2)
- (3) 小説について (その1)
- (4) 小説について (その2)
- (5) 新聞小説の世界 デュマ『三銃士』
- (6) 新聞小説の世界 デュマ『三銃士』
- (7) 黒岩涙香『鉄仮面』
- (8) 黒岩涙香『鉄仮面』
- (9) フランス語になった『我輩は猫である』
- (10) フランス語になった『我輩は猫である』
- (11) フランス語になった『我輩は猫である』
- (12) 日本語になった『星の王子様』
- (13) 日本語になった『星の王子様』
- (14) MANGA フランスの日本マンガ
- (15) MANGA フランスの日本マンガ

#### 授業方法:

パワーポイントもしくはビデオを使用してすすめる。必要に応じてプリントを配布する。

#### 達成目標:

文学について概観できる知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

#### 評価方法:

授業への取り組み(20%程度)とレポートの内容(80%)で評価する。

- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
- A 上記内容についてプレゼンテーションができる
- B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
- C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
- D Cのレベルに達していない

#### 教科書:

プリントを配布

#### 参考文献:

授業時に指示する。

#### 実験・実習・教材費:

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21401	文学の現在特殊講義 I B (フランス文学と近・現代の日本文学)	2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
異文化理解、芸術鑑賞、マルチメディア	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性

#### 授業のテーマ:

フランス文学の中には日本の文学の影響を受けたものが少なからず存在する。19世紀末には浮世絵や仏像がフランスで高く評価され、『源氏物語』に描き出された世界はフランス近代の小説に大きな影響を与えた。一方、明治以降、日本の文学もイギリスやフランスの文学の影響を受け大きく変化した。日仏の文学が互いにどのように影響してきたのかについて時代とその背景をさぐる。

#### 授業の概要:

ブルーストの『失われた時を求めて』はフランスを代表する心理小説であるが、この小説はその長さからも平安時代の『源氏物語』と比較されることが多い。両者からそれぞれ代表的な場面を取り出し、比較検証す。

#### 授業の計画:

- (1) ブルーストについて
- (2) フランス小説の伝統 (その1)
- (3) フランス小説の伝統 (その2)
- (4) 『失われた時を求めて』について (その1)
- (5) 『失われた時を求めて』について (その2)
- (6) 紫式部と『源氏物語』
- (7) 日本文学の中での『源氏物語』
- (8) アーサー・ウェイラーの『源氏物語』
- (9) 『源氏物語』のフランス語訳について
- (10) 心理小説としての『源氏物語』
- (11) 『源氏物語』の現代語訳
- (12) 『源氏物語』から生まれた作品
- (13) 日本の和歌とフランスの詩
- (14) 自然と文学
- (15) まとめ

#### 授業方法:

パワーポイントもしくはビデオを使用してすすめる。必要に応じてプリントを配布する。

#### 達成目標:

文学について概観できる知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

#### 評価方法:

授業への取り組み (20%程度) とレポートの内容 (80%) で評価する。

- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
- A 上記内容についてプレゼンテーションができる
- B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
- C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
- D Cのレベルに達していない

#### 教科書:

プリントを配布

#### 参考文献:

授業時に指示する。

#### 実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21701	文学の現在プロゼミナール	2・3・4	2	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
分析、判断力、プレゼンテーション、文学、マルチメディア	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性

#### 授業のテーマ：

文学作品がどのように形成されるのかを古今の作品の歴史から概観する。また、作品を構成する言語表現がジャンルによってどのように異なっているか具体例を見ながら検証する。また、文学研究の基本的な方法を学ぶ。

#### 授業の概要：

取り扱う作品は古典的な小説としてデュマの『三銃士』、演劇としてギリシャ悲劇の『オイディプス王』、詩としてフランスの象徴派詩人の作品、中島みゆきの歌の歌詞、映像表現を代表してヒッチコックの『めまい』、その他、マンガなどを予定。

#### 授業の計画：

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| (1) 文学研究の歴史         | (16) 映像表現 (その1)      |
| (2) 文学研究の方法 (その1)   | (17) 映像表現 (その2)      |
| (3) 文学研究の方法 (その2)   | (18) 文学作品と映像作品 (その1) |
| (4) 『三銃士』 (その1)     | (19) 文学作品と映像作品 (その2) |
| (5) 『三銃士』 (その2)     | (20) 『オペラ座の怪人』 (その1) |
| (6) 『オイディプス王』 (その1) | (21) 『オペラ座の怪人』 (その2) |
| (7) 『オイディプス王』 (その2) | (22) 『オペラ座の怪人』 (その3) |
| (8) 詩の研究 (その1)      | (23) アニメの世界 (その1)    |
| (9) 詩の研究 (その2)      | (24) アニメの世界 (その2)    |
| (10) 詩の研究 (その3)     | (25) アニメの世界 (その3)    |
| (11) 歌と詩 (その1)      | (26) ITと文学 (その1)     |
| (12) 歌と詩 (その2)      | (27) ITと文学 (その2)     |
| (13) 中島みゆき (その1)    | (28) ITと文学 (その3)     |
| (14) 中島みゆき (その2)    | (29) 文学の現在           |
| (15) 前期のまとめ         | (30) まとめ             |

#### 授業方法：

作品の一部をとりあげ、さまざまな角度から分析していく。題材として使用する作品については、各自の感想や意見をもとに全員で考えながら、文学研究のテクニックを身につける。

#### 達成目標：

文学について概観できる知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

#### 評価方法：

授業への取り組み (20%程度) とレポートの内容 (80%) で評価する。

- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
- A 上記内容についてプレゼンテーションができる
- B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
- C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
- D Cのレベルに達していない

#### 教科書：

プリントを配布

#### 参考文献：

授業時に指示する。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C21801	文学の現在演習	3・4	4	日比野雅彦

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
文学、芸術鑑賞、分析、プレゼンテーション	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

文学と社会との関係についての研究、文学作品そのもの研究などをする場合の基本的な方法を学び、論文作成のテクニックを学ぶ。

**授業の概要：**

文学研究の意味について考え、そのための様々な方法を実際に使いながら文学作品にアプローチします。2年間の演習をとおして卒業論文のテーマ、論文を書くためのテクニック学びます。

**授業の計画：**

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| (1) 文学研究とは？             | (16) プレゼンテーションの方法 (その1) |
| (2) 文学とその時代との関係         | (17) プレゼンテーションの方法 (その2) |
| (3) 文学テキストを分析するには (その1) | (18) プレゼンテーションの方法 (その3) |
| (4) 文学テキストを分析するには (その2) | (19) プレゼンテーションの方法 (その4) |
| (5) 文学形式について (その1) 小説   | (20) 研究成果の発表 (その1)      |
| (6) 文学形式について (その2) 演劇   | (21) 研究成果の発表 (その2)      |
| (7) 文学形式について (その3) 詩    | (22) 研究成果の発表 (その3)      |
| (8) 文字を使わない文学について (その1) | (23) 研究成果の発表 (その4)      |
| (9) 文字を使わない文学について (その2) | (24) 卒業論文にむけて (その1)     |
| (10) 作家と文学作品の関係 (その1)   | (25) 卒業論文にむけて (その2)     |
| (11) 作家と文学作品の関係 (その2)   | (26) 卒業論文にむけて (その3)     |
| (12) 作品分析の実践 (その1)      | (27) 作品分析の実践 (その4)      |
| (13) 作品分析の実践 (その2)      | (28) 作品分析の実践 (その5)      |
| (14) 作品分析の実践 (その3)      | (29) 作品分析の実践 (その6)      |
| (15) 前期のまとめと中間報告        | (30) まとめと最終報告           |

**授業方法：**

プリントとして配布するテキストを読みながら問題点を取り出し、作品分析を実際に行ってみます。前期はおもに4年生が卒業論文を作成するために、後期は3年生が卒業論文のテーマを決める準備のために役立つ情報を提供しながらすすめます。

**達成目標：**

文学について概観できる知識を獲得し、また、それを判断する能力を身につける。

**評価方法：**

- 授業への取り組み (20%程度) とレポートの内容 (80%) で評価する。
- S 文学作品について理論を駆使して完成度の高い内容のプレゼンテーションができる
  - A 上記内容についてプレゼンテーションができる
  - B 文学作品を鑑賞し、その感想を第三者にわかりやすく表現することができる
  - C 文学作品を鑑賞し、表現することができる
  - D Cのレベルに達していない

**教科書：**

プリントを配布

**参考文献：**

授業時に指示する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C26101	英語コミュニケーション論講義A	1・2	2	岡 良和
C24101	言語コミュニケーション論講義A	3・4		

期間	曜日	時限	備考：1・2・3年生：歴史文化環境専攻 歴史・言語文化の科目 4年生：精神環境専攻 人間文化コースの科目
前期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、読み書き、対話	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

コミュニケーション能力の育成をテーマとするが、単なるコミュニケーションの技術ではなくその技術を支えている仕組みを考え身につけるために、談話分析の基礎を習得してもらう。談話分析はわれわれが日常やり取りしている話し言葉や文章にどのような仕組みと働きがあるのかを分析の対象とする。この授業では学生が談話分析の平易な入門書を理解し、日本語と英語を比較しながら対人関係の視点からコミュニケーションを考える。

#### 授業の概要：

専門用語や基礎的理論を習得しながら、談話の構造を理解することから始め、効果的な表現法を身につける段階まで到達することとする。

#### 授業の計画：

1回	談話とは何か	10回	発話行為
2回	ことばの構造と機能	11回	ことばの使用
3回	演習	12回	演習
4回	テキストと場面	13回	コミュニケーションの民族誌
5回	談話とコミュニケーション	14回	会話の始め方、終わり方
6回	演習	15回	演習
7回	レトリック		
8回	談話文法		
9回	演習		

#### 授業方法：

教科書にしたがって解説し、これに加えて資料を適宜配布し教科書の内容を補う。また、演習では、できる限り TV 番組や雑誌などの生の資料を分析の対象として取り上げ学生の積極的な参加を促したい。毎回の授業で理解度を確認するため、10分程度の課題がある。

#### 達成目標：

コミュニケーション力のうち、特に効果的な読み、書きの能力を習得する。

#### 評価方法：

前期末の試験（60%程度）と授業への取り組み（40%程度）により行う。

理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる…	S
理論を部分的に活用してコミュニケーションができる……………	A
理論を使いながら談話の分析ができる……………	B
理論や学術用語を説明できる……………	C
Cのレベルに達していない……………	D

#### 教科書：

橋内武『ディスコース—談話の織りなす世界』 くろしお出版（2,520円）

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C26201	英語コミュニケーション論講義B	1・2	2	岡 良和
C24201	言語コミュニケーション論講義B	3・4		

期間	曜日	時限	備考：1・2・3年生：歴史文化環境専攻 歴史・言語文化の科目 4年生：精神環境専攻 人間文化コースの科目
後期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
ことばを使わないコミュニケーション、応用言語学	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

コミュニケーション能力の育成をテーマとするが、単なるコミュニケーションの技術ではなくその技術を支えている仕組みを考え身につけるために、談話分析の基礎を習得してもらう。談話分析はわれわれが日常やり取りしている話し言葉や文章にどのような仕組みと働きがあるのかを分析の対象とする。この授業では学生が談話分析の平易な入門書を理解し、日本語と英語を比較しながら対人関係の視点からコミュニケーションを考える。

**授業の概要：**

専門用語や基礎的理論を習得しながら、談話の構造を理解することから始め、効果的な表現法を身につける段階まで到達することとする。

**授業の計画：**

1回	会話のさまざまな特徴	10回	話し手、聞き手と話題、ことば使い
2回	ことばを使わないコミュニケーション	11回	ことばと価値観
3回	演習	12回	演習
4回	相手との話の合わせ方	13回	容疑者の取り調べとことばの特徴
5回	社会とことばの使用	14回	文学とことば
6回	演習	15回	まとめ
7回	背景知識と言語の理解		
8回	語りの仕組み		
9回	演習		

**授業方法：**

教科書にしたがって解説し、これに加えて資料を適宜配布し教科書の内容を補う。また、演習では、できる限り TV 番組や雑誌などの生の資料を分析の対象として取り上げ学生の積極的な参加を促したい。毎回の授業で理解度を確認するため、10分程度の課題がある。

**達成目標：**

コミュニケーション力のうち、特に効果的な読み、書きの能力を習得する。

**評価方法：**

前期末の試験（60％程度）と授業への取り組み（40％程度）により行う。  
 理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる…S  
 理論を部分的に活用してコミュニケーションができる……………A  
 理論を使いながら談話の分析ができる……………B  
 理論や学術用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

橋内武『ディスコース—談話の織りなす世界』 くらしお出版（2,520円）

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C26301	英語コミュニケーション論特殊講義 I A (英語表現論)	2	2	岡 良和
C24301	言語コミュニケーション論特殊講義 I A (表現活動におけるメタファーの問題)	3・4		

期間	曜日	時限	備考：1・2・3年生：歴史文化環境専攻 歴史・言語文化の科目 4年生：精神環境専攻 人間文化コースの科目
前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
メタファー、レトリック、日・英語対照	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

「人間はどう猛である」と「人間はオオカミである」はどこが違うのだろうか？「人生は野菜スープだ」とはどういうことを言おうとしているのだろうか？このような「たとえ（メタファー）」をはじめとする「表現技術（レトリック）」をうまく使うことで、難しいことをわかりやすく説明したり、相手の行動を促したりできることを理解し表現技術を習得する。

#### 授業の概要：

日本語と英語のメタファーを比較することで、メタファーを含むレトリックがコミュニケーションに必須のものであり、私たちの発想を豊かにしていることを示す。また、日・英語の発想が共通していることにも注目する。

#### 授業の計画：

1回	メタファー、レトリックとは何か	9回	見る・知る・わかる、の関係
2回	五感を使った表現	10回	Discoverの構造
3回	百聞は一見にしかず 視覚の優位性	11回	「手に取る」とわかる
4回	「知る」ことはどのように表現されるか	12回	物にたとえる
5回	Seeと「見る」の共通性	13回	光と闇を使った表現（1）
6回	「見る」を使った表現の拡張	14回	光と闇を使った表現（2）
7回	Seeを使った表現の拡張	15回	まとめ
8回	「理解」はどのように表現されるか		

#### 授業方法：

基本的には講義形式で進めるが、できる限り日本語や英語の生の資料を提供し、受講生が自ら規則を発見したり、表現したりできる機会を多く提供したい。

#### 達成目標：

レトリックを使って効果的な表現ができること。

#### 評価方法：

前期末の試験（60％程度）と授業への取り組み（40％程度）により行う。  
 理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる・・・S  
 理論を部分的に活用してコミュニケーションができる・・・A  
 理論を使いながら談話の分析ができる・・・B  
 理論や学術用語を説明できる・・・C  
 Cのレベルに達していない・・・D

#### 教科書：

瀬戸賢一『メタファー思考』講談社 735円

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C26401	英語コミュニケーション論特殊講義 I B (英語表現論)	2	2	岡 良和
C24401	言語コミュニケーション論特殊講義 I B (表現活動におけるメタファーの問題)	3・4		

期間	曜日	時限	備考：1・2・3年生：歴史文化環境専攻 歴史・言語文化の科目 4年生：精神環境専攻 人間文化コースの科目
後期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
メタファー、レトリック、日・英語対照	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

私たちは「人生」を「旅」でたとえたり、「時間」を「お金」でたとえたりする。このような「たとえ（メタファー）」をはじめとする「表現技術（レトリック）」をうまく使うことで、難しいことをわかりやすく説明したり、相手の行動を促したりできることを理解し表現技術を習得する。

**授業の概要：**

日本語と英語のメタファーを比較することで、メタファーを含むレトリックがコミュニケーションに必須のものであり、私たちの発想を豊かにしていることを示す。また、日・英語の発想が共通していることにも注目する。

**授業の計画：**

- |    |               |     |                |
|----|---------------|-----|----------------|
| 1回 | メタファーとレトリック   | 9回  | Methodとメタファー   |
| 2回 | 空間を使った表現      | 10回 | Wayと道のメタファーの比較 |
| 3回 | 位置と運動を使った表現   | 11回 | 動物を使った表現（1）    |
| 4回 | 位置づけを使った表現    | 12回 | 動物を使った表現（2）    |
| 5回 | 運動を使った表現      | 13回 | 味をどう表現するか（1）   |
| 6回 | 「人生は旅」旅を使った表現 | 14回 | 味をどう表現するか（2）   |
| 7回 | 出発・到着を使った表現   | 15回 | まとめ            |
| 8回 | 方向と動きを使った表現   |     |                |

**授業方法：**

基本的には講義形式で進めるが、できる限り日本語や英語の生の資料を提供し、受講生が自ら規則を発見したり、表現したりできる機会を多く提供したい。

**達成目標：**

レトリックを使って効果的な表現ができること。

**評価方法：**

前期末の試験（60％程度）と授業への取り組み（40％程度）により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる…S
- 理論を部分的に活用してコミュニケーションができる……………A
- 理論を使いながら談話の分析ができる……………B
- 理論や学術用語を説明できる……………C
- Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

瀬戸賢一『メタファー思考』講談社 735円

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C26701	英語コミュニケーション論プロゼミナール	2	2	岡 良和
C24701	言語コミュニケーション論プロゼミナール	3・4		

期間	曜日	時限	備考：2年生：歴史文化環境専攻 歴史・言語文化の科目 3・4年生：精神環境専攻 人間文化コースの科目
通年	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
対人関係、文脈・場面・コメント	コミュニケーション力、価値判断力、社交性（社会的相互関係力）

#### 授業のテーマ：

「コミュニケーション力」は、日常広く使われていて社会でもその必要性が強調されている反面、コミュニケーション力自体についてはどのような能力でどのように培っていけばよいのかを客観的に考察する機会は少ないと思われる。そこで、この授業では、自分の考えや感情を効果的に相手に伝える方法や、異文化社会での伝達能力を身につける。

#### 授業の概要：

前期：コミュニケーション力とはなにか、コミュニケーションと人間関係のありかた、具体的なコミュニケーションのコツなどを扱う。 後期：質問や要約に基づいた協同作業としてのコミュニケーションを扱う。

#### 授業の計画：

1回	コミュニケーション力とは	16回	相づちを打つ
2回	コミュニケーションとは	17回	外国語学習と身体
3回	クリエイティブな関係性	18回	雰囲気感知力
4回	自分と対話しことばを探す	19回	沈黙を感じ分ける
5回	文脈力とは何か	20回	コミュニケーションの技法
6回	メモを取りながら会話する	21回	沿いつつずらす
7回	マッピング・コミュニケーション	22回	要約力
8回	会話の糸口の見つけ方	23回	ブレイン・ストーミングのコツ
9回	本題から入る	24回	プレゼンテーションのコツ
10回	弁証法的な会話	25回	コメント力
11回	コミュニケーションの基盤	26回	質問力
12回	響く身体	27回	人間理解力
13回	目を見て話す	28回	過去・未来を見通す
14回	微笑んで話す	29回	コミュニケーションの可能性
15回	うなづく	30回	まとめ

#### 授業方法：

テキストを検討した後、課題を設定し全員で対話する。対話することの楽しさを感じてもらえるようにしたい。

#### 達成目標：

理論に沿ったコミュニケーションにより、対人関係を発展させることができる。

#### 評価方法：

理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる…	S
理論を部分的に活用してコミュニケーションができる……………	A
理論を使いながら談話の分析ができる……………	B
理論や学術用語を説明できる……………	C
Cのレベルに達していない……………	D

#### 教科書：

斎藤孝 『コミュニケーション力』 岩波書店 735円

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C24801	言語コミュニケーション論演習	3・4	4	岡 良和

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語技術、言語の比較対照	コミュニケーション力、価値判断力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

欧米の言語教育で指導されている「言語技術」を日本語で身につけることで「翻訳できる日本語」の習得を目指す。  
「言語技術」のルールに基づいて外国語を用いると、たとえ少ない語彙でもかなり相手にわかりやすくなる。外国語の習得とあわせて欧米式の「言語技術」を身につけることが役立つことを体得してもらう。

**授業の概要：**

3年生には卒業論文のテーマを見つけ、4年生には卒業論文に取り組む機会を与える。

**授業の計画：**

- 1・2回 言語感覚の違い
- 3・4回 欧米の言語教育
- 5・6回 「中間日本語」を身につける
- 7・8回 「あれ」の中身を認識する
- 9・10回 質問の内容を具体的に考える
- 11・12回 5W 1Hを明確にする
- 13・14回 根拠を明確にする
- 15・16回 構文からものの考え方を知る
- 17・18回 かみ合った対話
- 19・20回 問答トレーニングの意味と目的
- 21・22回 問答トレーニングの実践
- 23・24回 わかりやすい説明（描写）とは何か
- 25・26回 描写のレッスン
- 27・28回 説明のレッスン
- 29・30回 まとめ

**授業方法：**

テキストの担当箇所を受講生が報告した後で、全員で討議する。これに基づいて担当教員が解説を加える。

**達成目標：**

理論に沿ってコミュニケーションができる。

**評価方法：**

- 理論を駆使して完成度の高い独自のコミュニケーションができる…S
- 理論を部分的に活用してコミュニケーションができる……………A
- 理論を使いながら談話の分析ができる……………B
- 理論や学術用語を説明できる……………C
- Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

三森ゆりか 『外国語を身につけるための日本語レッスン』 白水社 1500円＋税

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C40301	身体文化論特殊講義 I A (ことばと文化の形成)	2・3	2	石上文正
C06301	社会・文化環境論特殊講義 I A (言葉と文化の形成)	4		
期間	曜日	時限	備考:	
前期	火	2		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
ことばは不思議で、魔術的力をもっている		コミュニケーション力と分析・総合の思考力と判断力		

#### 授業のテーマ:

私たちは、当たり前の日々を、当たり前のように生きています。これは、じつは「不思議」なことです。まず、このことが「不思議」であることに気づいてもらい、そしてこういったことがどのようにして可能なのかについて、言葉や文化から考えていきます。そして、言葉がいかに私たち自身や生活に、大きな影響を与えているかについて、学生が「驚くこと」ことが、授業の目的です。言葉のもっている「力」のすごさは、想像以上です。

また、言葉が違えば、文化も違います。異文化理解の基本もここにあります。私たちは、いかにしたら(外国)人を理解しあえるのでしょうか。このことを考えることも、この授業の大きなテーマです。

#### 授業の概要:

まず、言葉、記号、文化とは何かを考え、つぎにそれらがどのようにして日常性を作り上げているかについて説明します。さらに、この日常性が異文化と接することによってどのように影響を受けるか具体例を挙げながら論じます。最後に、言葉と文化の関係についての、さまざまな考え方について学んでいきます。

#### 授業の計画:

1. ヴァーチャル・リアリティとしての社会・文化環境
2. ことばと(ヴァーチャル・)リアリティの構築
3. ことばの不思議
4. 言語とは何か?
5. 記号とは何か?
6. ことば・記号と身体
7. ことば・記号と現代社会
8. 文化について
9. 異文化理解について
10. サピア・ウォーフの仮説
11. 角田理論
12. 語彙と反応・行動(心理学的実験)
13. 文法と反応・行動
14. 色彩と言語
15. まとめ

#### 授業方法:

基本的には授業は講義形式で行いますが、対話的な方法も取り入れた授業を展開します。学生は、授業を受け身的に受講するのではなく、積極的に考えながら受講してください。教科書は使用しませんが、関連資料を配付して理解を深めます。

#### 達成目標:

ことばと文化について考える力をつけることによって、さまざまな社会・文化現象を分析する力を養います。とくに、「当たり前のこと」を、批判的に分析・思考する態度を身につけることが目標です。

#### 評価方法:

期末に行う試験によって評価します。期末試験の前には、試験の準備のための詳しいプリントを配布します。なお、授業への積極的な参加や発言も考慮する場合があります。

#### 教科書:

使用しません。ただし、資料として自作のプリントを配布します。

#### 参考文献:

『文化記号論』池上・山中・唐須、講談社学術文庫、『言語・思考・現実』ウォーフ、講談社学術文庫  
『英語の感覚』(上・下)大津栄一郎(岩波新書)、『日本語と外国語』鈴木孝夫(岩波新書)

#### 実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C40401	身体文化論特殊講義 I B (ことばと文化の形成)	2・3	2	石上文正
C06401	社会・文化環境論特殊講義 I B (言葉と文化の形成)	4		
期間	曜日	時限	備考:	
前期	火	2		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
私たちは、日本語と日本文化に「縛られている」		コミュニケーション力と分析・総合の思考力と判断力		

#### 授業のテーマ:

私たちは、当たり前の日々を、当たり前のように生きています。これは、じつは「不思議」なことです。まず、このことが「不思議」であることに気づいてもらい、そしてこういったことがどのようにして可能なのかについて、言葉や文化から考えていきます。そして、言葉がいかに私たち自身や生活に、大きな影響を与えているかについて、学生が「驚くこと」ことが、授業の目的です。言葉のもっている「力」のすごさは、想像以上です。

また、言葉が違えば、文化も違います。異文化理解の基本もここに 있습니다。私たちは、いかにしたら(外国)人を理解しあえるのでしょうか。このことを考えることも、この授業の大きなテーマです。

#### 授業の概要:

まず、日本語とはどういう言語かを考え、その後、川端康成の『雪国』の翻訳と原典を比較しながら、翻訳とは何か、日本語とは何かといった問題を考えていきます。次に、日本文化が、西欧の文化と接触していかなる影響を受けてきたかを考えます。最後に、日本の文化の中のとくに教育文化および文化全般についての日米の比較をおこないます。

#### 授業の計画:

- |                           |                                    |
|---------------------------|------------------------------------|
| 1. 日本語について (1)            | 10. 日米の文化比較(日本人の同調性について)           |
| 2. 日本語について (2)            | 11. 日米のしつけと教育(心理学的アプローチ)           |
| 3. 日本語と英語                 | 12. 日米のかくれたカリキュラム(社会学的アプローチ)       |
| 4. 『雪国』の英訳を通してみた日本語と英語(1) | 13. 日米の文化比較(教科書の内容分析)              |
| 5. 『雪国』の英訳を通してみた日本語と英語(2) | 14. 日本文化論について(空間の意味づけ、甘え、間人主義について) |
| 6. 日本文化の異文化との接触           | 15. まとめ                            |
| 7. 日本文化について               |                                    |
| 8. 日本文化の異文化との接触(古代～近世)    |                                    |
| 9. 日本文化の異文化との接触(明治～現代)    |                                    |

#### 授業方法:

基本的には授業は講義形式で行いますが、対話的な方法も取り入れた授業を展開します。学生は、授業を受け身的に受講するのではなく、積極的に考えながら受講してください。教科書は使用しませんが、関連資料を配付して理解を深めます。

#### 達成目標:

日本語と日本文化について考える力をつけることによって、日本のさまざまな社会・文化現象を分析する力を養います。とくに、「当たり前のこと」を、批判的に分析・思考する態度を身につけることが目標です。

#### 評価方法:

期末に行う試験によって評価します。期末試験の前には、試験の準備のための詳しいプリントを配布します。なお、授業への積極的な参加や発言も考慮する場合があります。

#### 教科書:

使用しません。ただし、資料として自作のプリントを配布します。

#### 参考文献:

- 『人間形成の日米比較』恒吉僚子(岩波新書)、『日本語と外国語』鈴木孝夫(岩波新書)  
『イギリスのいい子 日本のいい子』佐藤淑子(岩波新書)、『「甘え」の構造』土居健郎(弘文堂)  
『間人主義の社会』浜口恵俊(東洋経済新報社)、『かくれた次元』E・ホール(みすず書房)  
『ことばと空間』牧野著(東海大学出版会)

#### 実験・実習・教材費:

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C40801	身体文化論演習	3	4	石上文正
C06801	社会・文化環境論演習	4		
期間	曜日	時限	備考：	
通年	火	4		
授業のキーワード		人間環境大学が育む八つの能力		
私たちは、日本語と日本文化に「縛られている」		コミュニケーション力と分析・総合の思考力と判断力		

#### 授業のテーマ：

ことばと文化に関する基本的な文献を読みながら、ことばと文化、異文化理解について考えていきます。とくに、ことばのもっている世界の分節機能やことばと思考を通じて、日本文化と異文化についての理解を深めます。

#### 授業の概要：

今年度は、前期においては、『日本語と外国語』（鈴木孝夫）、『かくれた次元』E・ホールを読みながら、異文化理解という視点から言葉と文化、空間の用い方について学びます。後期は、『日本人の発想、日本語の表現』を講読して、日本語についての理解を深めるとともに、学生が夏休み中に書いてきたレポートについて、発表、議論をおこないます。この演習を通じて、文献の読み方、レポートのまとめ方、発表の仕方、討論の仕方などを学びながら、学問研究の方法を学びます。

#### 授業計画：

- 前期
1. レポートの書き方、論文の書き方について
  2. 『日本語と外国語』第1章 ことばで世界をどう捉えるか（2週）
  3. 『日本語と外国語』第2章 虹は七色か（2週）
  4. 『日本語と外国語』第3章 日本人はイギリスを理解しているか
  5. 『日本語と外国語』第4章 漢字の知られざる働き（Ⅰ）（2週）
  6. 『日本語と外国語』第5章 漢字の知られざる働き（Ⅱ）（3週）
  7. 『かくれた次元』第11章 通文化的関連におけるプロクセツミクス（2週）
  8. 『かくれた次元』第12章 通文化的関連におけるプロクセツミクス（2週）
- 後期
- 課題発表・議論（毎週一人もしくは二人の発表）をおこなうとともに、『日本人の発想、日本語の表現』を講読し、議論をおこない、日本語についての理解を深めていきます。
1. 『日本人の発想、日本語の表現』第1章（2週）
  2. 『日本人の発想、日本語の表現』第2章（2週）
  3. 『日本人の発想、日本語の表現』第3章（2週）
  4. 『日本人の発想、日本語の表現』第4章（2週）
  5. 『日本人の発想、日本語の表現』第5章（2週）
  6. 『日本人の発想、日本語の表現』第6章（2週）
  7. 『日本人の発想、日本語の表現』第7章（2週）
  8. まとめ（1週）

#### 授業方法：

授業では、基本的には、毎回、教科書の担当箇所を学生に割り当て、要約・発表してもらい、それについて全員で議論していきます。夏季休業中に、レポートを作成し、それについて後期に発表してもらいます。

#### 達成目標：

活発な議論を通じて、コミュニケーション力を養うとともに、分析・総合の思考力と判断力を養います。とくに、「当たり前のこと」を、批判的に分析・思考する態度を身につけることが目標です。

#### 評価方法：

レポート（50%）、口頭発表（30%）、参加度（20%）等を総合的に判断しておこないます。

#### 教科書：

『日本語と外国語』（鈴木孝夫）岩波書店、780円、『日本人の発想、日本語の表現』中公新書、700円

#### 参考文献：

『かくれた次元』E・ホール（みすず書房）、『言語・思考・現実』ウォーフ、講談社学術文庫、

『ことばと空間』牧野著（東海大学出版会）

実験・実習・教材費：なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42101	演劇と身体論講義A	1・2・3	2	森 順子
C22101	演劇の現在講義A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、対話	コミュニケーション力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

演劇は言語と身体による芸術であるといえる。とりわけシェイクスピアの作品では、言語的表現が重要な要素となる。中でも人物の性格や心理を表す独白は内的言語とみなすことができる。シェイクスピアの作品に描かれた人間の内的世界を言語表現の観点から論じる。

**授業の概要：**

シェイクスピアの作品から人物の心理を読み取り、独自の解釈で演じる段階まで到達することを目指す。

**授業の計画：**

1. オリエンテーション (初回の授業時に詳しく説明します。)
2. 『マクベス』 1幕
3. 『マクベス』 2幕
4. 『マクベス』 3幕
5. 『マクベス』 4幕
6. 『マクベス』 5幕
7. 演技発表
8. 意見発表
9. 『オセロー』 1幕
10. 『オセロー』 2幕
11. 『オセロー』 3幕
12. 『オセロー』 4幕
13. 『オセロー』 5幕
14. 演技発表
15. 意見発表

**授業方法：**

四大悲劇の中の『マクベス』『オセロー』を扱う。人間関係の中で表出される登場人物の内的世界を論じる。台詞を実際に朗読し、より深く作品を鑑賞できるような授業を行う。作品終了後は実際に演じることを行いたい。作品ごとにレポートを提出する。

**達成目標：**

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じること。

**評価方法：**

授業の取り組み60%レポート40%

- 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を完全に達成している……………S  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成している……………A  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成しているがまだ不十分な点がある…B  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力は合格ラインまで満たしている……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

白水ブックスの『マクベス』『オセロー』(白水社)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42201	演劇と身体論講義B	1・2・3	2	森 順子
C22201	演劇の現在講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、対話	コミュニケーション力、価値判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

演劇は言語と身体による芸術であるといえる。とりわけシェイクスピアの作品では、言語的表現が重要な要素となる。中でも人物の性格や心理を表す独白は内的言語とみなすことができる。シェイクスピアの作品に描かれた人間の内的世界を言語表現の観点から論じる。

#### 授業の概要：

シェイクスピアの作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる段階まで到達することを目指す。

#### 授業の計画：

1. 概説
2. 『ハムレット』 1幕
3. 『ハムレット』 2幕
4. 『ハムレット』 3幕
5. 『ハムレット』 4幕
6. 『ハムレット』 5幕
7. 演技発表
8. 意見発表
9. 『リア王』 1幕
10. 『リア王』 2幕
11. 『リア王』 3幕
12. 『リア王』 4幕
13. 『リア王』 5幕
14. 演技発表
15. 意見発表

#### 授業方法：

四大悲劇の中の『ハムレット』『リア王』を扱う。人間関係の中で表出される登場人物の内的世界を論じる。台詞を実際に朗読し、より深く作品を鑑賞できるような授業を行う。作品終了後は実際に演じることを行いたい。作品ごとにレポートを提出する。

#### 達成目標：

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じること。

#### 評価方法：

授業の取り組み60%レポート40%

- 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を完全に達成している ……S  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成している ……A  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成しているがまだ不十分な点がある…B  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力は合格ラインまで満たしている ……C  
 Cのレベルに達していない ……D

#### 教科書：

白水ブックスの『ハムレット』『リア王』（白水社）

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42301	演劇と身体論特殊講義 I A (身体表現と舞台芸術)	2・3	2	森 順子
C22301	演劇の現在特殊講義 I A (身体表現と舞台芸術)	4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、対話	コミュニケーション力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ:**

演劇は主として言葉を伴った身体表現であり、舞台芸術でもある。その楽しみ方には二つの側面がある。観る側と演じる側である。この講義では主として演じる側に立ち、演劇による身体表現に焦点をあてる。

**授業の概要:**

実際に演劇を通しての身体表現を経験することにより、感情や想像力を解き放ち、精神と身体をひとつのものとして表現することを学ぶ。

**授業の計画:**

1. オリエンテーション (初回の授業時に詳しく説明します。)
2. 『コリオレイナス』 1幕
3. 『コリオレイナス』 2幕
4. 『コリオレイナス』 3幕
5. 『コリオレイナス』 4幕
6. 『コリオレイナス』 5幕
7. 演劇発表
8. 演習
9. 『リチャード三世』 1幕
10. 『リチャード三世』 2幕
11. 『リチャード三世』 3幕
12. 『リチャード三世』 4幕
13. 『リチャード三世』 5幕
14. 演習
15. 演劇発表

**授業の方法:**

毎回、5幕からなる各作品を1幕ずつ扱う。学生さんが実際に声優となり、より深く作品を鑑賞できるような授業を行う。作品終了後は実際に演じる。作品ごとにレポートを提出する。

**達成目標:**

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じること。

**評価方法:**

授業の取り組み 60% レポート 40%

- 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を完全に達成している ……S  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成している ……A  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成しているがまだ不十分な点がある ……B  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力は合格ラインまで満たしている ……C  
 Cのレベルに達していない ……D

**教科書:**

白水ブックスの『コリオレイナス』『リチャード三世』(白水社)

**参考文献:**

なし

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42401	演劇と身体論特殊講義 I B (身体表現と舞台芸術)	2・3	2	森 順子
C22401	演劇の現在特殊講義 I B (身体表現と舞台芸術)	4		

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、対話	コミュニケーション力、価値判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ:

演劇は主として言葉を伴った身体表現であり、舞台芸術でもある。その楽しみ方には二つの側面がある。観る側と演じる側である。この講義では主として演じる側に立ち、演劇による身体表現に焦点をあてる。

#### 授業の概要:

実際に演劇を通しての身体表現を経験することにより、感情や想像力を解き放ち、精神と身体をひとつのものとして表現することを学ぶ。

#### 授業の計画:

1. 『ヴェニス商人』 1幕
2. 『ヴェニス商人』 2幕
3. 『ヴェニス商人』 3幕
4. 『ヴェニス商人』 4幕
5. 『ヴェニス商人』 5幕
6. DVD鑑賞
7. DVD鑑賞
8. 演劇発表
9. 『お気に召すまま』 1幕
10. 『お気に召すまま』 2幕
11. 『お気に召すまま』 3幕
12. 『お気に召すまま』 4幕
13. 『お気に召すまま』 5幕
14. 演劇発表
15. 演習

#### 授業の方法:

毎回、5幕からなる各作品を1幕ずつ扱う。学生さんが実際に声優となり、より深く作品を鑑賞できるような授業を行う。作品終了後は実際に演じる。作品ごとにレポートを提出する。

#### 達成目標:

作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じること。

#### 評価方法:

授業の取り組み60%レポート40%

- 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を完全に達成している……………S  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成している……………A  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力の習得を相応に達成しているがまだ不十分な点がある…B  
 作品から人物の心理を読み取り、自分の解釈で演じる力は合格ラインまで満たしている……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

#### 教科書:

白水ブックスの『ヴェニス商人』『お気に召すまま』(白水社)

#### 参考文献:

なし

#### 実験・実習・教材費:

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42701	演劇と身体論プロゼミナール	2・3	2	森 順子
C22701	演劇の現在プロゼミナール	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション、プレゼン	コミュニケーション力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

演劇の基礎的な知識を養うことをねらいとする。

**授業の概要：**

演劇とは何かという問題を考えるために、脚本から実際に演じることを試みる。また言語的側面を重視し、作品の構成、人物の心理、テーマ等を中心に考察することにより、現代社会に薄れていく人間同士のコミュニケーションをもう一度回復する術を考えてみたい。

**授業の計画：**

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. オリエンテーション     | 16. 演劇発表          |
| 2. 話し合い          | 17. 話し合い          |
| 3. 脚本の読み合わせと話し合い | 18. 脚本の読み合わせと話し合い |
| 4. 脚本の読み合わせと話し合い | 19. 脚本の読み合わせと話し合い |
| 5. 脚本の読み合わせと話し合い | 20. 脚本の読み合わせと話し合い |
| 6. 脚本の読み合わせと話し合い | 21. 脚本の読み合わせと話し合い |
| 7. 脚本の読み合わせと話し合い | 22. 演劇            |
| 8. 演劇            | 23. 演劇            |
| 9. 演劇            | 24. 演劇            |
| 10. 演劇           | 25. 演劇            |
| 11. 演劇           | 26. 演劇            |
| 12. 演劇           | 27. 演劇            |
| 13. リハーサル        | 28. リハーサル         |
| 14. 演劇発表         | 29. 演劇発表          |
| 15. 話し合いとまとめ     | 30. 話し合いとまとめ      |

**演劇授業方法：**

常に話し合いながら脚本の読み合わせを通して、登場人物の内的世界を考察する。その後学生さん自らが演劇を体験することで内面を表現する術を学ぶ。前期、後期それぞれ14回目に演劇発表を行いたい。

**達成目標：**

みんなで一つの演劇を作り上げて発表する喜びを分かち合うことを目指す。

**評価方法：**

授業の取り組み60%レポート40%

- みんなで一つの演劇を作り上げて発表する喜びを分かち合う力を完全に達成している……………S  
 みんなで一つの演劇を作り上げて発表する喜びを分かち合う力を相応に達成している……………A  
 みんなで一つの演劇を作り上げて発表する喜びを分かち合う力を相応に達成しているがまだ不十分な点がある…B  
 みんなで一つの演劇を作り上げて発表する喜びを分かち合う力は合格ラインまで満たしている…C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

なし

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C42801	演劇と身体論演習	3	4	森 順子
C22801	演劇の現在演習	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
分析・総合の思考力と判断力、コミュニケーション、プレゼン	分析総合の思考力と判断力、価値判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

演劇、文学、あるいは自分が自由に選んだテーマで、さまざまな状況における人間のこころがどのように描かれているのかを考察する。

#### 授業の概要：

言語的側面を重視し、作品の構成、人物の心理を中心にテーマを決めて、学生さん各自が調べ発表する。それぞれのテーマを全員で話し合い、人間について、生きる姿勢について深く考察する。現代社会に薄れていく人間同士のコミュニケーションをもう一度回復する術を考えたい。

#### 授業の計画：

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. オリエンテーション | 16. 発表、話し合い |
| 2. 話し合い      | 17. 発表、話し合い |
| 3. 発表、話し合い   | 18. 発表、話し合い |
| 4. 発表、話し合い   | 19. 発表、話し合い |
| 5. 発表、話し合い   | 20. 発表、話し合い |
| 6. 発表、話し合い   | 21. 発表、話し合い |
| 7. 発表、話し合い   | 22. 発表、話し合い |
| 8. 発表、話し合い   | 23. 発表、話し合い |
| 9. 発表、話し合い   | 24. 発表、話し合い |
| 10. 発表、話し合い  | 25. 発表、話し合い |
| 11. 発表、話し合い  | 26. 発表、話し合い |
| 12. 発表、話し合い  | 27. 発表、話し合い |
| 13. 発表、話し合い  | 28. 発表、話し合い |
| 14. 発表、話し合い  | 29. 発表、話し合い |
| 15. まとめ      | 30. まとめ     |

#### 授業方法：

発表者のプレゼンを受けて、常に全員で話し合いながら考察を深める。

#### 達成目標：

発表者のプレゼンの後、全員でディスカッションを行い、より深く考えることを目指す。前期、後期のそれぞれ15回目に各自まとめたものを提出する。

#### 評価方法：

授業の取り組み60%レポート40%

- 独自のプレゼンや、コミュニケーションを通して、考察を深める力を完全に達成している……S  
 独自のプレゼンや、コミュニケーションを通して、考察を深める力を相応に達成している……A  
 独自のプレゼンや、コミュニケーションを通して、考察を深める力を相応に達成しているがまだ不十分な点がある…B  
 独自のプレゼンや、コミュニケーションを通して、考察を深める力は合格ラインまで満たしている…C  
 Cのレベルに達していない……D

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43101	宗教と倫理講義A	1・2・3	2	伊藤利行
C23101	宗教の現在講義A	4		

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教、宗教学、宗教研究	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

宗教を見つめる目としての宗教学の対象領域を概観する。

#### 授業の概要：

宗教学と名のつく学問は、19世紀の後半に登場したが、もちろん、それ以前に宗教が理性の目で検討されなかったというわけではない。今日の宗教学成立以前に、様々な宗教において宗教の実質的内容に関しての自覚的検討は行われていた。それら教学と称される学問の体系は、近代的な宗教学という学問によって豊かな宗教の素材庫として受け入れられる。近代的な宗教学は、これを根本的基礎として、より理性的客観的な方向で認識しようと試みを続けている。これらの宗教学の諸研究領域についての概観を述べ、残されている現代的課題を指摘する。

#### 授業の計画：

##### 第1部 宗教学概論

##### 第1回 第1章 宗教研究の対象と方法

A. 様々な宗教観、B. 宗教の資料、C. 宗教研究の諸分野、D. 宗教学の誕生

##### 第2回 第2章 教学(神学)の立場～キリスト教神学を例として

##### 第3回 第3章 宗教哲学の立場

A. 哲学および神学に対する宗教哲学の関係、B. 哲学的宗教哲学

##### 第4回 C. 神学的宗教哲学～キルケゴールを例として

##### 第5回 第4章 宗教史学の立場

##### 第5章 宗教諸科学(狭義の宗教学)の立場

##### 第6-7回 A. 宗教現象学(比較宗教学) ① van der Leeuw ② Otto ③ Eliade

##### 第8-9回 B. 宗教社会学 ① Durkheim ② Weber

##### 第10回 C. 宗教民俗学 ① 柳田国男 ② 折口信夫

##### 第11-13回 D. 宗教民族学[宗教人類学] ① Frazer ② Malinowski ③ Levi-Strauss

④ 神話論

##### 第14-15回 E. 宗教心理学 ① James ② Freud ③ Jung

#### 授業方法：

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用ブックレット(PDF文書)本文編と関連資料を集めた資料編を担当者ホームページに用意するので、受講者はそれらを参照して学習すること。資源の有効利用の観点から紙によるプリントは原則として準備しない。

#### 達成目標：

宗教学の諸研究領域について理解し、残されている現代的諸課題を考える。

#### 評価方法：

筆記試験(持込み無し)。毎回出席をとる。

#### 教科書：

授業用ブックレット(PDF版)。

#### 参考文献：

担当者ホームページ(<http://www1.uhe.ac.jp>)、授業用ブックレット及び資料編(PDF版)の中から関連するもの参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43201	宗教と倫理講義B	1・2・3	2	伊藤利行
C23201	宗教の現在講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
三大宗教、宗教構造、宗教的ダイナミズム	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

仏教・キリスト教・イスラム教の宗教構造と社会に影響を及ぼす個人の背後にある宗教的ダイナミズムを考える。

**授業の概要：**

創始宗教における宗教の性格は、その始祖の言動によるところが少なくない。ここでは仏教・キリスト教・イスラム教の始祖を取り上げ、その言動と以後の宗教構造との関係を検討する。その後、社会に影響を及ぼす個人の背後にある宗教的ダイナミズムの例として、ガンジーとボンヘッファーの場合を取り上げ検討する。

**授業の計画：**

- 第2部 宗教構造と宗教的ダイナミズム
- 第1章 世界三大宗教の始祖とその宗教構造
  - A. シャカと仏教の宗教構造
    - 第1回 シャカの生涯
    - 第2回 シャカの根本動機
    - 第3回 仏教の宗教構造
  - B. イエスとキリスト教の宗教構造
    - 第4回 イエスの生涯
    - 第5回 イエスの根本動機
    - 第6回 キリスト教の宗教構造
  - C. ムハンマドとイスラム教の宗教構造
    - 第7回 ムハンマドの生涯
    - 第8回 ムハンマドの根本動機
    - 第9回 イスラム教の宗教構造
- 第2章 宗教的ダイナミズムと社会
  - A. ガンジーの場合
    - 第10回 ガンジーの生涯
    - 第11回 大英帝国の植民地政策
    - 第12回 ガンジー思想と独立への苦悩
  - B. ボンヘッファーの場合
    - 第13回 ボンヘッファーの生涯
    - 第14回 第三帝国の政策
    - 第15回 反ナチ運動とキリストへの服従

**授業方法：**

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用ブックレット（PDF文書）本文編と関連資料を集めた資料編を担当者ホームページに用意するので、受講者はそれらを参照して学習すること。資源の有効利用の観点から紙によるプリントは原則として準備しない。

**達成目標：**

仏教・キリスト教・イスラム教の宗教構造と宗教的個人が社会に対して果たした実例から宗教的ダイナミズムを理解する。

**評価方法：**

筆記試験（持込み無し）。毎回出席をとる。

**教科書：**

授業用ブックレット（PDF版）。

**参考文献：**

担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）、授業用ブックレット及び資料編（PDF版）の中から関連するもの参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43301	宗教と倫理特殊講義 I A (宗教とダイナミクス)	2・3	2	伊藤利行
C23301	宗教の現在殊講義 I A (宗教における言語と沈黙)	4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人間、孤独、連帯、沈黙、讃美	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ:**

宗教とそのダイナミクス

**授業の概要:**

宗教の持つ動的な作用力に関して主に個人的レベルで生じる諸相に関して考察する。生と死、孤独と連帯、疑いと信仰、絶望と回心、知恵と無知、沈黙と讃美など対比的な諸テーマや人物に関しての実例を基にして理解を深める。(取り上げる例は年によって異なる)

**授業の計画:**

- 第1回 旧約聖書の人間学 (1) (霊、心、魂、命、体の諸関係)
- 第2回 旧約聖書の人間学 (2) (霊、心、魂、命、体の諸関係)
- 第3回 旧約聖書の人間学 (3) (霊、心、魂、命、体の諸関係)
- 第4回 最初の人間たちに見られる人間の基本問題 (1) 人の創造
- 第5回 最初の人間たちに見られる人間の基本問題 (2) 樂園喪失
- 第6回 最初の人間たちに見られる人間の基本問題 (3) カインとアベル
- 第7回 最初の人間たちに見られる人間の基本問題 (4) ノアと洪水、バベルの塔
- 第8回 詩篇に見られる宗教的ダイナミクス (1)
- 第9回 詩篇に見られる宗教的ダイナミクス (2)
- 第10回 詩篇に見られる宗教的ダイナミクス (3)
- 第11回 詩篇に見られる宗教的ダイナミクス (4)
- 第12回 預言者における宗教体験と思想 (1)
- 第13回 預言者における宗教体験と思想 (2)
- 第14回 預言者における宗教体験と思想 (3)
- 第15回 預言者における宗教体験と思想 (4)

**授業方法:**

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用ブックレット (PDF 文書) 本文編と関連資料を集めた資料編を担当者ホームページに用意するので、受講者はそれらを参照して学習すること。資源の有効利用の観点から紙によるプリントは原則として準備しない。

**達成目標:**

個人的なレベルでの宗教のダイナミクスの理解

**評価方法:**

筆記試験 (持込み無し)。毎回出席をとる。

**教科書:**

授業用ブックレット (PDF 文書) 本文編

**参考文献:**

担当者ホームページ (<http://www1.uhe.ac.jp>)、授業用ブックレット及び資料編 (PDF 版) の中から関連するもの参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43401	宗教と倫理特殊講義 I B (宗教とダイナミクス)	2・3	2	伊藤利行
C23401	宗教の現在殊講義 I B (宗教における言語と沈黙)	4		

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教、社会形成、伝統	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ:**

宗教とそのダイナミクス

**授業の概要:**

宗教の持つ動的な作用力に関して主に社会的レベルで生じる諸相に関して実例を基にして理解を深める。(取り上げる例は年によって異なる)

**授業の計画:**

- 第1回 諸宗教の信仰の父と仰がれるアブラハムの実像を探る
- 第2回 諸宗教の信仰の父と仰がれるアブラハムの実像を探る
- 第3回 諸宗教の信仰の父と仰がれるアブラハムの実像を探る
- 第4回 モーセと十戒、その今日的意義の再考
- 第5回 モーセと十戒、その今日的意義の再考
- 第6回 モーセと十戒、その今日的意義の再考
- 第7回 パウロとコリント教会-教会形成への苦悶と歓喜
- 第8回 パウロとコリント教会-教会形成への苦悶と歓喜
- 第9回 パウロとコリント教会-教会形成への苦悶と歓喜
- 第10回 ルターの思想とその歴史的射程
- 第11回 ルターの思想とその歴史的射程
- 第12回 ルターの思想とその歴史的射程
- 第13回 欽定訳聖書の成立(1611年)と歴史的影響
- 第14回 欽定訳聖書の成立(1611年)と歴史的影響
- 第15回 欽定訳聖書の成立(1611年)と歴史的影響

**授業方法:**

主として講義形式。ビデオを用いることもある。授業用ブックレット(PDF文書)本文編と関連資料を集めた資料編を担当者ホームページに用意するので、受講者はそれらを参照して学習すること。資源の有効利用の観点から紙によるプリントは原則として準備しない。

**達成目標:**

社会的なレベルでの宗教のダイナミクスの理解

**評価方法:**

筆記試験(持込み無し)。毎回出席をとる。

**教科書:**

授業用ブックレット(PDF文書)本文編

**参考文献:**

担当者ホームページ(<http://www1.uhe.ac.jp>)、授業用ブックレット及び資料編(PDF版)の中から関連するもの参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43701	宗教と倫理プロゼミナール	2・3	2	伊藤利行
C23701	宗教の現在プロゼミナール	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
宗教 歴史 研究方法	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

宗教研究の基礎である宗教史の概論を読み、知識の裾野をひろげる。

**授業の概要：**

宗教史研究の古典的名著である C.P. ティーレの「宗教史概論」を読みながら、世界の色々な宗教の歴史と実態を理解する。あわせて宗教学研究の基礎文献の紹介や学術的研究の方法についても触れる。

**授業の計画：**

Cornelius Petrus Tiele の『宗教史概論』(Outlines of the history of religions to the spread of the universal religions.1877) を読みながら宗教史学の研究方法と課題について考える。

本書の目次概要は以下のとおり。

序論

第1章 生気説の支配下の宗教

第2章 中国人の宗教

第3章 ハム族とセム族との宗教

第4章 ギリシャ・ローマ人を除くインド-ゲルマン人の宗教

第5章 セム族とハム族との影響下のインド・ゲルマン族の宗教

**授業方法：**

授業は、原則として教科書の講読とディスカッションの型式で進める。参加者は、あらかじめ自由な気持ちで疑問等を整理しておき、授業中にディスカッションしながら関連する問題の広がりを理解するという方法を用いる。

**達成目標：**

宗教史学の対象と研究方法についての諸問題を考える。

**評価方法：**

授業への参加態度（担当部分の発表の仕方など）および年度末の総括レポートによる。

**教科書：**

C.P. ティーレ『宗教史概論』（誠信書房）[絶版のため、プリントを配布]

**参考文献：**

担当者ホームページ（<http://www1.uhe.ac.jp>）参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C43801	宗教と倫理演習	3	4	伊藤利行
C23801	宗教の現在演習	4		

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
祈り、宗教史、宗教心理学	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

様々な宗教のテキストを取り上げ、具体的な文脈の中で各宗教に共通した部分と相違点とを考察し、現代の我々にとってこれらの宗教がいかなる意味を持つかという事を中心として議論する。

#### 授業の概要：

フリードリッヒ・ハイラー Friedrich Heiler (1892-1967) の古典的名著『祈り－宗教史的宗教心理学的研究』Das Gebet. Eine religionsgeschichtliche und religionspsychologische Untersuchung.19235 [英訳：Prayer. A Study in the History and Psychology of Religion. Oxford 1932 (英訳は、ドイツ語最終版である第5版原本中の一部を訳していないので、それ以前の版を基礎としているようで不十分な訳である)]を読みながら、宗教に於ける祈りの意味について討議考察する。

#### 授業の計画：

『祈り』の大体の目次は次のとおり。

序論

1. 宗教の中心的現象としての祈り、2. 祈りについてのこれまでの宗教学的的研究、3. 宗教学の課題と方法、4. 祈り研究の資料

祈りのタイプ

a. 原始人の繊細な祈願、b. 儀式的祈りの定式、c. 讃美、d. ギリシア文化宗教における祈り、e. 哲学的思考における祈り批判と理想、f. 偉大な宗教人格における個人的敬虔さにおける祈り、g. 偉大な人々(詩人と芸術家)の個人的祈り、h. 礼拝に於ける共同の祈り、i. 律法的諸宗教における宗教的義務および良き業としての個人の祈り

祈りの本質

#### 授業方法：

毎回、担当の部分を読みながら、内容確認と意見交換を中心として進める。本年は、まず前年度の概観を説明後、序論の3からの続き。

#### 達成目標：

宗教に於ける祈りの意味について考えを深める。

#### 評価方法：

授業への参加態度(担当部分の発表の仕方など)および年度末の総括レポートによる。

#### 教科書：

日本語訳は存在しないので、英訳を参照しても良いが、受講者に多くの負担をかけないため、担当者の暫定私訳を配布する。

#### 参考文献：

担当者ホームページ (<http://www1.uhe.ac.jp>) 参照。連絡先 ito@uhe.ac.jp

#### 実験・実習・教材費：

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13901	日本語教授法A	2	2	文野峯子
D05301	日本語教育特殊講義 I A (日本語教授法)	3・4		

期間	曜日	時限	備考:
前期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語能力, 評価基準, 評価方法, OPI	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ:

日本語の上手な話し手とは、具体的に何がどうできる人のことか、その能力は、どんなテストによって正確な測定が可能か。

#### 授業の概要:

外国語の能力を評価する基準（ヨーロッパ、アメリカ、日本の3種類）について学ぶ。  
アメリカ及び日本で広く用いられている OPI（話す力を面接によって測定するテスト）について理解し、OPIの方法を身につける。OPIを使ったテストの練習も行う。

#### 授業の計画:

1. 「日本語ができる」とは、どういうことか。既存のテストの分析を通して考える。
2. テストの妥当性と信頼性
3. 外国語能力評価の枠組みについて学ぶ OPI
4. 外国語能力評価の枠組みについて学ぶ CEFRと日本語スタンダード
5. OPIを使った口頭表現能力テストについての知識、技術を身につける。(1)
6. OPIを使った口頭表現能力テストについての知識、技術を身につける。(2)
7. OPIを使った口頭表現能力テストについての知識、技術を身につける。(3)
8. OPIの評価基準を利用して自分たちの能力を測定するテストを作成する。(中上級)
9. OPIの評価基準を利用して自分たちの能力を測定するテストを作成する。(超級)
10. テスト実施と判定体験(1) 超級 自分たちの日本語能力(話す能力)を知る。
11. 自分たちの作成したテストを評価する。修正する。
12. テスト実施と判定体験(2) 外国人(録音、できれば実際の被験者)
13. 自分たちの作成したテストを評価する。修正する。
14. テスト修正(ロールカードを中心に)発表
15. まとめ

#### 授業方法:

各授業のテーマや課題について、グループ単位で討議し結果をクラス全体に報告・発表する。学生が積極的に作業に参加し、活動を通じて理解を深める参加型学習。

#### 達成目標:

1. 「日本語ができる」とは、具体的に何ができることか、その能力はどう測ることができるか、について理解する。
2. 日本語の「話す能力テスト」について学び、能力測定についての技術を身につける。
3. 自らの日本語力を、客観的に評価できるようになる。

#### 評価方法:

授業参加	50%
課題・発表	50%

#### 教科書:

『OPI入門』凡人社

#### 参考文献:

「JF 日本語教育スタンダード 2010」国際交流基金

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D14001	日本語教授法B	2	2	文野峯子
D05401	日本語教育特殊講義 I B (日本語教授法)	3・4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
外国語教授法, 理論的背景, 言語習得	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

外国語教授法

**授業の概要：**

グループ毎に、担当する教授法を決める。各グループは、担当する教授法について事前によく調べて理解する。その教授法を使って日本語以外の言語を教える授業を行う。

**授業の計画：**

教科書に沿って、以下の順で授業を進める。

1. 外国語教授法の理論と歴史
2. 外国語学習理論, 学習理論の変遷
3. デモ授業実施のためのオリエンテーション
4. オーディオ・リンガル・メソッド
5. 直接法
6. T P R
7. サイレントウエイ
8. C L L
9. サジェストペディア
10. ナチュラル・アプローチ
11. V T 法
12. コミュニカティブ・アプローチ (1) 話す、聞く
13. コミュニカティブ・アプローチ (2) 読む、書く
14. 対等性、共生を实践する対話の方法
15. 学習者主体の活動 (プロジェクトワーク)

**授業方法：**

学生は、グループに分かれ、教科書に紹介されている教授法を使って、クラスメートを生徒役に授業を行う。合わせて、担当した教授法理論の解説も行う。担当者グループは、授業外で文野と事前打ち合わせ、事前練習を行う。

**達成目標：**

外国語教育のさまざまな教え方とその背景にある理論を理解する。また、新しい教授法で「教える一学ぶ」体験を通して、学習者のニーズに応えた外国語の教え方が考えられるようになる。

**評価方法：**

授業参加 50%  
発表・レポート 50%

**教科書：**

『日本語教授法ワークショップ』凡人社

**参考文献：**

授業時に指示

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D05801	日本語教育演習	3・4	4	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
卒論、アウトライン、先行研究の要約、研究方法	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

卒論準備の講座と位置付け、以下の3点を中心に学ぶ。

1. 研究方法についての知識を得る。
2. 論文の書き方を学ぶ。
3. 日本語教育分野の研究について幅広く先行研究論文を読む。

#### 授業の概要：

3年生は、先行研究をできるだけ多く読み、自身の卒論のテーマを決める。学年末には、卒論のアウトラインを作成する。4年生は卒論を仕上げる。

#### 授業の計画：

前半	後半(論文の各部分の書き方、論文検討)
1. 論文検索の方法(図書館のガイダンス)	1. 論文の構成について
2. レジユメの作り方	2. アウトラインで構成・展開の確認
3. 先行研究のまとめ方	3. 序論(「はじめに」)には何を書くか
4. 先行研究の発表とまとめ方の練習(1)	4. 先行研究
5. 先行研究の発表とまとめ方の練習(2)	5. 研究課題・仮説など
6. 研究方法論(1)質問紙	6. 研究方法(1)
7. データ収集(1)(先行研究を参考に)質問紙の作り方など	7. 研究方法(2)
8. 分析の方法(1)結果集計、解釈	8. 結果、分析等の書き方
9. 分析の方法(2)解釈の妥当性	9. 結果の書き方(グラフの作成)
10. 質的研究(自然談話の分析)	10. 結果の考察
11. データ収集(2)質的な研究のためのデータ	11. 結論、まとめ等
12. 談話研究(先行研究を読む)	12. 参考文献
13. アウトラインを作る練習(先行研究を使って)	13. 表記
14. アウトラインの発表と検討(1)	14. 要旨
15. アウトラインの発表と検討(2)	15. 卒論発表

#### 授業方法：

演習形式で行う。各自テーマに沿った先行研究・論文を読む。毎回1, 2名がレジユメを作って発表し、全員で討議する。発表と同時に進行で、論文を構成する各部分についての知識や書き方の技術について理解を深める。

#### 達成目標：

論文を構成する各部分についての知識や書き方の技術について理解を深める。3年生は、アウトラインが書ける。4年生は、論文を完成する。

#### 評価方法：

授業時の課題・発表	50%
アウトライン・卒論	50%

#### 教科書：

授業時に指示する。

#### 参考文献：

『論文ワークブック』くろしお出版  
日本語教育ブックレット4「第二言語習得の心理学的研究方法」国立国語研究所編

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10101	日本史講義 I A (日本古代・中世史研究)	1・2・3・4	2	松島周一

期間	曜日	時限	備考:
前期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
東アジア世界、対外関係、律令国家、神国意識	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ:**

古代から近代にかけての、東アジア地域との交流によって作り出された日本列島の歴史について認識を深め、日本史をより広い「国際的」な視野から捉える姿勢を養う。

**授業の概要:**

基本的に時代の流れを辿りつつ、各時代の重要と思われる問題を取りあげて講述し、全体として通史的な枠組を修得できるようにしていく。

**授業の計画:**

おおむね以下のような講義を行う予定。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 日本の登場          | 9. 日本語表記の形成     |
| 2. 5世紀の日本と東アジア世界  | 10. 武家政権と東アジア   |
| 3. 律令国家体制の導入      | 11. 東アジアの中の蒙古襲来 |
| 4. 律令国家導入の国際的背景   | 12. 戦う神々の時代     |
| 5. 律令国家の対外認識      | 13. 室町幕府の「外交」   |
| 6. 律令国家体制の変質と対外関係 | 14. 東アジアと銭貨流通   |
| 7. 日本の「鎖国」化       | 15. 豊臣・徳川の「神国」  |
| 8. 日本的文化の形成       |                 |

**授業方法:**

必要な史資料をプリントにして毎回配布する。それを参照しながら、講義形式で授業を進める。質問時間は、適宜、なるべく多くとるようにするので、分からないこと、確認したいことは積極的に質問してほしい。

**達成目標:**

日本の前近代史を「国際的」な広い視野から理解し、説明できる能力を獲得すること。

**評価方法:**

最後に試験を行う(90%)。講義内容をきちんと自分の文章でまとめる論述の試験。講義への理解度、文章表現力などが評価の対象。なお、詳しくは授業中に指示するので、必ず確認すること。授業への取り組みが10%。

**教科書:**

特に定めない。

**参考文献:**

図書館にある通史のシリーズものなどでよいから、日本の古代・中世史に関する本を何か読んで、時代へのイメージを培ってほしい。

**実験・実習・教材費:**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10201	日本史講義 I B (日本古代・中世史研究)	1・2・3・4	2	松島周一

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
武士、武家政権、天皇、貴族社会	分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ:**

古代に登場し、中世から近世にかけて政治・社会の中心的存在となり、さらに近代まで日本の精神風土に大きな影響を及ぼしつづけた武士の歴史について概観する。その際に、天皇や貴族社会とどのような関係を構築していたのかという点や、後世のイメージではない武士たちの実像などに注意を払いながら、日本史全体を展望する基礎的な力を養うことを目的とする。

**授業の概要:**

基本的に時代の流れを辿りつつ、各時代の重要と思われる問題を取りあげて講述し、全体として通史的な枠組を修得できるようにしていく。

**授業の計画:**

おおむね以下のような講義を行う予定。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 日本史と武士      | 9. 承久の乱          |
| 2. 武士の登場       | 10. 建武の新政        |
| 3. 貴族と武士       | 11. 室町幕府と天皇・貴族社会 |
| 4. 伊勢平氏と貴族社会   | 12. 織田・豊臣政権と天皇   |
| 5. 平清盛と武家政権への道 | 13. 近世武家政権と天皇    |
| 6. 平氏政権とは      | 14. 中世武士の実像      |
| 7. 鎌倉幕府の成立と天皇  | 15. 「武士道」の誤解     |
| 8. 武家政権の成立とは   |                  |

**授業方法:**

必要な史資料をプリントにして毎回配布する。それを参照しながら、講義形式で授業を進める。質問時間は、適宜、なるべく多くとるようにするので、分からないこと、確認したいことは積極的に質問してほしい。

**達成目標:**

武士の存在と活動の実態をとらえ、そこから日本史の展開を理解し、説明できる能力を獲得すること。

**評価方法:**

最後に試験を行う(90%)。講義内容をきちんと自分の文章でまとめる論述の試験。講義への理解度、文章表現力などが評価の対象。なお、詳しくは授業中に指示するので、必ず確認すること。授業への取り組みが10%。

**教科書:**

特に定めない。

**参考文献:**

図書館にある通史のシリーズものなどでよいから、日本史に関する本を何か読んで、武士という存在へのイメージを培ってほしい。

**実験・実習・教材費:**

なし。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10301	日本史講義ⅡA（日本近世社会論研究）	1・2・3・4	2	笠谷和比古

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	C	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
武士、武家社会、兵農分離、太閤検地、太閤蔵入地、幕府、関白、天皇、征夷大将軍、二重公儀、幕藩体制	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

織田・豊臣政権を経て徳川幕府の成立と幕藩体制の構築という近世世界の形成の歴史的意義を考える。  
特に一般には軽視されがちな、この一連の過程における天皇と朝廷の役割に着目しつつ考究する。

#### 授業の概要：

織田信長政権の特質と本能寺の変の発生理由、豊臣政権の諸政策と同政権の構造的矛盾の表現としての関ヶ原合戦、幕府成立後における徳川・豊臣の二重公儀体制と大坂の陣、そしてそれらの政治的葛藤を克服して形成される徳川幕藩体制の政治的特質、さらにはこの政治体制における天皇と朝廷の存在意義、等々の問題を論じる。

#### 授業の計画：

- 第一回 序論 — 講義のプラン
- 第二回 織田信長政権と本能寺の変
- 第三回 豊臣政権と天下統一
- 第四回 関ヶ原合戦
- 第五回 徳川幕府の成立
- 第六回 徳川・豊臣二重公儀体制
- 第七回 大坂の陣
- 第八回 幕藩体制の政治構造
- 第九回 近世の朝廷と幕府
- 第十回 東アジアの国際情勢と「鎖国」

#### 授業方法：

講義形式      パワーポイント使用

#### 達成目標：

講義内容をじゅうぶんに理解するとともに、自己の歴史認識能力を深めていく

#### 評価方法：

筆記試験      評価基準については講義の中で説明する

#### 教科書：

笠谷 和比古『関ヶ原合戦と大坂の陣』（吉川弘文館、2007）

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10401	日本史講義ⅡB（日本近世社会論研究）	1・2・3・4	2	笠谷和比古

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	D	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
大名家、藩、武士道、赤穂事件、タテ社会、自立性、近代化、能力主義、身分制度、市場、商品経済、意思決定	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

**授業のテーマ：**

徳川時代は近代化の胎動期であるとともに、今日の日本社会につながる諸々の文化遺産の産出期という意味で重要である。講義では伝統社会の組織特性について考究するとともに、徳川社会における近代的な「知」の成長過程を跡づけていく。

**授業の概要：**

武士道や武家社会の構造分析をとおしていわゆるタテ社会のメカニズムを検討し、リーダーシップ、組織における意思決定の特質、組織と個人との関係性を論じつつ、他方では経済・文化・思想の多様な展開を検討しながら徳川社会における政治的近代化について論じる。

**授業の計画：**

- 第一回 大名家（藩）の組織特性
- 第二回 武士道Ⅰ
- 第三回 武士道Ⅱ
- 第四回 赤穂事件と武士道
- 第五回 元禄時代と全国的市場経済の形成
- 第六回 儒学の革新と近代的「知」の生成
- 第七回 徳川吉宗の享保改革
- 第八回 能力主義的昇進システムの形成
- 第九回 葉種国産化政策と諸国産物取調べ
- 第十回 蘭学の勃興と世界認識の進展

**授業方法：**

講義形式      パワーポイント使用

**達成目標：**

講義内容をじゅうぶんに理解するとともに、自己の歴史認識能力を深めていく

**評価方法：**

筆記試験      評価基準については講義の中で説明する

**教科書：**

笠谷 和比古『武士道と日本型能力主義』（新潮社、2005）

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10501	日本史講義ⅢA（日本近・現代史研究）	1・2・3・4	2	田浦雅徳

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本近代史、国民国家、立憲政治への胎動	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

本講義は、近代における日本の歩みを、その時々日本の生存条件を考えながら見ていこうとするものである。幕末から太平洋戦争に至るまでの歴史なかで、特にペリー来航以来の幕末から明治十四年の政変までの政治過程を講義する。

**授業の概要：**

明治立憲制が成立していく過程を丹念に追っていく。

**授業の計画：**

- 第1回 立憲政治実現過程の日欧比較
- 第2回 幕閣専断から公議輿論の尊重へ
- 第3回 加藤弘之の「鄰艸」
- 第4回 王政復古の政変
- 第5回 五箇条の御誓文
- 第6回 「公議」の制度化への試み－公議所の開設
- 第7回 版籍奉還と廃藩置県
- 第8回 岩倉使節団
- 第9回 征韓論と明治六年の政変
- 第10回 大久保利通と明治政府
- 第11回 民撰議院設立建白書
- 第12回 自由民権運動
- 第13回 士族反乱と西南戦争
- 第14回 明治十四年の政変と国家開設の勅諭
- 第15回 試験と解説

**授業方法：**

教科書を読みながら、パワーポイントのスライドを使って解説を行う。

**達成目標：**

近代国民国家としての日本が如何にして形成されたかを知ること。そのために必要な知識や歴史観を習得する。

**評価方法：**

試験（85%）と出席点（15%）によって評価する。

**教科書：**

鳥海靖『日本の近代＝国民国家の形成・発展と挫折』放送大学教育振興会、2,100円

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D10601	日本史講義ⅢB（日本近・現代史研究）	1・2・3・4	2	田浦雅徳

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本近現代史、明治憲法、日清・日露戦争、太平洋戦争	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

近代における日本の歩みを、その時々日本の生存条件を考えながら見ていこうとするものである。特に伊藤博文の憲法調査から太平洋戦争開始までの政治過程を講義する。もって近代国民国家としての日本が如何にして形成され、激動の近代国際社会の中で苦闘の歴史を築いたかを知ることを目標とする。

**授業の概要：**

明治憲法の成立から太平洋戦争にいたる歴史をたどっていく。

**授業の計画：**

- 第1回 伊藤博文の憲法調査と宮中改革
- 第2回 内閣制度の創設と大日本帝国憲法の発布
- 第3回 第一回帝国議会
- 第4回 第四議会と和衷協同の詔勅
- 第5回 明治の外交課題－条約改正と対朝鮮政策
- 第6回 壬午・甲申事変
- 第7回 日清戦争
- 第8回 三国干渉と日露の対立
- 第9回 日露戦争
- 第10回 日露戦後の内政と外交
- 第11回 第一次世界大戦とワシントン会議
- 第12回 中国ナショナリズムの急進化と満洲事変
- 第13回 協調と対立の中の昭和十年代
- 第14回 太平洋戦争の勃発
- 第15回 試験と解説

**授業方法：**

教科書を読みながら、パワーポイントのスライドを使って解説を行う。

**達成目標：**

近代国民国家としての日本が如何にして形成されたかを知ること。そのために必要な知識や歴史観を習得する。

**評価方法：**

試験（85%）と出席点（15%）によって評価する。

**教科書：**

鳥海靖『日本の近代＝国民国家の形成・発展と挫折』放送大学教育振興会、2,100円

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D12701	国語学概説A	1・2・3・4	2	齋藤 平

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語, 音声, 語彙	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

ことばのもつ体系や規則性の究明方法を学ぶことをテーマとし、国語学概説Aでは音声・音韻・語彙について学びます。

**授業の概要：**

計画の1では日本列島に存在する言語の数え方、2～6では音声・音韻についての構成と機能、7～12では語彙の体系としてのとらえ方、13～14ではわが国の辞書の歴史、15では方言研究の現在について概説します。

**授業の計画：**

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 日本列島の言語    | 9. 意味の意味     |
| 2. 音声と音韻      | 10. 語義の変化    |
| 3. 構音器官と音声記号  | 11. 位相と位相差   |
| 4. 音節と拍       | 12. 役割語      |
| 5. 濁音の機能      | 13. 辞書の歴史(1) |
| 6. アクセントの機能   | 14. 辞書の歴史(2) |
| 7. 語彙と語彙体系(1) | 15. 方言       |
| 8. 語彙と語彙体系(2) | 16. 試験       |

**授業方法：**

テキストに沿って解説を加えながら講義を進めます。必要に応じてビデオやプリント資料などを用います。

**達成目標：**

音声・音韻の構成と機能を理解し説明できること、意味を指標として語彙を体系的にとらえ説明できること、わが国の辞書の歴史についての基礎的な事項を説明できること。

**評価方法：**

受講への取り組み10%、試験90%の比率で総合的に評価します。  
 達成目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できる。……………S  
 達成目標の内容を十分に理解し、説明できる。……………A  
 達成目標の内容の基幹部分を理解し、説明できる。……………B  
 達成目標の内容の最低限の部分を理解し、説明できる。………C  
 達成目標に及ばない。……………D

**教科書：**

『ここからはじまる日本語学』伊坂淳一著(ひつじ書房)

**参考書：**

授業の中で適宜紹介します。

**実験・実習・教材費：**

ありません。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D12801	国語学概説B	1・2・3・4	2	齋藤 平

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本語、文法、書記、国語政策	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

ことばのもつ体系や規則性の究明方法を学ぶことをテーマとし、国語学概説Bでは文法・書記・文体について学びます。

**授業の概要：**

計画の1～4では文法の考え方と体系の方法、5～7では助詞の機能と文の構造、8～9では時をめぐる表現、10～12では日本語の書記の多様性と体系化の歴史、13～15ではさまざまな文体のすがたと史的位置づけについて概説します。

**授業の計画：**

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 文法論と誤用    | 9. アスペクト          |
| 2. 叙述内容と言表態度 | 10. 日本語の書記（1）漢字   |
| 3. 活用の体系     | 11. 日本語の書記（2）仮名   |
| 4. 活用の研究史    | 12. 日本語の書記（3）国語問題 |
| 5. 主語と主題     | 13. 五十音図といろは歌     |
| 6. 連用修飾      | 14. 文章と文体（1）      |
| 7. ヴォイス      | 15. 文章と文体（2）      |
| 8. テンス       | 16. 試験            |

**授業方法：**

テキストに沿って解説を加えながら講義を進めます。必要に応じてビデオやプリント資料などを用います。

**達成目標：**

文法の体系のとらえ方と機能を説明できること、わが国の書記の多様性を理解し説明できること、文体の有り様と歴史的変遷をとらえ説明できること。

**評価方法：**

受講への取り組み10%、試験90%の比率で総合的に評価します。

- 達成目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できる。……………S  
 達成目標の内容を十分に理解し、説明できる。……………A  
 達成目標の内容の基幹部分を理解し、説明できる。……………B  
 達成目標の内容の最低限の部分を理解し、説明できる。………C  
 達成目標に及ばない。……………D

**教科書：**

『ここからはじまる日本語学』伊坂淳一著（ひつじ書房）

**参考文献：**

授業の中で適宜紹介します。

**実験・実習・教材費：**

ありません。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D12901	国語表現	1・2・3・4	2	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
事実と意見、要旨、意見文	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

正しく、明確に趣旨を読み取る力の養成。趣旨が正確に伝わる文を書く力の養成。

**授業の概要：**

前半は、論説文を読みとり、要旨を書く練習を行う。後半は、構成を考えて、論理的かつ分かりやすい意見文を書く練習を行う。

**授業の計画：**

1. 長すぎる文（1）
2. 長すぎる文（2）
3. ねじれ文
4. 要約（1）論説文を読み、キーワードを探す
5. キーワードをもとにして要旨を書く
6. 要約（2）論説文を読み、キーワードを探す
7. キーワードをもとにして要旨を書く
8. 事実と意見を区別する
9. 意見文を書く（1）意見を60字程度で表現する
10. 意見文を書く（2）意見を60字程度で表現する
11. 論説文の要約をもとにした意見文を書く（1）
12. 意見文の検討
13. 論説文の要約をもとにした意見文を書く（2）
14. 修正版発表・検討
15. まとめ

**授業方法：**

文章作成は宿題とし、次の授業までに教員にPCメールで課題作文を送付する。授業の主たる作業は、送付された課題作文の検討とする。文章遂行は、学生同士（ピア）で行うため、自己の意見を相手にわかるように話す能力と積極的にコミュニケーションに参加する態度が求められる。

**達成目標：**

正しく、明確に文章の趣旨を読み取れるようになる。  
趣旨が正確に伝わる文が書けるようになる。

**評価方法：**

授業への参加度 30%  
提出物 40%  
試験 30%

**教科書：**

プリント配布

**参考文献：**

特になし

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13001	漢文学概論A	1・2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

**授業のテーマ：**

コミュニケーション能力の育成をテーマとして、この授業では中国古典語（いわゆる漢文）の作品を取り上げる。それらの作品は、常に先人の作品を古典として教養に取り込みつつ、新しい創作が積み上げられてきた歴史がある。その結果、紀元前から19世紀に至るまで、ほとんど途切れなく一貫した古典語による世界が形造られることになった。この講義では、紀元前から順に時代を下り、ジャンル別に作品に触れることで、中国文学の流れを体感していく。

**授業の概要：**

「詩」「文」「小説・戯曲」の三ジャンルのうちから、「詩」を取り上げる。

**授業の計画：**

以下の予定だが、進度は変更することがある。

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. はじめに（中国文学の流れ） | 9. 初唐・盛唐の詩     |
| 2. 詩経            | 10. 李白         |
| 3. 楚辞            | 11. 杜甫         |
| 4. 漢代の詩          | 12. 中唐・晩唐の詩（1） |
| 5. 魏晋の詩（1）       | 13. 中唐・晩唐の詩（2） |
| 6. 魏晋の詩（2）       | 14. 宋代以後の詩     |
| 7. 陶淵明           | 15. まとめ        |
| 8. 南北朝の詩         |                |

**授業方法：**

講義形式。教科書を読みながら進め、これに加えて資料を適宜配布し、教科書の内容を補う。ただし授業期間内に教科書を終了しません。

**達成目標：**

コミュニケーション能力のうち、特に文章の効果的な読み書きの能力を習得する。

**評価方法：**

試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。  
 理論を駆使して完成度の高い独自の読み書きができる…S  
 理論を部分的に活用して読み書きができる……………A  
 理論を使いながら作品の分析ができる……………B  
 理論や用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

八木章好編著『中国古典文学二十講』（白帝社／2100円）。

**参考文献：**

必要に応じて提示。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13101	漢文学概論B	1・2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

#### 授業のテーマ：

コミュニケーション能力の育成をテーマとして、この授業では中国古典語（いわゆる漢文）の作品を取り上げる。それらの作品は、常に先人の作品を古典として教養に取り込みつつ、新しい創作が積み上げられてきた歴史がある。その結果、紀元前から19世紀に至るまで、ほとんど途切れなく一貫した古典語による世界が形造られることになった。この講義では、紀元前から順に時代を下り、ジャンル別に作品に触れることで、中国文学の流れを体感していく。

#### 授業の概要：

「詩」「文」「小説・戯曲」の三ジャンルのうちから、「文」「小説・戯曲」を取り上げる。

#### 授業の計画：

以下の予定だが、進度は変更することがある。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. はじめに（中国文学の流れ） | 9. 辞賦・駢文・古文（2）    |
| 2. 論語            | 10. 文言小説          |
| 3. 孟子・荀子         | 11. 白話小説（1）       |
| 4. 老子・荘子         | 12. 白話小説（2）       |
| 5. 史記（1）         | 13. 戯曲            |
| 6. 史記（2）         | 14. 日本における中国文学の受容 |
| 7. 十八史略          | 15. まとめ           |
| 8. 辞賦・駢文・古文（1）   |                   |

#### 授業方法：

講義形式。教科書を読みながら進め、これに加えて資料を適宜配布し、教科書の内容を補う。ただし授業期間内に教科書を終了しません。

#### 達成目標：

コミュニケーション能力のうち、特に文章の効果的な読み書きの能力を習得する。

#### 評価方法：

試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。  
 理論を駆使して完成度の高い独自の読み書きができる…S  
 理論を部分的に活用して読み書きができる……………A  
 理論を使いながら作品の分析ができる……………B  
 理論や用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

#### 教科書：

八木章好編著『中国古典文学二十講』（白帝社／2100円）。

#### 参考文献：

必要に応じて提示。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13401	漢文学講読 I	1・2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

**授業のテーマ：**

コミュニケーション能力の育成をテーマとして、漢文を講読する。中国の古典文学は古来、様々な形で日本と日本文学に影響を与えてきたが、本来外国語で書かれているものを意外なまでに抵抗なく受容してきた。その背景には漢文訓読が大きく関わっていると考えられる。この授業では、漢文の訓読方法の再確認を目指す。

**授業の概要：**

教科書のうちから比較的短いものを取り上げる。

**授業の計画：**

以下の予定だが、受講生の希望に応じて変更することがある。

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 漢文初歩、「守株」        | 9. 「五十歩百歩」、子之武城、     |
| 2. 「矛盾」、學而時習之。      | 10. 「漁父之利」、子路等待坐。    |
| 3. 「刻舟求劍」、不患人之不己知   | 11. 「螢窗雪案」、三人行必有我師焉。 |
| 4. 「楚共王遣弓」、士志於道。    | 12. 「朝三暮四」、子貢曰君子過也、  |
| 5. 「狐假虎威」、吾嘗終日不食、   | 13. 「推敲」、孟武伯問孝。      |
| 6. 「蛇足」、譬如爲山。       | 14. 「塞翁馬」、有子曰其爲人也孝弟、 |
| 7. 「苛政猛於虎也」、子貢曰貧而無諂 | 15. まとめ              |
| 8. 「漱石枕流」、不憤不啓。     |                      |

**授業方法：**

演習形式。教科書を選読して進め、毎回指名する。ただし授業期間内に教科書を終了しません。

**達成目標：**

コミュニケーション能力のうち、特に文章の効果的な読み書きの能力を習得する。

**評価方法：**

試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。

- 理論を駆使して完成度の高い独自の読み書きができる… S  
 理論を部分的に活用して読み書きができる…………… A  
 理論を使いながら作品の分析ができる…………… B  
 理論や用語を説明できる…………… C  
 Cのレベルに達していない…………… D

**教科書：**

榎原邦彦ほか編『漢文入門』（和泉書院／1,260円）。

**参考文献：**

漢和辞典。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13501	漢文学講読Ⅱ	2・3・4	2	渡 昌弘

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
読み書き、対話、コミュニケーション	コミュニケーション力

**授業のテーマ：**

コミュニケーション能力の育成をテーマとして、漢文を講読する。中国の古典文学は古来、様々な形で日本と日本文学に影響を与えてきたが、本来外国語で書かれているものを意外なまでに抵抗なく受容してきた。その背景には漢文訓読が大きく関わっていると考えられる。この授業では、漢文の訓読方法の再確認を目指す。

**授業の概要：**

受講生の希望に応じて教科書の漢詩および『十八史略』『史記』より選読する。

**授業の計画：**

以下の予定だが、変更することがある。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 桃夭、古詩十九首   | 9. 合従連衡      |
| 2. 歸園田居、代悲白頭翁 | 10. 刎頸之交     |
| 3. 涼州詞、登鸛鵲樓   | 11. 鴻門之會 (1) |
| 4. 竹里館、送元二使安西 | 12. 鴻門之會 (2) |
| 5. 靜夜思、子夜吳歌   | 13. 垓下之戰 (1) |
| 6. 山中問答、除夜作   | 14. 垓下之戰 (2) |
| 7. 臥薪嘗胆       | 15. まとめ      |
| 8. 鷄鳴狗盜       |              |

**授業方法：**

演習形式。教科書を選読して進め、毎回指名する。ただし授業期間内に教科書を終了しません。

**達成目標：**

コミュニケーション能力のうち、特に文章の効果的な読み書きの能力を習得する。

**評価方法：**

試験（80%）と授業への取り組み（20%）により行う。  
 理論を駆使して完成度の高い独自の読み書きができる…S  
 理論を部分的に活用して読み書きができる……………A  
 理論を使いながら作品の分析ができる……………B  
 理論や用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

榊原邦彦ほか編『漢文入門』（和泉書院／1260円）。

**参考文献：**

漢和辞典。

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D13601	書道	2・3・4	2	衣川彰人

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
書写 書道 文字 毛筆 硬筆	美的感受性

#### 授業のテーマ：

この授業では、①書写書道教育における現状の諸問題と今後の展開について②小・中学校にて行われる国語科の書写教育における楷書と行書の学習についての知識を深める③日常の書字活動に必要なとされるさまざまな知識を学ぶとともに実技能力の向上を図るという3つのテーマをもとにして講義と実技指導をしていきたい。

#### 授業の概要：

文字を正しく整えて書くための字形のとり方や配字法などのポイントについて講義を交えながら実技指導していく。また、細字（小字）や硬筆の指導も行い、実用の書にも対応できるようにしていきたい。

#### 授業の計画：

第1回 用具・用材について  
 第2回 書の美を求めて…書体について  
 第3回 楷書の基本点画  
 第4～9回 楷書の字形…文字の概形  
 第10回 行書の運筆・用筆について  
 第11～15回 行書と字形…楷書と行書の違いと変化  
 ※希望に応じて、年賀状や慶弔の表書きなどの細字（小字）の筆写についての指導も行う。  
 ※毎回の授業にて毛筆と硬筆の筆写を関連させて指導を行う。

#### 授業方法：

講義と実技指導を交えて行う。授業時間の15分程度を書法や字形に関する解説を行ったうえで、残りを実技指導し、毎回、毛筆による清書作品を制作し、その後、硬筆の学習をする。

#### 達成目標：

文字を正しく整えて書くために必要な基礎的な知識を理解し、それらを活かしながら自らの書字能力の向上を図ることを目標とする。

#### 評価方法：

毎回の授業において合格した作品（60%）と出席状況等（40%）を加味して総合的に評価する。

#### 教科書：

全国大学書写書道教育学会編『明解書写教育』（萱原書房／1,500円）  
 書道用具一式（大筆・小筆・紙・墨・硯・下敷き・文鎮等）  
 硬筆用の鉛筆（Bまたは2B程度の硬さの鉛筆が望ましい）

#### 参考文献：

春名好重・三浦康広・杉村邦彦編集『書の基本資料』（中教出版）

#### 実験・実習・教材費：

各自で書道半紙・墨汁など、実技練習に必要なものを用意すること。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30601	英米文学における人物像と言語表現A	2・3・4	2	岩崎宗治

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語表現、含意、人間観	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

1 9世紀イギリス作家オスカー・ワイルド (Oscar Wilde) の短篇小説を読み、(1) 語の辞書的意味、(2) 文章のコンテキストからくる意味、(3) 言語表現からうかがわれる発話者の性格類型と個性と価値観、(4) 英語散文のリズムと意味のかかわり、を研究し、英語の読解力を伸ばすことをめざす。

**授業の概要：**

テキストを精読し、パラグラフのトピック・センテンスとキーワードをとらえ、パラグラフの意味を把握する。「授業のテーマ」(1)～(4)からテーマをえらんで考える。

**授業の計画：**

1.
  - a. 短篇 "The Happy Prince" を読み、友情、愛情、同性愛、について考える。
  - b. 人間関係 (自己と他者、愛と憎しみ) と言語表現について考える。
  - c. 英語散文の意味とリズムのかかわりを研究する。
2.
  - d. "The Nightingale and the Rose" を読み、愛と感情と論理について考える。
  - e. 感情表現の言葉と論理的陳述について研究する。
  - f. 素朴な愛の表現と物質主義的利己主義の言語表現を考える。

**授業方法：**

- (1) 一つの段落のモデル・リーディングのあと、指名された学生は文を朗読し、キーワードを指摘した上で、文の意味を説明する。
- (2) 意味がはっきり把握できない文について、他の受講生は自分の読解を提案する。
- (3) 辞書的意味の奥に二義的な含意をもつ単語について、大きいコンテキストの中で考える。
- (4) 問題点を宿題にすることがある。

**達成目標：**

新しい英語散文に出会ったとき、パラグラフ・リーディングを実践し、表現の表層的な意味だけでなく、そこに含意された意味 (話者の価値観など) を読みとる習慣を獲得する。

**評価方法：**

平常点 (授業における積極性の評価) 30%、筆記試験70% で評価する。

**教科書：**

Oscar Wilde, The Happy Prince and Other Stories (英宝社)。1,200円。

**参考文献：**

授業中に指示する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30701	英米文学における人物像と言語表現B	2・3・4	2	岩崎宗治

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
言語表現、含意、人間観	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

1 9世紀イギリス作家オスカー・ワイルド (Oscar Wilde) の短篇小説を読み、(1) 語の辞書的意味、(2) 文章のコンテキストからくる意味、(3) 言語表現からうかがわれる発話者の性格類型と個性と価値観、(4) 英語散文のリズムと意味のかかわり、を研究し、英語の読解力を伸ばすことをめざす。

**授業の概要：**

テキストを精読し、パラグラフのトピック・センテンスとキーワードをとらえ、パラグラフの意味を把握する。「授業のテーマ」(1)～(4)からテーマをえらんで考える。

**授業の計画：**

1.
  - a. "The Selfish Giant" を読み、登場人物の人間関係 (自己と他者、愛と憎しみ) について考える。
  - b. 言葉にこめられた思想と感情の読みとり方を研究する。
  - c. 文の意味とリズムのかかわりを研究する。
2.
  - d. "The Devoted Friend" を読み、物質主義の欲深い人物と言語表現のかかわりを考える。
  - e. 偽善者の言葉における表層の意味と深層の意図について研究する。
  - f. 言葉と、言葉の意味を決定するコンテキストとしての人間関係について考える。

**授業方法：**

- (1) 一つの段落のモデル・リーディングのあと、指名された学生は文を朗読し、キーワードを指摘した上で、文の意味を説明する。
- (2) 意味がはっきり把握できない文について、他の受講生は自分の読解を提案する。
- (3) 辞書的意味の奥に二義的な含意をもつ単語について、大きいコンテキストの中で考える。
- (4) 問題点を宿題にすることがある。

**達成目標：**

新しい英語散文に出会ったとき、パラグラフ・リーディングを実践し、表現の表層的な意味だけでなく、そこに含意された意味 (話者の価値観など) を読みとる習慣を獲得する。

**評価方法：**

平常点 (授業における積極性の評価) 30%、筆記試験70% で評価する。

**教科書：**

Oscar Wilde, The Happy Prince and Other Stories (英宝社)。1,200 円。

**参考文献：**

授業中に指示する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30801	英米文学A	1・2・3・4	2	森 順子

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、理解・尊重	コミュニケーション力、分析総合の思考力と判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

作家の人生と作品を味わい、深く理解することを目指す。

**授業の概要：**

英米文学の作家と作品を英文で学び、人間の生き方について考察を深める。

**授業の計画：**

1. 概説
2. チョーサー
3. フィリップ・シドニー
4. マーロー
5. 演習
6. シェイクスピア
7. ベン・ジョンソン
8. ジョン・ダン
9. 演習
10. ジョン・ドライデン
11. ポープ
12. サミュエル・ジョンソン
13. 演習
14. オースティン
15. ブレイク

**授業方法：**

英語で書かれた文学史を読み、作品を実際に味わう。毎回、出席者全員で読み進める。

**授業目標：**

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力を習得する。

**評価方法：**

授業の取り組み60%レポート40%

- 英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を完全に達成している…S  
 英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を相応に達成している…A  
 英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を相応に達成しているが、まだ不十分な点がある…B  
 英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力は合格ラインまで満たしている…C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

J.Dougill 著 THE WRITERS OF ENGLISH LITERATURE (Macmillan)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C30901	英米文学B	1・2・3・4	2	森 順子

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
感受性、芸術・学問の味わい、理解・尊重	コミュニケーション力、分析総合の思考力と判断力、美的感受性

**授業のテーマ：**

作家の人生と作品を味わい、深く理解することを目指す。

**授業の概要：**

英米文学の作家と作品を英文で学び、人間の生き方について考察を深める。

**授業の計画：**

1. ワーズワース
2. コウルリッジ
3. バイロン
4. シェリー
5. キーツ
6. 演習
7. テニソン
8. ディケンズ
9. ブロンテ姉妹
10. ハーディー
11. オスカー・ワイルド
12. ローレンス
13. ジョイス
14. T・S・エリオット
15. G・グリーン

**授業方法：**

英語で書かれた文学史を読み、作品を実際に味わう。毎回、出席者全員で読み進める。

**授業目標：**

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力を習得する。

**評価方法：**

授業の取り組み60%レポート40%

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を完全に達成している……S

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を相応に達成している……A

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力の習得を相応に達成しているが、まだ不十分な点がある…B

英文の読解力と文学作品につき独自の意見をまとめ発表する力は合格ラインまで満たしている…C

Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

J.Dougill 著 THE WRITERS OF ENGLISH LITERATURE (Macmillan)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C31001	英語学A	1・2・3・4	2	伊藤光彦

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学校文法、伝統文法、規範文法、記述文法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

現代の英語学は学問領域として対象が広がっています。英語学の学問領域のなかでも、英語学の基礎ともいえる英文法を講義対象とします。英文法は規則集ではありません。そこで、講義の対象とする英文法は学生になじみのある学校文法を基に、伝統文法および記述文法を視野に入れた穏健な文法観にもとづいた文法について講義をします。

#### 授業の概要：

英文法の用語になじみ、学校文法の理解をさらに深め、学校文法に影響を与えた伝統文法、規範文法をも取り入れた穏健な文法論について理解を深める。

#### 授業の計画：

1回	文の種類（1）	9回	進行形
2回	文の種類（2）	10回	動詞の種類と進行形
3回	文の形態と表現内容	11回	法助動詞の法性
4回	文の構成要素と品詞	12回	許可を表す法助動詞
5回	動詞、時、時制について	13回	可能性を表す法助動詞
6回	単純現在形	14回	可能性を表す法助動詞
7回	単純過去形	15回	必然性を表す法助動詞、
8回	完了時制		義務や必要性を表す法助動詞

#### 授業方法：

教科書に従って文法用語、例文、説明文を丁寧に解説する。文法はルールだけを覚えることではなく、表現の違いをできるだけ丁寧に説明して、授業を進める。授業ではこれまでに習った英文法の知識をさらに定着させるように説明を加える。

#### 達成目標：

英文法の用語になれ、既習の学校文法の理解をさらに深める。その上で、伝統文法の有用性を理解し説明できるようにする。

#### 評価方法：

前期末の試験（40％程度）、授業への取り組み（30％）、学期中の1課題（30％程度）により行う。  
 伝統文法に基づく文法を理解し説明できる……………S  
 伝統文法に基づく文法を理解している……………A  
 学校文法に基づく文法を理解している……………B  
 文法用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

#### 教科書：

水鳥喜喬、岡田啓、西村道信共著 『大学英文法入門』 英宝社

#### 参考文献：

江川泰一郎著 『英文法解説』 金子書房

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
C31101	英語学B	1・2・3・4	2	伊藤光彦

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
学校文法、伝統文法、規範文法、記述文法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

現代の英語学は学問領域として対象が広がっています。英語学の学問領域のなかでも、英語学の基礎ともいえる英文法を講義対象とします。英文法は規則集ではありません。そこで、講義の対象とする英文法は学生になじみのある学校文法を基に、伝統文法および記述文法を視野に入れた穏健な文法観にもとづいた文法について講義をします。

**授業の概要：**

英文法の用語になじみ、学校文法の理解をさらに深め、学校文法に影響を与えた伝統文法、規範文法をも取り入れた穏健な文法論について理解を深める。

**授業の計画：**

1回	未来表現を表す単純現在形	9回	as if, as though 節
2回	未来表現を表す現在進行形	10回	主節 + wish +(tha) 仮定法
3回	be going to, will/shall+ 原形不定詞	11回	祈願文、should の仮定法的用法
4回	be + to 不定詞	12回	関係代名詞
5回	過去時における未来	13回	関係形容詞
6回	説明文の条件文	14回	関係副詞
7回	if 条件節と仮定法	15回	不定関係詞、強調構文
8回	前提節が隠されている仮定法		

**授業方法：**

教科書に従って文法用語、例文、説明文を丁寧に解説する。文法はルールだけを覚えることではなく、表現の違いをできるだけ丁寧に説明して、授業を進める。授業ではこれまでに習った英文法の知識をさらに定着させるように説明を加える。

**達成目標：**

英文法の用語になれ、既習の学校文法の理解をさらに深める。その上で、伝統文法の有用性を理解し説明できるようにする。

**評価方法：**

前期末の試験（40％程度）、授業への取り組み（30％）、学期中の1課題（30％程度）により行う。  
 伝統文法に基づく文法を理解し説明できる……………S  
 伝統文法に基づく文法を理解している……………A  
 学校文法に基づく文法を理解している……………B  
 文法用語を説明できる……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

水鳥喜喬、岡田啓、西村道信共著 『大学英文法入門』 英宝社

**参考文献：**

江川泰一郎著 『英文法解説』 金子書房

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
C31201	英語音声学	1・2・3・4	2	城 哲哉

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	C	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語の音、日英語の比較、音声習得	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

英語音声の特徴と機能について理解を深め、その知識が「英語らしい」発音の習得にどう生かせるのかを口頭練習を通して学習する。また日本語話者として英語を習得する際の問題点に着目し、日本語と英語の比較を通してその原因と克服法を探る。

**授業の概要：**

アメリカ英語の音声特徴について、(1) 母音・子音、(2) 連続音声での音声変化、(3) プロソディ(強勢、リズム、イントネーション)の順番で学習を進める。教科書で足りない部分(特に日本語との違いなど)については、こちらでプリントを準備する。

**授業の計画：**

1. 音声器官と音の分類
2. 母音(強母音と弱母音、短母音)
3. 母音(二重母音、三重母音)
4. 母音(弱母音、半弱母音)
5. 母音のまとめ
6. 子音(閉鎖音、摩擦音)
7. 子音(破擦音、鼻音、側面音、半母音)
8. 音節、子音の結合
9. 語間の音連続、音の脱落、同化
10. 子音、音の連続のまとめ
11. 語アクセント、複合語アクセント
12. 文アクセント、強形と弱形、リズム
13. イントネーションの機能と構造
14. 特殊なイントネーション
15. 綴り字と発音

**授業方法：**

单元ごとに理論的な解説をまず行い、残りの時間を発音や聴き取りなどの口頭練習に当てる。従って一方的な講義と言うより実習的な性格が強く、受講生の積極的な参加が必須となる。

**達成目標：**

英語音声学の基礎を養い、その知識を活用して「英語らしい」発音能力を身につける。

**評価方法：**

授業中に実施する実技テスト(50%)とレポート(50%)により行う。  
 英語音声の諸特徴をよく理解し、英語らしさを十分備えた音声表現ができる…S  
 英語音声の諸特徴を理解し、英語らしさを備えた音声表現ができる……………A  
 英語音声の知識を活用し、英語の発音に向上が見られる……………B  
 英語音声に対する基本的な知識をもつ……………C  
 Cのレベルに達していない……………D

**教科書：**

今井由美子他著『英語音声学への扉～発音とリスニングを中心に～』英宝社(1,995円)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D15701	実用英語 I A (TOEIC対策)	2・3	1	(未定)
A32301	実用英語 I (TOEIC対策)	4	(2)	

期間	曜日	時限	備考：(1・2・3年生) 半期1単位科目、(4年生) 通年2単位科目
前期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
検定の英語、読む能力、聞き取る能力	コミュニケーション力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

近年、国同士の相互関係がますます緊密化しつつある国際社会の中で、日本は様々な分野で重要な役割を果たすようになってきている。そうした中で、国際語としての英語の総合的能力を高めるという必要性が増している。この授業では企業でも年々重視されつつある TOEIC Test (Test of English for International Communication) を教材にして英語の運用能力の向上を図る。

**授業の概要：**

リニューアル版 TOEIC Test の問題形式で、その解法のための対策を総合的に行う。TOEIC Test の PART 1 から Part 7 までのすべての問題について、単に解答するのではなく、解答のコツを解説する。

**授業の計画：**

第1回	物の位置と状態を聞き取る	第9回	カジュアルな会話
第2回	英語の語順	第10回	録音メッセージ
第3回	広告文	第11回	雑誌・新聞の記事
第4回	電話での会話	第12回	建物と周りの関係
第5回	スピーチ	第13回	文と文の結びつき
第6回	図表の読み方	第14回	募集と応募の手紙
第7回	人物の動作と様子	第15回	まとめ
第8回	図表と文書		

**授業方法：**

リスニング：各種のリスニング問題に応じた聞き方のコツを示し、練習問題に取り組み、練習問題の英文を空所補充で確認する。

リーディング：文法や読解の解法テクニックを解説し、練習問題に取り組み、重要語句を確認する。

**達成目標：**

TOEIC Test (Test of English for International Communication) で 500 点以上の英語力を習得することを目標とする。

**評価方法：**

授業での取り組み (40%) 試験 (60%)

ノンネイティブとして完璧に近いコミュニケーション能力がある…	S
ノンネイティブとして十分なコミュニケーション能力がある…	A
不十分ながらコミュニケーション能力がある…	B
コミュニケーション能力の素地がある…	C
Cのレベルに達していない…	D

**教科書：**

田中、和田、榊、金子 (著) 『TOEIC テスト：スコアアップのための総合英語』、南雲堂、2100 円 (CD 付き)

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D15801	実用英語 I B (TOEIC対策)	2・3	1	(未定)
A32301	実用英語 I (TOEIC対策)	4	(2)	

期間	曜日	時限	備考：(1・2・3年生) 半期1単位科目、(4年生) 通年2単位科目
後期	木	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
検定の英語、読む能力、聞き取る能力	コミュニケーション力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

近年、国同士の相互関係がますます緊密化しつつある国際社会の中で、日本は様々な分野で重要な役割を果たすようになってきている。そうした中で、国際語としての英語の総合的な能力を高めるという必要性が増している。この授業では企業でも年々重視されつつある TOEIC Test (Test of English for International Communication) を教材にして英語の運用能力の向上を図る。

#### 授業の概要：

リニューアル版 TOEIC Test の問題形式で、その解法のための対策を総合的に行う。TOEIC Test の PART 1 から Part 7 までのすべての問題について、単に解答するのではなく、解答のコツを解説する。

#### 授業の計画：

第1回	同僚とのやり取り	第9回	社内文書
第2回	案内放送	第10回	風景写真の描写
第3回	お知らせ文	第11回	ビジネスレター
第4回	複数の人物の様子	第12回	オフィス内の会話
第5回	紛らわしい前置詞	第13回	ニュース
第6回	説明文とレシピ	第14回	製品などの説明
第7回	ビジネス会話	第15回	まとめ
第8回	ガイドの説明		

#### 授業方法：

リスニング：各種のリスニング問題に応じた聞き方のコツを示し、練習問題に取り組み、練習問題の英文を空所補充で確認する。

リーディング：文法や読解の解法テクニックを解説し、練習問題に取り組み、重要語句を確認する。

#### 達成目標：

TOEIC Test (Test of English for International Communication) で 500 点以上の英語力を習得することを目標とする。

#### 評価方法：

授業での取り組み (40%) 試験 (60%)

ノンネイティブとして完璧に近いコミュニケーション能力がある…	S
ノンネイティブとして十分なコミュニケーション能力がある…	A
不十分ながらコミュニケーション能力がある…	B
コミュニケーション能力の素地がある…	C
Cのレベルに達していない…	D

#### 教科書：

田中、和田、榊、金子 (著) 『TOEIC テスト：スコアアップのための総合英語』、南雲堂、2100 円 (CD 付き)

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21101	住環境デザイン論講義A	1・2・3・4	2	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間、建築、環境、デザイン	美的感受性、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

空間とは何か  
 建築とは何か  
 環境とは何か  
 デザインとは何か について考えます。

**授業の概要：**

デザインとは私たちのまわりの身近な領域やかたちのしくみや関係性を表すものであることを知り、住まいや建築、都市やランドスケープ、そして環境というものが私たちにどのように現れてくるのかを考察します。

**授業の計画：**

- |                                                                                                             |                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <空間について><br>1. 建築のかたち<br>2. 空間とは何か<br>3. 課題講評<br><柔らかな建築><br>4. モダニズムの視線<br>5. 人の領域<br>6. 関係のかたち<br>7. 課題講評 | <景観という意味><br>8. 風土<br>9. アースワーク<br>10. ランドスケープ<br>11. 課題講評<br><領域から環境へ><br>12. 道<br>13. 広場<br>14. 町<br>15. 課題講評 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

**授業方法：**

毎回、テーマをひとつ掲げ、それにかかわる多数の映像をスクリーンにより紹介し、説明を加えます。受講者はスクリーンの画像を見ることによって、感じることによって、空間とは何か、建築とは何か、環境とは何か、そして、デザインとは何か、を検証します。

**達成目標：**

空間や建築、環境やデザインの面白さを感じることを、

**評価方法：**

テーマに取り組み、  
 S：達成目標を超えて、デザインとは何かについて新たな知見を得ることができた。  
 A：達成目標に到達でき、デザインとは何かについて知見を得ることができた。  
 B：十分とは言えないが、デザインとは何かについて知見を得ることができた。  
 C：デザインとは何かについて発見しようとする努力が感じられた。  
 D：取り組みが不足し、デザインとは何かについて発見することができなかった。  
 授業の取り組み点50%、課題レポート並びに発表による点50%

**教科書：**

なし

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21201	住環境デザイン論講義B	1・2・3・4	2	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間、建築、環境、デザイン	美的感受性、分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

空間とは何か  
 建築とは何か  
 環境とは何か  
 デザインとは何か について考えます。

**授業の概要：**

住居や建築、都市やランドスケープなどの具体的なデザインが持つ意味や働きを知り、空間やデザインがどのようにして生み出され、つくられているかを考察します。

**授業の計画：**

- |          |               |
|----------|---------------|
| <建築の始まり> | 8. 意味         |
| 1. 廃墟    | 9. 課題講評       |
| 2. 構成    | <建築をつくるもの>    |
| 3. 大地    | 10. 光と陰       |
| 4. 課題講評  | 11. 色彩        |
| <建築を読む>  | 12. 内と外       |
| 5. 隠喩    | 13. 囲むことと開くこと |
| 6. 象徴    | 14. 秩序と混在     |
| 7. 物語    | 15. 課題講評      |

**授業方法：**

毎回、テーマをひとつ掲げ、それにかかわる多数の映像をスクリーンにより紹介し、説明を加えます。受講者はスクリーンの画像を見ることによって、感じるによって、空間とは何か、建築とは何か、環境とは何か、そして、デザインとは何か、を検証します。

**達成目標：**

建築空間の表わす多様な意味や表現を感じ取ること

**評価方法：**

テーマに取り組み、  
 S：達成目標を超えて、建築とは何かについて新たな知見を得ることができた。  
 A：達成目標に到達でき、建築とは何かについて知見を得ることができた。  
 B：十分とは言えないが、建築とは何かについて知見を得ることができた。  
 C：建築とは何かについて知見を得ようとする努力が感じられた。  
 D：取り組みが不足し、建築とは何かについて知見を得ることができなかった。  
 授業の取り組み点50%、課題レポート並びに発表による点50%

**教科書：**

なし

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21301	住環境デザイン論特殊講義 I A (建築デザイン論)	2・3・4	2	島崎義治

期間	曜日	時限	備考:
前期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築、設計、つくる、プロセス、コンセプト	美的感受性、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力

**授業のテーマ:**

空間とは何か  
 建築とは何か  
 環境とは何か  
 デザインとは何か について深く考えること。

**授業の概要:**

建築家の持つつくる立場から、建築にかかわる組織や分野、設計の進め方や基盤となる理念について考えます。また、<設計プロセス>では、受講者自ら手を動かし、ワークショップ形式で設計エスキスを行います。

**授業の計画:**

- |                                                                                                                           |                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <建築のプロセス><br>1. 設計から建設<br>2. 設計の各段階<br>3. 建築にかかわる組織 1<br>4. 建築にかかわる組織 2<br><建築の分野><br>5. 構造<br>6. 架構<br>7. インテリア<br>8. 設備 | 9. ランドスケープ<br><設計のプロセス><br>10. 基本単位 / アーキタイプ<br>11. ワークショップ<br>12. ワークショップ<br><建築設計論><br>13. 建築家論 1<br>14. 建築家論 2<br>15. 建築家論 3 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

**授業方法:**

毎回、テーマをひとつ掲げ、それにかかわる多数の映像を紹介し、説明を加えます。受講者はスクリーンの画像を見ることと、提起される問題点を深く考察することによって、建築を設計することとはどういうことかを検証します。ディスカッションやワークショップを取り入れるので、発言や質問による積極的な授業参加が必要です。

**達成目標:**

実際の建築が生み出されるプロセスやスタイルを知り、つくる立場から建築やデザインの意味や意義を実感できること。

**評価方法:**

- テーマに取り組み、
- S: 達成目標を超えて、自らの視点によって重要な課題が発見できた。
- A: 達成目標に到達でき、重要な課題が発見できた。
- B: 十分とは言えないが、課題が発見できた。
- C: 課題を発見しようとする努力が感じられた。
- D: 取り組みが不足し、課題発見にも至らなかった。
- 授業の取り組み点 60%、課題レポートの提出ならびに発表による点 40%

**教科書:**

無し。

**参考文献:**

必要に応じ説明します。

**実験・実習・教材費:**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21401	住環境デザイン論特殊講義 I B (建築デザイン論)	2・3・4	2	島崎義治

期間	曜日	時限	備考:
後期	金	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築、設計、つくる、プロセス、コンセプト	美的感受性、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力

#### 授業のテーマ:

空間とは何か  
 建築とは何か  
 環境とは何か  
 デザインとは何か について深く考えること。

#### 授業の概要:

建築を構成する要素の意味や働きを考察した上で、実際のモデルとなる現代建築を視察し、その分析を行い、課題レポートとして提出する。

#### 授業の計画:

1～4 <建築の素材や意味> 5. <6～15の説明>  
 ①基礎 6～10  
 ②屋根 「秋野不矩美術館」視察  
 ③壁 11～15  
 ④窓 「瞑想の森市営斎場 各務原市営扇平苑火葬場」視察  
 ⑤階段

#### 授業方法:

3日間の集中講義にて実施します。1日目は大学において講義を行い(1～5)、2日目以降は1限から本宿駅より「秋野不矩美術館」、「瞑想の森市営斎場 各務原市営扇平苑火葬場」に向かいます。

#### 達成目標:

建築を構成する要素の意味や働きを考え、それらのそれぞれに内蔵される社会性や芸術性を発見すること。

#### 評価方法:

テーマに取り組み、  
 S: 達成目標を超えて、自らの視点によって重要な課題が発見できた。  
 A: 達成目標に到達でき、重要な課題が発見できた。  
 B: 十分とは言えないが、課題が発見できた。  
 C: 課題を発見しようとする努力が感じられた。  
 D: 取り組みが不足し、課題発見にも至らなかった。  
 授業の取り組み点60%、課題レポートの提出による点40%

#### 教科書:

#### 参考文献:

#### 実験・実習・教材費:

なし(ただし、必要な交通費、昼食費、入館料(秋野不矩美術館)は各自負担のこと。また、学生らしい清潔な服装、歩きやすい靴、カメラ、筆記用具などが必要です。)  
 見学場所は以下の通りですが、状況によって変更となる場合もあります。その場合は同じような交通費や所要時間の適当な施設を提示します。

「秋野不矩美術館」(入館料300円)  
 天竜浜名湖線「二俣本町」徒歩約15分  
 (駅間の片道交通費約1500円、所要時間約2時間)  
 浜松市天竜区二俣町二俣130  
 設計: 藤森照信

「瞑想の森市営斎場 各務原市営扇平苑火葬場」  
 名鉄各務原線「各務原市役所前」徒歩約30分  
 (駅間の片道交通費約1400円、所要時間約1時間30分)  
 岐阜県各務原市那加扇平2番地5  
 設計: 伊東豊雄

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21701	住環境デザイン論プロゼミナール	2・3・4	2	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
描く、つくる、表現する	美的感受性、コミュニケーション力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

デザインを行うための基本となる手法、技術、精神を習得し、  
空間とは何か  
建築とは何か  
環境とは何か  
デザインとは何か について考えます。

#### 授業の概要：

基本的な空間造形の制作を試みます。制作する課題作品の内容や進め方を説明した後、各自の制作状況を見ながら随時アドバイスやサポートを行います。受講者自ら、課題作品に取り組み、作品として完成させることで授業が進みます。

#### 授業の計画：

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt; A. オリエンテーション &gt;<br/>1-2. 制作のための道具や図面、PC 作業について説明する</p> <p>&lt; B. モデュロールを描く &gt;<br/>3-5. デザインの基本となる人体寸法を測定し、それらを CG により表現する</p> <p>&lt; C. 高校キャンパスを 2 次元に表わす &gt;<br/>6-9. 高校キャンパスを 6 色の型紙や CG により表現する。</p> <p>&lt; D. 立方体から住まいを考える &gt;<br/>10-15. 3 m × 3 m × 3 m の立方体に住まいの装置を組み込み、それらを組み合わせ、住居として制作する。</p> | <p>&lt; E. 本宿ウォーキングマップ制作 &gt;<br/>16-22. 本宿を歩き、まちから語りかけられる様々な断片を記録し、ウォーキングマップとして描き、まちを分析する。</p> <p>&lt; ポケットパークの設計 &gt;<br/>23-30 本宿地域において計画地を自ら選定し、配置計画、モデル制作を行い、ポケットパークを設計する。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### 授業方法：

住環境デザイン実習室で制作を行います。研究室の PC やプリンター、製図板などの備品を使いますが、課題制作用の簡単な道具は（購入品リストは提示します。）を各自購入してください。消耗品、モデル材料等は実習費で購入します。

#### 達成目標：

- ・ 図面やスケッチを描き、モデルを制作し、空間を描く。
- ・ フォットショップ、イラストレーターなど CG により表現する。
- ・ つくりたい、人に伝えたいという表現意欲を持って課題作品を完成させる。

#### 評価方法：

テーマに取り組み、  
S：達成目標を超えて、独自のイメージを卓越した表現で表わし、課題作品を完成させることができた。  
A：達成目標に到達でき、独自のイメージで課題作品を完成させることができた。  
B：十分とは言えないが、課題作品を完成させることができた。  
C：イメージを表現しようとする努力が感じられた。  
D：取り組みが不足し、課題作品を完成させることができなかった。  
授業の取り組み点 40%、課題作品 60%

#### 教科書：

なし。

#### 参考文献：

必要に応じ説明します。

#### 実験・実習・教材費：

2,000 円

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B21801	住環境デザイン論演習及び実習	3・4	4	島崎義治

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
通年	木	4・5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間、建築、環境、デザイン	美的感受性、コミュニケーション力、問題解決力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

具体的な設計課題に取り組み、自ら課題作品を制作することによって、  
空間とは何か  
建築とは何か  
環境とは何か  
デザインとは何か について深く考えます。

#### 授業の概要：

年間4～5程度の課題作品を制作します。各課題ごとに取り組むべき内容や進め方を説明した後、受講者の制作状況を見ながら随時アドバイスやサポートを行います。提出期限に合わせ、受講者自ら研究、設計制作を行い、課題作品を完成させます。

#### 授業の計画：

- <前期>  
1. 公園美術館計画  
2. カフェテリア計画  
<後期>  
3. ファンスワース邸改築計画  
4. 本宿公民館計画

#### 授業方法：

授業時は毎回、受講者自ら進めてきた検討内容を報告したり、互いに意見交換を行ったり、教員がアドバイスをしたりすることで、課題作品を高め、作品として完成させてゆくことで授業が進みます。住環境デザイン研究室のPCやプリンター、製図板などの備品を使いますが、課題や図面制作、モデル制作のための道具等を各自購入のこと。モデル等の制作材料、アウトプット用消耗品等は実習費で購入します。

#### 達成目標：

- ・課題作品に潜む社会の問題点を探求し、取り組むテーマを発見する。
- ・テーマを具現化するコンセプトを発見し、魅力ある建築空間をつくる。
- ・つくりたい、人に伝えたいという表現意欲を持って課題作品を完成させる。
- ・美しくプレゼンテーションする技術とセンスを磨く。

#### 評価方法：

テーマに取り組み  
S：自らの独自の表現によって達成目標を超えて、重要な課題を発見することができた。  
A：達成目標に到達でき、重要な課題を発見することができた。  
B：十分な表現とは言えないが、課題を発見することができた。  
C：課題を発見しようとする努力が感じられた。  
D：取り組みが不足し、課題の発見に至らなかった。  
授業の取り組み点40%、課題作品による点60%

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

必要に応じ説明します。

#### 実験・実習・教材費：

15,000円：課題制作用消耗品（モデル一般材料、文房具、画材、印刷用消耗品等）

#### ■継続研究

岡崎市ウォーキングマップ、岡崎市街並み調査、などゼミの継続研究にも積極的に参加してください。副専攻学生の課題内容は建築作品には限定しないので、副専攻学生の受講も歓迎です。



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D22301	景観文化論特殊講義 I A (植生変動の景観生態学)	2・3・4	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考:
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物多様性、生態系評価、地理空間情報、土地利用管理	問題解決力、グローバルな視野

**授業のテーマ:**

景観生態学(ランドスケープ・エコロジー)とは、景観形成に係わりを持つ環境因子の相互作用、および人間との係わりに着目し、地域システム全体の形成・維持がどのように行われているかを解明しようとする学問である。本講義ではその基礎的理論について理解し、景観を構造-機能-変化の視点から読み解く方法を修得することを目標とする。

**授業の概要:**

本講義では、景観生態学の理論と実際の分析手法について解説し、その環境保全や地域計画に果たすべき役割について考えてみる。

**授業の計画:**

- |                 |     |   |               |
|-----------------|-----|---|---------------|
| 1. 序論           | 9.  | 〃 | (半自然草地)       |
| 2. 景観生態学の概念と方法  | 10. | 〃 | (農村生態系)       |
| 3. 景観とスケール      | 11. |   | 景観パターンの定量化    |
| 4. 景観のパターン      | 12. |   | 景観の攪乱動態       |
| 5. 景観パターンの成因    | 13. |   | 生物と景観パターン     |
| 6. 〃 (山地・高山地因子) | 14. |   | 景観における生態的プロセス |
| 7. 〃 (湿地)       | 15. |   | まとめ           |
| 8. 〃 (崩壊地・河畔林)  |     |   |               |

**授業方法:**

通常の講義形式をとる。図表やスライド等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。

**達成目標:**

景観生態学の基礎的理論について理解し、その環境問題に対処する役割について理解する。

**評価方法:**

定期試験(50%)と授業への取り組み(50%)で評価する。

**教科書:**

特に指定しない。教材は適宜配布する。

**参考文献:**

- 横山秀司、『景観の分析と保護のための地生態学入門』、古今書院、3,360円  
 日本造園学会編、『ランドスケープ・エコロジー ランドスケープ大系』、技報堂出版、5,460円  
 小泉武栄、『日本の山はなぜ美しい-山の自然学への招待』、古今書院、2,730円  
 武内和彦ほか編、『里山の環境学』、東京大学出版会、2,940円  
 吉川賢,山中典和,大手信人編、『乾燥地の自然と緑化』、共立出版、3,990円

**実験・実習・教材費:**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D22401	景観文化論特殊講義 I B (植生変動の景観生態学)	2・3・4	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考:
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生物多様性、生態系評価、地理空間情報、土地利用管理、緑化	問題解決力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ:

地域をはじめとする空間を「景観要素の不均一な場」としてとらえ、そのパターンとプロセスが生物に与える影響を検討する景観生態学の知見は、生物多様性保全、地域生態系の管理、都市計画など、土地利用にかかわるすべてのケースで応用可能である。本講義では景観生態学の理論をこれらの問題解決の道具の一つとして理解し、修得することを目標とする。

#### 授業の概要:

本講義では景観生態学の知見をもとに、都市部におけるみどりの消失から地球規模での砂漠化に至る、さまざまな空間スケールでの環境問題への対処について、実例を交え解説する。

#### 授業の計画:

1. データの取得と分析 (衛星画像)
2.       "
3. データの取得と分析 (空中写真)
4. データの取得と分析 (地理情報システム)
5. 都市環境とビオトープネットワーク
6. 里山の生態系の管理
7. 農村生態系の管理
8. ミティゲーションと HEP
9. 自然生態系の評価と修復
10.       "
11. 自然公園の管理
12. 乾燥地のモニタリングと管理
13.       "
14. 地域生態系のランドデザイン
15. まとめ

#### 授業方法:

通常の講義形式をとる。図表やスライド等を多用し、視覚的に理解させることを心がける。

#### 達成目標:

景観生態学の応用的側面について理解し、将来における国土・土地利用管理のあり方を考え、提言できる力を身につける。

#### 評価方法:

定期試験 (50%) と授業への取り組み (50%) で評価する。

#### 教科書:

特に指定しない。教材は適宜配布する。

#### 参考文献:

- 森本幸裕・小林達明編、『最新 環境緑化学』、朝倉書店、4,095 円  
 横山秀司、『景観の分析と保護のための地生態学入門』、古今書院、3,360 円  
 日本造園学会編、『ランドスケープ・エコロジー ランドスケープ大系』、技報堂出版、5,460 円  
 小泉武栄、『日本の山はなぜ美しいー山の自然学への招待』、古今書院、2,730 円  
 武内和彦ほか編、『里山の環境学』、東京大学出版会、2,940 円  
 吉川賢、山中典和、大手信人編、『乾燥地の自然と緑化』、共立出版、3,990 円

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D22701	景観文化論プロゼミナール	2・3・4	2	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
造園、緑地、ガーデニング、設計、景観情報	コミュニケーション力、問題解決力、美的感受性

**授業のテーマ：**

本科目では、広い方面での活動が期待される現代の造園や環境・緑地デザインの分野に携わる上で必要な、基礎的な知識と技術の修得を目標とする。

**授業の概要：**

植物に関する基礎知識から空間の設計、景観情報の分析等について、おもに実習を通じ理解を深める。

**授業の計画：**

1. 概説（空間のとらえ方、造園にかかわる植物の基本的知識、分類、生理生態など）
2. ガーデニング実習（園芸技術の基礎の修得）
3. 緑地計画・設計実習（製図の基礎の修得、庭園・公園等の設計、プレゼンテーション）
4. 野外調査実習（各種測器の使用とデータ分析）
5. 数値情報の解析の基礎（国土数値情報、数値地図の加工と分析）
6. 景観情報の公開（デジタルカメラ、Web技術を用いたインタラクティブマップ作成）
7. 文献購読 など

**授業方法：**

ガーデニング実習は実習農場で行い、その他は実習室や演習室、PC教室等で行う。実習の性格上、汚れても良いような服装での参加を求められることがある。

**達成目標：**

造園や環境・緑地デザインの分野に関する基礎的な知識と技術を身につけるとともに、3年次以降の実習に取り組む上での心構えを養う。

**評価方法：**

成果物（レポートや制作物、50%）と授業への取り組み（50%）で評価する。

**教科書：**

特に指定しない。教材は適宜配布する。

**参考文献：**

八木健一『はじめてのランドスケープデザイン』（学芸出版社）  
その他適宜指示する。

**実験・実習・教材費：**

3,000円（ガーデニング実習材料費（種、苗木、肥料など）、製図消耗品費として使用）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D22801	景観文化論演習及び実習	3・4	4	守村敦郎

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
通年	火	3・4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
造園、緑地、ガーデニング、設計、景観情報	コミュニケーション力、問題解決力、美的感受性

**授業のテーマ：**

講義やプロゼミでの内容をふまえ、おもに実習により、景観（緑地）や庭園等に関するより実際的なものの見かたと技術を修得する。

**授業の概要：**

緑地や園芸の分野に係わるさまざまな技術を幅広く紹介し、4年次の卒業論文課題に結びつけるように指導する。取り扱うテーマは学生の興味なども参考とし決定する。

**授業の計画：**

- ・緑地の調査と計画に関する技術の修得（岡崎市内の公園や景観を対象とする）
- ・CADなどによる緑地設計技術の修得
- ・リモートセンシングやGISによる緑地の診断技術の修得
- ・ガーデニング・デザイン（寄植、室内園芸等）技術の修得
- ・特定種品種系統と育成技術等の修得
- ・土壌診断技術の修得
- ・植物の生理生態特性（蒸散量、水ポテンシャルなど）の計測技術の修得など

**授業方法：**

野外実習は実習農場や演習林等で行い、その他は実習室や演習室、PC教室等で行う。実習の性格上、汚れても良いような服装での参加を求めることがある。

**達成目標：**

造園や環境・緑地デザインの分野に関する、実務レベルに近い知識と技術の習得、また卒業研究テーマに向けた方向性を具体的に得ることを目標とする。

**評価方法：**

成果物（レポートや制作物、50%）と授業への取り組み（50%）で評価する。

**教科書：**

特に指定しない。教材は適宜配布する。

**参考文献：**

適宜紹介する。

**実験・実習・教材費：**

3,000円（ガーデニング実習材料費（種、苗木、肥料など）、データ購入費、野外見学費として使用）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21101	茶道文化論講義A	1・2・3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
茶道 茶道具 茶人 茶室 露地	グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

「茶道文化の基礎知識を学ぶ」

日本人としてのアイデンティティを確立する上で伝統文化として茶道の「道・学・実」を座学として学ぶ。茶道文化全般の知識を学ぶ。

#### 授業の概要：

茶道文化全般の概説をする。裏千家の「ことば」、四規七則、利休道歌より茶道のこころを学ぶ。茶の伝来と発展、茶道の成立、千利休から十六代坐忘斎家元まで歴代について、茶室と露地について概説する。

#### 授業の計画：

1, 裏千家の「ことば」、利休道歌、四規七則について

2～10, 茶の伝来と発展

- (1) 茶道の成立
- (2) 千利休・少庵・宗旦について
- (3) 裏千家歴代について
- (4) 茶室と露地について
- (11)～(14) 茶道具について
- (15) まとめ

#### 授業方法：

一年を通して茶道の基本的な知識を解説します。基本的な覚えるべきことは小テストをします。茶道検定（4級・3級・2級・1級）によって自分の茶道力を確認します。

#### 達成目標：

茶道の基本的な知識・用語を理解する。

#### 評価方法：

前期末試験（60％程度）と授業への取り組み（30％程度）ほかに茶道検定評価（10％程度）筆記試験とレポート課題

#### 教科書：

『裏千家茶道』（財団法人今日庵発行／900円）

裏千家茶道検定3・4級用（1,260円）

#### 参考文献：

佐々木三味著『茶器とその扱い』（淡交社／2,940円）

茶道資料館編『茶道具の鑑賞と基礎知識』（淡交社／2,200円＋税）

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21201	茶道文化論講義B	1・2・3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
風炉と炉 茶事 茶業	グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

「茶道具の取り合わせ」

季節を通しての茶道具の取り合わせを学び、お茶の季節感を体得する。また「茶の湯と陰陽五行」、「茶室における亭主と客の位置関係」について学び、茶室空間を体得する。茶の集大成である茶事の解説。

#### 授業の概要：

裏千家の「ことば」、四規七則、利休道歌を授業のはじめに唱道して茶道のこころを学ぶ。

掛物・花入・釜・風炉・香合・炭道具・水指・茶入・薄茶器・茶杓・茶碗・水屋道具など茶道具全般の形、場と格、拝見と扱い、分類を解説して、季節の取り合わせを学ぶ。

#### 授業の計画：

- (1) 風炉と炉について、それぞれの茶道具について
- (2) 茶の湯と陰陽五行、十二支十干について
- (3) 八炉について
- (4) 茶室における亭主と客の距離について
- (5) 茶事について

#### 授業方法：

茶道の基本的な知識を解説します。基本的な覚えるべきことは小テストをします。

茶道文化論講義Aで培った知識を奥行きを深める授業となります。茶道は繰り返し繰り返しの学習によってらせん状的に茶道力が身につくものです。

#### 達成目標：

茶室・茶道具・茶事など茶の湯文化全般を理解する。

#### 評価方法：

後期末試験（60％程度）と授業への取り組み（30％程度）ほかに茶道検定評価（10％程度）筆記試験とレポート課題

#### 教科書：

神谷昇司監修『茶室のしくみ』（淡交社／2,600円）

茶道検定3級・4級用（1,260円）

#### 参考文献：

佐々木三味著『茶器とその扱い』（淡交社／2,940円）

淡交社編集局編『茶の湯と陰陽五行』（淡交社／1,800円＋税）

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21301	茶道文化論特殊講義 I A (茶道史)	2・3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
北山文化 東山文化	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ：**

「生活芸術としての茶の湯文化を日本文化史の中で探求する」

**授業の概要：**

日本独自の伝統文化としての茶道は、平和のシンボルとして現代の日本人の心のよりどころとなるものです。茶の湯文化の変容・発展過程を王朝文化、南北朝・室町文化史の中で捉えて考察する。

**授業の計画：**

茶はもともと中国で飲用され、中国文化として我が国に将来された。唐時代の団茶、宋時代の抹茶、明時代の煎茶と時代により、茶の湯文化は変容するが、特に抹茶は、南北朝から室町時代にかけてわが国の様々な生活芸術の一つとして確立する。

(1) 花開く王朝文化

- 1、 貴族の文化
- 2, 3、 喫茶の始まり
- 4、 絵画と書
- 5, 6、 土器から陶器へ

(2) 茶道・香道・華道と水墨画

- 7, 8、 室町將軍家と諸文化
- 9, 10、 茶の湯の成立
- 11, 12、 華道・香道・連歌
- 13, 14、 水墨画の時代
- 15、 まとめ

**授業方法：**

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

**達成目標：**

茶の湯文化の背景を学ぶ

**評価方法：**

前期末試験（60％程度）と授業への取り組み（30％程度）ほかに茶道検定評価（10％程度）筆記試験とレポート課題。

**教科書：**

- よくわかる伝統文化の歴史「花ひらく王朝文化」（淡交社 1,680 円）  
よくわかる伝統文化の歴史「茶道・香道・華道と水墨画」（淡交社 1,680 円）

**参考文献：**

谷端昭夫著「日本史のなかの茶道」（淡交社 2,000 円＋税）

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21401	茶道文化論特殊講義 I B (茶道史)	2・3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考:
後期	月	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
南蛮文化 千利休 武家茶の湯	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野

**授業のテーマ:**

「生活芸術としての茶の湯文化を日本文化史の中で探求する」

**授業の概要:**

日本独自の伝統文化としての茶道は、平和のシンボルとして現代の日本人の心のよりどころとなるものです。茶の湯文化の変容・発展過程を安土・桃山の文化史、江戸の文化史の中で捉えて考察する。

**授業の計画:**

千利休によって確立した茶の湯文化とその変容を日本文化史の中で考察する。

(1) 黄金文化と茶の湯

- 1, 2、 南蛮文化と黄金文化
- 3, 4、 茶の湯の黄金時代
- 5, 6、 新しい焼き物の時代
- 7、 衣服と染織

(2) 大名と町衆文化

- 8, 9、 江戸文化の諸相
- 10, 11、 武家茶の湯の拡がり
- 12, 13、 数寄空間の展開
- 14、 琳派と諸工芸
- 15、 まとめ

**授業方法:**

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

**達成目標:**

茶の湯文化の歴史を日本史の背景の中で把握し、日本文化の中での茶道の影響を学ぶ

**評価方法:**

後期末試験 (60%程度) と授業への取り組み (30%程度) ほかに茶道検定評価 (10%程度) 筆記試験とレポート課題。

**教科書:**

よくわかる伝統文化の歴史「黄金文化と茶の湯」(淡交社 1,680円)  
よくわかる伝統文化の歴史「大名と町衆の文化」(淡交社 1,680円)

**参考文献:**

「日本史のなかの茶道」(淡交社 2,000円+税)

**実験・実習・教材費:**

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21701	茶道文化論プロゼミナール	2・3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本文化 茶の湯	分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

「茶道のこころ」

茶道は「道・学・実」を三位一体としてはじめて習得できるものである。知識として学び、実技に生かすことを目標とする

**授業の概要：**

専門用語を理解し、日本文化が凝縮された茶の湯文化を知識として学ぶ

**授業の計画：**

前期

- (1) (2) お茶の種類と効能
- (3) (4) (5) 日本の文化と茶の湯文化
- (6) (7) (8) (9) (10) 茶の湯の歴史
- (11) (12) (13) 茶の湯の考え方
- (14) 利休の茶
- (15) まとめ

後期

- (1) (2) 日本美術と茶の湯
- (3) (4) (5) (6) (7) (8) 美の「カタチ」－茶の湯の表現
- (9) (10) (11) 十二か月の茶会記
- (12) (13) (14) 茶室のしくみ
- (15) まとめ

履修者のレベルにあわせて、後期は実技を中心に「道・学」の一体化をめざす場合もある。

**授業方法：**

教科書に即して講義形式で進めますが、ある程度のレベルで各自分担してレジメを作り、発表していただきます。履修者のレベルにあわせて、後期は実技を中心に「道・学」の一体化をめざす場合もあります。

**到達目標：**

日本の文化と茶の湯文化の位置付けを理解する。

**評価方法：**

授業への取り組み（60%）、小レポート（30%）、茶道検定評価（10%）

**教科書：**

谷見著『茶の湯の文化』（淡交社／1,600円＋税）  
神谷昇司監修『茶室のしくみ』（淡交社／2,600円）

**参考文献：**

授業時に紹介する。

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D21801	茶道文化論演習及び実習	3・4	4	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
珠光 武野紹鷗 詠歌大概 「冷・凍・寂・枯」 山上宗二記	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、 価値判断力（意思決定力）、美的感受性

**授業のテーマ：**

「珠光・紹鷗の美学と茶事の実践」

**授業の概要：**

茶の湯大成者である千利休の師「武野紹鷗」について。紹鷗の茶・紹鷗の美学など紹鷗に関わる事柄を挙げ、利休と紹鷗を言及する。また利休伝書『山上宗二記』から紹鷗と利休の精神を学ぶ。そして利休にとっての茶祖「珠光」とは茶事の実践をする。

**授業の計画：**

前期

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1、「南方録」と「山上宗二記」について | 2、紹鷗美学の礎        |
| 3、珠光名物と紹鷗名物         | 4、紹鷗の茶の湯        |
| 5、佗数寄と本数寄           | 6、利休の創意         |
| 7、武野紹鷗とわび           | 8、利休にとっての茶祖「珠光」 |

後期

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1、茶祖・珠光について | 2、茶の湯の興り  |
| 3、大壺の次第     | 4、茶碗その他   |
| 5、墨蹟・掛絵     | 6、花入の次第   |
| 7、茶入の次第     | 8、茶湯者覚悟十体 |

**授業方法：**

教科書に従って解説し、事前に学生が適宜学生が資料を集め、分担して発表させる。

**達成目標：**

茶の湯開山「珠光」、千利休の師「武野紹鷗」の茶を通して利休の茶を理解する。

**評価方法：**

発表とレポート課題（70％程度）授業への取り組み（30％）

**教科書：**

矢部良明著『武野紹鷗』（淡交社／3800円＋税）  
矢部良明著『茶の湯の祖、珠光』（淡交社／3600円）

**参考文献：**

神津朝夫著『千利休の「わび」とはなにか』（角川選書／1500円＋税）  
筒井紘一著『山上宗二記を読む』（淡交社／3500円）

**実験・実習・教材費：**

3,000円（茶事の実験材料費、消耗品費）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23101	日本美術文化論講義A	1・2・3・4	2	菅原 太

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
透視図法 モダンアート ジャポニスム 印象派 浮世絵	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、 美的感受性

**授業のテーマ：**

東洋・日本絵画の特質をルネサンス以降の西洋絵画と比較しながら浮彫りにしてゆこうとするのがこの講義です。近代合理主義的世界観を記述する基盤であったルネサンスの透視図法。それに反旗を翻したモダンアートとその空間表現に影響を与えた日本美術など、著名な美術作品を“空間表現”を軸にみてゆきます。

**授業の概要：**

絵画における空間表現＝その時代、地域の世界観の記述という観点から、西洋と東洋、日本の世界観や美意識の違いと影響関係、近代美術がどのように成立したのかをみてゆく。

**授業の計画：**

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 授業の概要説明      | 9. 西洋近代絵画 1   |
| 2. ルネサンス美術 1    | 10. 西洋近代絵画 2  |
| 3. ルネサンス美術 2    | 11. 西洋近代絵画 3  |
| 4. 透視図法 1       | 12. 印象派と浮世絵 1 |
| 5. 透視図法 2       | 13. 印象派と浮世絵 2 |
| 6. 透視図法とその問題点 1 | 14. 印象派と浮世絵 3 |
| 7. 透視図法とその問題点 2 | 15. まとめ       |
| 8. 東西絵画にみる遠近法   |               |

\* 授業により適切な資料の入手や展覧会の開催等があった場合は内容変更あり。

**授業方法：**

主にプリント図版を使い、映像を交えながらの授業となる。

**達成目標：**

「空間」という観点から西洋美術、東洋美術、日本美術、近代美術それぞれの相違点や類似点、影響関係を把握する。

**評価方法：**

- 期末テスト70%、出席30%
- ・ 作品を理解した上で自分の美意識や価値観に沿った意見を述べられる…S
  - ・ 歴史的変遷に沿った作品の主題や様式、技法を理解している……………A
  - ・ 作品の主題や様式、技法を理解している……………B
  - ・ 作品名、作者、制作年代、形式、技法を知っている……………C
  - ・ Cレベル未満・出席不良……………D

**教科書：**

**参考文献：**

- 辻茂『遠近法の誕生』朝日新聞社 2,600円  
 ロバート・L・ソルソ『脳は絵をどのように理解するか』新曜社 3,500円  
 鈴木杜幾子『画家ダヴィッド』晶文社 4,200円  
 馬淵明子『ジャポニスムー幻想の日本』ブリュッケ 3,500円

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23201	日本美術文化論講義B	1・2・3・4	2	菅原 太

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
マネ セザンヌ ピカソ キュビズム	分析・総合の思考力と判断力、グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

東洋・日本絵画の特質をルネサンス以降の西洋絵画と比較しながら浮彫りにしてゆこうとするのがこの講義です。近代合理主義的世界観を記述する基盤であったルネサンスの透視図法。それに反旗を翻したモダンアートとその空間表現に影響を与えた日本美術、さらに絵画空間そのものが終焉を迎え、現代に到るまでをみてゆきます。

**授業の概要：**

“絵画における空間表現＝その時代、地域の世界観の記述”という観点から、西洋と東洋、日本の世界観や美意識の違いと影響関係を、モダンアートから現代までの美術作品を通してみてゆく。

**授業の計画：**

1. 西洋の伝統的絵画空間とマネ 1
2. 西洋の伝統的絵画空間とマネ 2
3. 日本美術とマネ
4. セザンヌの静物画と時空表現 1
5. セザンヌの静物画と時空表現 2
6. セザンヌ的視点から見た東洋絵画
7. セザンヌ的視点から見た日本絵画
8. 初期のピカソ
9. 分析的キュビズム
10. 総合的キュビズム
11. ピカソと造形主義
12. ピカソと絵画空間の終焉
13. 現代美術と空間 1
14. 現代美術と空間 2
15. まとめ

\*授業により適切な資料の入手や展覧会の開催等があった場合は内容変更あり。

**授業方法：**

主にプリント図版を使い、映像を交えながらの授業となる。

**達成目標：**

「空間」という観点から西洋美術、東洋美術、日本美術、近代美術それぞれの相違点や類似点、影響関係を把握する。

**評価方法：**

期末テスト70%、出席30%

- ・ 作品を理解した上で自分の美意識や価値観に沿った意見を述べられる…S
- ・ 歴史的変遷に沿った作品の主題や様式、技法を理解している……………A
- ・ 作品の主題や様式、技法を理解している……………B
- ・ 作品名、作者、制作年代、形式、技法を知っている……………C
- ・ Cレベル未満・出席不良……………D

**教科書：**

**参考文献：**

- 岩田誠『見る脳・描く脳』東京大学出版会 2,600円  
 ミシェル・フーコー 阿部崇訳『マネの絵画』筑摩書房 3,500円  
 浅野春男『セザンヌとその時代』東信社 2,300円

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23301	日本美術文化論特殊講義 I A (空間表現と美術制作)	2・3・4	2	菅原 太

期間	曜日	時限	備考:
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
近世風俗画 美人画 浮世絵 錦絵 遊女	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、美的感受性

**授業のテーマ:**

街頭や車内広告、テレビCM、雑誌の表紙にいたるまで、現代の視覚環境には美しい女性イメージが反乱しています。それらを“美人画”の範疇と考えると、そのルーツは近世に遊女を描くことから始まり、やがて浮世絵として広く普及していったと考えられます。講義では日本絵画の空間表現や身体表現を、日本人にとって関心の高い“美人画”を通して見てゆきます。

**授業の概要:**

17世紀の婦女遊楽図に始まり、浮世絵へと展開する風俗図・美人図を軸に、日本絵画の空間・身体を考える。

**授業の計画:**

1. 授業の概要説明
2. 近世風俗画の成り立ち
3. 屏風と空間
4. 彦根屏風とその空間・身体表現 1
5. 彦根屏風とその空間・身体表現 2
6. 松浦屏風とその空間・身体表現
7. 湯女図屏風とその空間・身体表現
8. 寛文美人図とその空間・身体表現
9. 初期浮世絵の成り立ち
10. 錦絵の成り立ち
11. 鈴木春信とその空間・身体表現
12. 鳥居清長とその空間・身体表現
13. 喜多川歌麿とその空間・身体表現
14. 葛飾北斎とその空間・身体表現
15. まとめ

\* 授業により適切な資料の入手や展覧会の開催等があった場合は内容変更あり。

**授業方法:**

プリントされた図版や映像を使った講義。

**達成目標:**

日本の古典絵画に親しみ、現代との美意識や価値観の共通点・相違点を考え、日本文化を理解する。

**評価方法:**

期末テスト70%、出席30%

- ・ 作品を理解した上で自分の美意識や価値観に沿った意見を述べられる …S
- ・ 歴史的変遷に沿った作品の主題や様式、技法を理解している ……A
- ・ 作品の主題や様式、技法を理解している ……B
- ・ 作品名、作者、制作年代、形式、技法を知っている ……C
- ・ Cレベル以下・出席不良 ……D

**教科書:**

**参考文献:**

- 佐伯順子 『遊女の文化史』 中央公論社 699円  
 奥平俊六 『彦根屏風 - 無言劇の演出 -』 平凡社 3,500円  
 佐藤康宏 『湯女図 - 視線のドラマ -』 平凡社 2,900円

**実験・実習・教材費:**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23401	日本美術文化論特殊講義 I B (空間表現と美術制作)	2・3・4	2	菅原 太

期間	曜日	時限	備考:
後期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
琳派 光悦 宗達 光琳 屏風絵	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ:

琳派と呼ばれる一群の近世の日本絵画は、西洋絵画はもちろんのこと近代以前に常に影響を受けた中国絵画とも全く違う絵画表現とされています。その琳派作品を通して日本人独自の感性や表現とは何かを考え、その宇宙観や思想、美意識に触れます。

#### 授業の概要:

琳派(俵屋宗達、尾形光琳、酒井抱一を中心に)の絵画の持つ空間意識や、それに託された意味を考える。

#### 授業の計画:

1. 琳派について
2. 琳派と空間表現
3. 本阿弥光悦と俵屋宗達
4. 俵屋宗達と舞楽図屏風
5. 俵屋宗達と水墨画
6. 俵屋宗達と風神雷神図屏風
7. 尾形光琳
8. 尾形光琳と燕子花図屏風 1
9. 尾形光琳と燕子花図屏風 2
10. 尾形光琳と燕子花図屏風 3
11. 尾形光琳と紅白梅図屏風 1
12. 尾形光琳と紅白梅図屏風 2
13. 酒井抱一と江戸琳派
14. 酒井抱一と夏秋草図屏風
15. まとめ

\*授業により適切な資料の入手や展覧会の開催等があった場合は内容変更あり。

#### 授業方法:

プリントされた図版や映像を使った講義。

#### 達成目標:

日本の古典絵画に親しみ、現代との美意識や価値観の共通点・相違点を考え、日本文化を理解する。

#### 評価方法:

- 期末テスト70%、出席30%
- ・ 作品を理解した上で自分の美意識や価値観に沿った意見を述べられる …S
  - ・ 歴史的変遷に沿った作品の主題や様式、技法を理解している ……A
  - ・ 作品の主題や様式、技法を理解している ……B
  - ・ 作品名、作者、制作年代、形式、技法を知っている ……C
  - ・ Cレベル以下・出席不良 ……D

#### 教科書:

#### 参考文献:

玉虫 敏子『夏秋草図屏風 - 追憶の銀色 -』平凡社 3,200円

#### 実験・実習・教材費:

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23701	日本美術文化論プロゼミナール	2・3・4	2	菅原 太

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
源氏物語絵巻 信貴山縁起絵巻 映画 マンガ アニメーション	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

現代のマンガに至るまで、日本人は静止画である絵に物語という時間表現を担わせようと果敢に取り組んで来ました。中でも900年前の平安時代の絵巻は優れた物語表現で知られています。プロゼミでは『国宝源氏物語絵巻』『信貴山縁起絵巻』を中心に、他の物語絵巻や映画・アニメーションとも比較しつつ、その時空表現をレポートや作品制作によって探求します。

#### 授業の概要：

前期 文字による表現である物語を、絵巻はどのように視覚化しているのか。国宝源氏物語絵巻の絵を、時空表現をテーマに、詞書や文献資料の他、物語を描いた絵画、マンガ、映画、アニメーション等様々な視覚メディアの技法を手がかりにして読み解いてゆく。

後期 文字による表現である物語を、絵巻はどのように視覚化しているのか。信貴山縁起絵巻の絵を素材にコマ割りのマンガを制作することでその時空表現を考える。

#### 授業の計画：

##### 前期

国宝源氏物語絵巻の絵について担当を決め、各自がレポートを作成、発表し、討議をおこなう。

1. 授業の概要説明
2. 絵巻の時間表現
3. 国宝源氏物語絵巻の時間表現
4. マンガの時間表現
5. 映画の時間表現
6. ～ 14. 各自分担を決めてレポート作成、発表、討議
15. まとめ

##### 後期

信貴山縁起絵巻を、絵巻形式からコマ割りのマンガ表現に置き換える。

1. 授業の概要説明
2. 『信貴山縁起絵巻』の時空表現
3. 「飛倉の巻」の時間分析
4. 「延喜加持の巻」の時間分析
5. 「尼公の巻」の時間分析
6. ～ 13. 作品制作
- 14.15. 作品発表

#### 授業方法：

レポート作成、発表、討議、作品制作等

#### 達成目標：

日本の古典美術に慣れ親しみ、その特質を理解する。

#### 評価方法：

出席40%、レポート30%、提出作品30%

- ・ 作品を理解した上で自己の美意識や価値観に沿った創意工夫のある課題・レポートの提出・発表…S
- ・ 十分な作品理解と創意工夫のある課題・レポートの提出・発表 …………… A
- ・ 十分な作品理解のある課題・レポートの提出・発表 …………… B
- ・ 基礎的な作品理解のある課題・レポートの提出・発表 …………… C
- ・ 課題・レポートの未提出・出席不良 …………… D

#### 教科書：

前期：佐野みどり『じっくり見たい国宝源氏物語絵巻』小学館 1,900円

後期：泉武夫『信貴山縁起絵巻』小学館 1,900円

#### 参考文献：

高畑勲『十二世紀のアニメーション』徳間書店 3,780円

ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー 1』フィルムアート社 3,360円

#### 実験・実習・教材費：

3,000円。

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D23801	日本美術文化論演習及び実習	3・4	4	菅原 太

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本画 絵巻 屏風 扇	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、美的感受性

**授業のテーマ：**

日本絵画を素材に、彩色画、水墨画、コラージュ、CG等、様々なアプローチによる作品制作をおこない、伝統文化を現代の生活空間の中で、どのように再生させていくかを考える。

**授業の概要：**

生活空間（3次元）に存在する絵画（2次元）の形式として、日本絵画の現代的な可能性を探る。

**授業の計画：**

前期：

絵巻の使用法と構造の研究  
 テーマ設定と素材と技法の選択  
 素材の収集やラフ案の作成  
 制作案のプレゼンテーション

後期：

作品制作  
 制作物の展示とプレゼンテーション

**授業方法：**

画材による描画彩色やCGによる制作の実習と発表。

**達成目標：**

絵巻・屏風・扇等、日本絵画形式を生かした表現法と使用法の創出

**評価方法：**

出席20%、提出作品50%、プレゼンテーション30%。

- ・日本絵画形式を理解した上で自己の美意識や価値観に沿った創意工夫のある課題・レポートの提出・発表…S
- ・日本絵画形式の理解と創意工夫のある課題・レポートの提出・発表 ……A
- ・日本絵画形式を十分に理解した課題・レポートの提出・発表 ……B
- ・日本絵画形式をふまえた課題・レポートの提出・発表 ……C
- ・課題・レポートの未提出・出席不良 ……D

**教科書：**

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

5,000円



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D31001	華道文化論A	1・2・3・4	2	三浦友馨

期間	曜日	時限	備考：
前期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・庭先で咲く花を知る・植物の原産地と移動物語・万葉の人々のこのみの花は・平安の人々のこのみの花は・文化人のこのむ花は	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

**授業のテーマ：**

日本の文化・芸能は、四季の変化の中で生み出され、発展してきた。他文化との関連を見ながらいけばなの原点を見つめる。

**授業の概要：**

- ・春・夏に咲く花の名前、特徴を知らせる。
- ・植物と文化とのかかわりを知らせる。

**授業の計画：**

- ・三回のレポートに基づき授業を展開する。
- ・発表することにより、知識の蓄積をめざす。

**授業方法：**

基本的には、講義方式をとるが、実際には身のまわりに咲く、草花に触れながら理解を深める。3回のレポート提出により、学生の発表の場を授業とする。

**達成目標：**

古代・近代にとりあげられた様々の植物の存在を知る。個々の植物の持つ特徴を知る。

**評価方法：**

レポート提出及び出席状況による。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

仙伝抄、立華大全、池坊花伝書などの古文献

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D31101	華道文化論B	1・2・3・4	2	三浦友馨

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・庭先で咲く花を知る・植物の原産地と移動物語・万葉の人々のこのみの花は・平安の人々のこのみの花は・文化人のこのむ花は	分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）、美的感受性

**授業のテーマ：**

いけばなや植物は、様々な行事に大きな影響を与えてきた。将来、植物が人々の生活にいかなる活力を与えるのか、思考を深める。

**授業の概要：**

秋の七草、クリスマスの花、正月の花について考え、授業での発表により知識を深める。

**授業の計画：**

- ・秋の七草の特徴を知るためのレポートとその発表の場としての授業を展開する。
- ・クリスマスの花、正月の花も同様に展開し、新たな行事の花について考察をする。

**授業方法：**

基本的には、講義方式をとるが、3回のレポート提出により、学生の発表の場を授業とする。

**達成目標：**

今日の日本人が大切にしている様々な行事と植物との関連を知る。新たな行事の花を考えてみる。

**評価方法：**

レポート提出及び出席状況による。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

仙伝抄、立華大全、池坊花伝書などの古文献

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D31401	美術・デザイン基礎実習	1・2・3・4	2	菅原 太

期間	曜日	時限	備考：
通年	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
石膏デッサン プロポーション カラーコーディネート	コミュニケーション力、問題解決力、美的感受性

**授業のテーマ：**

色や形をどうすれば美しく表現できるのか。絵が上手いとか、色のセンスが良いというのは才能だけの問題ではありません。ちょっと視点を変えた訓練によって潜在的な能力が目覚めるものです。美術、デザイン、マンガ、イラストレーション等、ジャンルを問わず色と形の“基礎体力”を養います。

**授業の概要：**

前期：石膏デッサン  
石膏像をモチーフに、プロポーション（比例）に重点を置いた、美しい形態や構成の追求。鉛筆と画用紙を使用。  
後期：色彩基礎  
配色カード、ポスターカラーを用いた、配色、混色等、基礎的な色彩理論実習。

**授業の計画：**

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>前期：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 石膏像の解説と、用具の説明。</li> <li>2. アグリッパ像のデッサン</li> <li>3. アグリッパ像のデッサン</li> <li>4. 合評会</li> <li>5. マルス像のデッサン</li> <li>6. マルス像のデッサン</li> <li>7. 合評会</li> <li>8. ラボルト像のデッサン</li> <li>9. ラボルト像のデッサン</li> <li>10. ラボルト像のデッサン</li> <li>11. 合評会</li> <li>12. ミロのヴィーナス像のデッサン</li> <li>13. ミロのヴィーナス像のデッサン</li> <li>14. ミロのヴィーナス像のデッサン</li> <li>15. 合評会</li> </ol> | <p>後期：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 色彩の基礎理論講義。</li> <li>2. 配色カードによる色の3属性とトーン概念のカラーチャート制作。</li> <li>3. 等色相面図の作成。</li> <li>4. テーマを設定した配色実習</li> <li>5. テーマを設定した配色実習</li> <li>6. テーマを設定した配色実習、合評会</li> <li>7. 水彩絵具による混色と配色の演習</li> <li>8. 水彩絵具による混色と配色の演習</li> <li>9. 水彩絵具による混色と配色の演習</li> <li>10. ファッションカラーコーディネート実習</li> <li>11. ファッションカラーコーディネート実習</li> <li>12. ファッションカラーコーディネート実習、合評会</li> <li>13. インテリアカラーコーディネート実習</li> <li>14. インテリアカラーコーディネート実習</li> <li>15. インテリアカラーコーディネート実習、合評会</li> </ol> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

\* 各石膏像につき2～3回。4グループに分かれての持ち回りとなるので順序不同。

\* 受講生の進行状況により変更あり。

**授業方法：**

鉛筆を使ったデッサン。色彩カードと水彩絵具（デザインガッシュ）による色彩演習。各課題終了後には合評会を設ける。

**達成目標：**

プロポーションの理解、配色に重点を置き、描写力、構成力、色彩感覚といった美術・デザインの基礎的な技術・感性の習得をめざす。

**評価方法：**

- 提出作品（年間8課題くらい）による評価。  
出席40%、課題作品60%
- ・ 基礎的な技術、感性を踏まえた上での、作品をより効果的に伝達する為の創意工夫、自己の価値観や美意識を反映した作品制作 …………… S
  - ・ 与えられた課題と素材の十分な理解、技法の習得、作品をより効果的に伝達する為の創意工夫 …… A
  - ・ 与えられた課題と素材の基礎的な理解と技法の習得 …………… B
  - ・ 与えられた課題と素材の基礎的な理解と課題提出 …………… C
  - ・ 課題の未提出・出席不良 …………… D

**教科書：**

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

画材・材料費 3,000円

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32501～04	茶道実習 I	1・2・3・4	2	片山(金/1・2・3) 片山・熊谷(土/1)

授業コード	期間	曜日	時限	授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
D32501	通年	金	1	D32503	通年	金	3	
D32502	通年	金	2	D32504	通年	土	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
和敬清寂 薄茶 盆略点前 床の間	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

#### 授業のテーマ：

「座礼の日本文化である茶道を通して主客の心を学ぶ」

#### 授業の概要：

点前の規律正しさ、節度ある人との対応の仕方、人間としての本来の姿を養うことを目的とする。亭主と客の動作の実習を通して茶道の真の相を学び、和敬清寂の茶道精神を体得し、人に対しても物に対しても気配りのできる感性豊かな人間形成を目指す

#### 授業の計画：

以下の手順にて実習：

(前期)

- (1) 襖のあけしめ、お辞儀の仕方 真、行、草  
お菓子、お茶の頂き方
- (2) (3) ふくさの扱い方、割稽古
- (4) 席入りの仕方、床の拝見
- (5) (6) (7) (8) 盆略点前
- (9) (10) 柄杓の扱い方
- (11) (12) (13) (14) 風炉 薄茶 平点前
- (15) 柏露軒茶会

(後期)

- (1) ～ (7) 風炉運び点前
- (8) ～ (14) 炉運び点前
- (15) 柏露軒茶会

#### 授業方法：

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」の唱和

前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

#### 達成目標：

茶道の基本である盆略点前とび薄茶平点前を習得する。茶道文化検定を受検して茶道力を養う。

#### 評価方法：

授業への取り組みを重視。

申請によって裏千家初級の資格（入門・小習・茶箱の許状）が取得できます。

#### 教科書：

『裏千家茶道』（財団法人今日庵発行／900円）

裏千家茶道文化検定3・4級用（1,260）

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費） 道具を持っていない場合は別途道具代が必要  
（履修の手引き「茶道の許状取得と茶道実習の履修方法」参照）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32601~04	茶道実習Ⅱ	2・3・4	2	片山(金/1・2・3) 片山・熊谷(土/1)

授業コード	期間	曜日	時限	授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修抽選対象科目
D32601	通年	金	1	D32603	通年	金	3	
D32602	通年	金	2	D32604	通年	土	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
風炉と炉 平点前 茶箱	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

#### 授業のテーマ：

「茶道の作法を通して日本文化の心を学ぶ」  
 棚薄茶点前及び風炉濃茶点前、また茶箱点前を習得致します。

#### 授業の概要：

実習Ⅰに引きつづき実習Ⅱでは、風炉濃茶点前・炉薄茶（はこび・棚）の実習を致します。履修者には茶通箱・唐物・台天目の裏千家許状取得の資格が得られます。なお茶通箱・唐物・台天目・盆点・和巾についてはその内容についての説明と点前・盆点・和巾手順を解説いたします。

#### 授業の計画：

1. 風炉 薄茶 平点前
2. 棚の扱い
3. 風炉 濃茶 割けい古
4. 濃茶における客の作法
5. 風炉 濃茶 平点前
6. 炉 薄茶 平点前
7. 炉 薄茶 棚
8. 茶箱 卯の花点 和敬点

#### 授業方法：

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」の唱和  
 前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

#### 達成目標：

棚薄茶点前及び風炉濃茶点前、また茶箱点前を習得する。また茶道文化検定を受検して茶道力を養う。

#### 評価方法：

授業への取り組みを重視。  
 「ことば」「四規七則」「利休道歌」「歴代家元」等暗誦の為の小テスト

#### 教科書：

『裏千家茶道』（財団法人今日庵発行／900円）  
 裏千家茶道文化検定3・4級用（1,260）

#### 参考文献：

『茶道教本 風炉』（淡交社／1,200円＋税）  
 『茶道教本 炉』（淡交社／1,200円＋税）

#### 実験・実習・教材費：

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32701	茶道実習Ⅲ	3・4	2	神谷・熊谷

期間	曜日	時限	備考：
通年	土	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
荘物（かざりもの） 濃茶 棚点前	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

**授業のテーマ：**

「くりかえし反復練習して五感と体で覚える」

**授業の概要：**

各学生のレベルに合わせて棚薄茶点前、荘物（かざりもの）点前、運び濃茶点前を実習します。奥伝（唐物、台天目、盆点、和巾点）の説明と点前の心構えの説明を致します。履修者の内、特に優秀な学生には「行之行台子」の裏千家許状取得が得られます。なお行台子については、その内容についての説明と点前手順の解説を致します。

実習Ⅱに引き続き、前期は風炉棚薄茶点前、荘物、濃茶運び点前、後期は炉棚薄茶点前、荘物、濃茶運び点前習の実習を致します。

**授業の計画：**

（前期）風炉	（後期）炉
1, 2, 更好棚薄茶点前	1, 2, 更好棚薄茶点前
3, 4, 丸卓薄茶点前	3, 4, 丸棚薄茶点前
5, 6, 桑小卓薄茶点前	5, 6, 桑小卓薄茶点前
7, 荘物における客の作法	7, 荘物における客の作法
8, 茶筥荘	8, 茶筥荘
9, 茶碗荘	9, 茶碗荘
10, 茶杓荘	10, 茶杓荘
11, 濃茶の割り稽古	11, 12, 13, 14, 炉濃茶運び点前
12, 13, 14, 風炉濃茶運び点前	15, 柏露軒茶会
15, 柏露軒茶会	

**授業方法：**

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」を唱和。各自のレベルに応じて棚薄茶・荘物・濃茶の点前を反復実習します。客の作法も学びます。

前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

**達成目標：**

薄茶と濃茶の違いを習得する。茶道文化検定（2級・3級・4級）を受検して茶道力を養う。

**評価方法：**

出席を重視

「利休道歌」「歴代家元」、「楽家代々」等暗誦の為の小テスト

**教科書：**

茶道検定公式テキスト（1・2級用）（2,100円）

**参考文献：**

『茶道教本 小習事全伝 上』（淡交社／1,575円）

**実験・実習・教材費：**

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32801	茶道実習Ⅳ	3・4	2	神谷・熊谷

期間	曜日	時限	備考：
通年	土	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
四ヶ伝（茶通箱・唐物・台天目・盆点）	コミュニケーション力、社交性（社会的相互関係力）、美的感受性

**授業のテーマ：**

「茶の湯とは心に伝え目に伝え耳に伝えて一筆もなし」  
 茶道は繰り返し練習することで五感と体で覚える。

**授業の概要：**

各学生のレベルに合わせて、茶通箱（さつうばこ）、唐物、台天目、盆点、和巾点の実習を致します。これらの点前を習得した履修者には行の行台子の点前実習を致します。履修者の内、特に優秀な学生には「大円之草（だいえんのそう）」と「引次（ひきつぎ）」の裏千家許状取得の資格が得られます。なお大円之草についてはその内容についての説明と点前手順の解説を致します。実習Ⅲに引き続き、茶通箱を習得し、奥伝の実習を致します。なお優秀な学生には行の行台子の点前の実習を致します。基本的に前期は風炉点前：後期は炉点前

**授業の計画：**

- 1, 2. 茶通箱（さつうばこ）
- 3, 4. 唐物（からもの）
- 5, 6. 台天目（だいてんもく）
- 7, 8. 盆点（ほんだて）
- 9, 10. 和巾点（わきんだて）
- 11, 12. 行の行台子
- 13, 14. 初炭（しょずみ）
15. 柏露軒茶会

**授業方法：**

授業のはじめに「ことば」「利休道歌」「四規七則」を唱和。各自のレベルに応じて濃茶・荘物・四ヶ伝の点前を反復実習します。客の作法も学びます。前期、後期各一度ずつ名古屋にある神谷柏露軒・孤庵・猿庵にて、茶室見学並びに実習をいたします。

**達成目標：**

もう一度初心に戻って茶道に対する心構えを見直す。茶道文化検定（1級・2級・3級）を受検して茶道力を養う。

**評価方法：**

授業への取り組みを重視  
 「利休道歌」「歴代家元」「楽家代々」「茶道知識」等暗誦の為の小テスト、

**教科書：**

茶道検定公式テキスト（1・2級用）(2,100円)

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

10,000円（抹茶・菓子代、消耗品費）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D32901~02	華道実習 I A (生花)	1・2・3・4	(1)	加藤碧玻

授業コード	期間	曜日	時限	備考：I A・I B両方取得して2単位
D32901	通年	木	3	
D32902	通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

生花の基本的技法、知識を学ぶ。

池坊華道の一様式である「生花」の実習を通して、日本伝統文化の感性と意義を見出し、国際人としての人格形成の一助とする。

**授業の概要：**

1. 草木の見つめ方、ため方、省略など基本的な花材の生かし方を学ぶ。
1. 草木の自然と出生の表現を学ぶ。
1. 一種生、二種生を中心とした基本的な正風体生花を修得する。
- ◎一種生
  1. 生花の役枝真副体での構成を学ぶ
  1. 真副体のあしらいの枝、方向性を学ぶ
- ◎二種生
  1. 二種生の体を学ぶ
  1. 真副の草木に対しての体の草木の選び方を学ぶ

**授業の計画：**

第1～第8 一種生

第9～第15 二種生

※季節の植物を生けますので、その植物の一番美しい時を選びますから変動も有ります。

**授業方法：**

手本を生けながら説明した後、実習を行い、生け上がった作品を一作ずつ手直しをする。

**達成目標：**

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

**評価方法：**

出席率、授業態度を評価するが、半期に一度実習テストを行う。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

「池坊いけばなテキスト生花Ⅰ・生花Ⅱ」（日本華道社／各683円）

**実験・実習・教材費：**

26,040円（「生花」花代 @ 840 × 30回分 + @ 840正月花）

道具を持っていない場合は、別途道具代が必要（約3,100円）



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33001~02	華道実習 I B (自由花)	1・2・3・4	(1)	三浦友馨(3限) 加藤碧玻(4限)

授業コード	期間	曜日	時限	備考：I A・I B両方取得して2単位
D33001	通年	金	3	
D33002	通年	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・たての花をいけてみよう。・よこの花をいけてみよう。・ななめの花をいけてみよう。・自由花入門コースを経験してみよう。	価値判断力(意思決定力)、グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

教室の使い方、道具、花材の基本的使い方を身につける。  
 華道実習を通し、日本の伝統文化の真髄に触れつつ、その美の鑑賞の仕方を身につける。  
 基礎的技術を身につけ、美しい「いけばな」をつくりだす。  
 植物の美しさに気がつき、その生かし方を勉強する。

**授業の概要：**

- ・季節ごとの花材を手にするにより、その性質を学ぶ。
- ・花材の配置、配色による美しい造形を追求する。
- ・花器との調和、飾る場所との調和を追求する。
- ・自由花入門カリキュラムにそって段階を区切り実習を深める。

**授業の計画：**

入門カリキュラムに添って、花器・花材の取りあつかいを知る。

**授業方法：**

当日使用する花材の名前や性質について説明する。  
 花器を選択し、形づくりを考える。

**達成目標：**

基礎的な自由花を身につけることと、作法を身につける。

**評価方法：**

作品の評価 40%、授業態度 30%、出席率 30% 等による。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

26,880円 (「自由花」花代 @840 × 30回分 + @840 × 2回分 正月花、クリスマス花)  
 道具を持っていない場合は、別途道具代が必要 (約3,100円)

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33101~02	華道実習ⅡA（生花）	2・3・4	(1)	加藤碧玻

授業コード	期間	曜日	時限	備考：ⅡA・ⅡB両方取得して2単位
D33101	通年	木	3	
D33102	通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

#### 授業のテーマ：

日本の風土と精神が育てた「生花」をさらに深く学ぶことにより、日本人の美意識を再確認し、日本伝統文化の理解の一助とする。

ⅡAでは基本的技法を踏まえた生花三種生を学ぶとともに、現代的な生花新風体を習得する。

#### 授業の概要：

1. 正風体としての生花三種生を修得する
  1. 現代の生活環境に適応した生花新風体を習得する
  1. 三種生と生花新風体の違いを学ぶ
- ◎三種生
1. 一種生、二種生にはない、装飾的な明るい生花を学ぶ

#### 授業の計画：

- 第1～第5 一種生  
 第6～第10 二種生  
 第11～第15 三種生

※季節の植物を生けますので、その植物の一番美しい時を選びますから変動も有ります。

#### 授業方法：

手本を生けながら説明した後、実習を行い、生け上がった作品を一作ずつ手直しをする。

#### 達成目標：

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

#### 評価方法：

出席率、授業態度を評価するが、半期に一度実習テストを行う。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

「池坊いけばなテキスト生花Ⅰ・生花Ⅱ」（日本華道社／各683円）

#### 実験・実習・教材費：

26,040円（「生花」花代 @ 840 × 30回分 + @ 840 正月花）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33201~02	華道実習ⅡB（自由花）	2・3・4	(1)	三浦友馨（3限） 加藤碧玻（4限）

授業コード	期間	曜日	時限	備考：ⅡA・ⅡB両方取得して2単位
D33201	通年	金	3	
D33202	通年	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・入門から応用へ。・楽しく飾ろう。・植物とお友達に。	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

#### 授業のテーマ：

華道実習を通じ、日本文化の一端に触れつつ、新しい生活スタイルの中で生きる美しい「いけばな」を追求する。

美しい「いけばな」実習の経験から、豊かな人間性を創りだす。

#### 授業の概要：

季節ごとに変化する花材の性質、名前を知る。

配置、配色により美しい「いけばな」の原理を追求する。

「いけばな」の中での花器の役割を知り、よりよい方向を追求する。

草木の美と、構成の美を結合することにより、さらに美しい「いけばな」のできることを体験する。

ⅢB、ⅣBの学生との合併クラスになる為、先輩の良いところを学ぶ。

#### 授業の計画：

- ・応用の手がかりを知る。
- ・正しい作法を知る。

#### 授業方法：

当日の花材の名や、特長について説明する。

花材と花器との調和について考えさせる。

花器に対する「いけばな」構成について考えさせる。

#### 達成目標：

- ・花器、花材と親しむことができた
- ・礼儀正しいいけばなをすることができた

#### 評価方法：

作品からの評価（配置、配色、軽重、大小など）40%

実習態度20%、出席率40%

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

26,880円（「自由花」花代 @840 × 30回分 + @840 × 2回分 正月花、クリスマス花）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33301~02	華道実習ⅢA（生花）	3・4	(1)	加藤碧玻

授業コード	期間	曜日	時限	備考：ⅢA・ⅢB両方取得して2単位
D33301	通年	木	3	
D33302	通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

自然の植物をより深く理解し、植物それぞれの持つ特徴（出生）を引き出し、「生花」という様式の中に表現する。

池坊の現行伝書に基づいて古典を学び、意義を見い出す。

**授業の概要：**

1. 形式にとらわれない生花新風体の理解を深める。
1. 季節に応じた生け方の工夫を学ぶ。
1. 古典生花の現代的応用。

**授業の計画：**

前期はⅡAに順ずる

後期は生花新風体を勉強

**授業方法：**

手本を生けながら説明した後、実習を行い、生け上がった作品を一作ずつ手直しをする。

**達成目標：**

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

**評価方法：**

出席率、授業態度を評価するが、半期に一度実習テストを行う。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

「池坊いけばなテキスト生花Ⅰ・生花Ⅱ」（日本華道社／各 683 円）

**実験・実習・教材費：**

26,040 円（「生花」花代 @ 840 × 30 回分 + @ 840 正月花）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33401~02	華道実習ⅢB（自由花）	3・4	(1)	三浦友馨(3限) 加藤碧玻(4限)

授業コード	期間	曜日	時限	備考：ⅢA・ⅢB両方取得して2単位
D33401	通年	金	3	
D33402	通年	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・植物大好き人間に。・応用って楽しい。・変幻自在に。	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

華道実習を通じ、豊かな人間性を見出す。  
日本伝統文化に触れつつ、新しい生活スタイルの中で生きる「いけばな」を追求する。  
I、IIの経験をふまえ、一層高度な技術と知識を身につける。

**授業の概要：**

季節にあった「いけばな」、飾る場・時にあった「いけばな」を経験し身につける。  
構成の原理を知り、「いけばな」の中で追求する。  
他の造形についても興味をもち、「いけばな」との関連を学ぶ。  
II B、IV Bとの合併クラスになる為、他の人の個性に触れる。

**授業の計画：**

- ・適材適所のいけばなを経験する。
- ・いけばなの楽しさを味わう。

**授業方法：**

花材の特長を、実習から花材の軽重・長短などを考えさせる。  
花器の色・質・形について考えさせる。

**達成目標：**

- ・応用力をつけることができた
- ・他の造形との関連を知ることができた

**評価方法：**

作品の出来により評価する。40%  
授業態度 20%、出席率 40%

**教科書：**

なし

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

26,880円（「自由花」花代 @840 × 30回分 + @840 × 2回分 正月花、クリスマス花）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33501~02	華道実習ⅣA（生花・伝花）	3・4	(1)	加藤碧玻

授業コード	期間	曜日	時限	備考：ⅣA・ⅣB両方取得して2単位 ※8月29日、30日に集中講義（伝花）があります。
D33501	通年	木	3	
D33502	通年	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
楽しい時間、癒し、対話	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

日本の伝承美である生花を、池坊の現行伝書に基づいて再現し、その技法を学ぶと共に、「生花」本来の美の認識を新にする。

「伝花」は古典の花器を使用し、特殊な花形を実習する。

**授業の概要：**

1. 古典の花器（御玄猪等）を使用して、剣山ではなく花配り（花留め）を勉強、実習する。
1. 竹の二重切の花器で花の花形を生ける。
1. 「生花」の株分けである水陸二株生、魚道生の実習。

**授業の計画：**

第1～第15 ⅢAに順ずる  
集中講座にて伝花

**授業方法：**

手本を生けながら説明し、その後実習、生け上がった作品を手直し。

**達成目標：**

自然界にある（生育している）植物の美しさをとらえる目を養う。

**評価方法：**

出席率と授業態度、そして半期に一度実習テスト。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

「池坊いけばなテキスト生花Ⅰ・生花Ⅱ」（日本華道社／各683円）

**実験・実習・教材費：**

34,440円（「生花」花代 @ 840 × 30回分 + @ 840 正月花、「伝花」花代 @ 840 × 10回分）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D33601~02	華道実習ⅣB（自由花・立花）	3・4	(1)	三浦友馨(3限) 加藤碧玻(4限)

授業コード	期間	曜日	時限	備考：ⅣA・ⅣB両方取得して2単位 ※8月27日、9月3日に集中講義（立花）があります。
D33601	通年	金	3	
D33602	通年	金	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
・立花まで経験してみよう。・いけばなの原形を見 てみよう。・学外でのいけばなを見てみよう。	価値判断力（意思決定力）、グローバルな視野、美 的感受性

#### 授業のテーマ：

最終年度として、経験した知識と技術を確認しつつ、さらに深い感性を身につける。それを実生活  
の中で生かす工夫をする。

後期は、立花集中実習を通し、立花の理論と技術を体験する。

#### 授業の概要：

自由花 — 小さな作品・大きな作品、縦長・横長の作品などを経験し、さまざまな空間に適応する  
自由花を実習する。

立花 — 集中講義により、立花の造形理論とその空間を学習する。  
基礎的な理論とその鑑賞のしかたを身につける。

#### 授業の計画：

- ・適材適所のいけばなを経験する。
- ・いけばなの楽しさを味わう。

#### 授業方法：

テーマを決め、様々な空間に生きる自由花を楽しみつつ、経験させる。  
立花の実習により、その理論と空間を経験させる。

#### 達成目標：

- ・応用力をつけることができた
- ・他の造形との関連を知ることができた

#### 評価方法：

作品から評価 40%  
授業態度 20%、出席率 40%

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

35,280円（「自由花」花代 @840 × 30回分 + @840 × 2回分 正月花、クリスマス花 + 「伝花」花代  
@840 × 10回分）

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31201	建築設計製図 I	1・2・3	2	暮石哲真
B31101	設計製図	4		

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	金	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
製図法、描法、美的構成法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

- ・ 建築図面（配置図・平面図・立面図・断面図等）の基本的な描き方を習得する。
- ・ 上記以外の建築図面（内観パース等）の描き方や表現方法について習得する。
- ・ 建築図面を理解するために必要な専門知識等の学習を行う。

#### 授業の概要：

建築図面の基本知識を学び、建築図面の基本的な描き方について習得するまで到達することとする。

#### 授業の計画：

- 建築設計製図(2時限連続)
1. 建築図面の種類・内容について
  2. 製図用具の使い方と線の引き方
  3. 配置図の描き方 1
  4. 配置図の描き方 2
  5. 1階平面図の描き方 1
  6. 1階平面図の描き方 2
  7. 1階平面図の描き方 3
  8. 2階平面図の描き方 1
  9. 2階平面図の描き方 2
  10. 立面図及び断面図の描き方 1
  11. 立面図及び断面図の描き方 2
  12. その他の図面の描き方 1
  13. その他の図面の描き方 2
  14. 講評会(全体)
  15. まとめ

#### 授業方法：

授業の前半で、建築における必要な専門知識について実際の工事写真や教科書を見ながら講義を行う。  
後半で、学生各自が課題の建築図面を描き、その進捗状況のあわせて指導および評価を行う。

#### 達成目標：

課題の建築図面の指導をとおり、図面の描き方を習得することを目標とする。

#### 評価方法：

授業の取り組み 60%、課題の建築図面 40%により総合的に評価する。

#### 教科書：

< 建築のテキスト > 編集委員会、『初めて学ぶ建築製図』、学芸出版社

#### 参考文献：

他随時、授業中に提示する。

#### 実験・実習・教材費：



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31301	建築設計製図Ⅱ	2・3・4	2	暮石哲真

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	水	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間分析、空間設計、空間構成	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

- ・ 建築設計の課題(戸建て住宅・店舗付住宅等)に対して、設計条件の把握分析を行う能力を身につける。
- ・ 分析できた設計条件をもとに、建築図面としてまとめ上げる能力を身につける。
- ・ 建築図面の内容の適正や・正確さおよび表現力を身につける。

#### 授業の概要：

建築設計の課題の分析から、エスキスをとおして考え方をまとめる能力を身につけ、建築図面の表現方法を習得するまで到達することとする。

#### 授業の計画：

- 建築設計製図(2時限連続)
1. 第一課題(戸建て住宅)の提示と課題内容についての講義
  2. エスキス(建築設計案のスケッチ)の発表 1
  3. エスキス(建築設計案のスケッチ)の発表 2
  4. 建築図面作成 1
  5. 建築図面作成 2
  6. 建築図面作成 3
  7. 第一課題の提出建築図面の講評会
  8. 第二課題(店舗付住宅等)の提示と課題内容についての講義
  9. エスキス(建築設計案のスケッチ)の発表 1
  10. エスキス(建築設計案のスケッチ)の発表 2
  11. 建築図面作成 1
  12. 建築図面作成 2
  13. 建築図面作成 3
  14. 第二課題の提出建築図面の講評会
  15. まとめ

#### 授業方法：

学生の作製するエスキス(建築設計案のスケッチ)・建築図面について、マンツーマンで指導を行い、建築空間設計の基礎を学ぶ。

#### 達成目標：

設計条件の分析とエスキスをとおして、考え方をまとめる能力を身につけ、建築図面の完成まで到達することを目標とする。

#### 評価方法：

エスキス・建築図面等に取り組む姿勢 40%、成果品として提出された建築図面の内容 60%を総合的に判断する。

#### 教科書：

＜建築のテキスト＞編集委員会、『初めての建築計画』、学芸出版社

#### 参考文献：

日本建築学会編、『コンパクト 建築設計資料集成』、丸善  
 宮後浩、『宮後浩の 超簡単！プレゼンテクニック』、学芸出版社  
 他随時、授業中に提示する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31401	建築設計製図Ⅲ	2・3・4	2	暮石哲真

期間	曜日	時限	備考：
通年	水	3	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
空間設計、CAD、表現・伝達技法	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

- ・前期：建築設計課題 に対して、設計条件の把握分析を行う能力を身につける。  
分析できた設計条件をもとに、建築図面としてまとめ上げる能力を身につける。
- ・後期：建築CAD(二次元)の操作を体得し、CADをもちいて建築図面を作成する能力を習得する。
- ・前期及び後期を通じて、描いた建築図面の適正さや・正確さを学習し、更にプレゼン用建築図面の表現力及び発表の仕方を身につける。

#### 授業の概要：

前期：建築設計の課題の分析から、エスキスをとおして空間構築の楽しみを感じ、建築図面の表現方法を習得するまで到達することとする。  
後期：建築CADをもちいて、建築図面を作成する能力を習得するまで到達することとする。

#### 授業の計画：

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(前期)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題(幼稚園等)の提示と課題についての講義</li> <li>2. 設計条件の把握分析についての発表 1</li> <li>3. 設計条件の把握分析についての発表 2</li> <li>4. エスキス(建築設計案のスケッチ) 1</li> <li>5. エスキス(同上) 2</li> <li>6. エスキス(同上) 3</li> <li>7. エスキス(同上) 4</li> <li>8. 建築図面作成 1</li> <li>9. 建築図面作成 2</li> <li>10. 建築図面作成 3</li> <li>11. 建築図面作成 4</li> <li>12. プレゼン用建築図面の作成 1</li> <li>13. プレゼン用建築図面の作成 2</li> <li>14. 提出建築図面の講評会</li> <li>15. まとめ</li> </ol> | <p>(後期)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建築CADを用いた設計手法について</li> <li>2. 動作環境の設定・提出課題(事務所建築)の説明</li> <li>3. 建築CADの基本操作の体得 1</li> <li>4. 建築CADの基本操作の体得 2</li> <li>5. 建築CADを用いた配置図の作成</li> <li>6. 建築CADを用いた平面図の作成 1</li> <li>7. 建築CADを用いた平面図の作成 2</li> <li>8. 建築CADを用いた平面図の作成 3</li> <li>9. 建築CADを用いた平面図の作成 4</li> <li>10. 建築CADを用いた断面図の作成 1</li> <li>11. 建築CADを用いた断面図の作成 2</li> <li>12. 建築CADを用いた立面図の作成 1</li> <li>13. 建築CADを用いた立面図の作成 2</li> <li>14. 提出建築図面の講評会</li> <li>15. まとめ</li> </ol> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### 授業方法：

前期：学生の作成するエスキス(建築設計案のスケッチ)・建築図面について、マンツーマンで指導を行う。  
後期：建築CADは、学生各自が自らコンピュータを操作し、随時質問を受け付けながら進める。

#### 達成目標

効果的なプレゼン用建築図面の能力を習得すること、建築CADによる建築図面の完成まで到達することを目標とする。

#### 評価方法：

エスキス・建築図面等に取り組む姿勢 40%、成果品として提出された建築図面の内容・発表態度等 60%を総合的に判断する。

#### 教科書：

前期：<建築のテキスト>編集委員会、『初めての建築計画』、学芸出版社  
後期：<建築のテキスト>編集委員会、『初めての建築製図』、学芸出版社

#### 参考文献：

日本建築学会編、『コンパクト 建築設計資料集成』、丸善  
宮後浩、『宮後浩の 超簡単！プレゼンテクニック』、学芸出版社、他随時、授業中に提示する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
D31701	日本建築史	1・2・3・4	2	神谷昇司

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築と風土 構造と意匠 建築様式	グローバルな視野、美的感受性

**授業のテーマ：**

「日本建築の流れ」

本講義では建築様式の展開過程をたどり、日本建築と生活文化のかかわりまで言及し、将来の建築的実践にどのようにつながるかの展望も試みる。

**授業の概要：**

建築は風土との関わりが大きい。特に日本は四方を海に囲まれている上に、隣国に先進国中国を控えているため、文化史上での中国からの影響は無視できない。建築は外来文化の受容と抵抗の産物である。日本文化の大陸文化との諸条件における大きな隔たり故に、大陸建築の完全な模倣にはならなかった。日本的な空間と日本建築の流れを概説する。

**授業の計画：**

- (1) 日本建築の特質 建築と風土
- (2) 同 構造と意匠
- (3) 神社建築 神社の成立と変遷
- (4) 寺院建築 伽藍配置とその変遷
- (5) 同 様式—飛鳥様式
- (6) 同 大仏様・禅宗様の建築
- (7) 同 軸部と細部の名称と役割
- (8) 住宅建築 日本建築の二つの流れ
- (9) 同 寝殿造と書院造
- (10) 同 書院造の要素と特長
- (11) 同 数寄屋造
- (12) 城郭建築 天守閣の発生と変遷・縄張
- (13) 霊廟建築
- (14) 茶室
- (15) まとめ

**授業方法：**

基本的には講義形式で進めますが、必要に応じてビデオやプリントなど資料を用いていきます。

**達成目標：**

日本建築の特色、建築の構成要素を習得する。

**評価方法：**

筆記試験 (70%)、授業への取り組み (20%) レポート課題 (10%)

**教科書：**

日本建築学会編『日本建築史図集』（彰国社／2,415円）

**参考文献：**

太田博太郎著『日本建築史序説』（彰国社）

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31501	建築計画論	1・2・3	2	暮石哲真
B20101	地域・都市計画論講義A	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
かたち、デザイン、設計方法、プロセス	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

- ・建物を計画する際に必要な、基本的な考え方を学習する。
- ・特に、住宅、集合住宅、幼稚園等を例に挙げ、それぞれの計画の進め方を学習する。
- ・具体的な図面から、その平面構成・立面構成等について読み取れる力を身につける。

#### 授業の概要：

住宅・集合住宅等身近な建築を例に挙げ、建物種別に分析していくことを通し、計画の考え方・進め方を習得する。

#### 授業の計画：

1. 建築計画の概要1 - 計画の進め方 -
2. 建築計画の概要2 - 空間構成について -
3. 住宅の計画1 - 計画の進め方 -
4. 住宅の計画2 - 空間構成について1 -
5. 住宅の計画3 - 空間構成について2 -
6. 住宅の実例をみて、計画等についてディスカッションを行う
7. 集合住宅の計画1 - 計画の進め方 -
8. 集合住宅の計画2 - 空間構成について1 -
9. 集合住宅の計画3 - 空間構成について2 -
10. 集合住宅の実例をみて、計画等についてディスカッションを行う
11. 幼稚園等の計画1 - 計画の進め方 -
12. 幼稚園等の計画2 - 空間構成について1 -
13. 幼稚園等の計画3 - 空間構成について2 -
14. 幼稚園等の実例をみて、計画等についてディスカッションを行う
15. まとめ

#### 授業方法：

教科書を輪読し、必要な箇所についてはスライド・板書・プリント等にて補足説明をする。  
随時、授業で理解度確認の為、課題を行う。

#### 達成目標：

建築の計画をしていく上でのプロセスと、考え方・進め方を習得することを目標とする。

#### 評価方法：

授業の取り組み 40%、授業中に行う参考例の理解度(レポートにて提出)60%により総合的に判断する。

#### 教科書：

<建築のテキスト>編集委員会、『初めての建築計画』、学芸出版社

#### 参考文献：

柳沢忠編著、『建築計画－計画・設計課題の解き方－』、共立出版  
日本建築学会編、『コンパクト 建築設計資料集成』、丸善  
他随時、授業中に提示する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30301	住環境のエコロジカル・デザインA	2・3・4	2	本間宏

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
自然環境、感覚、健康、身体機能、建築環境	分析・統合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

人間は様々な自然環境のもとで生活を営むために建物の機能を発達させてきた。建築は一面では自然環境を人体の要求に調和させるための役割を担っている。さらなる発展のためには人体が必要とする環境条件を理解し、また多様に変化する自然環境、社会環境を理解することが必要である。生活活動へ自然環境を最大限まで活用するために必要な要件を分析し、建築設計に総合させる手法を学ぶ。

#### 授業の概要：

物理的環境に対する人体の諸感覚を理解し、人体を健康に機能させ、快適さを実現するための環境条件を追求する。次いで住環境に対する太陽や気候の影響、社会や都市の影響を理解する。さらに両者に基づく人体の要求と自然の影響を調和させるための建築の機能を追及する。

#### 授業の計画：

1. 建築と気候、風土との関係
2. 伝統建築から学ぶ
3. 気象要素と地域差
4. 生活活動と都市気候
5. 人体の諸感覚と環境要件
6. 環境要件と健康、身体機能
7. 代謝熱と温熱環境指標
8. 太陽熱と太陽光
9. 太陽の動きと日照
10. 建築と日影
11. 演習：建物の日影図作成
12. 自然採光と人工照明
13. 建築と日照調節
14. 光と色彩
15. 色彩調節
16. 試験及びまとめ

#### 授業方法：

屋内で生活する居住者の健康、感覚に基づく建築環境要件について考察し、その現代建築への利用について講義する。建築環境に関する諸問題の考察、分析力を発展させると共に、広範な分野の知識を集積し、有機的に構成し、創造的な解決方法を創出するために学生諸君の積極的参加を求める。

#### 達成目標：

健康維持、快適性増進、作業効率向上のための室内環境を実現するために住環境に求められる基礎的要件を理解し、建築の改善、発展のための実務的手法を案出する能力を養成する。

#### 評価方法：

試験を主とするが、レポート課題も課す。評価配分は試験 50%、レポート 25%、出席 25%とする。

#### 教科書：

適宜資料を配布し、教科書は使用しない。図書館の利用を推奨する。

#### 参考文献：

建築環境学教科書研究会編著『建築環境学教科書』彰国社  
 図解住居学編集委員会編『図解住居学 5 住まいの環境』（彰国社）  
 堀越哲美他『絵とき 自然と住まいの環境』（彰国社）  
 三浦昌生『基礎力が身につく建築環境工学』（森北出版）  
 児玉祐一郎『建築探訪 4 住まいの中の自然』（丸善）

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30401	住環境のエコロジカル・デザインB	2・3・4	2	本間宏

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
健康、空気、水、建築設備、エネルギー	分析・統合の思考力と判断力、価値判断力

#### 授業のテーマ：

人口の都市への集中は自然環境を歪ませ、建築環境に新たな負荷を加えている。建築に新たに要求される条件を理解し、技術、産業の発展を建築へ応用する手法を展開する必要がある。このための技術、機械設備を理解する。建築は長期間にわたって使用が続けられるが、この間に消費されるエネルギーは建築のライフサイクル全体に注ぎ込まれる中で大きな部分を占める。この抑制手法、環境保全への貢献を目指す。

#### 授業の概要：

建築は自然や都市の環境を健康で身体を充分機能させる住環境に変換する役割を担う。この役割を分析し、建築の設計、運営に有機的に総合する思考力を養う。また建築自体では実現できない条件は設備で補い、稼動にエネルギーを投入する。建築、設備機器を総合的に計画し、自然環境と調和させる計画力を養う。

#### 授業の計画：

1. 建築音響
2. 室内音響調節
3. 騒音処理
4. 空気調和設備
5. 建築伝熱
6. 高断熱・高气密建築
7. 換気と健康
8. 換気力学
9. シックビルディング
10. 湿度調節
11. 建築のライフサイクル アセスメント
12. 上下水道と水質
13. 給排水・衛生設備
14. 建築を取り巻くエネルギー事情
15. エコロジカル建築、エコロジカル都市
16. 試験及びまとめ

#### 授業方法：

講義を主とするが、建築環境に関する問題の考察、解法へ学生諸君の積極的参加を求める。

#### 達成目標：

住環境改善のために建築に設置される諸設備とその省エネルギー手法、環境負荷軽減手法を理解する。さらに建築環境を持続、発展させながら自然環境にたいする負荷を抑制するための住生活、建築設備の設計、運用手法に関する問題解決力を養う。

#### 評価方法：

試験を主とするが、レポート課題を課す。評価配分は試験 50%、レポート 25%、出席 25%とする。

#### 教科書：

適宜資料を配布し、教科書は使用しない。図書館の利用を推奨する。

#### 参考文献：

建築設備学教科書研究会編著『建築設備学教科書』彰国社  
 図解住居学編集委員会編『図解住居学 5 住まいの環境』（彰国社）  
 堀越哲美他『絵とき 自然と住まいの環境』（彰国社）  
 三浦昌生『基礎力が身につく建築環境工学』（森北出版）  
 梅干野晃『住まいの環境学』（放送大学教育振興会）

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30501	建築構造 A	1・2・3・4	2	水野啓示朗

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
構造力学, 梁, トラス, ラーメン, 応力	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

**授業のテーマ：**

建築物は、建築自身や内部に置かれた物などの重さに耐えると共に、地震や風にも耐えなければならない。安全な建築物を設計するためには、物体の内部で力がどのように伝達され、どの部分に力が集中するかを知る必要がある。この授業では、単純な梁と少し複雑なトラスやラーメンを対象として、建築部材内部で力が伝達される様子を計算する方法について講義する。

**授業の概要：**

建築構造を支える支持点に作用する力である反力と、構造の内部に働く力である応力を計算する方法を講義する。そのため、この授業の大半は計算の手順の説明である。

**授業の計画：**

- 第1回 授業ガイダンス, 力とモーメント
- 第2回 支持点反力 (1) 支持点
- 第3回 支持点反力 (2) 集中荷重に対する静定梁の反力
- 第4回 支持点反力 (3) 等分布荷重, モーメント荷重に対する静定梁の反力
- 第5回 支持点反力 (4) 計算によって反力を求める方法
- 第6回 支持点反力 (5) 静定トラス, 静定ラーメンの反力
- 第7回 支持点反力 (6) 反力計算の総合演習
- 第8回 断面の応力 (1) 応力とは
- 第9回 断面の応力 (2) 集中荷重に対する静定梁の応力
- 第10回 断面の応力 (3) 等分布荷重に対する静定梁の応力
- 第11回 断面の応力 (3) モーメント荷重に対する静定梁の応力
- 第12回 断面の応力 (4) トラスの応力 (節点法)
- 第13回 断面の応力 (5) トラスの応力 (切断法)
- 第14回 断面の応力 (6) 静定ラーメンの応力
- 第15回 断面の応力 (7) 応力計算の総合演習

**授業方法：**

講義は、毎回配付するプリントに従って、主に板書で行う。講義の最後に出席確認を兼ねた小テストを出題し、講義内容の理解を確認する。また、練習を促すための宿題も適宜課す。

**達成目標：**

反力と応力を計算する手順を覚え、手順通りに計算できる能力を身につける。

**評価方法：**

「期末試験 100%」または「期末試験 40%+宿題点 60%」のうち、高い方を評価点とする。  
 授業で例示していない構造に対しても、反力と応力が計算できる…S  
 授業で例示した構造に対しては、反力と応力が計算できる……………A  
 授業で例示した構造の大半は、反力と応力が計算できる……………B  
 授業で例示した構造の半分以上は、反力と応力が計算できる……………C  
 授業で例示した構造の半分も計算できない……………D

**教科書：**

講師作成のプリントを配付する

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30601	建築構造B	1・2・3・4	2	水野啓示朗

期間	曜日	時限	備考：この科目を履修するには、Aの履修が必須です。
後期	火	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
たわみ、たわみ角、応力度、許容応力度設計	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

建築構造 A では、部材内部で力が伝達される様子を応力という形で計算する方法について講義するが、力の伝達には必ず部材の変形が伴う。この講義では、部材の変形を計算する方法について講義すると共に、安全な建築物を設計するための手法について講義する。

#### 授業の概要：

この講義は大きく2つの内容に分かれ、前半では変形を計算する方法について講義し、後半では構造設計について講義する。これらは建築構造 A の発展的な内容であり、建築構造 A の半分以上を理解した上で受講する必要がある。

#### 授業の計画：

- 第1回 序（1） 長方形断面に関する諸係数
- 第2回 序（2） 複雑な断面に関する諸係数
- 第3回 部材の変形（1） 梁の応力の復習
- 第4回 部材の変形（2） モールの定理
- 第5回 部材の変形（3） モールの定理の例題
- 第6回 部材の変形（4） 仮想仕事の原理
- 第7回 部材の変形（5） 仮想仕事の原理の例題
- 第8回 部材の変形（6） 梁の変形の演習
- 第9回 断面の設計（1） 歪度と応力度
- 第10回 断面の設計（2） 応力状態に対応した応力度
- 第11回 断面の設計（3） 許容応力度
- 第12回 断面の設計（4） 梁の断面設計
- 第13回 断面の設計（5） 座屈について
- 第14回 断面の設計（6） 柱の断面設計
- 第15回 断面の設計（7） 断面設計の演習

#### 授業方法：

講義は、毎回配付するプリントに従って、主に板書で行う。講義の最後に出席確認を兼ねた小テストを出題し、講義内容の理解を確認する。また、練習を促すための宿題も適宜課す。

#### 達成目標：

たわみとたわみ角の最大値を計算することができ、許容応力度設計法で断面寸法の設計をすることができる。

#### 評価方法：

「期末試験 100%」または「期末試験 40%+宿題点 60%」のうち、高い方を評価点とする。  
 変形計算ができ、梁と柱両方の断面設計ができる。しかも、計算過程が整理され、分かりやすく表現されている。… S  
 変形計算ができ、梁と柱両方の断面設計ができる。 …………… A  
 変形計算か、断面設計のどちらかができる。しかも、計算過程が整理され、分かりやすく表現されている。… B  
 変形計算か、断面設計のどちらかができる。 …………… C  
 変形計算も断面設計もできない。 …………… D

#### 教科書：

講師作成のプリントを配付する

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31601	空間設計論	1・2・3	2	暮石哲真
B20201	地域・都市計画論講義B	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
木造在来構法、ディテール、建築と都市計画	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

- ・ 建築を初めて学ぶ学生を対象に、建築及び都市について基礎的な知識を学習する。
- ・ 建築については、各構法(木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造)に関する基礎知識を学習し、特に木造建築に用いられる木材の特性と、在来構法における各部の構法を学習する。更に、建築に用いられている寸法体系についても学習する。
- ・ 都市については、都市計画の歴史を振り返り、当時の政治的・社会的・経済的背景を考察し、我が国における現代都市の目標と都市計画理念を捉え、現下の諸問題を把握する。

#### 授業の概要：

建築についての各構法・ディテールを学習しながら、建築の基礎的な知識を習得する。また、都市計画について建築との関係から理解し、歴史・理念について習得する。

#### 授業の計画：

1. 建築の構法についての概説
2. 鉄筋コンクリート造について
3. 鉄骨造について
4. 木造：材料(木材)の特性
5. 木造：在来構法の概要 1
6. 木造：在来構法の概要 2
7. 各部構法 1：基礎・屋根・壁
8. 各部構法 2：建具・床・階段
9. 各部構法 3：天井・造作と納まり
10. 建築における寸法体系の概説
11. 都市計画の歴史と都市計画思潮
12. 近代都市計画の発展
13. 現代都市の目標と都市計画理念
14. 都市計画の現下の諸問題
15. まとめ

#### 授業方法：

教科書を輪読し、必要な箇所についてはスライド・板書・プリント等にて補足説明をする。随時、授業で理解度確認の為、課題を行う。

#### 達成目標：

建築の各構法、特に木造在来構法についての学習と、都市計画についての理解を目標とする。

#### 評価方法：

授業の取り組み40%、授業中に行う参考例の理解度(レポートにて提出)60%により総合的に判断する。

#### 教科書：

建築の構法については：1 <建築のテキスト> 編集委員会、『初めての建築一般構図』, 学芸出版社

#### 参考文献：

建築の構法については：1 内田祥哉 編著、『建築構法』, 市ヶ谷出版  
 都市計画については：2 日笠端・日端康雄、『都市計画』, 共立出版  
 3 加藤晃・竹内伝史,「新・都市計画概論」, 共立出版  
 他随時、授業中に提示する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30901	建築材料実験	2・3・4	2	山本俊彦

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
前期	火	4・5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築材料、材料実験、コンクリート、鋼材、木材	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

建築物を構成する主な構造材料としてコンクリート、金属材料、木材がある。本授業では、この三つの材料を中心に、材料の特性を実験により理解し確かめることを目的とする。種々の材料の特性が把握できた次のステップとして、構造デザインと材料についての関係を、模型実験を通して理解を深める。また、建築材料と環境負荷低減についても実験を通じて考える。

#### 授業の概要：

実験内容の理論的な背景の理解の基に実験を行い、理論と実際の間関係を理解する。また、実際の材料に触れることで材料の性質や特性を併せて理解する。実験レポートの作成により、建築材料に対する科学的な見方が出来るようにする。

#### 授業の計画：

1回 ガイダンス	10回 金属材料の模型実験
2回 建築材料と環境負荷低減	11回 木材の概要
3回 折れ板製作	12回 木材実験
4回 コンクリート材料概要	13回 実験予備日
5回 コンクリートの作成	14回 試験・実験結果の発表
6回 コンクリートの材料試験	15回 建築材料実験総括
7回 金属（鋼、アルミ、ステンレス）材料概要	
8回 金属の材料試験w	
9回 金属材料の応用実験	

#### 授業方法：

各建築材料の概要、使われ方などを講義し、その後、それぞれの材料について実験を行い、得られたデータを分析・検討し、レポートを作成する。

#### 達成目標：

主要建築材料の実験手法の理解、実験データの収集、実験結果の分析とまとめができる。

#### 評価方法：

レポート 50%、出席状況 50%  
 各材料の特性を理解し、理論を含めた高い完成度の実験レポートが作成できる。出席 100%…S  
 各材料の特性を理解し、実験について高い完成度のレポートが作成できる。出席 90%以上 …A  
 実験について高い完成度のレポートが作成できる。出席 80%以上 ………………B  
 実験について実験レポートが作成できる。出席 70%以上 ………………C  
 C のレベルに達していない ………………D

#### 教科書：

#### 参考文献：

日本建築学会『建築材料実験用教材』（丸善）

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30701	建築施工・生産A	2・3・4	2	池田宏之

期間	曜日	時限	備考：後期の「建築施工・生産B」と合わせての受講が望ましい。(前期と後期合わせて、着工～竣工までの講義内容となる。)
前期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築施工・工程・品質	問題解決力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

**授業のテーマ：**

市街地に建てる一般的な鉄骨鉄筋コンクリート造の事務所ビルの施工を例にし、建築関係に就業するにあたり必要と思われる工程と品質についての基礎知識を得る。(建築士受験も視野にいれながら)

**授業の概要：**

着工から竣工までの全体工程に添って、準備・計画・杭・躯体（・内外装・設備）等の個々の工事の基本的な、工事内容・作業手順、品質基準・品質管理を、理解出来るようになることとする。

**授業の計画：**

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1回 各種構造・部材名称・構内ツアー   | 9回 鉄筋②・・・組立・圧接・各種省力化工法 |
| 2回 建設業とは・企画～受注       | 10回 型枠①・・・材料・加工・組立     |
| 3回 計画・足場・機械          | 11回 型枠②・・・解体・各種省力化工法   |
| 4回 着工準備・山止め壁         | 12回 コンクリート①・・・材料・性能・配合 |
| 5回 既成杭・場所打ち杭         | 13回 コンクリート②・・・打設・検査    |
| 6回 地下工事手順（根切り・構台・切梁） | 14回 コンクリート③・・・各種コンクリート |
| 7回 基準階躯体工事手順         | 15回 現場見学（木造）日程・場所未定    |
| 8回 鉄筋①・・・材料・加工       |                        |

**授業方法：**

資料の縮小版を事前配布し、スクリーンに投影した資料にもとづき授業を進める。(毎回20～30カット程度、A3版3P程度)

- ・授業内容に対応する工事ビデオにより実作業を補足説明する。
- ・毎回、理解度確認の小テストを実施する。(主として建築士の試験問題を利用)
- ・毎回、講義終了時に、理解度アンケート兼質問表に記入し提出する。

**達成目標：**

全体工程、各工事の内容・作業手順、品質基準・品質管理の基本事項を理解し習得する。

**評価方法：**

- 授業の取り組み・・・40％  
試験・・・60％

**教科書：**

イラスト「建築施工」(社)建設業協会 関西支部・・・教務課にて一括購入予定。(200円程度)4月中に、建築関係の雑誌・・・「新建築」(2000円程度)等又は住宅関誌・・・を1冊購入すること。

**参考文献：**

彰国社「新訂 図説施工入門」2580円(JASS・国交省建築工事共通仕様書)

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B30801	建築施工・生産B	2・3・4	2	池田宏之

期間	曜日	時限	備考：前期の「建築施工・生産A」と合わせての受講が望ましい。(前期と後期合わせて、着工～竣工までの講義内容となる。)
後期	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
建築施工・工程・品質	問題解決力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

市街地に建てる一般的な鉄骨鉄筋コンクリート造の事務所ビルの施工を例にし、建築関係に就業するにあたり必要と思われる工程と品質についての基礎知識を得る。(建築士受験も視野にいれながら)

#### 授業の概要：

着工から竣工までの全体工程に添って、準備・計画・杭・躯体（・内外装・設備）等の個々の工事の基本的な、工事内容・作業手順、品質基準・品質管理を、理解出来るようになることとする。

#### 授業の計画：

- |             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 1回 鉄骨①      | 8回 金属製カーテンウォール・サッシ・ガラス   |
| 2回 鉄骨②      | 9回 天井内設備・壁天井下地・木         |
| 3回 鉄骨③      | 10回 壁左官・ボード・GL工法         |
| 4回 防水①      | 11回 塗装・クロス・床             |
| 5回 防水②・シール  | 12回 設備                   |
| 6回 屋根・金属    | 13回 保全・改修                |
| 7回 外壁ALC・PC | 14回 見積もり・約款              |
|             | 15回 現場見学（RC造又はS造）日程・場所未定 |

#### 授業方法：

資料の縮小版を事前配布し、スクリーンに投影した資料にもとづき授業を進める。(毎回20～30カット程度、A3版3P程度)

- ・授業内容に対応する工事ビデオにより実作業を補足説明する。
- ・毎回、理解度確認の小テストを実施する。(主として建築士の試験問題を利用)
- ・毎回、講義終了時に、理解度アンケート兼質問表に記入し提出する。

#### 達成目標：

全体工程、各工事の内容・作業手順、品質基準・品質管理の基本事項を理解し習得する。

#### 評価方法：

- 授業の取り組み・・・40%  
試験・・・60%

#### 教科書：

イラスト「建築施工」(社)建設業協会 関西支部・・・教務課にて一括購入予定。(200円程度)4月中に、建築関係の雑誌・・・「新建築」(2000円程度)等又は住宅関誌・・・を1冊購入すること。

#### 参考文献：

彰国社「新訂 図説施工入門」2580円(JASS・国交省建築工事共通仕様書)

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31701	建築法規	2・3	2	暮石哲真
B20701	地域・都市計画論プロゼミナール	4		

期間	曜日	時限	備考：
後期	水	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生活の中での法規、まちの中での法規、都市の中での法規	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、美的感受性

#### 授業のテーマ：

現在、わが国で建物を設計・施工する場合、建築法規（建築基準法および関連法規等）の様々な規制を受ける。そこで、設計・施工等を行う上で必要となる法律について、建築基準法を中心に、用語の定義や、その内容を理解することを目標とする。

#### 授業の概要：

主に建築基準法について、法令の原則・用語の定義やその内容を学習しながら、建築設計の為の法規の概要を理解する能力を習得する。

#### 授業の計画：

1. 建築法規の概要
2. 用語の定義 1
3. 用語の定義 2
4. 集団規定について 1 - 道路と敷地 -
5. 集団規定について 2 - 用途地域 -
6. 集団規定について 3 - 容積率と建ぺい率 -
7. 集団規定について 4 - 高さ制限 -
8. 集団規定について 5 - 防火地域 -
9. 単体規定について 1 - 採光・換気 -
10. 単体規定について 2 - 天井・床の高さ、階段 -
11. 単体規定について 3 - 木造 -
12. 単体規定について 4 - 防火 -
13. 単体規定について 5 - 内装制限 -
14. 関連法規
15. まとめ

#### 授業方法：

教科書および建築基準法を輪読し、必要な箇所についてはスライド・板書・プリント等にて補足説明をする。（輪読箇所は事前に目を通しておくこと）  
随時、理解度の確認の為、実例の検討や参考問題を行う。

#### 達成目標：

集団規定・単体規定について、その内容の理解することを目標とする。

#### 評価方法：

授業の取り組み 40%、授業中に行う参考問題の理解度（レポートにて提出）60%により総合的に判断する。

#### 教科書：

1. <建築のテキスト>編集委員会、『初めての建築法規』、学芸出版社
2. 今村仁美・田中美都、『図説やさしい建築法規』学芸出版社

#### 参考文献：

建築基準法令集  
随時、授業中に提示する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
B31001	建築測量実習	1・2・3・4	2	玉置啓二
<b>期間</b>	<b>曜日</b>	<b>時限</b>	<b>備考：2時限連続 履修抽選対象科目</b>	
前期	木	4・5		
<b>授業のキーワード</b>		<b>人間環境大学が育む八つの能力</b>		
水準測量、多角測量、平板測量		分析・総合の思考力と判断力、問題解決力		

**授業のテーマ：**

測量とは、高等学校までは机上の学問に過ぎなかった幾何学のフィールドへの応用である。それは、単に建造物の設計施工に不可欠な技術であるばかりではなく、文化財の調査や自然環境の保全など様々な分野で必要とされており、人間環境学の観点からも極めて重要な技術である。

**授業の概要：**

本実習においては、建築の設計施工に必要な測量技術の中核としつつも、同時にその他の様々な分野に必要な測量技術とも共通する、最も基本的な測量技術（水準測量、多角測量、平板測量）の修得を目的とする。

**授業の計画：**

- 第1週：序論（講義）
- 第2週：水準測量1（講義と計算演習）
- 第3週：水準測量2（フィールド実習）
- 第4週：水準測量3（フィールド実習）
- 第5週：水準測量4（レポート作成）
- 第6週：多角測量1（講義と計算演習）
- 第7週：多角測量2（フィールド実習）
- 第8週：多角測量3（フィールド実習）
- 第9週：多角測量4（レポート作成）
- 第10週：平板測量1（講義と実習準備）
- 第11週：平板測量2（フィールド実習）
- 第12週：平板測量3（フィールド実習）
- 第13週：平板測量4（レポート作成）
- 第14週：付論1：寸法単位の歴史（講義）
- 第15週：付論2：測量技術の歴史（講義）

**授業方法：**

計算演習やレポート作成は個人で行い、フィールド実習はグループで行う。計算演習やレポート作成などに際しては、関数電卓と製図用具を各自で用意する必要がある。フィールド実習に際しては、靴や帽子を含めて、適切な服装でのぞむ必要がある。フィールド実習が雨天順延となった場合には、休講とはせず、付論の講義を先行して行う。

**達成目標：**

水準測量、多角測量、及び平板測量による地形図の作成

**評価方法：**

平常点

**教科書：**

なし（適宜プリントを配布する）

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F00101	教職概論	1・2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
前期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教師、教職、人づくり	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

学級崩壊、いじめ、引きこもり、また、青少年犯罪の凶悪化など、現在、我が国の教育が大きな混乱状態にあることはいうまでもない。また、これらの教育問題は制度的改革のみで乗り切ることが不可能と考える。

そこで、本講では「教育とは何か」という最も基本的な問題を総合的に考察する。

**授業の概要：**

授業では、自分自身の教職経験（山口県立高校教諭十四年在職）を具体的に語りながら、教師とは何かということを学生に理解させたい。

**授業の計画：**

- 1 教育とは何か①
- 2 教育とは何か②
- 3 我が国における学校の発達と性格①
- 4 我が国における学校の発達と性格②
- 5 教師の性格と課題①
- 6 教師の性格と課題②
- 7 家庭・地域と学校①
- 8 家庭・地域と学校②
- 3 教師の性格と課題
- 4 家庭・地域と学校
- 5 学級・学校経営
- 6 教育内容—我が国の教科書
- 7 生徒指導の体制と方法
- 8 現代公教育と教育行政の課題

**授業方法：**

講義形式

**達成目標：**

学生が自分で理想の教師像を描き、それに向かって努力するようにする。

**評価方法：**

授業の取り組み20%、テスト80%などによって、評価する。

**教科書：**

なし

**参考文献：**

折々に紹介する。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F01101	教育原論	1・2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
西洋、教育史、人づくり	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

学級崩壊、いじめ、とじこもり、また、青少年犯罪の凶悪化など、現在、我が国の教育が大きな混乱状態にあることはいうまでもない。また、これらの教育問題は制度的改革のみで乗り切ることは不可能と考える。

そこで、本講では「教育とは何か」という最も基本的な問題を総合的に考察する。

**授業の概要：**

講義では、まず、ギリシア、ローマの教育からはじめ、近代学校制度の成立までを概観する。具体的には、各時代、各地域の代表的な「私塾」、「学校」、「教育者」などを取り上げ、そこで行われた教育実践などを概観し、教育のあり方を総合的に考察する。

**授業の計画：**

- 1 ギリシアの教育①
- 2 ギリシアの教育②
- 3 ソクラテス
- 4 プラトン
- 5 アリストテレス
- 6 ローマの教育
- 7 イスラエルの教育
- 8 中世の教育①
- 9 中世の教育②
- 10 人文主義と教育
- 11 宗教改革と教育
- 12 啓蒙主義と教育
- 13 ルソー
- 14 ペスタロッチ
- 15 フレーベル

**授業方法：**

講義形式を中心として進める。

**達成目標：**

近代教育の源流とされるギリシア以来の西欧教育思想を理解し、今後の我が国の教育を具体的に構想する。

**評価方法：**

授業の取り組み20%、テスト80%などによって、評価する。

**教科書：**

なし。

**参考文献：**

折々に紹介する。

**実験・実習・教材費：**



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F03101	教育制度論	1・2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
前期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
日本教育、制度史、歴史	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

古代より我国の教育は、行政の一分野と位置付けられ、教育制度の形態、学校の設置、運営、教育内容の決定などを主体的に行い、教育水準の維持、発展を目指してきた。本講義では、我国の学校制度の歴史の変遷、現在の法制度などの基本などについて取り上げ、それぞれの時代における教育制度の精神的、社会的、制度的、経営的な特徴などを論じる。

**授業の概要：**

我が国では、古代より人づくりが始まり、大陸の文化的影響のもと、制度が整備されてきたことを理解させる。そして、現在の我が国の教育制度は、それらの延長線上にあることを理解させる。

**授業の計画：**

- 1 古代国家の成立とその教育制度
- 2 大陸の教育・文化の国風化
- 3 ヨーロッパ文化・宋明文化の摂取
- 4 幕府・諸藩の教育政策と学校
- 5 大衆文化の発達と教育の普及
- 6 幕末維新时期における教育近代化の胎動
- 7 近代教育法制の成立と展開
- 8 外国教師の雇用と高等・中等教育の成立
- 9 西洋教育方法の導入と小学校教師の誕生
- 10 教育理念の模索と臣民像
- 11 教育改革運動の展開
- 12 植民地教育の展開
- 13 戦時体制下の教育
- 14 戦後教育改革の進展
- 15 国際状況の変化と我国の教育

**授業方法：**

講義形式を中心として、適時、史料などを講読する。

**達成目標：**

我が国の教育制度の発達を理解し、現在のそれについて、自分の意見がもてるようになる。

**評価方法：**

授業の取り組み 20%、テスト 80%などによって、評価する。

**教科書：**

なし。史料は適時配布。

**参考文献：**

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04101	国語教科教育法 I	2・3・4	4	山田克利

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	3	

授業のキーワード				人間環境大学が育む八つの能力
わかる 想像力	言葉	学習指導案	模擬授業	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

国語と教育が関わりあう関係や理念、背景、条件についても見識を広げ深める。言葉が人間をすることのありようを把握する。

#### 授業の概要：

高校で国語の授業を担当するための基礎作りをし、自分で必要な能力を育てるための方法をつかむことに重点を置く。それが自分自身の人生を豊かにすることも念頭に置きながら、国語教育の知識と技能について、理論面と実践面から学習し訓練を行う。

#### 授業の計画：

##### 前期

- 1、授業の趣旨と計画
- 2、国語の授業の成立 高校の国語
- 3、4、学習指導要領 責任 根拠 基準 教科と科目
- 5、組織 計画
- 6、ことばと「国語」 何を教えるか・学習するか
- 7、8ことばとは何か ことばの力 ことばを使う力
- 9、授業の展開 I 授業の計画 学習指導案の作り方
- 10、11、12、授業の展開 II 対話 学習者の作業 現代文の読解
- 13、授業の展開 III 詩・短歌・俳句
- 14・15、授業の展開 IV 古文・漢文（1）

##### 後期

- 16、授業の展開 V 古文・漢文（2）
- 17、文法と敬語の指導
- 18、模擬授業。授業実践・訓練と分析 国語表現
- 19、模擬授業。授業実践・訓練と分析 国語表現
- 20、模擬授業。授業実践・訓練と分析 国語総合
- 21、模擬授業。授業実践・訓練と分析 国語総合
- 22、模擬授業。授業実践・訓練と分析 現代文
- 23、模擬授業。授業実践・訓練と分析 現代文
- 24、模擬授業。授業実践・訓練と分析 古典
- 25、模擬授業。授業実践・訓練と分析 古典
- 26、模擬授業。授業実践・訓練と分析 古典講読
- 27、模擬授業。授業実践・訓練と分析 古典講読
- 28、模擬授業の総括、技術・方法・考え方。
- 29、指導案の意義・方法の再把握と整理。
- 30、国語教育の評価とその意味。試験問題の作り方。

#### 授業方法：

基本的には講義形式によるが、テキストを含めて文献を読み、必要な知識を集めながらの読解作業、また話し、書くこと更には、自分の言葉で授業を進める実践、訓練も行う。

#### 達成目標：

中等教育（高等学校）における国語課目を指導する力の養成を目的とする。

#### 評価方法：

授業に取り組む積極性、レポートなどの課題の処理、指導案の作成などを含む授業を計画し実施する力、を基準に評価を行う。平常の授業で発揮されたものに加え、学期末・学年末に筆記試験を行い、それらを総合して評価する。平常点50%、試験の成績50%。

#### 教科書：

文部省編「高等学校学習指導要領解説 国語編」（東洋館、380円（税抜き））

#### 参考文献：

授業中に適宜指示する。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04201	国語教科教育法Ⅱ	2・3・4	4	山本博子

期間	曜日	時限	備考：2時限連続
後期	土	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教材研究、指導目標、指導の計画・展開、指導案	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

**授業のテーマ：**

中学校の国語の教科書を扱って実践的な指導法について学ぶ。教科書の教材は、小説や詩等の文学的文章、現代社会の動向を反映した幅広いトピックスの説明的文章・日本及び世界の古典等実に多様である。中学生に興味関心を持たせ意欲的に学習させるために、これらの基礎知識や指導者自身の社会観、国語教育への問題意識等をもつことが必要である。教材分析とそれに即した指導法、実践例等から国語科経営の在り方を学ぶ。

**授業の概要：**

中学校学習指導要領が示す国語科の目標や内容等を理解し、求められている国語力の認識を深める。教科書の教材研究を綿密に行う力を養うとともに、確かな指導法を学ぶ。

**授業の計画：**

- 1 中校学習指導要領の解説…国語科の目標・内容・指導方法等
- 2 中学校における国語教育の現状と課題
- 3 話す・聞く力を育てる指導法と授業展開例・実習
- 4 文学的文章の教材研究・指導法・授業展開例等
- 5 古典教材の理解・指導法・授業展開例等
- 6 読書指導の現状と課題
- 7 言語教材の理解と授業展開例等
- 8 説明的文章の教材研究と指導法・授業展開例等
- 9 書く力を育てる教材の理解と実習等
- 10 学習指導案の作成、模擬授業の実践と分析

**授業方法：**

中学校国語の教材文や配布資料等に基づく講義の他に、グループ討議及び実習（研究発表や模擬授業等）を取り入れる。

**達成目標：**

教材研究の力を養うこと、実践的な指導方法を理解すること、指導案を作成すること、等の学びを通して、どのような国語科教師を目指すか自らの考えを持つ。

**評価方法：**

平常点（発表内容や実習態度）60%、レポート40%

- ① 確実な教材研究の力をつけ積極的に実習をした上で望ましい自らの国語科教師像をもつ…S
  - ② 授業内容を理解して、実習に参加した上で望まれる国語科教師像を理解する……………C
  - ③ Cのレベルに達していない……………D
- ※①と②の間に2段階の評価（A・B）を置く

**教科書：**

中学校国語教科書『国語1・2・3』（光村図書）

**参考文献：**

授業中に指示する。

**実験・実習・教材費：**

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04301	社会科・地歴科教育法	2・3・4	4	堀崎嘉明

期間	曜日	時限	備考：
通年	金	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教材研究、構成、展開、分析、討議	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意思決定力）

**授業のテーマ：**

中学社会科と高校地歴科の授業をつくる

**授業の概要：**

中等社会科教育の領域と課題、中学社会科の地理・歴史的分野の授業例検討、教材の探し方・使い方・多様な学習方法を考察する。高校地歴科の地理・日本史・世界史の授業例検討。さらにテーマ学習の事例を考察する。また学習指導案作成と模擬授業の実施、学習評価法を考察する。

**授業の計画：**

- 1 中等社会科教育(地理・歴史教育)の領域と課題
  - 2 中学社会科の目標と課題
  - 3 地理的分野の授業展開例の研究
  - 4 歴史的分野の授業展開例の研究
  - 5 教材の探し方・使い方(地図・地域・視聴覚・実物教材など)
  - 6 社会科教育での多様な学習指導法(主題・レポート・討論学習など)の研究
  - 7 学習指導案作成にあたっての留意点
  - 8 高校地歴科の目標と課題
  - 9 地理の授業展開例の研究
  - 10 日本史の授業展開例の研究
  - 11 世界史の授業展開例の研究
  - 12 歴史の授業をつくる－教材と展開例(テーマ学習を通して)
  - 13 学習指導案の作成
  - 14 模擬授業・分析
  - 15 中学社会科・高校地歴科の学力と評価法
- \* 1テーマにつき2週で扱う。

**授業方法：**

テーマの講義が中心となるが、時にビデオの視聴、スピーチ、討論などを随時取り入れる。

**達成目標：**

中学社会科と高校地歴科を担当できる資質と力量の養成を図る。

**評価方法：**

成績評価は、読書課題(30%)、模擬授業と学習指導案のレポート(40%)、平常点[時間毎のミニレポートなど](30%)の割合で総合的に評価する。

模擬授業の展開において、  
 完成度の高い展開能力が示せる・・・S 確かな教材研究と熱心な姿勢が見られる・・・A  
 教材研究に不十分さを残すも、熱意ある姿勢で実践を展開した・・・B  
 授業の展開はできるものの、平板な域を出ていない・・・C  
 Cのレベルに達していない・・・D

**教科書：**

特に使用せず、資料プリントを配布して行う。

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04401	社会科・公民科教育法	2・3・4	4	西村公孝・ 疋田晴敬

期間	曜日	時限	備考：2時限連続（前期授業日）4/9 4/23 5/7 5/21 6/4 6/18 7/2 7/16 （後期授業日）9/17 10/1 10/15 10/29 11/12 11/26 12/10 1/7
通年	土	1・2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
社会認識力、社会形成力、公民的資質、授業構成力、 実教実践力	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判 断力、グローバルな視野

#### 授業のテーマ：

社会科、公民科は児童生徒の社会認識形成と社会形成力を育成することにより、公民としての資質・能力を育成する社会系教科である。社会科及び公民科の成立過程を現代社会の教育の動向を背景に掴み、その基本的性格及び目標と内容構成を理解する。学習指導要領の内容構成を理解し、社会科、公民科での授業構想を考え、学習指導案を作成して模擬授業による自己省察を行う。

#### 授業の概要：

社会科、公民科に関する基本的な教科理論を理解しながら、実際に学校教育現場での教育実習における教科指導ができるように教科の目標、内容、方法を確認した上で模擬授業を行う。

#### 授業の計画：

（前期）

- 第1回 今日の学校教育の課題、戦後の教育改革と学力観の変遷、民主主義社会の形成者育成
- 第2回 社会科の成立と基本的性格、社会科の目標と内容構成、指導上の留意事項
- 第3回 中学校社会科（公民科の分野）の学習内容と学習方法、指導と評価の一体化
- 第4回 高等学校公民科の成立過程、公民科の目標と科目構成、課題探究学習の位置付け
- 第5回 科目「現代社会」の目標と内容、科目「倫理」の目標と内容
- 第6回 科目「政治・経済」の目標と内容、公民科の指導方法と評価
- 第7回 時事問題の教材化とその発表・評価
- 第8回 まとめ

（後期）

- 第1回 学習指導案の性格と基本的事項、教材開発の意義とその方法、教材の構造化
- 第2回 目標の立て方、学習過程の組織化、学習形態と学習活動、板書計画と発問
- 第3回 社会科、公民科の学習指導案、授業実践の分析、
- 第4回 社会科学習指導案の作成
- 第5回 社会科模擬授業実践とその検討・評価
- 第6回 公民科学習指導案の作成
- 第7回 公民科模擬授業実践とその検討・評価
- 第8回 まとめとテスト

#### 授業方法：

前期は学習教材として配布した資料の解説を中心に講義形式により、各テーマについて理解していく。後期は前期の理論を実際に教育現場で実践できるように模擬授業を構想し、実際に実践することにより基礎的な力量を身に付けさせる。

#### 達成目標：

社会科及び公民科に関する基礎的な教科理論を理解し、現行の学習指導要領の内容から模擬授業を構想し、実際に実践して身に付けることにより教育実践力の基礎を習得する。

#### 評価方法：

前期においては、授業への取り組み（70%）と授業中に課せられた課題（時事問題の発表）（30%）とし、後期においては、模擬授業の作成とその実践（70%）、テスト（30%）の配分で前期後期を通して総合的に評価する。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

西村公孝『地球社会時代に「生きる力」を育てる』黎明書房、2004年。  
日本公民教育学会『テキストブック中学校・高等学校公民教育』第一学習社、2004年。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F04501	英語教科教育法 I	2・3・4	4	平尾節子

期間	曜日	時限	備考：
通年	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
コミュニケーション、4 - skills 育成の教授法、Oral Method, Oral Approach, CLT	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、問題解決力

#### 授業のテーマ：

コミュニケーション能力の育成の教授法の学習と実践がテーマである。即ちリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの4領域の技能を養成するための基本的指導法の理論と実践を学ぶ。このため、まず自己の英語運用能力を高めることが必要である。ついで、学習指導要領のねらいや内容を理解し、望ましい授業を行うための教授法に関する諸理論を学び、積極的な授業実践のための演習を図る。

#### 授業の概要：

受講生自身が英語コミュニケーション能力を高め、積極的にコミュニケーションを図る態度を養成する。ついで、これらをどのように指導するか、教授法に関する諸理論に基づいて実践的に演習する。

#### 授業の計画：

- |    |        |                                           |
|----|--------|-------------------------------------------|
| 前期 | 1回     | オリエンテーション：英語教育の理念と教師のあり方                  |
|    | 2～3回   | 日本の英語教育の歴史と国際比較                           |
|    | 4～6回   | 教授法の諸理論の研究                                |
|    | 7～9回   | 中学校学習指導要領・外国語・改訂の趣旨、目標、言語活動               |
|    | 10～12回 | 高等学校学習指導要領・外国語・目標、カリキュラム、言語活動、言語材料        |
|    | 13～14回 | 言語活動の指導、Classroom English の活用             |
|    | 15回    | まとめ：教育実習の心得、教員採用試験の傾向と対策                  |
| 後期 | 1回     | Speech Presentation: "My Summer Vacation" |
|    | 2～5回   | 授業実践：聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、の4技能の指導          |
|    | 6～8回   | 授業実践：中学校：Teaching Plan の作成                |
|    | 9～10回  | 授業実践：高等学校：Teaching Plan の作成               |
|    | 11～14回 | 模擬授業・プレゼンテーション演習と反省・討議                    |
|    | 15回    | まとめ                                       |

#### 授業方法：

講義形式で始めますが、毎回、1人～2人の報告者がレジュメを用意して、プレゼンテーションを行い全員で討議する。模擬授業では、全員が教授法の理論を効果的に実践する総合的指導計画を作成する。生徒役の学生が授業評価をして相互に反省討議し、問題解決を図る。

必要に応じて、VTR、DVD、Internetなどを活用し、望ましい授業のあり方を研究する。

#### 達成目標：

教授法の理論を活用・実践して、4 - skills の習得のための指導法を学び研究すると共に、積極的に、自己のコミュニケーション能力を高める。(TOEIC スコア：700、英検：準1級程度)

#### 評価方法：

- 定期試験 (40%)、授業中のプレゼンテーション (35%) 模擬授業 (25%)
- 教授法の理論を十分に駆使して実践・指導し、コミュニケーション能力が向上した…S  
理論を部分的に活用し、コミュニケーション能力がやや向上した…A  
理論を一部使い4技能の指導が部分的にできる…B  
理論を部分的に説明できる…C  
Cレベルに達しない…D

#### 教科書：

- 「新英語科教育法入門」(研究社)  
「中学校学習指導要領・外国語(英語)」(文部科学省)  
「高等学校学習指導要領・外国語(英語)」(文部科学省)

参考文献：田崎清純著「現代英語教授法総覧」(大修館)

実験・実習・教材費：なし

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
F04601	英語教科教育法Ⅱ	2・3・4	4	岡 良和

期間	曜日	時限	備考：
通年	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
英語運用能力、教科指導力、教授理論	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性（社会的相互関係力）

**授業のテーマ：**

おもに中学校での英語授業実践に取り組んでもらう。学習指導要領の狙いや内容を十分に理解し、望ましい授業を行うための基礎的な知識や実践力を習得する。このために、自己の英語運用能力を一層伸ばすとともに、実践的英語コミュニケーション能力の指導法を検討し、習熟する。

**授業の概要：**

受講生自身が聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、の4技能を伸ばすことに取り組む。次いで、これらの技能をどのように指導するのかを教授理論に基づき理解し実践する。

**授業の計画：**

1回 指導要領の基本方針	16～17回 聞くことの指導
2回 指導要領の目標	18～19回 話すことの指導
3～6回 英語科の目標・言語活動	20～21回 読むことの指導
7～8回 言語活動の扱い	22～23回 書くことの指導
9～11回 言語材料	24～25回 4技能の総合的指導
12～13回 言語材料の扱い	26～29回 模擬授業
14回 指導計画の作成	30回 まとめ
15回 まとめ	

**授業方法：**

テキストに沿って進みながら、受講生に質問していく。その後、ミニ模擬授業を行う。

**達成目標：**

英語教員として必要とされる英語運用能力と指導力に習熟すること。

**評価方法：**

前期・後期の試験(50%程度)と授業への取り組み(50%)程度により行う。将来教師を目指す以上、遅刻や欠席は厳に慎むこと。

十分な英語運用力を有し、生徒の状況に応じた授業ができる……………S
十分な英語運用力を有し、理論に基づいた授業ができる……………A
ほぼ十分な英語運用力を有し、一定の援助を得ることで授業ができる……B
教育実習に必要な能力を有している……………C
Cのレベルに到達していない……………D

**教科書：**

米山、杉山、多田 著 『英語教育実習ハンドブック』大修館書店 2,200円（税抜き）

**参考文献：**

なし

**実験・実習・教材費：**

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F05101	道徳教育の研究	1・2・3・4	2	濱島 秀樹

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	B	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
道徳的葛藤, ディベート, 意見表明	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、価値判断力（意志決定力）

#### 授業のテーマ：

道徳性の構築や自ら考える力の獲得に効果的な教育方法としてディベートを行う。道徳的な葛藤と向き合いながら他者の意見にコメントし、自分の考えも深めていく。また、それらを言語化・文章化していく力を養う。

#### 授業の概要：

モラルジレンマ課題をディベートの論題としてとりあげ、出席者全員で考えを深めていく。その他（1）日本において道徳教育がいかに行われてきたか、現在日本の教育現場で道徳教育が目的としているもの、日本の道徳教育の現実について理解する。（2）心理学において道徳性の発達がどのように扱われてきたのかを整理する。参加者はパワーポイントを使用してスライドを作成し、発表をする。

#### 授業の計画：

第1回	オリエンテーション	モラルジレンマについて	第9回	道徳教育と全人教育
第2回	道徳教育の歴史と学習指導要領		第10回	家庭と道徳教育
第3回	道徳的社会化		第11回	学校・地域と道徳教育
第4回	道徳性の発達と自己の成長		第12回	種々の道徳的課題
第5回	道徳教育指導案作成		第13回	ディベート①
第6回	ディスカッション		第14回	ディベート②
第7回	道徳教育と生徒指導		第15回	ディベート③
第8回	道徳教育と特別活動			

#### 授業方法：

基本的には配布資料とスライドをもとに講義・演習(ディスカッション・ディベート等を含む)を行う。ある課題に対し自分で調べ、考え、そして、発表することが求められる。積極的な能動的参加が必要である。また、小グループでのディスカッションや全体でのディベートなどにおいて、常に自分の考えや意見を他の参加者に表明し、双方向的にコミュニケーションを取ることが必要になると心得ておくこと。

#### 達成目標：

モラルジレンマ課題を通して、自らの道徳観を見つめなおし、児童・生徒のおかれた発達段階や社会状況に即して、広く活用することのできる知識や態度を身につけることを目標とする。

#### 評価方法：

授業の取り組み（ディスカッションやディベート参加点も加味）60%、レポート（講義終了後の設定期間内に提出のこと）20%、授業指導案作成 20%で総合的に評価を行う。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

文部科学省 『心のノート 中学校版』 暁教育図書株式会社（430円 税込み）  
 文部科学省 『中学校学習指導要領解説 道徳編』 日本文教出版（139円 税込み）  
 太田龍樹 『ディベートの基本が面白いほど身につく本』（株）中経出版（1155円 税込み）  
 茂木秀昭 『ディベートが面白いほどできる本』（株）中経出版（552円＋税）

#### 実験・実習・教材費：

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F06101	特別活動指導法	1・2・3・4	2	大宮貢

期間	曜日	時限	備考：
前期	土	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
人格の完成、個性の伸長、人間関係の構築、教科外教育	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、効果的な社会参加

#### 授業のテーマ：

教育の目標は人間の成長保障と学力形成保障の両面があり、学校の教育活動は各教科・道徳・特別活動によって構成されている。しかし、現実に行われている教育活動は、学力形成に重点が置かれている。特別活動は心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、人格形成をする重要な諸活動であることを再認識する。

#### 授業の概要：

人間の人格形成と学力形成は表裏一体である。日本の教育の歴史を理解することから教育は人格の形成を図る諸活動が実践されていることを再認識する。また、人格形成を阻害する諸問題があることを理解する。

#### 授業の計画：

- 1・教育の目的・日本の教育史の概論
- 2・江戸時代の教育と近代の教育の意義と課題
- 3・特別活動総論…新学習指導要領の趣旨 教育課程における特別活動・教科外活動の位置と意義
- 4・人格形成のための学力形成 特別活動と教科指導の関わり、
- 5・学力重視かゆとり（個性）か ビデオ「明治の教育」を視聴して、小論文にまとめ討論
- 6・学級活動・給食指導・清掃指導の意義と課題
- 7・クラブ活動・部活動の意義と課題
- 8・学校行事の意義、活動内容と指導計画 … 修学旅行の実施計画
- 9・修学旅行の実施計画の発表と発表内容についての討論（演習）
- 10・総合的な学習の時間のあり方
- 11・特別支援教育、ボランティア活動
- 12・教科外教育（人権教育・子供の人権・高齢者福祉・女性差別等）
- 13・教科外教育（同和問題・ハンセン病）
- 14・適応学級（いじめと不登校、国際理解教育）
- 15・教員の資質について
- 16・試験（小論文）

#### 授業方法：

基本的には講義方式で進め、授業内容詳説プリントとビデオを教材として用いる。また、受講生に対して課題を出して、小論文の形で提出してもらい、意見の交換を行う。その時間の課題について全員で討議し、自分の考えを確立する。

#### 達成目標：

特別活動は心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、人格形成をする重要な諸活動であることを理解する。人間の成長を保障するさまざまな活動や問題があることを習得する。

#### 評価方法：

課題の小論文40%、演習での発表20%、試験20%、授業の取り組み（発言回数と内容、態度）20%を総合して評価する。

教育の目標や特別活動の意義や活動を十分理解し、自分の意見が発表できる…S

教育の目標や特別活動の意義や活動を理解し、自分の意見が発表できる…A

教育の目標や特別活動の意義や活動を理解し、自分の意見が持てる…B

教育の目標や特別活動の意義や活動を理解できる…C

Cのレベルに達していない…D

#### 教科書：

文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』（ぎょうせい、114円）

#### 参考文献：

講義時間に紹介する。

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F07101	教材・教具論	1・2・3・4	2	文野峯子

期間	曜日	時限	備考：
前期	木	1	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
視聴覚教材, アニメ, 教材分析, 効果的な利用	分析・総合の思考力と判断力, 問題解決力, 価値判断力 (意思決定力)

#### 授業のテーマ：

教材の分析・評価と教育への利用

#### 授業の概要：

前半では、既存の視聴覚教材を分析・評価する。後半では、テレビ、ビデオ、アニメ、ゲームなどの視聴覚素材を、教育の目的に合わせて教材化し、その効果的な利用法を考える。

#### 授業の計画：

1. 教材とは何か。教材の役割について考える。
2. 教材を評価するための基準、項目を考える。
3. 既存の教材（カード、カルタ、紙芝居、まんがなど紙媒体の教材）を調べ、分析・評価する。
4. 教材の評価結果報告
5. 既存の教材（インターネットの検索により得られた教材）で学習者体験
6. インターネット教材の評価結果報告
7. 映像素材（アニメ、ゲーム他の1シーン）を教材化する 1回目（素材を探す）
8. 素材の共有（グループ発表）
9. 共有した素材を利用して、目的（中高の国語、英語、社会科、国際理解教育など）に合った使い方を考える。
10. 中間報告
11. 教材の修正1
12. 教材の修正2
13. 発表（模擬実習）
14. 発表（模擬実習）
15. まとめ

#### 授業方法：

学生が主体的に活動をすることによって学習が成立する授業である。グループ単位で、教材作成、教案作成、発表等を行う。欠席は、グループ作業を滞らせるため、全出席を旨とする。教材についての情報を得る、教材作成のための資料を得るために、インターネットを利用する。また、発表もパワーポイントを利用して行う。

#### 達成目標：

1. 教材を評価できるようになる。
2. 生の素材を対象者や目的に合わせて教材化できるようになる。

#### 評価方法：

分析結果発表 50%  
 模擬実習 50%

#### 教科書：

特に定めない。

#### 参考文献：

ウェブに公開されているさまざまな教材、他。

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F08101	生徒指導・進路指導	1・2・3・4	2	川口雅昭

期間	曜日	時限	備考：
後期	月	5	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
生徒指導、生徒理解、教職	コミュニケーション力、問題解決能力、社交性（社会的相互関係力）

#### 授業のテーマ：

学校教育は教科指導にみならず、生徒の人格の完成、人間形成を重視しておこなわなければならない。生徒の人格、人間形成のために重要な役割を果たしているのは、生徒指導・進路指導である。そこで、本講義では、それらについて理解を深め、実際の学校においてはどのような指導が行われているのかを論じたい。

#### 授業の概要：

専門用語の解説などから始め、生徒指導、進路指導の理想的なあり方を、自分で考えられるようにする。

#### 授業の計画：

- 1 生徒指導とは一校内分掌における位置付け
- 2 生徒指導とは一生徒理解
- 3 生徒指導の領域と課題
- 4 生徒指導体制の基本的構造
- 5 生徒指導の場・機会
- 6 生徒指導の事例①
- 7 生徒指導の事例②
- 8 生徒指導の事例③
- 9 進路指導とは一校内分掌における位置付け
- 10 進路指導とは一生徒理解
- 11 進路指導の領域と課題
- 12 進路指導の基本的構造
- 13 進路指導の場・機会
- 14 進路指導の事例①
- 15 進路指導の事例②

#### 授業方法：

講義形式を中心として、適時、史料などを講読する。

#### 達成目標：

生徒指導、進路指導の基本を理解し、学校現場に立った時に、具体的に指導ができる基礎を身に付けさせる。

#### 評価方法：

授業の取り組み 20%、テスト 80%などによって、評価する。

#### 教科書：

なし。史料は適時配布。

#### 参考文献：

#### 実験・実習・教材費：

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F09101	教育相談	1・2・3・4	2	坂本真也

期間	曜日	時限	備考：
前期	集中	A	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
スクールカウンセリング, 学校臨床心理学, 児童・生徒理解	分析・総合の思考力と判断力、問題解決力、価値判断力（意思決定力）

#### 授業のテーマ：

現在、学校現場ではいじめ・不登校・非行そして発達障害など多くの問題に直面している。また、児童生徒だけでなくその保護者や教師への援助も教育相談では必要とされている。よって、本講義では学校の様々な問題に対する理解とその対応について理論や方法論だけでなく、事例も含めて学校臨床心理学（スクールカウンセリング）の視点から学習することを主要なテーマとする。

#### 授業の概要：

教育相談のあり方や特徴を学習し、学校現場が抱える問題の背後にある児童生徒の心理・発達、教師—児童生徒関係についても理解していく。また、個々の問題への対応や援助の方法を習得し、効果的な教育相談が行えることを目標とする。

#### 授業の計画：

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 教育相談とは            | 9. ケース・ディスカッション（発達障害） |
| 2. 教育相談の歴史的背景        | 10. カウンセリングの理論        |
| 3. 児童生徒の心理・発達Ⅰ       | 11. 応答技法              |
| 4. 児童生徒の心理・発達Ⅱ       | 12. リフレーミング           |
| 5. 教師—児童生徒の人間関係      | 13. カウンセリング実習         |
| 6. 児童生徒への相談活動        | 14. スクールカウンセラーとの連携    |
| 7. ケース・ディスカッション（不登校） | 15. まとめ               |
| 8. 保護者への相談活動         |                       |

#### 授業方法：

配布資料をもとに講義を行い、実際に学校現場で抱える問題については体験的に理解できるよう事例を通して討論していく。また、カウンセリング実習も行い、相談活動のあり方について全員で考え、意見を交換していく。主要なテーマの内容については、レポートを書いてもらう。

#### 達成目標：

児童生徒の心理・発達の理解および相談方法の習得、保護者への相談対応能力や連携能力の習得

#### 評価方法：

授業への取り組み 30%、レポート課題 70%

S—児童生徒の心理・発達ならびに効果的な相談活動のあり方をほぼ完全に理解できる。

A—児童生徒の心理・発達ならびに効果的な相談活動のあり方を理解できる。

B—児童生徒の心理・発達ならびに効果的な相談活動のあり方を部分的に理解できる。

C—児童生徒の心理・発達ならびに効果的な相談活動のあり方を最低限は理解できる。

D—C のレベルに達していない。

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

前田基成他『生徒指導と学校のカウンセリング心理学』八千代出版（\1,995）

伊藤美奈子・平野直己編『学校臨床心理学・入門』有斐閣アルマ（\1,995）

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
F10101	総合演習	3・4	2	奥田／藪谷

期間	曜日	時限	備考：
後期	火	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
共感力、ブレイン・ストーミング、プレゼンテーション	コミュニケーション力、問題解決力、社交性

**授業のテーマ：**

模擬授業を中心にして、第一に、独善性を排して、相手に誠実かつ説得的に伝える訓練をする。第二に、受講生が互いに批評しあって切磋琢磨する集団的な学習の訓練をする。(教師集団ができないことを生徒集団に求めることは出来ない。)第三に、環境・平和・生命・人権・ジェンダー・国際化等々、縦割りの学科目では取り上げにくいテーマの取り上げ方を検討する。第四に、総合学習の授業例の紹介及び現段階における総合学習の評価について解説する。その中で各自のテーマとアプローチを工夫すること。

(藪谷あや子教授担当分)

**授業の概要：**

現代において、高校までの教育課程に求められている時代のニーズを知り、それに対して総合学習に期待されている役割りを考える。前期で発表した幾つかの総合学習のテーマを共通テーマとして再度とりあげ、さまざまなアプローチと問題提起を試みることで授業内容がどう変化するかを検証する。

**授業の計画：**

1. オリエンテーション～教科学習と総合学習の違い
2. 共通テーマを取り上げ、おさえるべき共通のポイントについて検討する。(例えば、最も扱いにくい印象がある「道徳」関連テーマについて)
3. 4. 同一テーマを各自の構成、提起の仕方と比較する。
5. まとめ ～共通ポイントの再確認
6. 7. 総合学習自体が抱える課題 ～その科目としての位置づけの変遷
8. まとめ ～教育のあり方についての自由な討論を軸に

**授業方法：**

基本的にゼミ形式。受講生が相互交流を軸として進める。

**達成目標：**

テーマに関連する新聞記事やビデオをみて活発に意見交換することを通して、同じテーマでも教える側にさまざまな価値観、考え方の違いがあることを確認する。そのことをふまえたうえで、共通して児童や生徒に伝えるべきことは何か、を全員で考える。

**評価方法：**

出席70%、積極的・主体的な授業参加態度30%

**教科書：**

プリントを毎回、配布する。

**参考文献：**

適宜、紹介する

(奥田 栄教授担当部分)

**授業の概要：**

総合学習の教案作りをとりあえずのテーマとして、各人2回ずつ発表する。最初の発表では参加者全員でブレインストーミングを行ってアイデアを膨らませ、二度目の発表では教案について批判的な吟味を行う。

**授業の計画：**

1. ガイダンス
2. 総合学習のテーマを探す
3. テーマを発展させていく (1)
4. テーマを発展させていく (2)
5. テーマを発展させていく (3)
6. 発表と相互評価 (1)
7. 発表と相互評価 (2)
8. 発表と相互評価 (3)

**授業方法：**

各人の選択したテーマについてアイデアを膨らませ、その議論をまとめる形でプレゼンテーションを行い、相互評価する演習形式。

**達成目標：**

企画立案し、アイデアを膨らませ、教案として形をなすように出来ること。

**評価方法：**

相互評価を参考に、授業への取組によって判定する。

授業コード	授 業 科 目 名	対象学年	単位数	担当教員名
F11101	事前・事後指導	4	1	岡 良和

期間	曜日	時限	備考:授業日は前期4回、後期3回(授業日は別途掲示にて指示)中免希望者は「F11201 教育実習Ⅰ」、 「F11301 教育実習Ⅱ」を、高免希望者は「F11201 教育実習Ⅰ」をあわせて履修登録すること。
通年	水	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
教育実習、問題解決力、教育現場への参加	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力、社交性(社会的相互関係力)

#### 授業のテーマ：

教育実習は、学生として学ぶ立場から教師として指導する立場へと転換する時期としてとらえることができる。この時期に教師への志望が一段と強くなり、また、人間的にも大きく成長する。この授業では、教育実習参加者が、教育実習の意義を理解し大きな成果をあげるために身につけておくべき事柄について習熟する。

#### 授業の概要：

事前指導では「教育実地研究の手引」を用いながら、教育実習の意義、目的、教育実習の内容、教育実習上の留意事項(登下校時間、服装、ことばづかい、その他)、教育実習簿の記載方法などについて習熟する。事後指導では、教育実習の目的がどこまで達成されたのかを全員で討論し振り返る。

#### 授業の計画：

##### 事前指導

- 1回 教育実習の意義・心構え
- 2回 実習ノートの活用
- 3回 指導案の作成・授業方法についての確認
- 4回 まとめ

##### 事後指導

- 1回 生徒指導の振り返り
- 2回 教科指導の振り返り
- 3回 まとめ

#### 授業方法：

事前指導では、教育現場における課題や問題に対し、実習生としてどのように対処すべきかを討論する。  
事後指導では、大学で学習したことと、現場で体験したことを比較し、残された課題について検討する。

#### 達成目標：

将来教員となるのに必要な基礎力を身につける。

#### 評価方法：

授業への取り組み(30%程度)と教育実習校での成果(40%)及びレポート(30%程度)により行う。将来教師を目指す以上、遅刻や欠席は厳に慎むこと。

- 事前準備が完璧で、教育実習において大いに成果をあげた……………S  
 事前準備がほぼ完璧で、教育実習において満足できる成果をあげた……………A  
 事前準備が一定のレベルにあり、教育実習において一定の成果をあげた…B  
 事前準備や教育実習が最低限のレベルには到達していた……………C

#### 教科書：

なし

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし

授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A41101	ライティング I	1	1	山口周子

期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス（留学生）
前期	木	4	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
漢字、書き言葉、報告文、意見文	コミュニケーション力、分析・総合の思考力と判断力

#### 授業のテーマ：

漢字仮名交じり文を書く

#### 授業の概要：

書き言葉と話し言葉の区別を知り、書き言葉で文を書き、推敲する練習を行う。

授業時間は、ペア（グループ）で作文推敲・検討作業を行うため、各自の作文作業は授業時間外（宿題）となる。具体的には、以下に示す＜授業計画＞に沿って作業を進める。

#### 授業の計画：

＊漢字学習：毎時間 20 分程度、簡単な論説文・報告文の中の漢字を学習する。  
（学習した漢字は翌週小テスト）

1. クラスメートにインタビューをする。→ 結果を報告文にする。書き言葉と話し言葉の区別
2. 報告文の推敲（わかりやすい報告文の構成—モデル文と比較）
3. 報告文の推敲（話し言葉と書き言葉。文体）
4. クラスメートにインタビューをする。→ 結果を報告文にする。
5. 報告文の推敲（わかりやすい報告文の構成—モデル文と比較）
6. わかりやすい文章の構成 800 字程度の論説文を分析
7. わかりやすい文章の構成 800 字程度の論説文を分析
8. 意見文と事実文
9. 意見文を書く（1）アウトラインを書く。要旨を 60 字で書く。
10. 意見文を書く（2）アウトラインに基づき、300 字程度の意見文を書く）
11. 意見文を書く（3）評価基準を学ぶ—推敲する 修正版作成
12. 意見文を書く（4）アウトラインを書く。要旨を 60 字で書く。
13. 意見文を書く（5）500 字程度
14. 意見文を書く（6）推敲する 修正版作成
15. 意見文を書く（7）修正版を推敲し、最終版を書く。

#### 授業方法：

参加型の授業形態を採る。知識を授けるタイプ（講義型）ではない。

授業では、学生一人一人が活動の主体となり、目標とする知識・技能・能力を獲得するための作業および活動を行う。

#### 達成目標：

500 字程度の長さの文章を、書き言葉で、漢字仮名交じり文で書くことができるようになる。漢字 1000 語が、文章の中で読める、書けるようになる。

#### 評価方法：

＊2 回以上の欠席者は B 以下の成績とする。3 回以上無断で欠席したものは、単位取得はできない。  
なお、やむを得ない理由がある場合は、この限りではない。

小テストおよび課題提出	40%
授業中の議論への参加・貢献度	40%
最終課題	20%

教科書：授業時に指示

参考文献：なし

実験・実習・教材費：なし

（追加）

授業コード	授業科目名		対象学年	単位数	担当教員名
A41701	聴読解 I		1	1	小原美紀
期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス（留学生）		
前期	木	3			
授業のキーワード			人間環境大学が育む八つの能力		
要点を聴きとる，ノートをとる，視聴覚教材，類推する			分析・総合の思考力と判断力，問題解決力		

#### 授業のテーマ：

まとまった話を聞き，要点を聞き取る。ノートをとる。

#### 授業の概要：

大学で日本語による学習を円滑に行うために必要な基礎能力を養う訓練をする。日本語教育用聴解教材，日本語能力試験問題，報道番組，ニュース解説などの視聴覚教材を「見て，聞いて」，内容を把握する，ノートをとる練習をする。

#### 授業の計画：

1. 日本語的な文末表現「じゃない」「～かねない」などを含む説明を聞いて理解する。(1)
2. 日本語的な文末表現「じゃない」「～かねない」などを含む説明を聞いて意図や指示を聞き取る (2)
3. 雑音の入った駅のアナウンス，地方訛の発話などを聞き取り理解する。
4. 長めの説明を聞いて重要なポイントを聞き取る。
5. 音声のみの説明を聞き，キーワードから内容を類推する。(1)
6. 音声のみの講義や解説を聞き，キーワードから内容を類推する。(2)
7. 画面の文字情報から内容を類推する → 音声と共に視聴し内容を理解する (1)
8. 画面の文字情報から内容を類推する → 音声と共に視聴し内容を理解する (2)
9. メモをとりながら聞く (1) (1～6の教材を利用) → メモをもとに要旨をまとめ報告
10. メモをとりながら聞く (2) (1～6の教材を利用) → メモをもとに要旨をまとめ報告
11. メモをとりながら聞く (3) (ニュース) → メモをもとに要旨をまとめ報告
12. メモをとりながら聞く (4) (ニュース) → メモをもとに要旨をまとめ報告
13. メモをとりながら聞く (5) (報道番組・視点論点など) → メモをもとに要旨をまとめ報告
14. メモをとりながら聞く (6) (報道番組・視点論点など) → メモをもとに要旨をまとめ報告
15. メモをとりながら聞く (7) (報道番組・視点論点など) → メモをもとに要旨をまとめ報告

#### 授業方法：

参加型授業（学生が主体的に活動することによって学習が成立する授業）の形態を採る。

#### 達成目標：

日本語の講義を聞いて理解できる。講義を聞きながらノートをとることができる。

#### 評価方法：

授業時の課題	40%
授業参加・貢献度	40%
最終課題	20%

#### 教科書：

授業時に指示

#### 参考文献：

授業時に指示

#### 実験・実習・教材費：

なし



授業コード	授業科目名	対象学年	単位数	担当教員名
A46101～02	基礎英会話	2	1	平尾節子(木2) ジェラルド・マクレラン(金2)

授業コード	期間	曜日	時限	備考：履修者指定クラス
A46101	通年	木	2	
A46102	通年	金	2	

授業のキーワード	人間環境大学が育む八つの能力
基礎英文法、発信	コミュニケーション力

#### 授業のテーマ：

2年生の英会話への基礎づくり。

#### 授業の概要：

この授業は、英会話を本格的に始める前のトレーニングとして位置づけられ、英語の必須表現を身につけることを目的とする。言いたいことがどのような英語を使えば表現できるのか、ということを知得してもらいたい。

#### 授業計画：

1. 2. 5文型・・・5つの文型さえわかれば英語は話せる
3. 4. 現在形と過去形・・・「今」と「昔」を表現する
5. 6. 未来形・・・自分の予定や意思を相手に伝える
7. 8. 進行形・・・現在形だけの英語を卒業する
9. 10. 完了形・・・英語独特の時間感覚を身につける
11. 12. 受動態・・・受動態でなければ話せないこと
13. 14. 不定詞と動名詞・・・会話のための便利な表現
15. 16. 分詞・・・分詞を使ってスマートな表現を
17. 18. 形容詞・・・自分の気持ちや意見を伝える
19. 20. 副詞・・・修飾語句の使い方に慣れる
21. 22. 接続詞・・・語句や文をつなぐ
23. 24. 疑問詞・・・疑問文の答え方もマスター
25. 26. 関係詞・・・相手に何か説明するときが必要
27. 28. 比較・・・比較表現を用いているいろいろなことを表現する
29. 30. 仮定法・・・表現に幅が出る「事実を反する仮定」

#### 達成目標：

これまでに学習してきた基礎英文法を定着させ、これに基づいた英語が話せるようになること。

#### 授業方法：

文法を確認→リスニング→文法を活用した会話練習（発音やイントネーションの指導を含む）→重要表現の確認とまとめ

#### 評価方法：

授業中の参加 50%                      試験 50%

#### 教科書：

木2（平尾）別途指示

金2（マクレラン）Gerry McLellan. Everyday English. MGS publications（¥2000）

#### 参考文献：

なし

#### 実験・実習・教材費：

なし